

平成 27 年度 市民意識調査報告書

～五所川原市に関するアンケート～

調査時期 平成 27 年 7 月

報告書作成 平成 27 年 10 月

五 所 川 原 市

目次

I	調査の概要	1
I-1	調査の目的と実施概要	3
I-2	回答者の属性	6
II	集計結果の分析	15
II-1	集計結果の見方	17
II-2	施策の満足度・重要度	19
II-3	普段の生活について	72
II-4	人口減少に関する認識について	88
II-5	定住意向	94
III	自由意見	97
III-1	都市基盤	100
III-2	産業	106
III-3	保健・医療・福祉	114
III-4	住居環境	124
III-5	教育文化	133
III-6	行政経営など	135
III-7	その他	153
IV	参考資料	155
IV-1	市民意識調査票（五所川原市に関するアンケート調査票）	157
IV-2	アンケート集計表（設問ごとの単純集計結果）	165

I 調査の概要

I-1. 調査の目的と実施概要

1. 調査の目的

「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、五所川原市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定に向けた調査として、五所川原市総合計画（基本構想・前期基本計画）に掲げる各種施策に対する市民の認識（満足度や重要度）を調査することによって、本市が現在抱える課題や、将来的に市が進むべき方向性などについて、住民意識の全体的な傾向を把握し、地域特性に沿った効果的かつ効率的な各種施策の推進に当たっての基礎資料とすることを目的とします。

2. 調査の実施概要

調査地域	五所川原市全域（五所川原地域・金木地域・市浦地域）				
調査対象	市内に在住する満 20 歳以上の男女 3,000 人				
抽出方法	住民基本台帳（平成 27 年 6 月 15 日現在）から無作為抽出。 なお、3 地域（五所川原地域・金木地域・市浦地域）の調査対象人口割合をもって、調査対象者数を比例配分し、各地域ともに調査対象者数を年齢階層ごとに均等配分しています。				
	【五所川原市の各地域における調査対象人口とその割合】				
		五所川原地域	金木地域	市浦地域	合計
	調査対象人口 (調査対象者数)	38,341 人 (2,370 人)	8,172 人 (504 人)	2,008 人 (126 人)	48,521 人 (3,000 人)
割合	79.02%	16.84%	4.14%	100.0%	
調査方法	アンケート調査票の郵送配布、郵送回収（無記名・自記式）				
調査時期	平成 27 年 7 月 1 日（水）～7 月 17 日（金）				

3. 調査票の配布・回収結果

今回のアンケート調査票の配布数は、3,000 通でそのうち宛所不明などによって未到達となった調査票数は 12 通（五所川原地域 9 通、金木地域 3 通）となっています。

回収数は 1,132 通で、有効回収率は、返送された調査票数を除き 37.9%となっています。

平成 25 年調査と比較して、総回答者数は 211 人増加（7.1%）しています。

居住地域別、年齢階層別の配布・回収数及び回収率は表-1のとおりです。

また、今回のアンケート調査実施にあたり、調査対象者の抽出方法や必要な調査票の配布数は次の考え方から決定しています。

【参考 アンケート調査と標本数について】

一般的にアンケート調査を行う場合、理想的には全数調査が望ましいと考えられますが、調査対象が多い場合には、調査に要する時間や労力（費用）を軽減するために、母集団の一部を抽出して調査することがあります。

当然のことながら、母集団から一部分を抽出する際には、標本抽出による偏りを防ぐため、①ランダムに、②一定間隔ごとに、③母集団の傾向を反映した形で抽出されます。

また、少ない標本数では、標本誤差が大きくなるため、信頼できるデータを得るためには、必要な標本数を把握しておかなければなりません。

このことから、本アンケート調査の必要標本数の理論値と必要配布数について、次のとおり算出しています。

単純無作為抽出法による標本調査の標本誤差Fは次式によって求められます。

$$|p - P| < 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \frac{(1-P)P}{n}} \equiv F \dots \dots \dots \text{①式}$$

F：標本誤差（目標値 3%）

N：母集団の成員数（本アンケート調査：48,657人）

n：標本数

P：母集団の調査事項に対する調査結果の比率

（回答比率50%（P=0.5）で標本誤差Fが最大となることから、P=0.5とする。）

p：標本の調査事項に対する調査結果の比率

$$n = \left(\frac{2}{F}\right)^2 (1-P)P \times \frac{N}{N + \left(\frac{2}{F}\right)^2 (1-P)P - 1} \dots \dots \dots \text{②式}$$

②式から、標本誤差3%以内に必要とされる標本数は、1,086となります。

平成25年度調査においては、回収率が30.8%でしたが、平成23年度調査における40.1%程度にまで回収率が回復することを想定した場合、必要なアンケート配布数は2,708となります。なお、標本誤差Fは、回答比率Pと標本数nによって、次表のとおり推移します。

（標本誤差F）

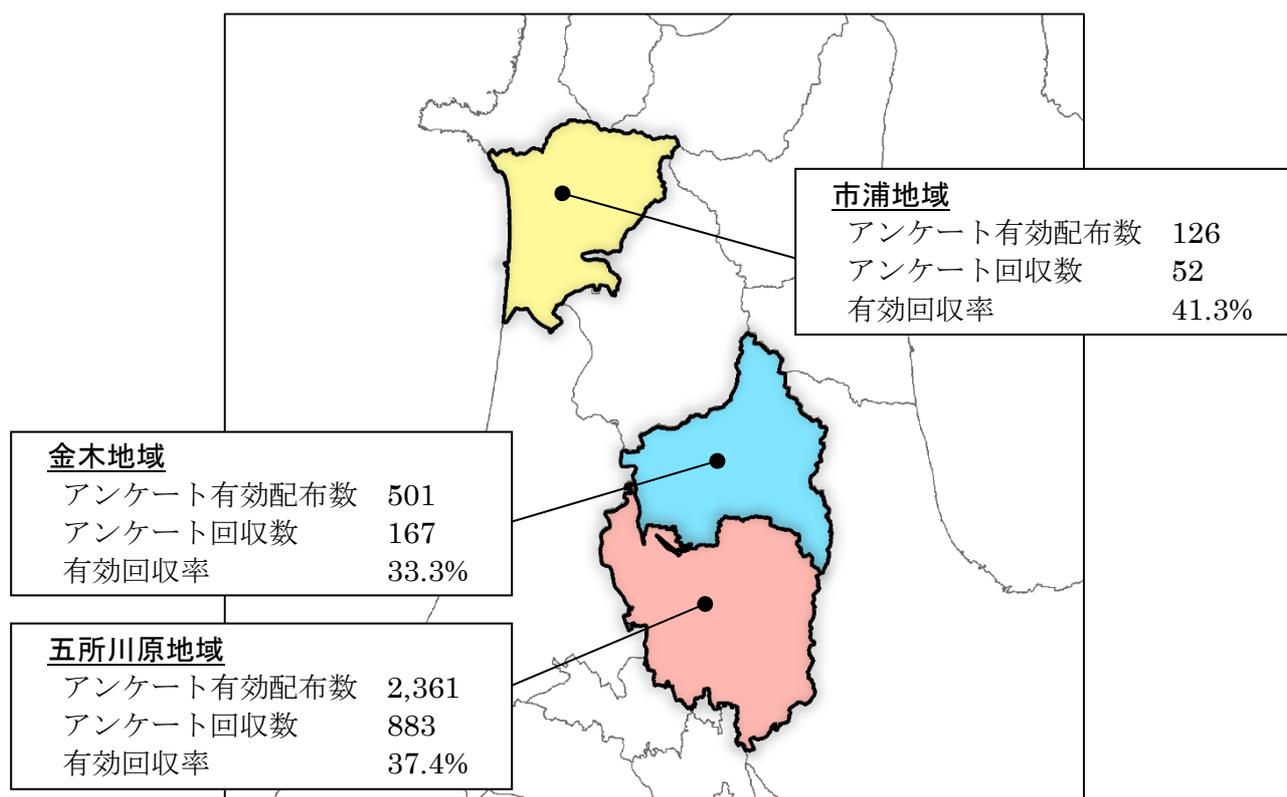
		回答比率 P				
		(10%)	(20%)	(30%)	(40%)	(50%)
標本数 n	100	5.9%	7.8%	9.0%	9.6%	9.8%
	500	2.6%	3.5%	4.0%	4.3%	4.4%
	1,000	1.9%	2.5%	2.8%	3.0%	3.1%
	1,500	1.5%	2.0%	2.3%	2.5%	2.5%
	2,000	1.3%	1.8%	2.0%	2.1%	2.2%
	2,500	1.2%	1.6%	1.8%	1.9%	2.0%
	3,000	1.1%	1.4%	1.6%	1.8%	1.8%

アンケート回収率を居住地域別に比較すると、市浦地域の回収率（41.3%）が最も高く、続いて五所川原地域（37.4%）、そして金木地域（33.3%）が最も低い回収率となっています。

年齢階層別に比較すると、60歳代の回収率（45.4%）が最も高く、続いて70歳代以上（44.8%）、50歳代（38.5%）と続き、最も回収率の低い年齢階層が20歳代（27.7%）となっています。

【表-1 配布数・回収数（率）】

		20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代 以上	年齢不明	合計
五所川原地域	配布数	395	395	395	395	395	395	-	2,370
	未到達数	2	1	1	3	0	2	-	9
	回収数	111	110	153	151	179	179	0	883
	回収率	28.2%	27.9%	38.8%	38.5%	45.3%	45.5%	-	37.4%
金木地域	配布数	84	84	84	84	84	84	0	504
	未到達数	0	0	0	3	0	0	-	3
	回収数	18	23	24	30	36	35	1	167
	回収率	21.4%	27.4%	28.6%	37.0%	42.9%	41.7%	-	33.3%
市浦地域	配布数	21	21	21	21	21	21	-	126
	未到達数	0	0	0	0	0	0	-	0
	回収数	9	11	9	7	10	6	0	52
	回収率	42.9%	52.4%	42.9%	33.3%	47.6%	28.6%	-	41.3%
地域不明	回収数	0	2	2	2	2	3	19	30
全地域	配布数	500	500	500	500	500	500	-	3,000
	未到達数	2	1	1	6	0	2	-	12
	回収数	138	146	188	190	227	223	20	1,132
	回収率	27.7%	29.3%	37.7%	38.5%	45.4%	44.8%	-	37.9%

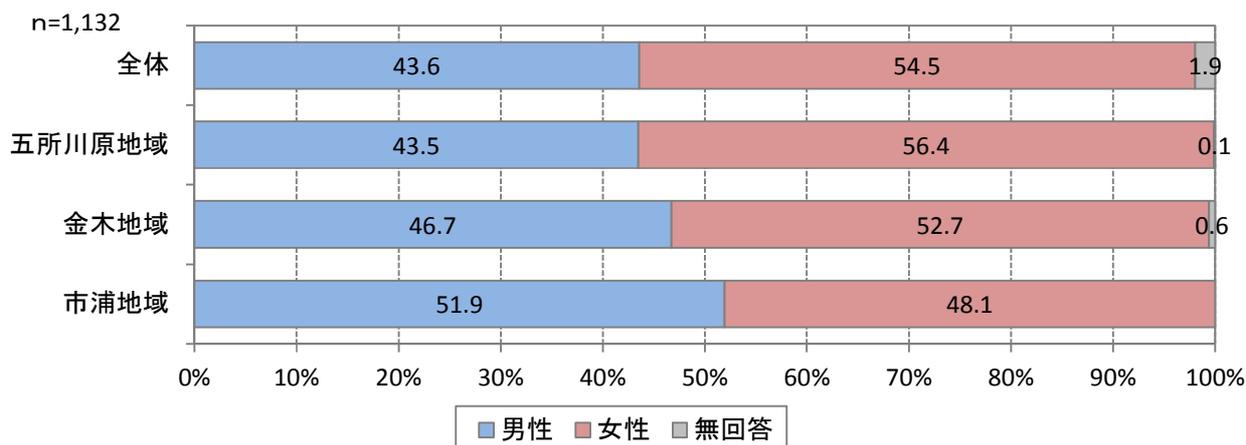


I-2. 回答者の属性

(1) 性別

回答者 1,132 人のうち、「男性」が 493 人 (43.6%)、「女性」が 617 人 (54.5%) となっています。

【図-1 アンケート回答者の性別構成】



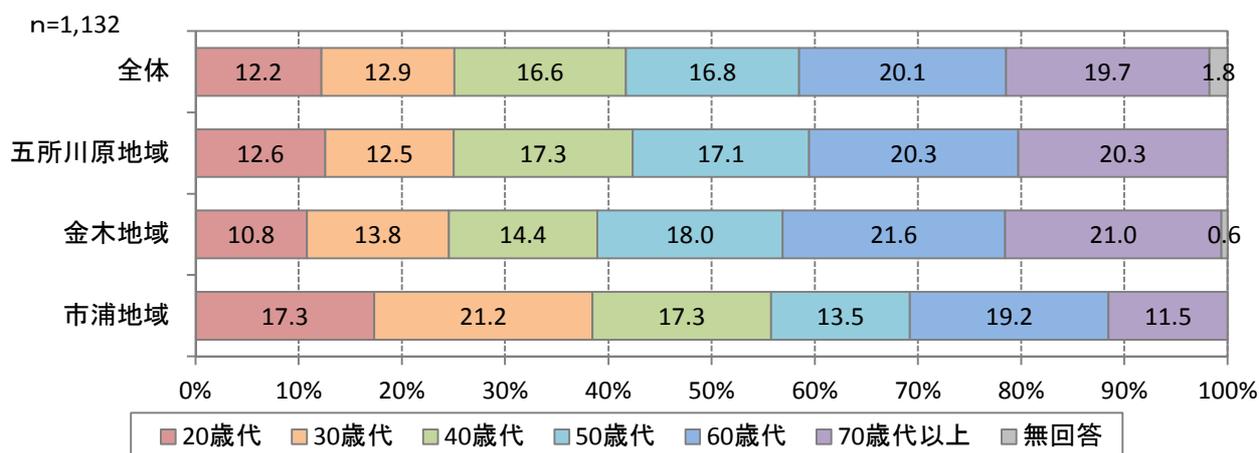
【表-2 性別構成（居住地域別、年齢別）】

		合計	男性 (%)	女性 (%)	無回答 (%)
全体		1,132 (100.0)	493 (43.6)	617 (54.5)	22 (1.9)
居住地域	五所川原地域	883 (100.0)	384 (43.5)	498 (56.4)	1 (0.1)
	金木地域	167 (100.0)	78 (46.7)	88 (52.7)	1 (0.6)
	市浦地域	52 (100.0)	27 (51.9)	25 (48.1)	0 (0.0)
	無回答	30 (100.0)	4 (13.3)	6 (20.0)	20 (66.7)
年齢	20歳代	138 (100.0)	64 (46.4)	73 (52.9)	1 (0.7)
	30歳代	146 (100.0)	71 (48.6)	75 (51.4)	0 (0.0)
	40歳代	188 (100.0)	77 (41.0)	111 (59.0)	0 (0.0)
	50歳代	190 (100.0)	76 (40.0)	114 (60.0)	0 (0.0)
	60歳代	227 (100.0)	108 (47.6)	118 (52.0)	1 (0.4)
	70歳代以上	223 (100.0)	97 (43.5)	125 (56.1)	1 (0.4)
	無回答	20 (100.0)	0 (0.0)	1 (5.0)	19 (95.0)

(2) 年齢

回答者 1,132 人のうち、「20 歳代」が 138 人 (12.2%)、「30 歳代」が 146 人 (12.9%)、「40 歳代」が 188 人 (16.6%)、「50 歳代」が 190 人 (16.8%)、「60 歳代」が 227 人 (20.1%)、「70 歳代以上」が 223 人 (19.7%) となっています。

【図-2 アンケート回答者の年齢構成】



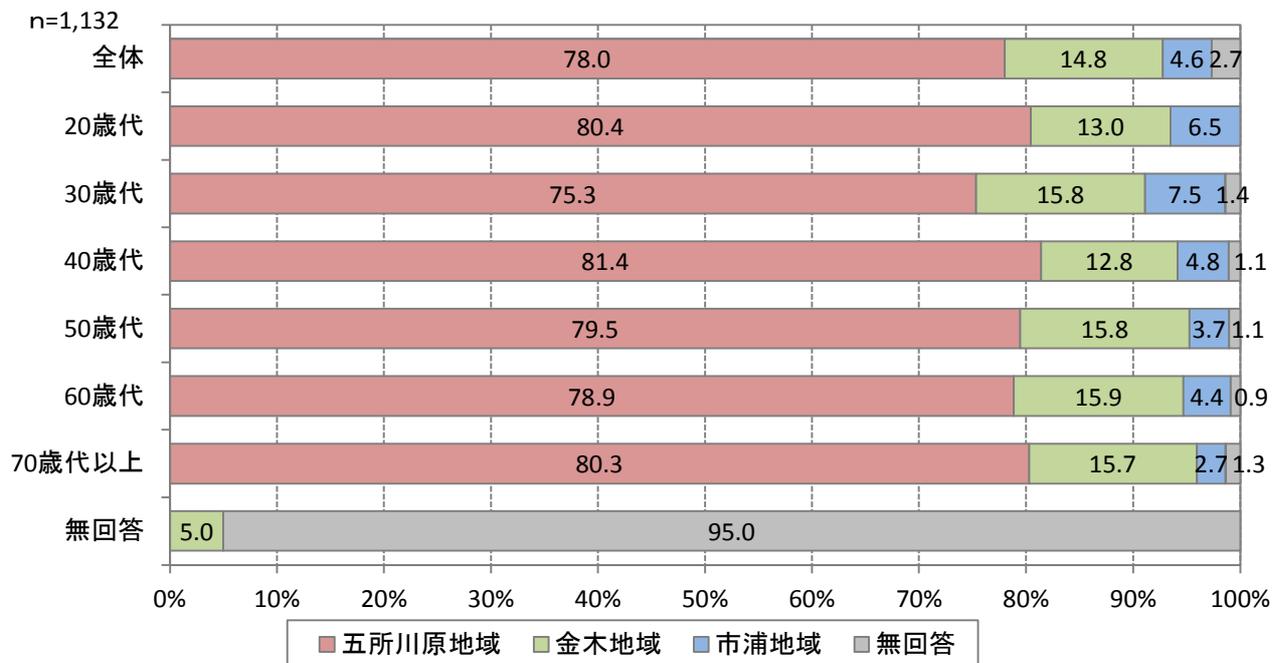
【表-3 年齢構成 (居住地域別、性別)】

		合計	20歳代 (%)	30歳代 (%)	40歳代 (%)	50歳代 (%)	60歳代 (%)	70歳代以上 (%)	無回答 (%)
全体		1,132 (100.0)	138 (12.2)	146 (12.9)	188 (16.6)	190 (16.8)	227 (20.1)	223 (19.7)	20 (1.8)
居住地域	五所川原地域	883 (100.0)	111 (12.6)	110 (12.5)	153 (17.3)	151 (17.1)	179 (20.3)	179 (20.3)	0 (0.0)
	金木地域	167 (100.0)	18 (10.8)	23 (13.8)	24 (14.4)	30 (18.0)	36 (21.6)	35 (21.0)	1 (0.6)
	市浦地域	52 (100.0)	9 (17.3)	11 (21.2)	9 (17.3)	7 (13.5)	10 (19.2)	6 (11.5)	0 (0.0)
	無回答	30 (100.0)	0 (0.0)	2 (6.7)	2 (6.7)	2 (6.7)	2 (6.7)	3 (10.0)	19 (63.3)
性別	男性	493 (100.0)	64 (13.0)	71 (14.4)	77 (15.6)	76 (15.4)	108 (21.9)	97 (19.7)	0 (0.0)
	女性	617 (100.0)	73 (11.8)	75 (12.2)	111 (18.0)	114 (18.5)	118 (19.1)	125 (20.3)	1 (0.2)
	無回答	22 (100.0)	1 (4.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (4.5)	1 (4.5)	19 (86.4)

(3) お住まいの地域

回答者 1,132 人のうち、「五所川原地域」に居住している方が 883 人 (78.0%)、「金木地域」に居住している方が 167 人 (14.8%)、「市浦地域」に居住している方が 52 人 (4.6%) となっています。

【図-3 アンケート回答者の居住地域の構成】



【表-4 居住地域の構成 (年齢別、性別)】

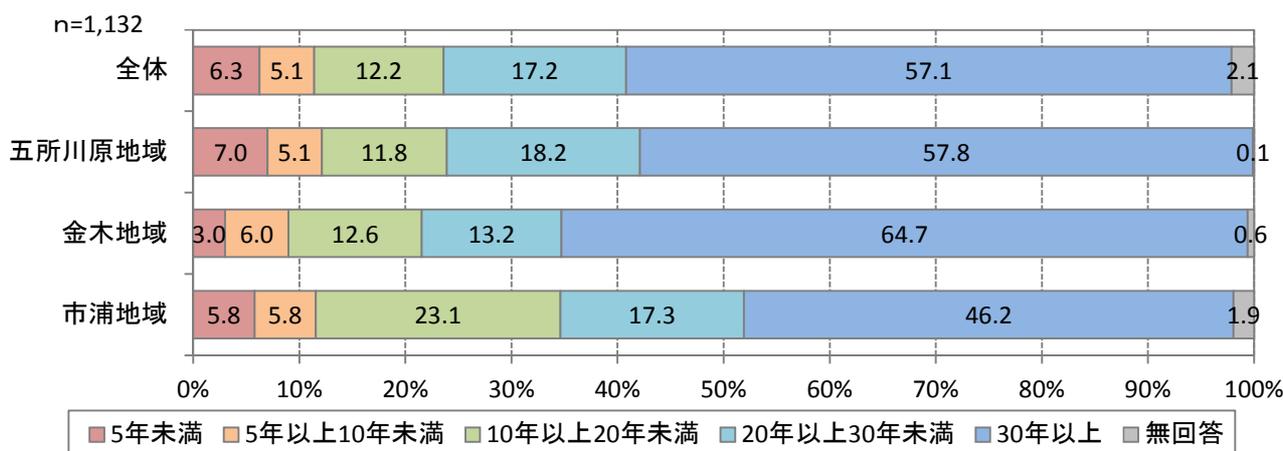
		合計	五所川原地域 (%)	金木地域 (%)	市浦地域 (%)	無回答 (%)
全体		1,132 (100.0)	883 (78.0)	167 (14.8)	52 (4.6)	30 (2.7)
年齢	20歳代	138 (100.0)	111 (80.4)	18 (13.0)	9 (6.5)	0 (0.0)
	30歳代	146 (100.0)	110 (75.3)	23 (15.8)	11 (7.5)	2 (1.4)
	40歳代	188 (100.0)	153 (81.4)	24 (12.8)	9 (4.8)	2 (1.1)
	50歳代	190 (100.0)	151 (79.5)	30 (15.8)	7 (3.7)	2 (1.1)
	60歳代	227 (100.0)	179 (78.9)	36 (15.9)	10 (4.4)	2 (0.9)
	70歳代以上	223 (100.0)	179 (80.3)	35 (15.7)	6 (2.7)	3 (1.3)
	無回答	20 (100.0)	0 (0.0)	1 (5.0)	0 (0.0)	19 (95.0)
性別	男性	493 (100.0)	384 (77.9)	78 (15.8)	27 (5.5)	4 (0.8)
	女性	617 (100.0)	498 (80.7)	88 (14.3)	25 (4.1)	6 (1.0)
	無回答	22 (100.0)	1 (4.5)	1 (4.5)	0 (0.0)	20 (90.9)

(4) 五所川原市での居住歴

回答者 1,132 人のうち、五所川原市での居住歴は、「30 年以上」が 646 人 (57.1%) と最も多く、次いで「20 年以上 30 年未満」が 195 人 (17.2%)、「10 年以上 20 年未満」が 138 人 (12.2%)、「5 年未満」が 71 人 (6.3%)、「5 年以上 10 年未満」が 58 人 (5.1%) と続いています。

年齢別では、30 歳代で「5 年未満」が 29 人 (19.9%) と他の年代と比べて高い点特徴的です。

【図-4 アンケート回答者の居住歴の構成】



【表-5 居住歴の構成 (居住地域別、年齢別、性別)】

		合計	5年未満 (%)	5年以上10年未満 (%)	10年以上20年未満 (%)	20年以上30年未満 (%)	30年以上 (%)	無回答 (%)
全体		1,132 (100.0)	71 (6.3)	58 (5.1)	138 (12.2)	195 (17.2)	646 (57.1)	24 (2.1)
居住地域	五所川原地域	883 (100.0)	62 (7.0)	45 (5.1)	104 (11.8)	161 (18.2)	510 (57.8)	1 (0.1)
	金木地域	167 (100.0)	5 (3.0)	10 (6.0)	21 (12.6)	22 (13.2)	108 (64.7)	1 (0.6)
	市浦地域	52 (100.0)	3 (5.8)	3 (5.8)	12 (23.1)	9 (17.3)	24 (46.2)	1 (1.9)
	無回答	30 (100.0)	1 (3.3)	0 (0.0)	1 (3.3)	3 (10.0)	4 (13.3)	21 (70.0)
年齢	20歳代	138 (100.0)	15 (10.9)	9 (6.5)	20 (14.5)	92 (66.7)	1 (0.7)	1 (0.7)
	30歳代	146 (100.0)	29 (19.9)	20 (13.7)	26 (17.8)	17 (11.6)	54 (37.0)	0 (0.0)
	40歳代	188 (100.0)	8 (4.3)	13 (6.9)	46 (24.5)	33 (17.6)	88 (46.8)	0 (0.0)
	50歳代	190 (100.0)	10 (5.3)	1 (0.5)	26 (13.7)	28 (14.7)	125 (65.8)	0 (0.0)
	60歳代	227 (100.0)	6 (2.6)	9 (4.0)	10 (4.4)	18 (7.9)	182 (80.2)	2 (0.9)
	70歳代以上	223 (100.0)	3 (1.3)	6 (2.7)	10 (4.5)	7 (3.1)	195 (87.4)	2 (0.9)
	無回答	20 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (5.0)	19 (95.0)
性別	男性	493 (100.0)	23 (4.7)	25 (5.1)	50 (10.1)	76 (15.4)	317 (64.3)	2 (0.4)
	女性	617 (100.0)	48 (7.8)	33 (5.3)	88 (14.3)	117 (19.0)	328 (53.2)	3 (0.5)
	無回答	22 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (9.1)	1 (4.5)	19 (86.4)

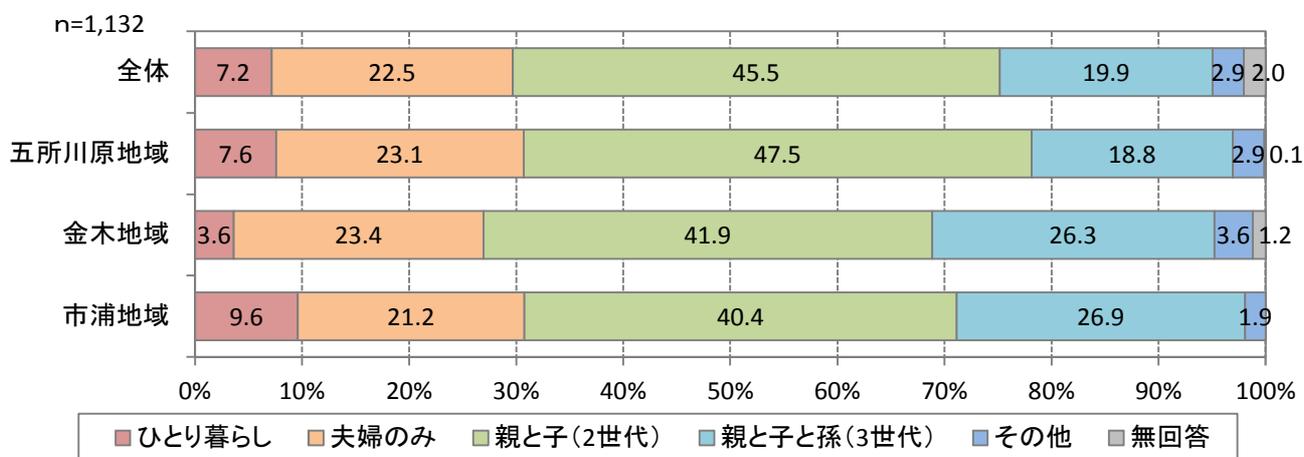
(5) 家族構成

回答者 1,132 人のうち、「親と子（2世代）」が 515 人（45.5%）と最も多く、次いで「夫婦のみ」が 255 人（22.5%）、「親と子と孫（3世代）」が 225 人（19.9%）、「ひとり暮らし」が 81 人（7.2%）と続いています。

居住地域別にみると、五所川原地域では他の地域と比べて「親と子（2世代）」の割合が高く、市浦地域では「ひとり暮らし」の割合が高くなっています。

年齢別における特徴としては、20 歳代の「親と子と孫（3世代）」の割合が 43 人（31.2%）と他の年代と比べて高くなっていることがあげられます。

【図-5 アンケート回答者の家族構成】



【表-6 家族構成（居住地域別、年齢別、性別）】

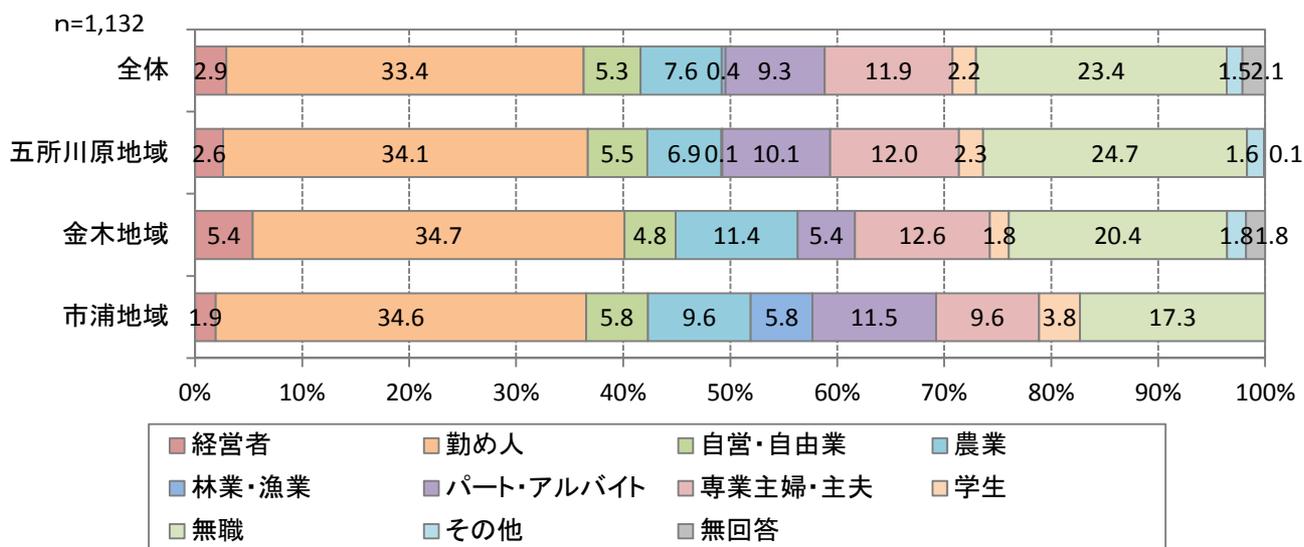
		合計	ひとり暮らし (%)	夫婦のみ (%)	親と子 (2世代) (%)	親と子と孫 (3世代) (%)	その他 (%)	無回答 (%)
全体		1,132 (100.0)	81 (7.2)	255 (22.5)	515 (45.5)	225 (19.9)	33 (2.9)	23 (2.0)
居住地域	五所川原地域	883 (100.0)	67 (7.6)	204 (23.1)	419 (47.5)	166 (18.8)	26 (2.9)	1 (0.1)
	金木地域	167 (100.0)	6 (3.6)	39 (23.4)	70 (41.9)	44 (26.3)	6 (3.6)	2 (1.2)
	市浦地域	52 (100.0)	5 (9.6)	11 (21.2)	21 (40.4)	14 (26.9)	1 (1.9)	0 (0.0)
	無回答	30 (100.0)	3 (10.0)	1 (3.3)	5 (16.7)	1 (3.3)	0 (0.0)	20 (66.7)
年齢	20歳代	138 (100.0)	6 (4.3)	7 (5.1)	74 (53.6)	43 (31.2)	8 (5.8)	0 (0.0)
	30歳代	146 (100.0)	2 (1.4)	11 (7.5)	89 (61.0)	37 (25.3)	7 (4.8)	0 (0.0)
	40歳代	188 (100.0)	11 (5.9)	14 (7.4)	117 (62.2)	42 (22.3)	4 (2.1)	0 (0.0)
	50歳代	190 (100.0)	12 (6.3)	39 (20.5)	103 (54.2)	28 (14.7)	7 (3.7)	1 (0.5)
	60歳代	227 (100.0)	22 (9.7)	80 (35.2)	77 (33.9)	42 (18.5)	4 (1.8)	2 (0.9)
	70歳代以上	223 (100.0)	28 (12.6)	104 (46.6)	55 (24.7)	33 (14.8)	3 (1.3)	0 (0.0)
	無回答	20 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	20 (100.0)
性別	男性	493 (100.0)	19 (3.9)	118 (23.9)	249 (50.5)	96 (19.5)	10 (2.0)	1 (0.2)
	女性	617 (100.0)	61 (9.9)	137 (22.2)	266 (43.1)	127 (20.6)	23 (3.7)	3 (0.5)
	無回答	22 (100.0)	1 (4.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (9.1)	0 (0.0)	19 (86.4)

(6) 職業

回答者 1,132 人のうち、「勤め人」が 378 人 (33.4%) と最も多く、次いで「無職」が 265 人 (23.4%)、「専業主婦・主夫」が 135 人 (11.9%)、「パート・アルバイト」が 105 人 (9.3%) と続いています。

居住地域別に見ると、金木地域では他の地域と比べ、「農業」の割合が高くなっています。

【図-6 アンケート回答者の職業構成】



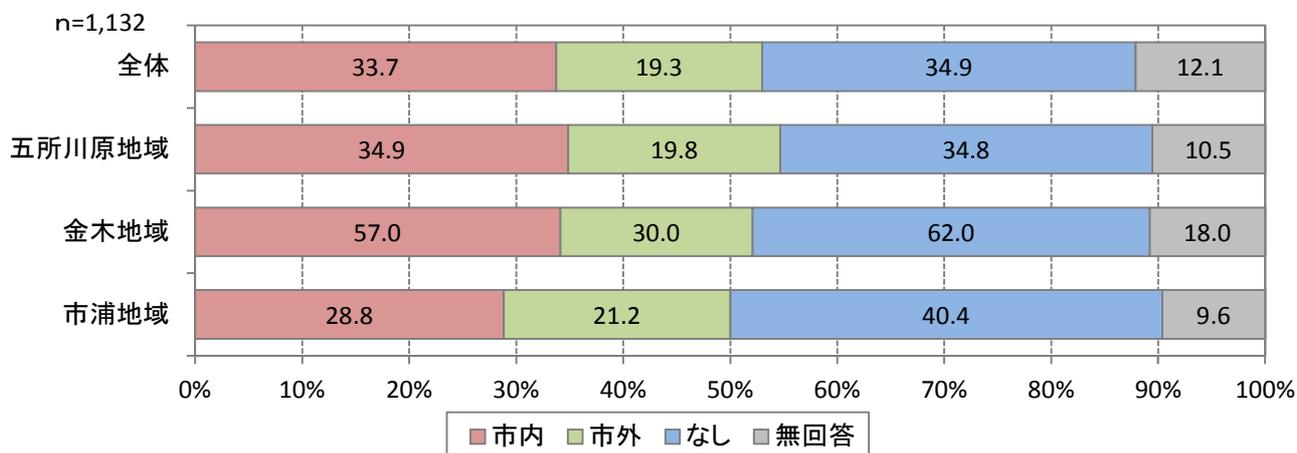
【表-7 職業構成（居住地域別、年齢別、性別）】

	合計	経営者 (%)	勤め人 (%)	自営・自由業 (%)	農業 (%)	林業・漁業 (%)	パート・アルバイト (%)	専業主婦・主夫 (%)	学生 (%)	無職 (%)	その他 (%)	無回答 (%)	
全体	1,132 (100.0)	33 (2.9)	378 (33.4)	60 (5.3)	86 (7.6)	4 (0.4)	105 (9.3)	135 (11.9)	25 (2.2)	265 (23.4)	17 (1.5)	24 (2.1)	
居住地域	五所川原地域	883 (100.0)	23 (2.6)	301 (34.1)	49 (5.5)	61 (6.9)	1 (0.1)	89 (10.1)	106 (12.0)	20 (2.3)	218 (24.7)	14 (1.6)	1 (0.1)
	金木地域	167 (100.0)	9 (5.4)	58 (34.7)	8 (4.8)	19 (11.4)	0 (0.0)	9 (5.4)	21 (12.6)	3 (1.8)	34 (20.4)	3 (1.8)	3 (1.8)
	市浦地域	52 (100.0)	1 (1.9)	18 (34.6)	3 (5.8)	5 (9.6)	3 (5.8)	6 (11.5)	5 (9.6)	2 (3.8)	9 (17.3)	0 (0.0)	0 (0.0)
	無回答	30 (100.0)	0 (0.0)	1 (3.3)	0 (0.0)	1 (3.3)	0 (0.0)	1 (3.3)	3 (10.0)	0 (0.0)	4 (13.3)	0 (0.0)	20 (66.7)
年齢	20歳代	138 (100.0)	0 (0.0)	72 (52.2)	4 (2.9)	2 (1.4)	0 (0.0)	14 (10.1)	7 (5.1)	24 (17.4)	13 (9.4)	1 (0.7)	1 (0.7)
	30歳代	146 (100.0)	3 (2.1)	87 (59.6)	4 (2.7)	8 (5.5)	0 (0.0)	13 (8.9)	21 (14.4)	1 (0.7)	8 (5.5)	0 (0.0)	1 (0.7)
	40歳代	188 (100.0)	8 (4.3)	107 (56.9)	11 (5.9)	3 (1.6)	2 (1.1)	30 (16.0)	14 (7.4)	0 (0.0)	7 (3.7)	6 (3.2)	0 (0.0)
	50歳代	190 (100.0)	6 (3.2)	77 (40.5)	9 (4.7)	18 (9.5)	0 (0.0)	24 (12.6)	38 (20.0)	0 (0.0)	16 (8.4)	2 (1.1)	0 (0.0)
	60歳代	227 (100.0)	10 (4.4)	30 (13.2)	17 (7.5)	25 (11.0)	2 (0.9)	19 (8.4)	38 (16.7)	0 (0.0)	79 (34.8)	5 (2.2)	2 (0.9)
	70歳代以上	223 (100.0)	6 (2.7)	5 (2.2)	15 (6.7)	30 (13.5)	0 (0.0)	5 (2.2)	17 (7.6)	0 (0.0)	142 (63.7)	3 (1.3)	0 (0.0)
	無回答	20 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	20 (100.0)
性別	男性	493 (100.0)	31 (6.3)	211 (42.8)	29 (5.9)	46 (9.3)	4 (0.8)	11 (2.2)	2 (0.4)	11 (2.2)	133 (27.0)	12 (2.4)	3 (0.6)
	女性	617 (100.0)	2 (0.3)	167 (27.1)	31 (5.0)	39 (6.3)	0 (0.0)	94 (15.2)	133 (21.6)	13 (2.1)	131 (21.2)	5 (0.8)	2 (0.3)
	無回答	22 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (4.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (4.5)	1 (4.5)	0 (0.0)	19 (86.4)
通勤・通学先	男性	382 (100.0)	21 (5.5)	217 (56.8)	26 (6.8)	19 (5.0)	1 (0.3)	77 (20.2)	4 (1.0)	3 (0.8)	8 (2.1)	6 (1.6)	0 (0.0)
	女性	218 (100.0)	4 (1.8)	152 (69.7)	4 (1.8)	2 (0.9)	0 (0.0)	26 (11.9)	0 (0.0)	21 (9.6)	2 (0.9)	7 (3.2)	0 (0.0)
	なし	395 (100.0)	8 (2.0)	4 (1.0)	24 (6.1)	43 (10.9)	2 (0.5)	1 (0.3)	103 (26.1)	0 (0.0)	207 (52.4)	2 (0.5)	1 (0.3)
	無回答	137 (100.0)	0 (0.0)	5 (3.6)	6 (4.4)	22 (16.1)	1 (0.7)	1 (0.7)	28 (20.4)	1 (0.7)	48 (35.0)	2 (1.5)	23 (16.8)

(7) 通勤・通学先

回答者 1,132 人のうち、「市内」が 382 人 (33.7%)、「市外」が 218 人 (19.3%)、「なし」が 395 人 (34.9%) となっています。

【図-7 アンケート回答者の通勤・通学先の構成】



【表-8 通勤・通学先の構成 (居住地域別、年齢別、性別)】

		合計	市内 (%)	市外 (%)	なし (%)	無回答 (%)
全体		1,132 (100.0)	382 (33.7)	218 (19.3)	395 (34.9)	137 (12.1)
居住地域	五所川原地域	883 (100.0)	308 (34.9)	175 (19.8)	307 (34.8)	93 (10.5)
	金木地域	167 (100.0)	57 (34.1)	30 (18.0)	62 (37.1)	18 (10.8)
	市浦地域	52 (100.0)	15 (28.8)	11 (21.2)	21 (40.4)	5 (9.6)
	無回答	30 (100.0)	2 (6.7)	2 (6.7)	5 (16.7)	21 (70.0)
年齢	20歳代	138 (100.0)	52 (37.7)	62 (44.9)	20 (14.5)	4 (2.9)
	30歳代	146 (100.0)	65 (44.5)	44 (30.1)	32 (21.9)	5 (3.4)
	40歳代	188 (100.0)	100 (53.2)	56 (29.8)	22 (11.7)	10 (5.3)
	50歳代	190 (100.0)	83 (43.7)	37 (19.5)	54 (28.4)	16 (8.4)
	60歳代	227 (100.0)	55 (24.2)	16 (7.0)	126 (55.5)	30 (13.2)
	70歳代以上	223 (100.0)	27 (12.1)	3 (1.3)	141 (63.2)	52 (23.3)
	無回答	20 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	20 (100.0)
性別	男性	493 (100.0)	168 (34.1)	129 (26.2)	158 (32.0)	38 (7.7)
	女性	617 (100.0)	214 (34.7)	88 (14.3)	235 (38.1)	80 (13.0)
	無回答	22 (100.0)	0 (0.0)	1 (4.5)	2 (9.1)	19 (86.4)

職業別に通勤・通学先をみると、パート・アルバイトの方で77人(73.3%)が「市内」、学生の方は21人(84.0%)が「市外」とそれぞれ最も多い割合となっています。また、勤め人の方では、152人(40.2%)が「市外」となっています。

【表-9 通勤・通学先の構成（職業別）】

		合計	市内 (%)	市外 (%)	なし (%)	無回答 (%)
全体		1,132 (100.0)	382 (33.7)	218 (19.3)	395 (34.9)	137 (12.1)
職業	経営者	33 (100.0)	21 (63.6)	4 (12.1)	8 (24.2)	0 (0.0)
	勤め人	378 (100.0)	217 (57.4)	152 (40.2)	4 (1.1)	5 (1.3)
	自営・ 自由業	60 (100.0)	26 (43.3)	4 (6.7)	24 (40.0)	6 (10.0)
	農業	86 (100.0)	19 (22.1)	2 (2.3)	43 (50.0)	22 (25.6)
	林業・漁業	4 (100.0)	1 (25.0)	0 (0.0)	2 (50.0)	1 (25.0)
	パート・ アルバイト	105 (100.0)	77 (73.3)	26 (24.8)	1 (1.0)	1 (1.0)
	専業主婦 ・主夫	135 (100.0)	4 (3.0)	0 (0.0)	103 (76.3)	28 (20.7)
	学生	25 (100.0)	3 (12.0)	21 (84.0)	0 (0.0)	1 (4.0)
	無職	265 (100.0)	8 (3.0)	2 (0.8)	207 (78.1)	48 (18.1)
	その他	17 (100.0)	6 (35.3)	7 (41.2)	2 (11.8)	2 (11.8)
	無回答	24 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (4.2)	23 (95.8)

Ⅱ 集計結果の分析

II-1. 集計結果の見方

この調査の集計結果を読む際の留意点は以下のとおりです。

- 「集計結果」の図表は、原則として回答者の構成比（百分率）で表現しています。
- 「n」は、「Number of case」の略で、構成比算出の母数を示しています。
- 百分比による集計では、回答者数（該当質問においては該当者数）を100%として算出し、本文及び図表の数字に関しては、すべて小数点第2位以下を四捨五入し、小数点第1位までを表記します。また、複数回答の設問では、すべての比率の合計が100%を超えることがあります。
- 図表中の「0.0」は四捨五入の結果または回答者が皆無であることを表します。
- 母数が100未満の場合の百分率は、統計的誤差が大きい可能性が高いので数値の取扱いには特に注意が必要となります。
- 選択肢の語句が長い場合、本文・グラフ中では省略した簡易表示を用いています（次頁参照）。
- 「満足度指数」及び「重要度指数」は、次のとおり算出しています。

■満足度指数

各施策の満足度に対する回答に対し、「満足している」に5点、「どちらかといえば満足している」に4点、「ふつう」に3点、「やや不満である」に2点、「不満である」に1点を与え、その合計を各施策の回答数（無回答を除く）で割った値です。

■重要度指数

各施策の重要度に対する回答に対し、「重要である」に5点、「やや重要である」に4点、「ふつう」に3点、「あまり重要ではない」に2点、「重要ではない」に1点を与え、その合計を各施策の回答数（無回答を除く）で割った値です。

■ 選択肢の簡易表示

選択肢の表現	簡易表示
地域の強みを生かす産業・賑わいづくり	
(1) 農林水産業の生産基盤が整備され、担い手が確保されていること	農林水産業の振興
(2) 農林水産物のブランド化や6次産業化が推進され、農林水産業を通じた交流が図られていること	競争力の高い産業づくりの推進
(3) 地域の特色を活かした取組・イベント等の支援により、魅力ある商店街が形成されていること	魅力ある商店街の形成
(4) 地域資源を活用した新たな産業の育成など、地域経済の活性化が図られていること	新産業の育成と地域経済活性化
(5) 企業誘致の推進などにより、工業の振興が図られていること	企業誘致による工業の振興
(6) 観光客の増加により、地域の観光産業が発展すること	観光振興による活性化
(7) 職業能力を開発したり、働く場所を増やしたりすること	雇用対策の推進
地域で支え合う健やか・安心な暮らしづくり	
(8) こころと体の健康づくりへの取組が行われ、健康への関心が高まること	健康づくりの推進
(9) 病気になっても、診療体制が充実しており安心して病院に行けること	診療体制の充実
(10) 結婚を希望する男女への出会いの場創出など、結婚への支援があること	結婚希望者への支援
(11) 安心して子どもを産み、健やかに育てることができること	子育て支援の充実
(12) 地域全体で支え合い、安心して地域で暮らしていけること	地域福祉の推進
(13) 高齢者が生きがいを持ち、安心して生活できる環境が整っていること	高齢者福祉の充実
(14) 障がいを持つ方が将来的に自立した生活を送ることができるような福祉サービスや相談体制が整っていること	障がい者福祉の充実
(15) 生活困窮者の相談体制が整い、就労を支援し生活保護が適正に運営されること	生活困窮者福祉の推進
(16) 介護・医療など社会保険制度が、適正に運営されること	社会保険制度の適正運営
個性を伸ばし育む人財・文化づくり	
(17) 小中学校において、安全な施設環境と充実した教育環境が整備されていること	快適な学習環境の整備
(18) 生涯にわたって興味のあることを学んだり、取り組める環境や機会があること	生涯学習の機会創出
(19) 地域ぐるみで学校運営を支援する体制が整備されていること	地域ぐるみでの学校運営支援
(20) 誰でも気軽にスポーツに親しめる環境や機会があること	スポーツ活動の機会創出
(21) 市民によって地域の伝統が受け継がれるとともに、文化活動が盛んであること	芸術文化活動の振興
命と生活を守る安全・安心づくり	
(22) 災害が起きても対応できる体制が整備されていること	災害に対応できる体制整備
(23) 空き家対策が適切に進められていること	空き家対策の推進
(24) 消防・救急並びに交通安全・防犯に関する体制、環境が整っていること	消防・救急・交通・防犯体制の整備
(25) 消費生活に関する苦情や被害などの相談体制が整備されていること	消費者の安全安心の確保
(26) 虐待や暴力、いじめについて、相談体制が整っていること	人権擁護の推進
快適で質の高い環境・住まいづくり	
(27) 道路がよく整備されていて、安全で快適に移動できること	安全で快適な道路の整備
(28) バスや鉄道などの公共交通手段が利用しやすいこと	公共交通の利便性
(29) 中心市街地を整備することによって市の顔である“まち”が活性化すること	中心市街地整備による活性化
(30) 公共施設(病院・福祉施設など)が誰でも使いやすいユニバーサルデザイン化されていること	公共施設のユニバーサルデザイン化
(31) 道路の除雪が適切に行われ、安全に通行できること	雪対策の推進
(32) 市営住宅が整備されていること	快適な市営住宅の整備
(33) 公園がよく整備されていて、誰でも利用しやすいこと	利用しやすい公園整備
(34) 下水・し尿処理やごみ収集などがきちんと行われ、衛生的な環境が整っていること	衛生的な居住環境の整備
(35) 省エネルギー対策や新エネルギーの導入による地球温暖化防止対策が積極的に進められていること	省エネ推進・新エネ導入
共にすすめる持続可能なまちづくり	
(36) 知りたい市役所の情報を手に入れやすいこと	広報広聴活動の推進
(37) 町内会などによるコミュニティ活動が積極的に行われていること	積極的なコミュニティ活動
(38) 市民団体等の主体的な活動を支援するなど、住民と行政との協働によってまちづくりが進められていること	住民協働によるまちづくり
(39) 男女の性別に関係なく、お互いを尊重し合う社会であること	男女共同参画意識の醸成
(40) 市民が満足できるような効率的な行政サービスが行われていること	快い行政サービスの実施
(41) 市の財政基盤が安定していること	財政基盤の安定
(42) 市外からの移住や、定住促進など、住んでみたい・住み続けたいまちづくりが進められていること	移住定住促進施策の推進
(43) 周辺市町村と力を合わせて、よりよい行政サービスが行われていること	広域行政の推進

II-2. 施策の満足度・重要度

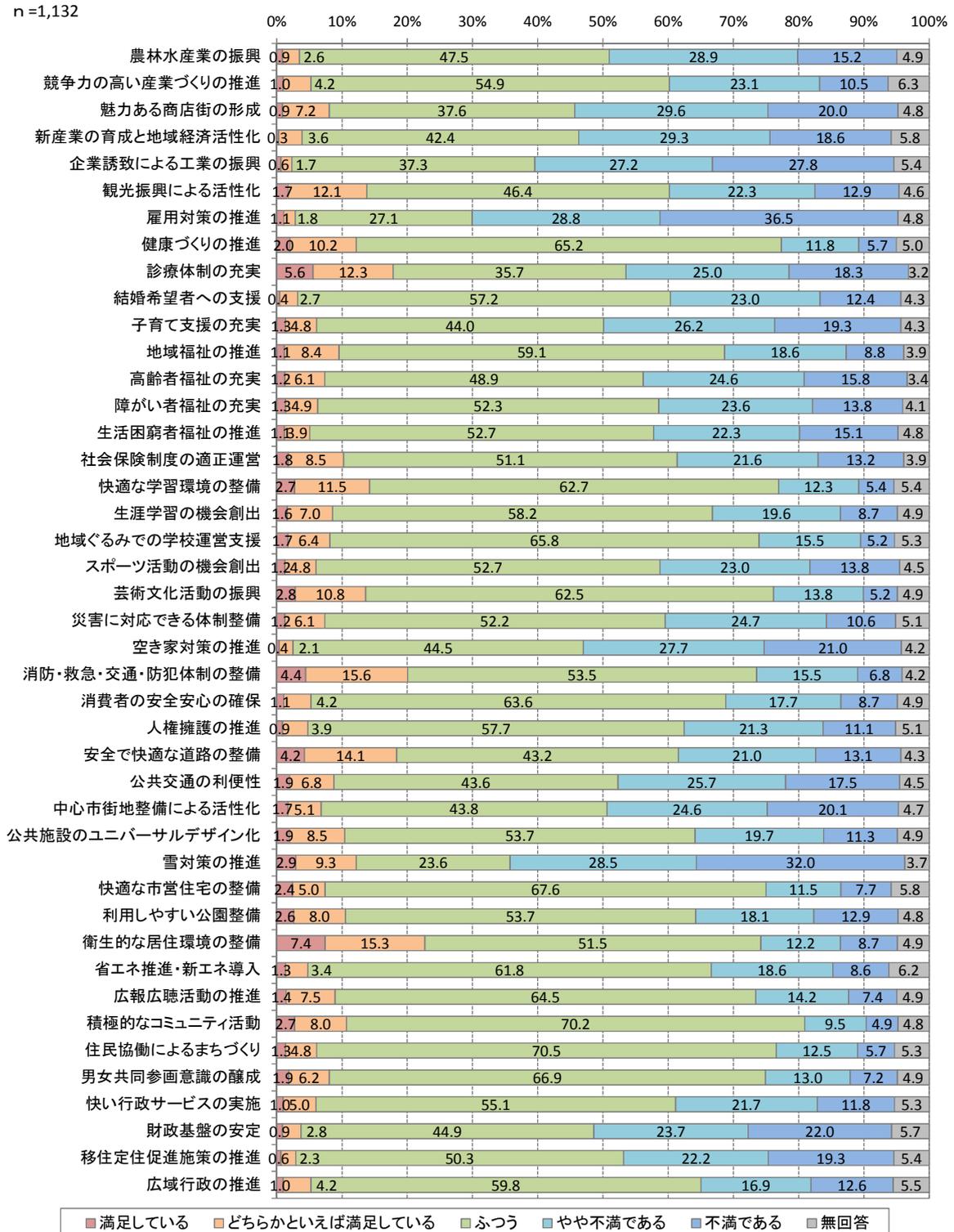
II-2-1. 施策ごとの満足度・重要度

(1) 現在の五所川原市について（施策ごとの満足度）

五所川原市総合計画（前期基本計画）に基づく6分野43項目の施策について、現在の満足度を調査したところ、以下のとおりとなっています。

①満足度の割合

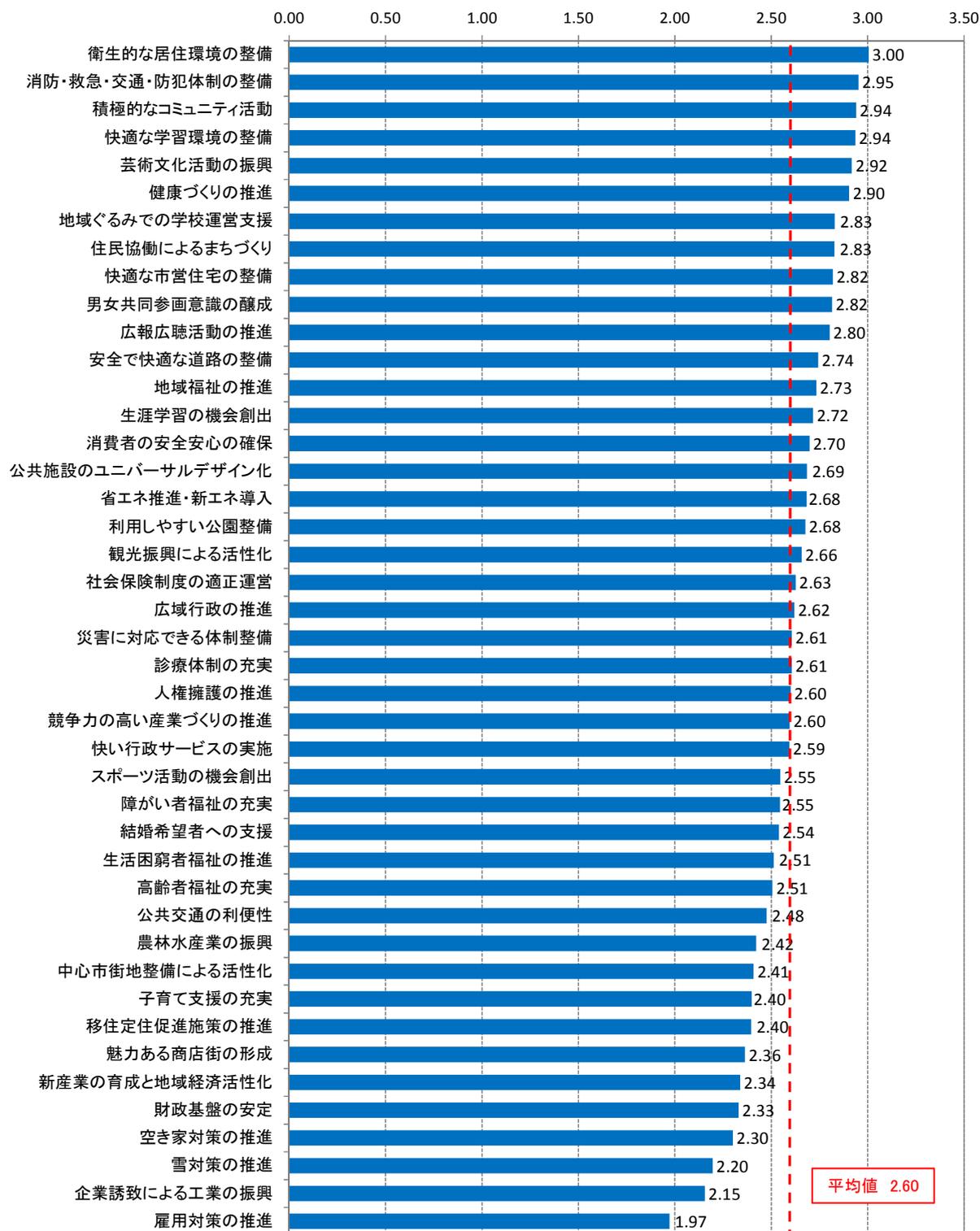
【図-8 五所川原市の施策ごとの満足度の割合】



②満足度指数

現在の五所川原市の施策に対する満足度を定量的に分析するために、前述の満足度の割合とは別に施策の満足度指数を算出し、グラフ化しています。指数化の方法は、「満足している」に5点、「どちらかといえば満足している」に4点、「ふつう」に3点、「やや不満である」に2点、「不満である」に1点を与え、それぞれ施策ごとの回答者数で割り返すことによって算出しています。

【図-9 五所川原市の施策ごとの満足度指数】



③五所川原市の施策（43項目）の現状評価

現在の五所川原市の施策に対する満足度を調査・分析したところ、満足度指数が最も高い項目は、「衛生的な居住環境の整備」（3.00）であり、次いで「消防・救急・交通・防犯体制の整備」（2.95）、「積極的なコミュニティ活動」と「快適な学習環境の整備」（2.94）、「芸術文化活動の振興」（2.92）となっています。

一方、満足度指数が最も低い項目は、「雇用対策の推進」（1.97）であり、次いで「企業誘致による工業の振興」（2.15）、「雪対策の推進」（2.20）、「空き家対策の推進」（2.30）、「財政基盤の安定」（2.33）となっています。

【表-10 各施策に対する満足度指数（上位・下位5項目）】

	上位5項目		下位5項目	
1	衛生的な居住環境の整備	3.00	雇用対策の推進	1.97
2	消防・救急・交通・防犯体制の整備	2.95	企業誘致による工業の振興	2.15
3	積極的なコミュニティ活動	2.94	雪対策の推進	2.20
4	快適な学習環境の整備	2.94	空き家対策の推進	2.30
5	芸術文化活動の振興	2.92	財政基盤の安定	2.33

[居住地域別にみた現状評価]

居住地域（五所川原地域、金木地域、市浦地域）別に施策に対する満足度指数をみると、すべての地域で共通して満足度指数が高い項目は、「衛生的な居住環境の整備」となっています。また、地域別に満足度指数を比較すると、指数が高い上位5項目のうち、他地域にみられない項目は、五所川原地域で「芸術文化活動の振興」（5位）、金木地域で「男女共同参画意識の醸成」（3位）、「安全で快適な道路の整備」（4位）、市浦地域で「健康づくりの推進」（1位）、「地域ぐるみでの学校運営支援」（4位）、「公益施設のユニバーサルデザイン化」（5位）となっています。

一方、すべての地域で共通して満足度指数が低い項目は、「雇用対策の推進」、「企業誘致による工業の振興」、「空き家対策の推進」となっています。また、地域別に満足度指数を比較すると、満足度指数が低い下位5項目のうち、他地域にみられない項目は、五所川原地域で「雪対策の推進」（2位）、「財政基盤の安定」（4位）、金木地域で「新産業の育成と地域経済活性化」（4位）、「子育て支援の充実」（5位）、市浦地域で「スポーツ活動の機会創出」（4位）、「結婚希望者への支援」（5位）となっています。

【表-11 居住地域別にみた各施策に対する満足度指数（上位・下位5項目）】

五所川原地域				
	上位5項目		下位5項目	
1	衛生的な居住環境の整備	3.02	雇用対策の推進	2.00
2	消防・救急・交通・防犯体制の整備	2.98	雪対策の推進	2.14
3	積極的なコミュニティ活動	2.97	企業誘致による工業の振興	2.21
4	快適な学習環境の整備	2.96	財政基盤の安定	2.34
5	芸術文化活動の振興	2.96	空き家対策の推進	2.34

金木地域				
	上位5項目		下位5項目	
1	衛生的な居住環境の整備	2.96	雇用対策の推進	1.86
2	消防・救急・交通・防犯体制の整備	2.89	企業誘致による工業の振興	1.90
3	男女共同参画意識の醸成	2.87	空き家対策の推進	2.19
4	安全で快適な道路の整備	2.87	新産業の育成と地域経済活性化	2.21
5	積極的なコミュニティ活動	2.85	子育て支援の充実	2.23

市浦地域				
	上位5項目		下位5項目	
1	健康づくりの推進	3.02	雇用対策の推進	1.88
2	衛生的な居住環境の整備	2.98	空き家対策の推進	2.06
3	快適な学習環境の整備	2.90	企業誘致による工業の振興	2.20
4	地域ぐるみでの学校運営支援	2.84	スポーツ活動の機会創出	2.24
5	公共施設のユニバーサルデザイン化	2.80	結婚希望者への支援	2.30

[年齢別にみた現状評価]

年齢（20歳代、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代、70歳代以上）別に施策に対する満足度指数をみると、すべての年代で共通して満足度指数が高い項目は、「積極的なコミュニティ活動」、「快適な学習環境の整備」となっています。また、満足度指数が高い上位5項目のうち、他年代にみられない項目は、20歳代で「男女共同参画意識の醸成」（5位）、30歳代で「住民協働によるまちづくり」（4位）、50歳代で「快適な市営住宅の整備」（5位）、70歳代以上で「診療体制の充実」（2位）となっています。

一方、すべての年代で共通して満足度指数が低い項目は、「雇用対策の推進」となっています。また、満足度指数が低い下位5項目のうち、他年代にみられない項目は、20歳代で「公共交通の利便性」（3位）、30歳代で「子育て支援の充実」（4位）、70歳代以上で「中心市街地整備による活性化」（5位）となっています。

【表-12 年齢別にみた各施策に対する満足度指数（上位・下位5項目）】

20歳代				
	上位5項目		下位5項目	
1	衛生的な居住環境の整備	3.06	雪対策の推進	1.97
2	芸術文化活動の振興	2.91	雇用対策の推進	1.98
3	積極的なコミュニティ活動	2.91	公共交通の利便性	2.22
4	快適な学習環境の整備	2.89	移住定住促進施策の推進	2.30
5	男女共同参画意識の醸成	2.88	財政基盤の安定	2.32

30歳代				
	上位5項目		下位5項目	
1	衛生的な居住環境の整備	3.11	雇用対策の推進	1.91
2	芸術文化活動の振興	2.93	雪対策の推進	2.03
3	積極的なコミュニティ活動	2.88	財政基盤の安定	2.05
4	住民協働によるまちづくり	2.85	子育て支援の充実	2.17
5	快適な学習環境の整備	2.84	移住定住促進施策の推進	2.20

40歳代				
	上位5項目		下位5項目	
1	積極的なコミュニティ活動	2.96	雇用対策の推進	1.90
2	消防・救急・交通・防犯体制の整備	2.96	雪対策の推進	2.01
3	衛生的な居住環境の整備	2.93	企業誘致による工業の振興	2.18
4	健康づくりの推進	2.92	財政基盤の安定	2.19
5	快適な学習環境の整備	2.92	空き家対策の推進	2.30

50歳代				
	上位5項目		下位5項目	
1	快適な学習環境の整備	2.85	雇用対策の推進	1.81
2	積極的なコミュニティ活動	2.85	企業誘致による工業の振興	1.98
3	衛生的な居住環境の整備	2.83	雪対策の推進	2.04
4	芸術文化活動の振興	2.82	新産業の育成と地域経済活性化	2.17
5	快適な市営住宅の整備	2.77	魅力ある商店街の形成	2.19

60歳代				
	上位5項目		下位5項目	
1	衛生的な居住環境の整備	3.07	雇用対策の推進	2.00
2	消防・救急・交通・防犯体制の整備	3.02	企業誘致による工業の振興	2.09
3	健康づくりの推進	3.00	空き家対策の推進	2.28
4	快適な学習環境の整備	2.99	新産業の育成と地域経済活性化	2.31
5	積極的なコミュニティ活動	2.97	魅力ある商店街の形成	2.37

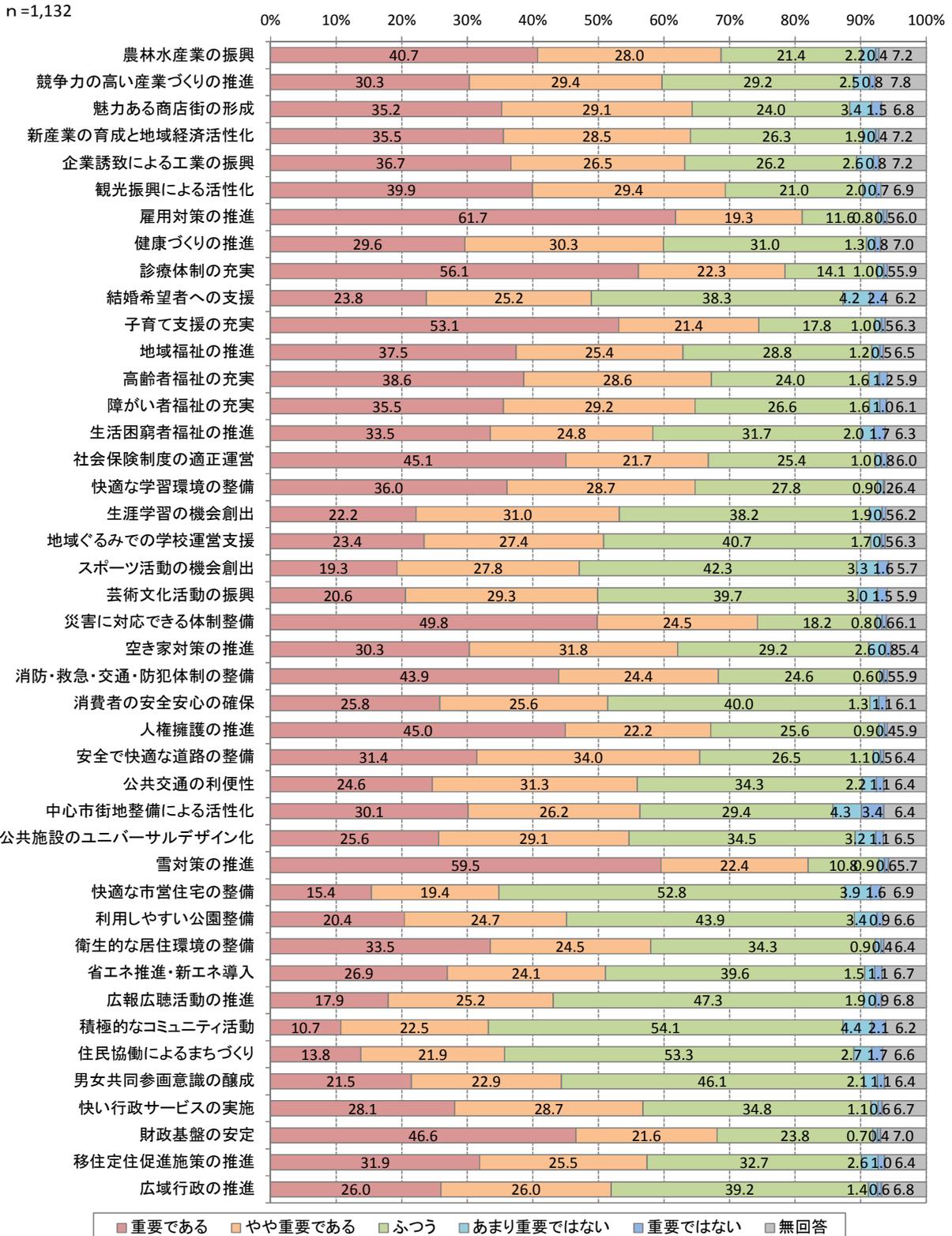
70歳代以上				
	上位5項目		下位5項目	
1	消防・救急・交通・防犯体制の整備	3.23	企業誘致による工業の振興	2.18
2	診療体制の充実	3.13	雇用対策の推進	2.23
3	健康づくりの推進	3.10	新産業の育成と地域経済活性化	2.39
4	快適な学習環境の整備	3.07	空き家対策の推進	2.44
5	積極的なコミュニティ活動	3.04	中心市街地整備による活性化	2.48

(2) 将来の五所川原市について（施策ごとの重要度）

五所川原市総合計画（前期基本計画）に基づく6分野43項目の施策の現状について、将来の重要度を調査したところ、以下のとおりとなっています。

①重要度の割合

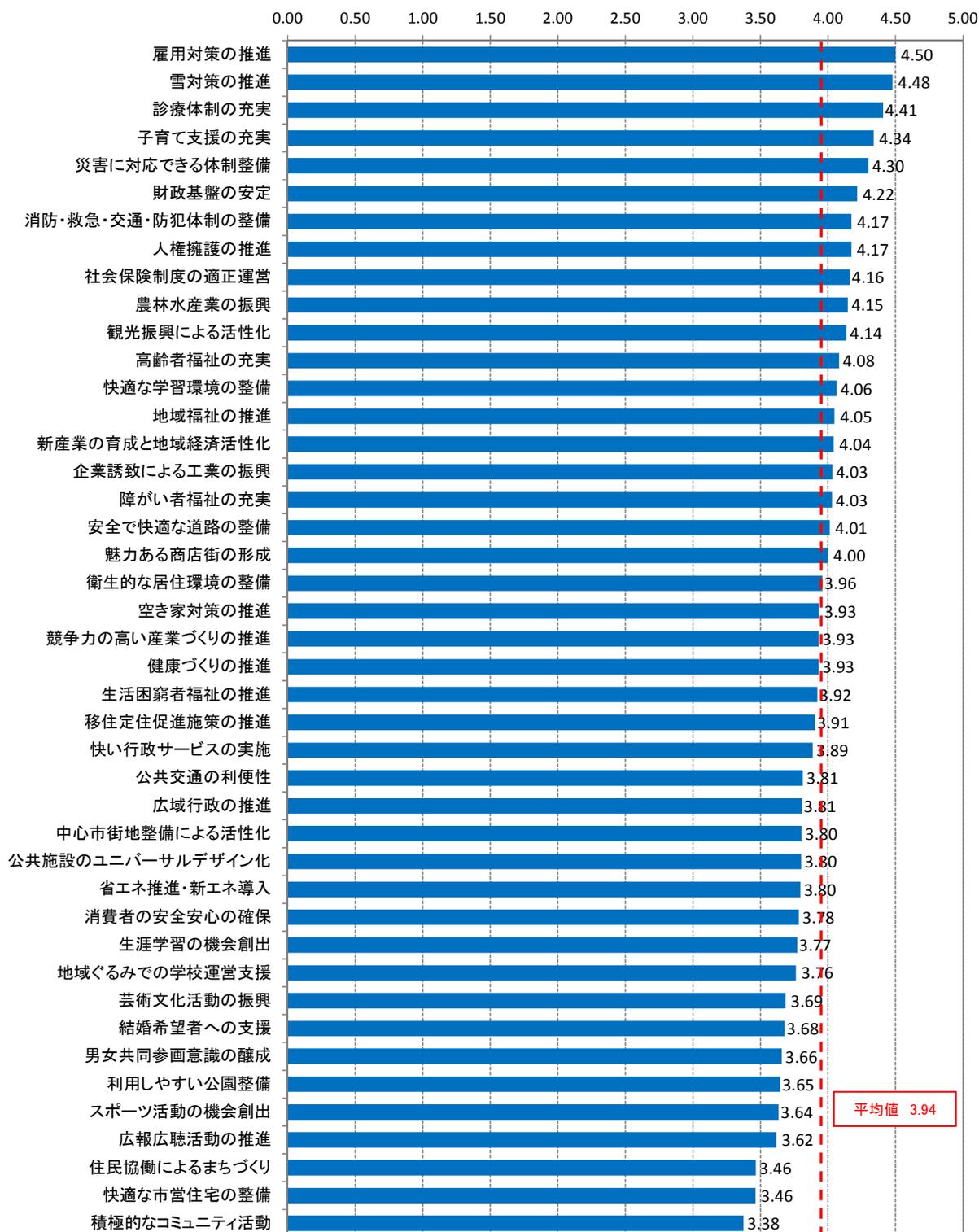
【図-10 五所川原市の施策ごとの重要度の割合】



②重要度指数

将来の五所川原市の施策に対する重要度を定量的に分析するために、前述の重要度の割合とは別に施策の重要度指数を算出し、グラフ化しています。指数化の方法は、「重要である」に5点、「やや重要である」に4点、「ふつう」に3点、「あまり重要ではない」に2点、「重要ではない」に1点を与え、それぞれ施策ごとの回答者数で割り返すことによって算出しています。

【図-11 五所川原市の施策ごとの重要度指数】



③五所川原市の施策（43 項目）の将来重要度

将来の五所川原市の施策に対する重要度を調査・分析したところ、重要度指数が最も高い項目は、「雇用対策の推進」（4.50）であり、次いで「雪対策の推進」（4.48）、「診療体制の充実」（4.41）、「子育て支援の充実」（4.34）、「災害に対応できる体制整備」（4.30）となっています。

一方、重要度指数が最も低い項目は、「積極的なコミュニティ活動」（3.38）であり、次いで「快適な市営住宅の整備」、「住民協働によるまちづくり」（3.46）、「広報広聴活動の推進」（3.62）、「スポーツ活動の機会創出」（3.64）となっています。

【表-13 各施策に対する重要度指数（上位・下位5項目）】

上位5項目			下位5項目	
1	雇用対策の推進	4.50	積極的なコミュニティ活動	3.38
2	雪対策の推進	4.48	快適な市営住宅の整備	3.46
3	診療体制の充実	4.41	住民協働によるまちづくり	3.46
4	子育て支援の充実	4.34	広報広聴活動の推進	3.62
5	災害に対応できる体制整備	4.30	スポーツ活動の機会創出	3.64

[居住地域別にみた将来重要度]

居住地域（五所川原地域、金木地域、市浦地域）別に施策に対する重要度指数をみると、すべての地域で共通して重要度指数が高い項目は、「雇用対策の推進」、「雪対策の推進」、「診療体制の充実」、「子育て支援の充実」となっています。また、重要度指数が高い上位5項目のうち、他地域にみられない項目は、市浦地域で「財政基盤の安定」（5位）となっています。

一方、すべての地域で共通して重要度指数が低い項目は、「積極的なコミュニティ活動」、「快適な市営住宅の整備」、「住民協働によるまちづくり」となっています。また、重要度指数が低い下位5項目のうち、他地域にみられない項目は、市浦地域で「芸術文化活動の振興」（4位）、「利用しやすい公園整備」（5位）となっています。

【表-14 居住地域別にみた各施策に対する重要度指数（上位・下位5項目）】

五所川原地域				
上位5項目			下位5項目	
1	雇用対策の推進	4.49	積極的なコミュニティ活動	3.40
2	雪対策の推進	4.49	快適な市営住宅の整備	3.45
3	診療体制の充実	4.41	住民協働によるまちづくり	3.47
4	子育て支援の充実	4.35	広報広聴活動の推進	3.62
5	災害に対応できる体制整備	4.32	スポーツ活動の機会創出	3.64

金木地域				
	上位5項目		下位5項目	
1	雇用対策の推進	4.54	積極的なコミュニティ活動	3.25
2	雪対策の推進	4.48	住民協働によるまちづくり	3.41
3	診療体制の充実	4.39	快適な市営住宅の整備	3.48
4	子育て支援の充実	4.26	スポーツ活動の機会創出	3.57
5	災害に対応できる体制整備	4.23	広報広聴活動の推進	3.58

市浦地域				
	上位5項目		下位5項目	
1	雇用対策の推進	4.54	積極的なコミュニティ活動	3.37
2	雪対策の推進	4.47	住民協働によるまちづくり	3.42
3	診療体制の充実	4.43	快適な市営住宅の整備	3.51
4	子育て支援の充実	4.33	芸術文化活動の振興	3.60
5	財政基盤の安定	4.31	利用しやすい公園整備	3.63

[年齢別にみた将来重要度]

年齢（20歳代、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代、70歳代以上）別に施策に対する重要度指数をみると、すべての地域で共通して重要度指数が高い項目は、「雇用対策の推進」、「雪対策の推進」、「診療体制の充実」、「子育て支援の充実」となっています。また、重要度指数が高い上位5項目のうち、他年代にみられない項目は、70歳代以上で「消防・救急・交通・防犯体制の整備」（4位）となっています。

一方、すべての年代で共通して重要度指数が低い項目は、「積極的なコミュニティ活動」、「快適な市営住宅の整備」、「住民協働によるまちづくり」となっています。また、重要度指数が低い下位5項目のうち、他年代にみられない項目は、40歳代で「芸術文化活動の振興」（4位）、70歳代以上で「男女共同参画意識の醸成」（5位）となっています。

【表-15 年齢別にみた各施策に対する重要度指数（上位・下位5項目）】

20歳代				
	上位5項目		下位5項目	
1	雪対策の推進	4.65	積極的なコミュニティ活動	3.23
2	雇用対策の推進	4.50	住民協働によるまちづくり	3.28
3	診療体制の充実	4.39	広報広聴活動の推進	3.40
4	子育て支援の充実	4.36	快適な市営住宅の整備	3.50
5	災害に対応できる体制整備	4.32	結婚希望者への支援	3.52

30歳代				
	上位5項目		下位5項目	
1	子育て支援の充実	4.59	積極的なコミュニティ活動	3.12
2	雪対策の推進	4.55	快適な市営住宅の整備	3.31
3	診療体制の充実	4.50	住民協働によるまちづくり	3.37
4	雇用対策の推進	4.50	結婚希望者への支援	3.48
5	財政基盤の安定	4.40	広報広聴活動の推進	3.55

40歳代				
	上位5項目		下位5項目	
1	雇用対策の推進	4.54	積極的なコミュニティ活動	3.37
2	雪対策の推進	4.47	住民協働によるまちづくり	3.42
3	診療体制の充実	4.43	快適な市営住宅の整備	3.51
4	子育て支援の充実	4.33	芸術文化活動の振興	3.60
5	財政基盤の安定	4.31	利用しやすい公園整備	3.63

50歳代				
	上位5項目		下位5項目	
1	雇用対策の推進	4.63	快適な市営住宅の整備	3.43
2	雪対策の推進	4.58	積極的なコミュニティ活動	3.44
3	災害に対応できる体制整備	4.47	住民協働によるまちづくり	3.52
4	診療体制の充実	4.45	利用しやすい公園整備	3.61
5	子育て支援の充実	4.37	スポーツ活動の機会創出	3.61

60歳代				
	上位5項目		下位5項目	
1	雇用対策の推進	4.51	積極的なコミュニティ活動	3.44
2	雪対策の推進	4.37	快適な市営住宅の整備	3.47
3	診療体制の充実	4.36	住民協働によるまちづくり	3.49
4	子育て支援の充実	4.24	利用しやすい公園整備	3.53
5	災害に対応できる体制整備	4.23	スポーツ活動の機会創出	3.55

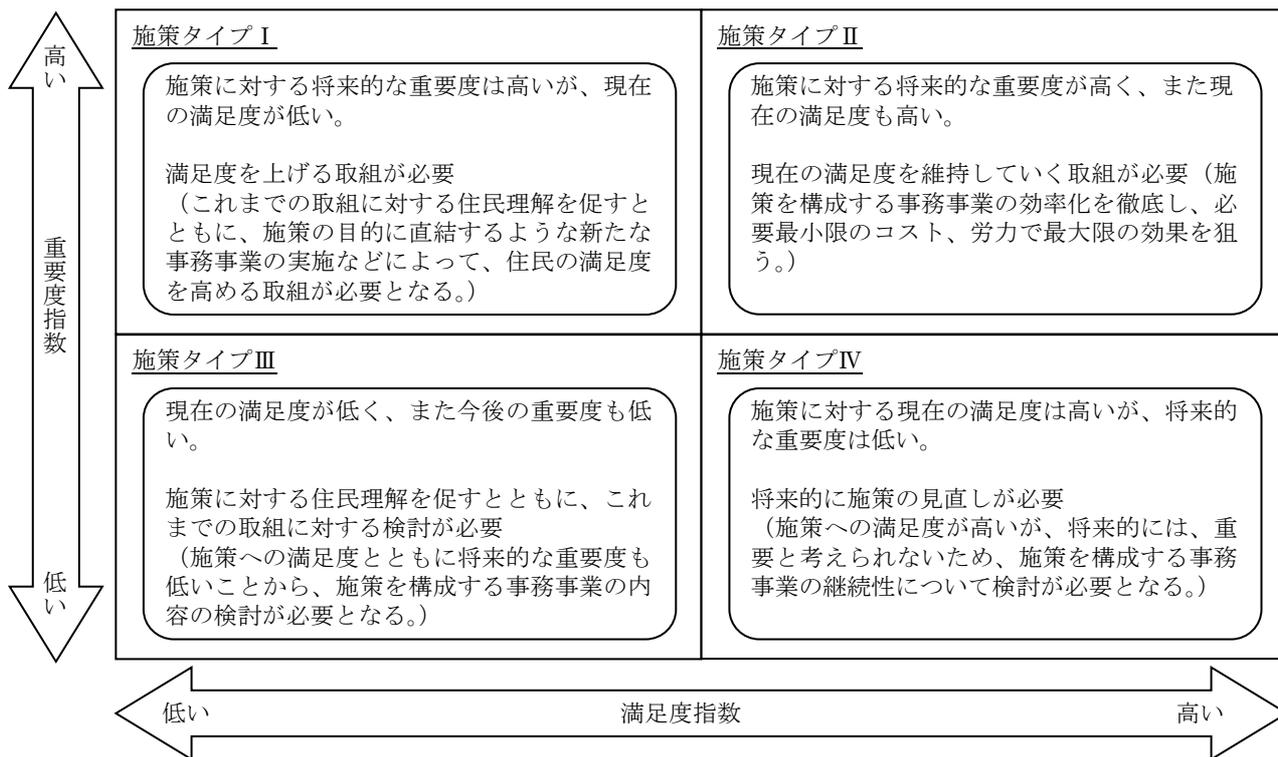
70歳代以上				
	上位5項目		下位5項目	
1	雪対策の推進	4.32	快適な市営住宅の整備	3.51
2	雇用対策の推進	4.30	積極的なコミュニティ活動	3.54
3	診療体制の充実	4.30	住民協働によるまちづくり	3.62
4	消防・救急・交通・防犯体制の整備	4.19	利用しやすい公園整備	3.65
5	子育て支援の充実	4.17	男女共同参画意識の醸成	3.66

(3) 満足度・重要度散布図

現在及び将来の五所川原市の施策について、43の設問項目ごとに「重要度指数」を縦軸に、「満足度指数」を横軸とした散布図を作成し、それぞれの指数の平均値から4つの区切り（施策タイプⅠ～Ⅳ）に分類しています。43項目の散布状況は、図-13のとおりです。

<ul style="list-style-type: none"> ● 「満足度指数」の求め方 「満足している」：5点×「満足している」の回答数 「どちらかといえば満足している」：4点×「どちらかといえば満足している」の回答数 「ふつう」：3点×「ふつう」の回答数 「やや不満である」：2点×「やや不満である」の回答数 「不満である」：1点×「不満である」の回答数 これらの点数を合計して回答数で割る。 ● 「重要度指数」の求め方 「重要である」：5点×「重要である」の回答数 「やや重要である」：4点×「やや重要である」の回答数 「ふつう」：3点×「ふつう」の回答数 「あまり重要ではない」：2点×「あまり重要ではない」の回答数 「重要ではない」：1点×「重要ではない」の回答数 これらの点数を合計して回答数で割る。
--

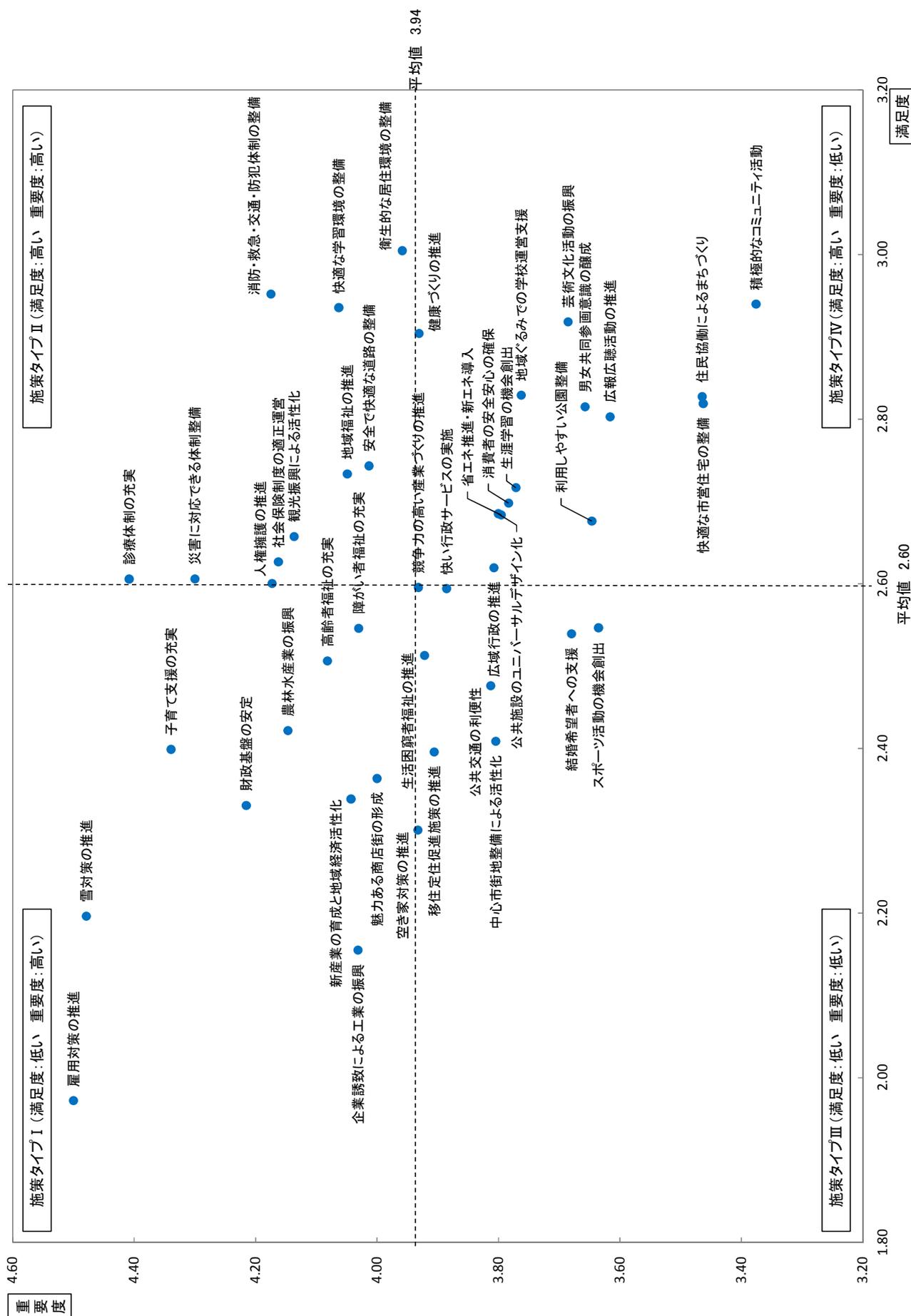
【図-12 満足度・重要度散布図の施策タイプ】



施策タイプⅠ	「重要度」が平均以上で、「満足度」は平均以下のもの この領域の施策は内容等を見直し、さらに市民満足度を高めるような事業を行う必要がある。
施策タイプⅡ	「重要度」が平均以上で、「満足度」も平均以上のもの この領域の施策は必要度も満足度も高く、現状の方向を継続すればよいと考えられる。
施策タイプⅢ	「重要度」が平均以下で、「満足度」も平均以下のもの この領域の施策は、施策を構成する事務事業の内容を検討する必要がある。
施策タイプⅣ	「重要度」が平均以下で、「満足度」は平均以上のもの この領域の施策は、施策を構成する事務事業の継続性を検討する必要がある。

【図-13 満足度・重要度でみた市施策の散布状況】

(表内の●は各項目の重要度指数(縦軸)と満足度指数(横軸)の交点を示している。)



【表-16 施策タイプ別施策項目】

■施策タイプⅠ（満足度：低い 重要度：高い）

施策名	満足度 指数	重要度 指数
雇用対策の推進	1.97	4.50
雪対策の推進	2.20	4.48
企業誘致による工業の振興	2.15	4.03
子育て支援の充実	2.40	4.34
財政基盤の安定	2.33	4.22
新産業の育成と地域経済活性化	2.34	4.04
農林水産業の振興	2.42	4.15
魅力ある商店街の形成	2.36	4.00
高齢者福祉の充実	2.51	4.08
障がい者福祉の充実	2.55	4.03

■施策タイプⅡ（満足度：高い 重要度：高い）

施策名	満足度 指数	重要度 指数
診療体制の充実	2.61	4.41
消防・救急・交通・防犯体制の整備	2.95	4.17
衛生的な居住環境の整備	3.00	3.96
災害に対応できる体制整備	2.61	4.30
快適な学習環境の整備	2.94	4.06
人権擁護の推進	2.60	4.17
社会保険制度の適正運営	2.63	4.16
観光振興による活性化	2.66	4.14
地域福祉の推進	2.73	4.05
安全で快適な道路の整備	2.74	4.01

■施策タイプⅢ（満足度：低い 重要度：低い）

施策名	満足度 指数	重要度 指数
スポーツ活動の機会創出	2.55	3.64
空き家対策の推進	2.30	3.93
結婚希望者への支援	2.54	3.68
中心市街地整備による活性化	2.41	3.80
移住定住促進施策の推進	2.40	3.91
公共交通の利便性	2.48	3.81
生活困窮者福祉の推進	2.51	3.92
快い行政サービスの実施	2.59	3.89
競争力の高い産業づくりの推進	2.60	3.93

■施策タイプⅣ（満足度：高い 重要度：低い）

施策名	満足度 指数	重要度 指数
積極的なコミュニティ活動	2.94	3.38
住民協働によるまちづくり	2.83	3.46
快適な市営住宅の整備	2.82	3.46
芸術文化活動の振興	2.92	3.69
広報広聴活動の推進	2.80	3.62
男女共同参画意識の醸成	2.82	3.66
利用しやすい公園整備	2.68	3.65
健康づくりの推進	2.90	3.93
地域ぐるみでの学校運営支援	2.83	3.76
生涯学習の機会創出	2.72	3.77
消費者の安全安心の確保	2.70	3.78
省エネ推進・新エネ導入	2.68	3.80
公共施設のユニバーサルデザイン化	2.69	3.80
広域行政の推進	2.62	3.81

※施策名の順番は、平均値からの距離が遠い順。

平均値からの距離

$$= \sqrt{ \{ (\text{満足度指数} - \text{満足度平均値})^2 + (\text{重要度指数} - \text{重要度平均値})^2 \}}$$

(4) 定住意向と満足度・重要度

満足度・重要度と定住意向（これからも五所川原に住み続けたいか）の関係をみるため、定住意向が高い人（「住み続けたい」もしくは「どちらかといえば住み続けたい」と回答した人）と定住意向が低い人（「住み続けたくない」もしくは「どちらかといえば住み続けたくない」と回答した人）それぞれについて満足度指数・重要度指数を算出しました。

[定住意向別にみた現状評価（満足度）]

定住意向が高い人と定住意向が低い人の満足度指数を比較すると、どちらも上位5項目は同じ施策が入っていますが、定住意向が高い人の満足度が高くなっています。

また、下位5項目については「雇用対策の推進」、「雪対策の推進」の2項目で同じ施策となっており、いずれも定住意向が低い人の満足度が低くなっています。

【表-17 定住意向別にみた満足度指数（上位・下位5項目）】

定住意向が高い				
	上位5項目		下位5項目	
1	衛生的な居住環境の整備	3.08	雇用対策の推進	2.11
2	消防・救急・交通・防犯体制の整備	3.08	企業誘致による工業の振興	2.24
3	積極的なコミュニティ活動	3.03	雪対策の推進	2.37
4	快適な学習環境の整備	3.02	空き家対策の推進	2.38
5	芸術文化活動の振興	3.01	新産業の育成と地域経済活性化	2.42

定住意向が低い				
	上位5項目		下位5項目	
1	衛生的な居住環境の整備	2.86	雇用対策の推進	1.63
2	芸術文化活動の振興	2.76	雪対策の推進	1.84
3	積極的なコミュニティ活動	2.72	移住定住促進施策の推進	1.86
4	快適な学習環境の整備	2.71	財政基盤の安定	1.95
5	消防・救急・交通・防犯体制の整備	2.70	公共交通の利便性	1.98

[定住意向別にみた満足度指数の差]

定住意向が高い人と定住意向が低い人の施策ごとの満足度指数の差をみると、すべての施策項目で定住意向が高い人の満足度指数が定住意向の低い人の満足度指数を上回っています。特に「移住定住促進施策の推進」、「公共交通の利便性」、「診療体制の充実」などで差が大きくなっています。

【表-18 定住意向別による満足度指数の差（上位・下位5項目）】

	差が大きい5項目		差が小さい5項目	
1	移住定住促進施策の推進	0.71	結婚希望者への支援	0.02
2	公共交通の利便性	0.67	競争力の高い産業づくりの推進	0.17
3	診療体制の充実	0.63	人権擁護の推進	0.21
4	安全で快適な道路の整備	0.60	衛生的な居住環境の整備	0.22
5	広域行政の推進	0.59	省エネ推進・新エネ導入	0.23

[定住意向別にみた現状評価（重要度）]

定住意向が高い人と定住意向が低い人の重要度指数を比較すると、どちらも上位5項目は同じ施策が入っていますが、定住意向が高い人の重要度が低くなっています。

また、下位5項目についても4項目で同じ施策となっており、その他、定住意向が高い人では「スポーツ活動の機会の創出」が、定住意向が低い人では「結婚希望者への支援」が下位に入っています。

【表-19 定住意向別にみた重要度指数（上位・下位5項目）】

定住意向が高い				
	上位5項目		下位5項目	
1	雪対策の推進	4.46	積極的なコミュニティ活動	3.43
2	雇用対策の推進	4.45	快適な市営住宅の整備	3.50
3	診療体制の充実	4.38	住民協働によるまちづくり	3.50
4	子育て支援の充実	4.33	広報広聴活動の推進	3.63
5	災害に対応できる体制整備	4.30	スポーツ活動の機会創出	3.64

定住意向が低い				
	上位5項目		下位5項目	
1	雇用対策の推進	4.62	積極的なコミュニティ活動	3.21
2	雪対策の推進	4.56	住民協働によるまちづくり	3.36
3	診療体制の充実	4.53	快適な市営住宅の整備	3.36
4	子育て支援の充実	4.44	結婚希望者への支援	3.52
5	災害に対応できる体制整備	4.32	広報広聴活動の推進	3.56

[定住意向別にみた重要度指数の差]

定住意向が高い人と定住意向が低い人の施策ごとの重要度指数の差をみると、「積極的なコミュニティ活動」、「結婚希望者への支援」、「中心市街地整備による活性化」等で定住意向が高い人の指数がより高くなっています。また、「広域行政の推進」、「移住定住促進施策の推進」等で定住意向が低い人の指数がより高くなっています。

一方で、「観光振興による活性化」や「魅力ある商店街の形成」等では、定住意向による指数の差は見られません。

【表-20 定住意向別による重要度指数の差（上位・下位5項目）】

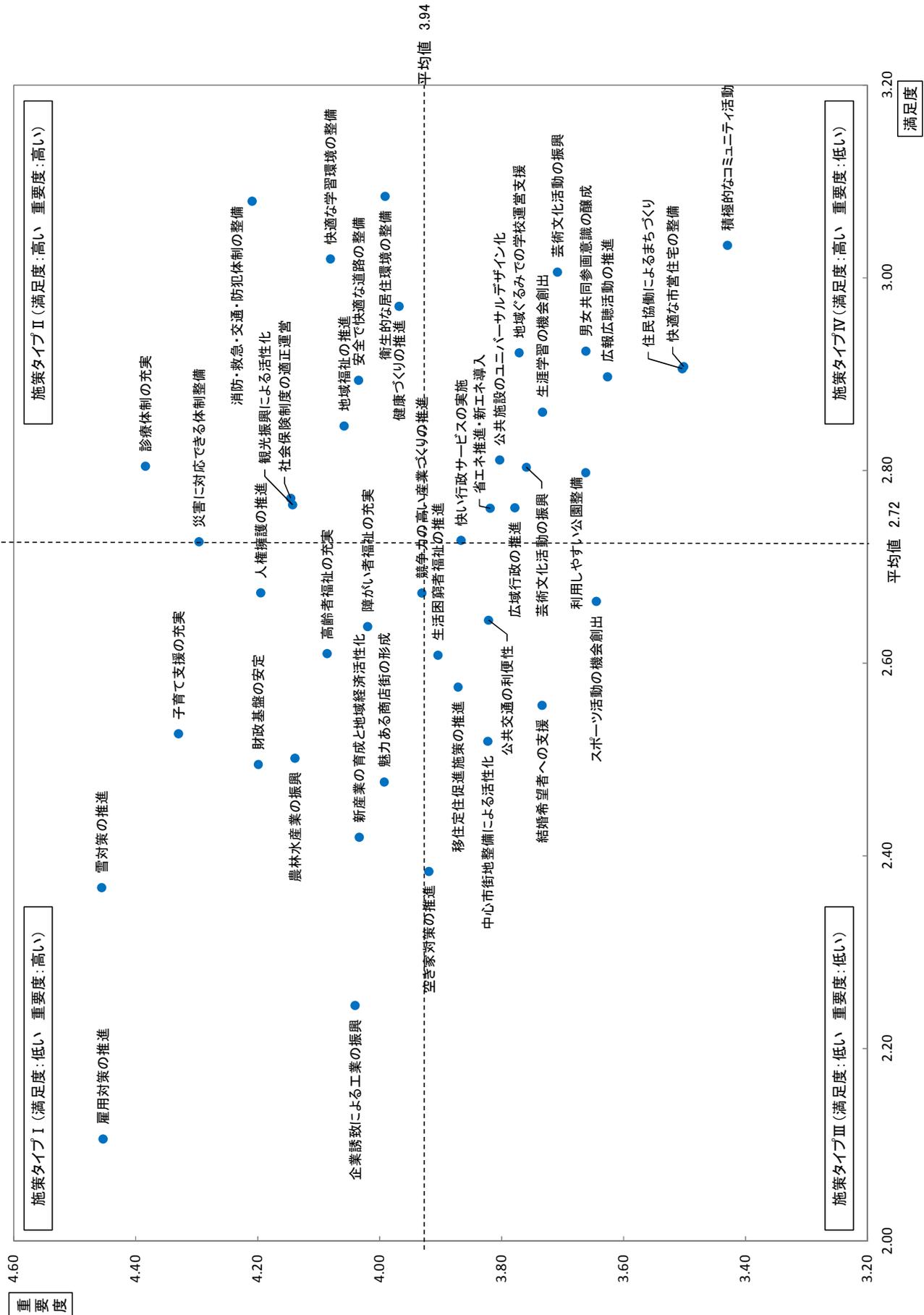
差が大きい5項目			差が小さい5項目		
1	積極的なコミュニティ活動	0.22	1	観光振興による活性化	0.01
2	結婚希望者への支援	0.21	2	魅力ある商店街の形成	(0.01)
3	広域行政の推進	(0.20)	3	男女共同参画意識の醸成	(0.02)
4	中心市街地整備による活性化	0.19	4	新産業の育成と地域経済活性化	(0.02)
5	移住定住促進施策の推進	(0.17)	5	空き家対策の推進	(0.02)

※（ ）は定住意向が低い方が大きいことを示します。

■定住意向が高い

【図-14 定住意向が高い人の満足度・重要度散布図】

(表内の●は各項目の重要度指数(縦軸)と満足度指数(横軸)の交点を示している。)



定住意向が高い人の満足度指数を縦軸、重要度指数を横軸とした散布図に各施策をプロットし、平均値によって区切られた4つの領域をそれぞれ施策タイプⅠから施策タイプⅣに分類すると以下のとおりとなります。

満足度が低く、重要度が高いため、特に重点的に資源を投資する必要があると思われる施策タイプⅠをみると、「雇用対策の推進」、「雪対策の推進」、「企業誘致による工業の振興」など11施策が該当しています。

【表-21 定住意向が高い人の施策タイプ】

■施策タイプⅠ（満足度：低い 重要度：高い）

施策名	満足度指数	重要度指数
雇用対策の推進	2.11	4.45
雪対策の推進	2.37	4.46
企業誘致による工業の振興	2.24	4.04
子育て支援の充実	2.53	4.33
財政基盤の安定	2.49	4.20
新産業の育成と地域経済活性化	2.42	4.03
農林水産業の振興	2.50	4.14
人権擁護の推進	2.67	4.19
魅力ある商店街の形成	2.48	3.99
高齢者福祉の充実	2.61	4.09
障がい者福祉の充実	2.64	4.02

■施策タイプⅡ（満足度：高い 重要度：高い）

施策名	満足度指数	重要度指数
消防・救急・交通・防犯体制の整備	3.08	4.21
衛生的な居住環境の整備	3.08	3.99
災害に対応できる体制整備	2.73	4.30
快適な学習環境の整備	3.02	4.08
社会保険制度の適正運営	2.77	4.15
観光振興による活性化	2.76	4.14
安全で快適な道路の整備	2.89	4.03
地域福祉の推進	2.85	4.06

■施策タイプⅢ（満足度：低い 重要度：低い）

施策名	満足度指数	重要度指数
空き家対策の推進	2.38	3.92
スポーツ活動の機会創出	2.66	3.64
結婚希望者への支援	2.56	3.73
中心市街地整備による活性化	2.52	3.82
移住定住促進施策の推進	2.58	3.87
公共交通の利便性	2.64	3.82
生活困窮者福祉の推進	2.61	3.90
競争力の高い産業づくりの推進	2.67	3.93

■施策タイプⅣ（満足度：高い 重要度：低い）

施策名	満足度指数	重要度指数
積極的なコミュニティ活動	3.03	3.43
快適な市営住宅の整備	2.91	3.50
住民協働によるまちづくり	2.91	3.50
診療体制の充実	2.80	4.38
芸術文化活動の振興	3.01	3.71
広報広聴活動の推進	2.90	3.63
男女共同参画意識の醸成	2.92	3.66
利用しやすい公園整備	2.80	3.66
地域ぐるみでの学校運営支援	2.92	3.77
健康づくりの推進	2.97	3.97
生涯学習の機会創出	2.86	3.73
消費者の安全安心の確保	2.80	3.76
広域行政の推進	2.76	3.78
公共施設のユニバーサルデザイン化	2.81	3.80
省エネ推進・新エネ導入	2.76	3.82
快い行政サービスの実施	2.73	3.87

※施策名の順番は、平均値からの距離が遠い順。

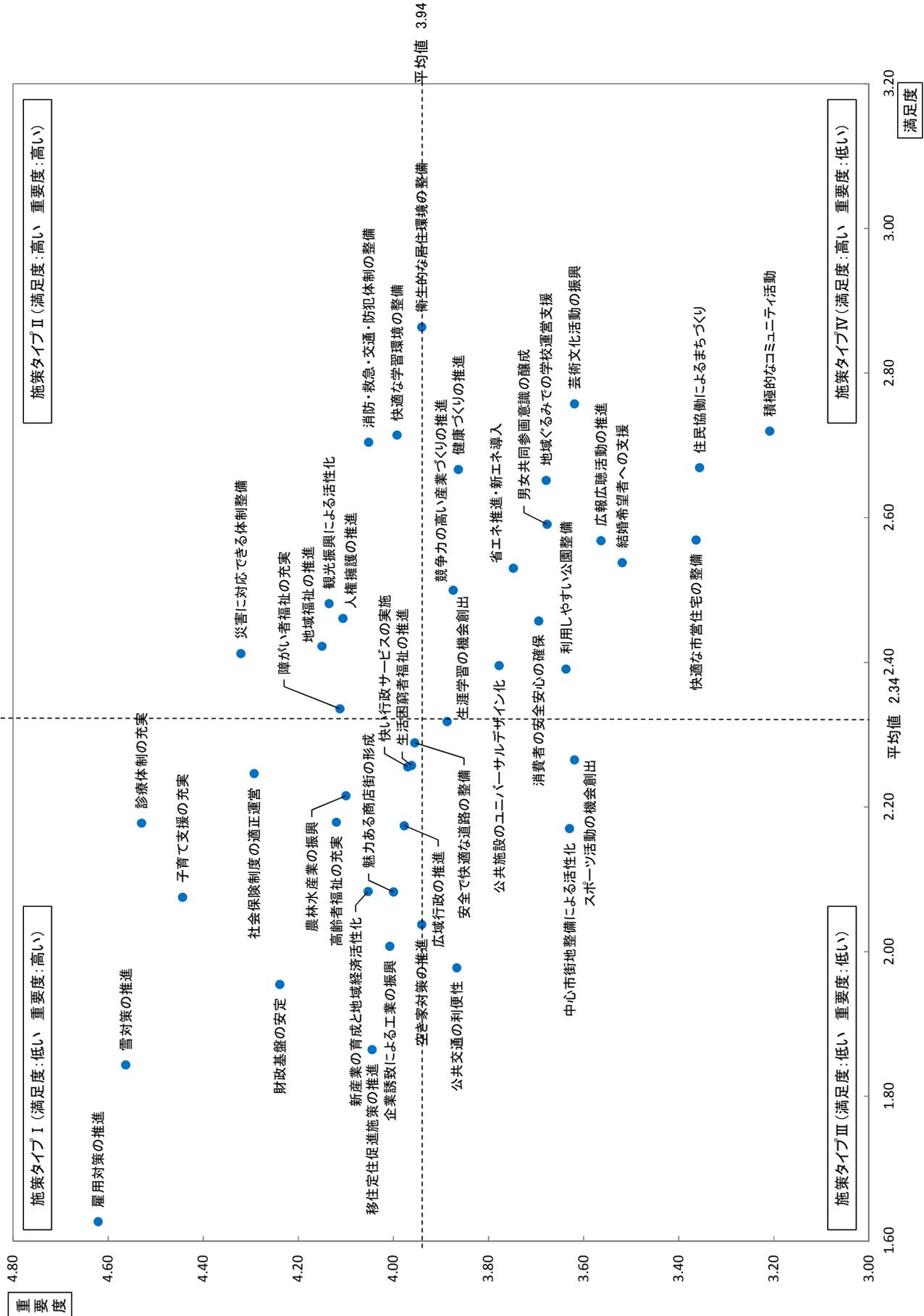
平均値からの距離

$$= \sqrt{ \{ (\text{満足度指数} - \text{満足度平均値})^2 + (\text{重要度指数} - \text{重要度平均値})^2 \}}$$

■定住意向が低い

【図-15 定住意向が低い人の満足度・重要度散布図】

(表内の●は各項目の重要度指数(縦軸)と満足度指数(横軸)の交点を示している。)



定住意向が低い人の満足度指数を縦軸、重要度指数を横軸とした散布図に各施策をプロットし、平均値によって区切られた4つの領域をそれぞれ施策タイプⅠから施策タイプⅣに分類すると以下のとおりとなります。

満足度が低く、重要度が高いため、特に重点的に資源を投資する必要があると思われる施策タイプⅠをみると、「雇用対策の推進」、「雪対策の推進」、「診療体制の充実」など18施策が該当しています。

【表-22 定住意向が低い人の施策タイプ】

■施策タイプⅠ（満足度：低い 重要度：高い）

施策名	満足度指数	重要度指数
雇用対策の推進	1.63	4.62
雪対策の推進	1.84	4.56
診療体制の充実	2.18	4.53
子育て支援の充実	2.08	4.44
財政基盤の安定	1.95	4.24
移住定住促進施策の推進	1.86	4.04
社会保険制度の適正運営	2.25	4.29
企業誘致による工業の振興	2.01	4.01
空き家対策の推進	2.04	3.94
新産業の育成と地域経済活性化	2.08	4.05
魅力ある商店街の形成	2.08	4.00
高齢者福祉の充実	2.18	4.12
農林水産業の振興	2.22	4.10
障がい者福祉の充実	2.34	4.11
広域行政の推進	2.17	3.98
快い行政サービスの実施	2.26	3.97
生活困窮者福祉の推進	2.26	3.96
安全で快適な道路の整備	2.29	3.96

■施策タイプⅢ（満足度：低い 重要度：低い）

施策名	満足度指数	重要度指数
公共交通の利便性	1.98	3.87
中心市街地整備による活性化	2.17	3.63
スポーツ活動の機会創出	2.27	3.62
生涯学習の機会創出	2.32	3.89

■施策タイプⅡ（満足度：高い 重要度：高い）

施策名	満足度指数	重要度指数
衛生的な居住環境の整備	2.86	3.94
災害に対応できる体制整備	2.41	4.32
消防・救急・交通・防犯体制の整備	2.70	4.05
快適な学習環境の整備	2.71	3.99
観光振興による活性化	2.48	4.14
地域福祉の推進	2.42	4.15
人権擁護の推進	2.46	4.11

■施策タイプⅣ（満足度：高い 重要度：低い）

施策名	満足度指数	重要度指数
積極的なコミュニティ活動	2.72	3.21
住民協働によるまちづくり	2.67	3.36
快適な市営住宅の整備	2.57	3.36
芸術文化活動の振興	2.76	3.62
結婚希望者への支援	2.54	3.52
広報広聴活動の推進	2.57	3.56
地域ぐるみでの学校運営支援	2.65	3.68
男女共同参画意識の醸成	2.59	3.68
健康づくりの推進	2.67	3.86
利用しやすい公園整備	2.39	3.64
消費者の安全安心の確保	2.46	3.69
省エネ推進・新エネ導入	2.53	3.75
競争力の高い産業づくりの推進	2.50	3.87
公共施設のユニバーサルデザイン化	2.40	3.78

※施策名の順番は、平均値からの距離が遠い順。

平均値からの距離

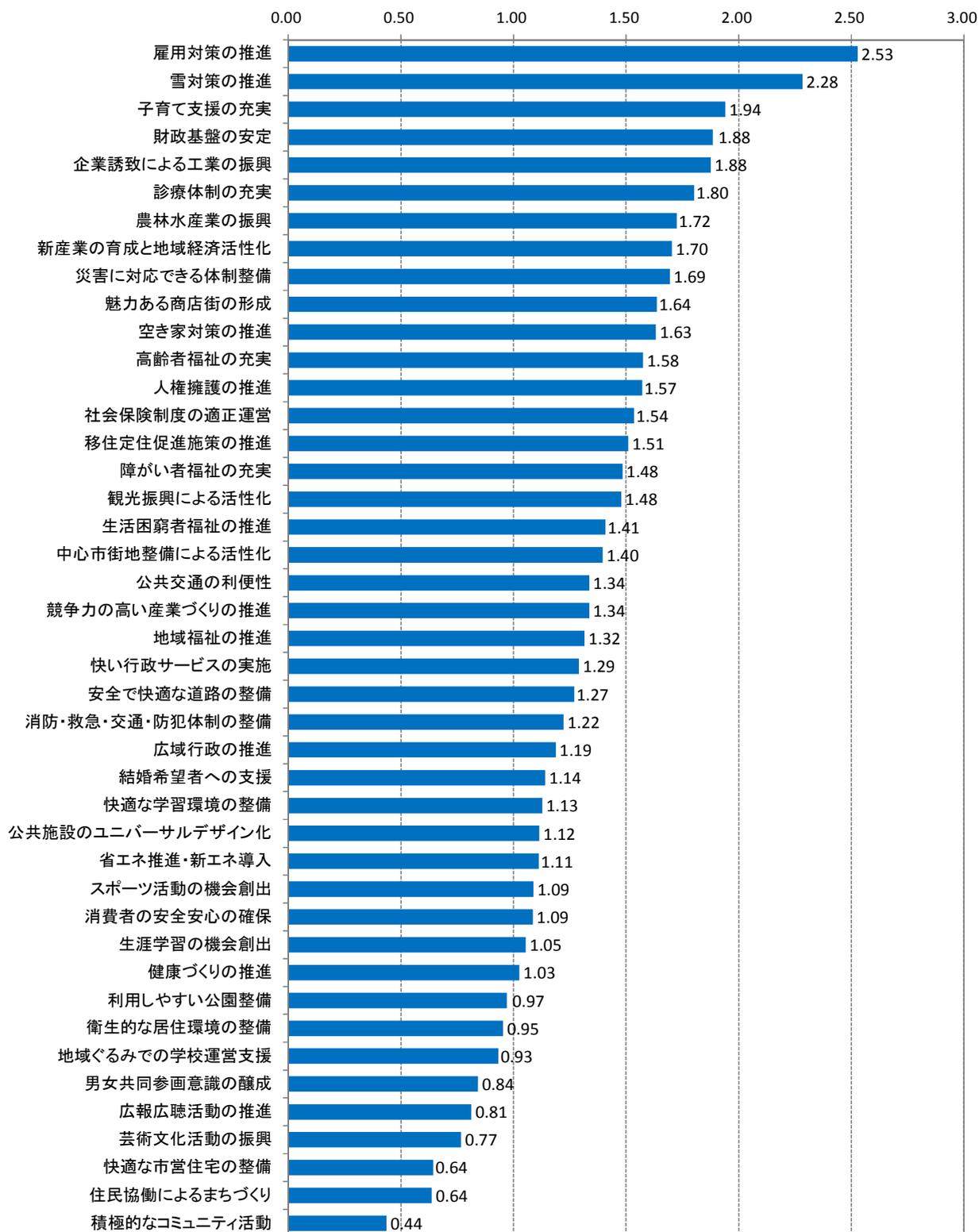
$$= \sqrt{\{(\text{満足度指数} - \text{満足度平均値})^2 + (\text{重要度指数} - \text{重要度平均値})^2\}}$$

(5) ニーズ指数

これまでの分析に加えて、施策の必要性を検討するため、ニーズ指数を算定しました。

ニーズ指数は、将来及び現在の五所川原市の施策について、43 の設問項目ごとに算出した「重要度指数」及び「満足度指数」の差で算出しています。

【図-16 五所川原市の施策に対するニーズ指数】



ニーズ指数が最も高い項目は、「雇用対策の推進」(2.53)であり、次いで「雪対策の推進」(2.28)、「子育て支援の充実」(1.94)、「財政基盤の安定」、「企業誘致による工業の振興」(1.88)となっています。

一方、ニーズ指数が最も低い項目は、「積極的なコミュニティ活動」(0.44)であり、次いで「住民協働によるまちづくり」、「快適な市営住宅の整備」(0.64)、「芸術文化活動の振興」(0.77)、「広報広聴活動の推進」(0.81)となっています。

【表-23 各施策に対するニーズ指数（上位・下位5項目）】

上位5項目		下位5項目		
1	雇用対策の推進	2.53	積極的なコミュニティ活動	0.44
2	雪対策の推進	2.28	住民協働によるまちづくり	0.64
3	子育て支援の充実	1.94	快適な市営住宅の整備	0.64
4	財政基盤の安定	1.88	芸術文化活動の振興	0.77
5	企業誘致による工業の振興	1.88	広報広聴活動の推進	0.81

※ニーズ指数：「重要度指数」及び「満足度指数」の差を示します。

[居住地域別にみたニーズ指数]

居住地域（五所川原地域、金木地域、市浦地域）別に施策に対するニーズ指数をみると、すべての地域で共通してニーズ指数が高い項目は、「雇用対策の推進」、「雪対策の推進」、「子育て支援の充実」、「財政基盤の安定」となっています。また、ニーズ指数が高い上位5項目のうち、他地域にみられない項目は、市浦地域で「診療体制の充実」（3位）となっています。

一方、すべての地域で共通してニーズ指数が低い項目は、「積極的なコミュニティ活動」、「住民協働によるまちづくり」、「快適な市営住宅の整備」となっています。また、ニーズ指数が低い下位5項目のうち、他地域にみられない項目は、市浦地域で「男女共同参画意識の醸成」（4位）、「健康づくりの推進」（5位）となっています。

【表-24 居住地域別にみた各施策に対するニーズ指数（上位・下位5項目）】

五所川原地域				
	上位5項目		下位5項目	
1	雇用対策の推進	2.49	積極的なコミュニティ活動	0.44
2	雪対策の推進	2.35	快適な市営住宅の整備	0.63
3	子育て支援の充実	1.91	住民協働によるまちづくり	0.65
4	財政基盤の安定	1.88	芸術文化活動の振興	0.72
5	企業誘致による工業の振興	1.81	広報広聴活動の推進	0.81

金木地域				
	上位5項目		下位5項目	
1	雇用対策の推進	2.49	積極的なコミュニティ活動	0.44
2	雪対策の推進	2.35	快適な市営住宅の整備	0.63
3	子育て支援の充実	1.91	住民協働によるまちづくり	0.65
4	財政基盤の安定	1.88	芸術文化活動の振興	0.72
5	企業誘致による工業の振興	1.81	広報広聴活動の推進	0.81

市浦地域				
	上位5項目		下位5項目	
1	雇用対策の推進	2.66	積極的なコミュニティ活動	0.59
2	雪対策の推進	2.04	住民協働によるまちづくり	0.64
3	診療体制の充実	2.00	快適な市営住宅の整備	0.74
4	子育て支援の充実	1.94	男女共同参画意識の醸成	0.85
5	財政基盤の安定	1.91	健康づくりの推進	0.86

[年齢別にみたニーズ指数]

年齢（20歳代、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代、70歳代以上）別に施策に対するニーズ指数をみると、すべての年代で共通してニーズ指数が高い項目は、「雇用対策の推進」、「雪対策の推進」、「子育て支援の充実」となっています。また、ニーズ指数が高い上位5項目のうち、他年代にみられない項目は、20歳代で「移住定住促進施策の推進」（5位）、30歳代で「診療体制の充実」（5位）、60歳代で「農林水産業の振興」（4位）、70歳代以上で「新産業の育成と地域経済活性化」（5位）となっています。

一方、すべての年代で共通してニーズ指数が低い項目は、「積極的なコミュニティ活動」、「快適な市営住宅の整備」となっています。また、ニーズ指数が低い下位5項目のうち、他年代にみられない項目は、30歳代で「衛生的な居住環境の整備」（4位）、40歳代で「地域ぐるみでの学校運営支援」（5位）となっています。

【表-25 年齢別にみた各施策に対するニーズ指数（上位・下位5項目）】

20歳代				
	上位5項目		下位5項目	
1	雪対策の推進	2.68	積極的なコミュニティ活動	0.32
2	雇用対策の推進	2.51	住民協働によるまちづくり	0.46
3	子育て支援の充実	1.96	広報広聴活動の推進	0.61
4	財政基盤の安定	1.90	快適な市営住宅の整備	0.75
5	移住定住促進施策の推進	1.75	男女共同参画意識の醸成	0.76

30歳代				
	上位5項目		下位5項目	
1	雇用対策の推進	2.59	積極的なコミュニティ活動	0.24
2	雪対策の推進	2.51	住民協働によるまちづくり	0.52
3	子育て支援の充実	2.42	快適な市営住宅の整備	0.55
4	財政基盤の安定	2.35	衛生的な居住環境の整備	0.67
5	診療体制の充実	2.03	芸術文化活動の振興	0.70

40歳代				
	上位5項目		下位5項目	
1	雇用対策の推進	2.64	積極的なコミュニティ活動	0.41
2	雪対策の推進	2.47	住民協働によるまちづくり	0.59
3	財政基盤の安定	2.12	芸術文化活動の振興	0.74
4	診療体制の充実	2.00	快適な市営住宅の整備	0.74
5	子育て支援の充実	1.93	地域ぐるみでの学校運営支援	0.89

50歳代				
	上位5項目		下位5項目	
1	雇用対策の推進	2.81	積極的なコミュニティ活動	0.60
2	雪対策の推進	2.54	快適な市営住宅の整備	0.66
3	診療体制の充実	2.22	住民協働によるまちづくり	0.79
4	企業誘致による工業の振興	2.22	芸術文化活動の振興	0.84
5	子育て支援の充実	2.07	広報広聴活動の推進	0.98

60歳代				
上位5項目			下位5項目	
1	雇用対策の推進	2.51	積極的なコミュニティ活動	0.48
2	企業誘致による工業の振興	2.03	快適な市営住宅の整備	0.60
3	雪対策の推進	1.95	住民協働によるまちづくり	0.67
4	農林水産業の振興	1.82	芸術文化活動の振興	0.75
5	子育て支援の充実	1.80	利用しやすい公園整備	0.77

70歳代以上				
上位5項目			下位5項目	
1	雇用対策の推進	2.07	積極的なコミュニティ活動	0.49
2	企業誘致による工業の振興	1.80	快適な市営住宅の整備	0.54
3	雪対策の推進	1.75	男女共同参画意識の醸成	0.65
4	子育て支援の充実	1.53	利用しやすい公園整備	0.69
5	新産業の育成と地域経済活性化	1.52	広報広聴活動の推進	0.71

II-2-2. 分野別施策の分析

総合計画の基本構想では、6つの基本政策として、「地域の強みを生かす産業・賑わいづくり」、「地域で支え合う健やか安心な暮らしづくり」、「個性を伸ばし育む人財・文化づくり」、「命と生活を守る安全・安心づくり」、「快適で質の高い環境・住まいづくり」及び「共にすすめる持続可能なまちづくり」を掲げ、その中でそれぞれの政策を実現するための施策を設定しています。

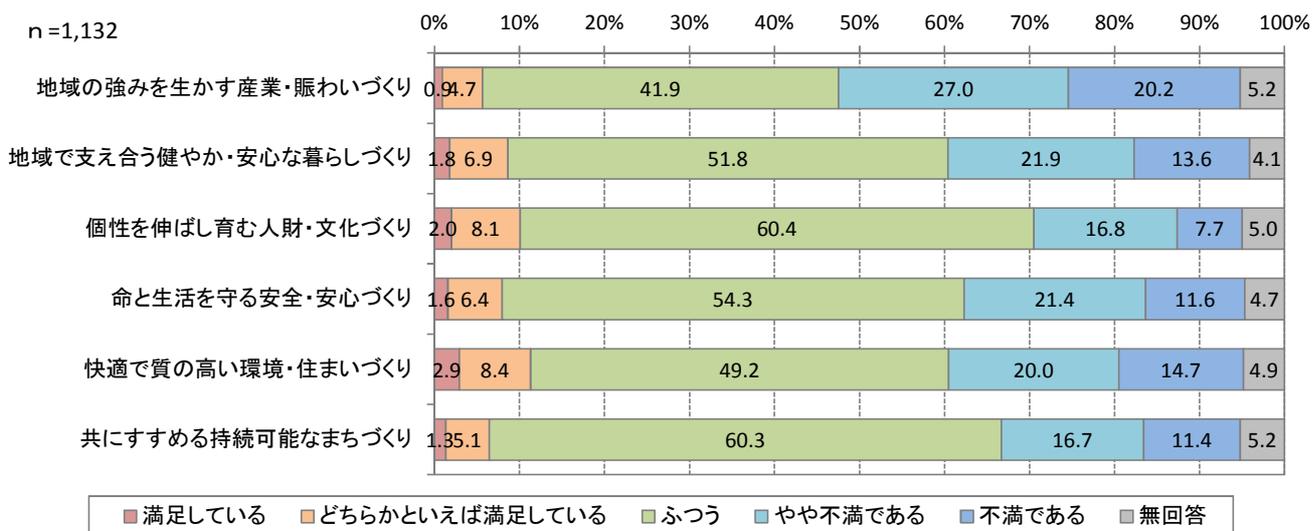
本項では「政策分野別の分析」及び「各政策における施策別分析」を行います。

(1) 政策分野別の分析

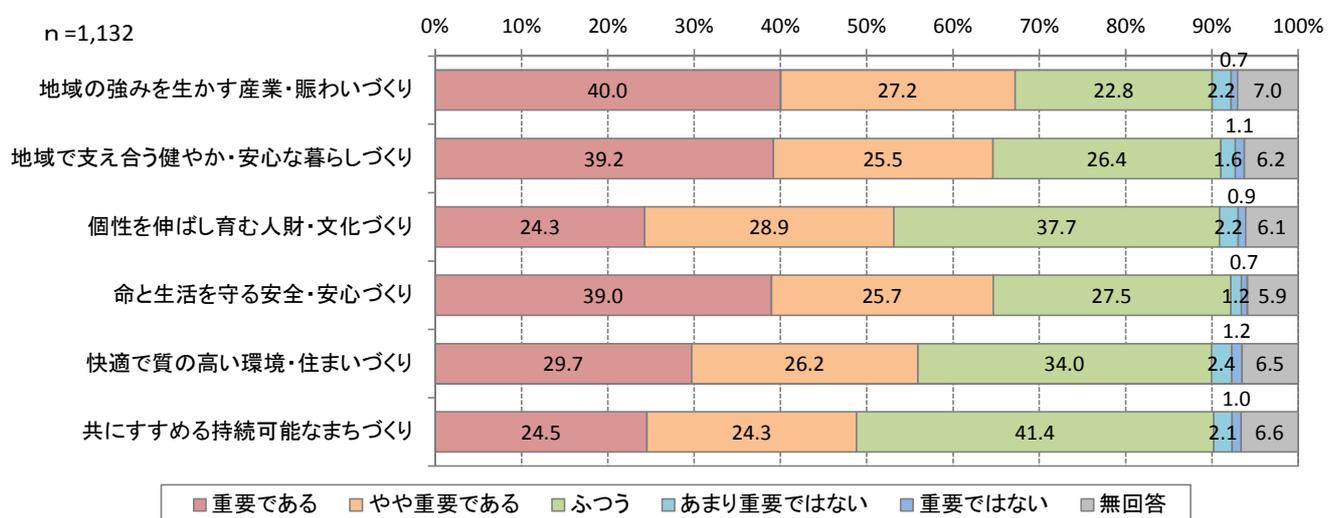
満足度では、「個性を伸ばし育む人財・文化づくり」や「快適で質の高い環境・住まいづくり」で「満足している」及び「どちらかといえば満足している」（以下『満足』という。）の割合が比較的高く、「地域の強みを生かす産業・賑わいづくり」で「不満である」及び「やや不満である」（以下『不満』という。）の割合が高くなっています。

重要度では、「地域の強みを生かす産業・賑わいづくり」で「重要である」及び「やや重要である」（以下『重要』という。）の割合が高くなっています。

【図-17 政策分野別の満足度の割合】



【図-18 政策分野別の重要度の割合】



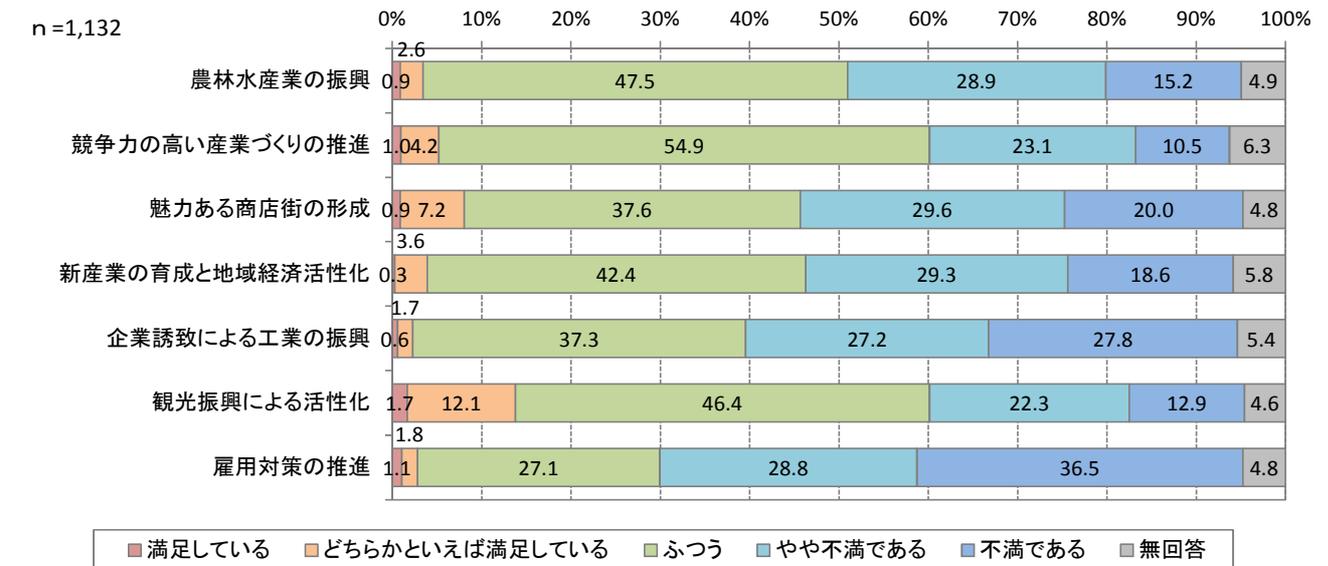
(2) 各政策における施策別分析

【地域の強みを生かす産業・賑わいづくり】

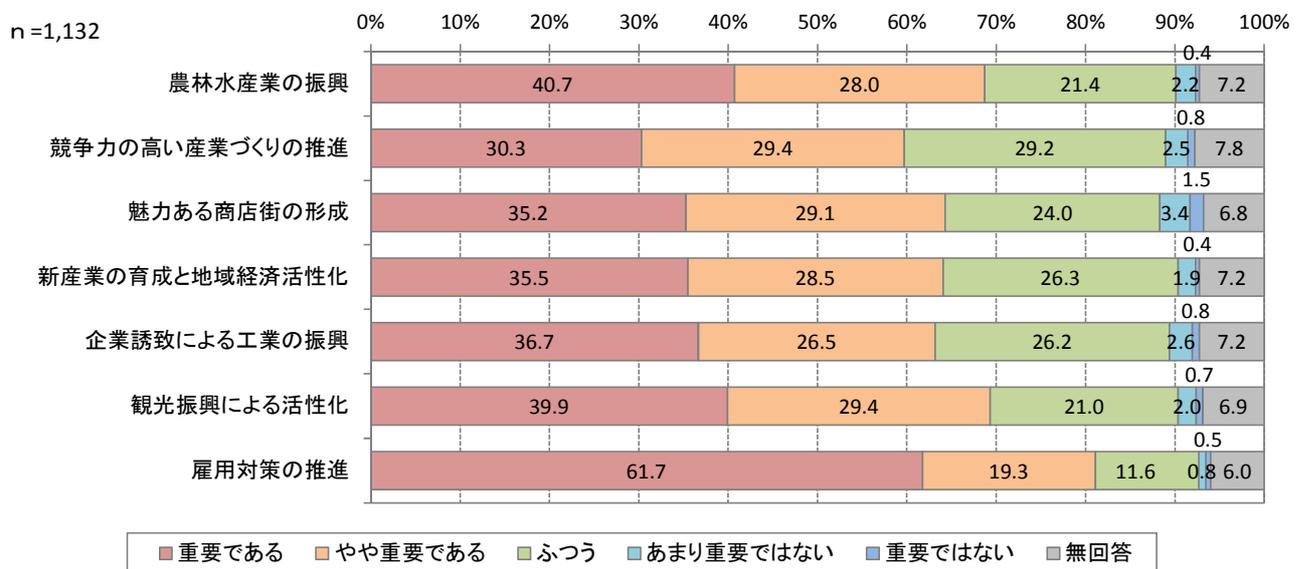
満足度では、「観光振興による活性化」で『満足』の割合が比較的高く、「雇用対策の推進」で『不満』の割合が高くなっています。

重要度では、「雇用対策の推進」で『重要』の割合が高くなっています。

【図-19 地域の強みを生かす産業・賑わいづくり分野の施策別満足度の割合】



【図-20 地域の強みを生かす産業・賑わいづくり分野の施策別重要度の割合】



[居住地域別の特性]

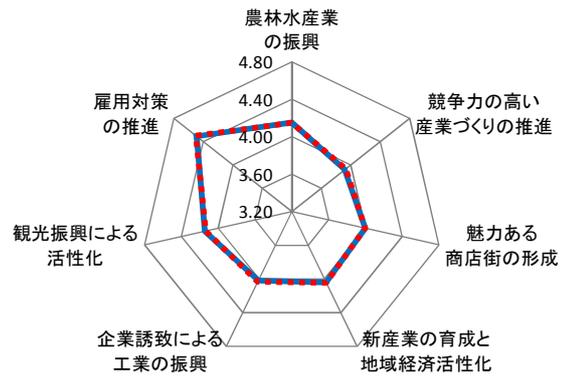
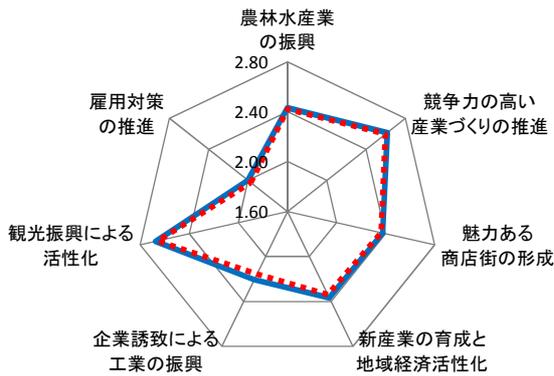
居住地域別にみると、金木地域では全ての項目において満足度が平均値以下であり、特に「企業誘致による工業の振興」の満足度指数が低くなっています。また、市浦地域では「農林水産業の振興」で満足度指数が高くなっています。

【図-21 居住地域別にみた地域の強みを生かす産業・賑わいづくり分野の

施策別満足度指数・重要度指数】

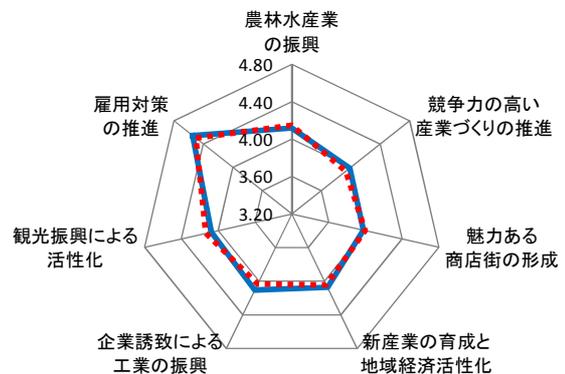
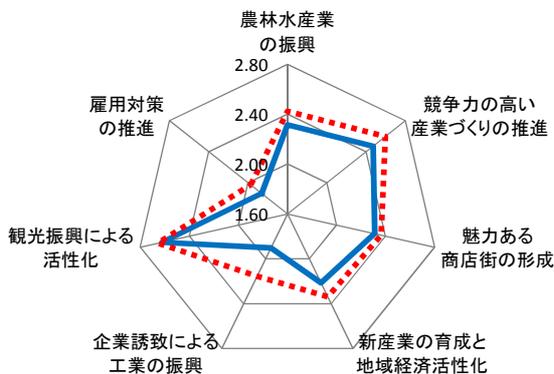
■五所川原地域（満足度）

（重要度）



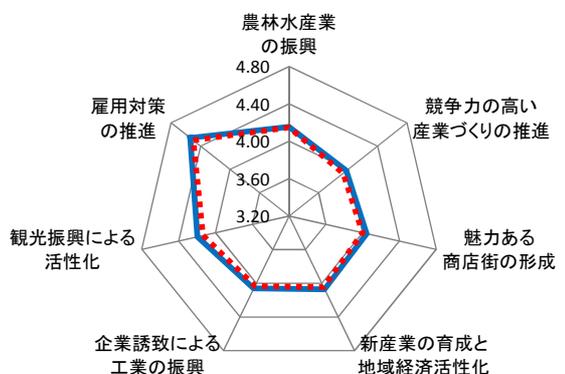
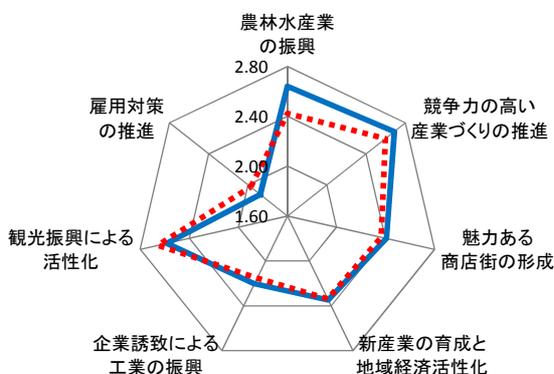
■金木地域（満足度）

（重要度）



■市浦地域（満足度）

（重要度）



— 当該地域の指数 - - - 市全体の指数

[年齢別の特性]

全ての年代において「雇用対策の推進」に対する満足度が低く、重要度は高くなっています。年齢別にみると、満足度では、全体的に50歳代で指数が低く、70歳代以上で指数が高くなっています。20歳代、30歳代では「企業誘致による工業の振興」の指数が高くなっています。

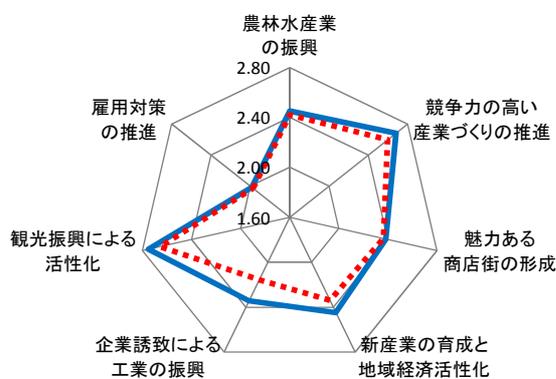
重要度では全体的に40歳代、50歳代で指数が高く、70歳代以上で指数が低くなっています。

【図-22 年齢別にみた地域の強みを生かす産業・賑わいづくり分野の

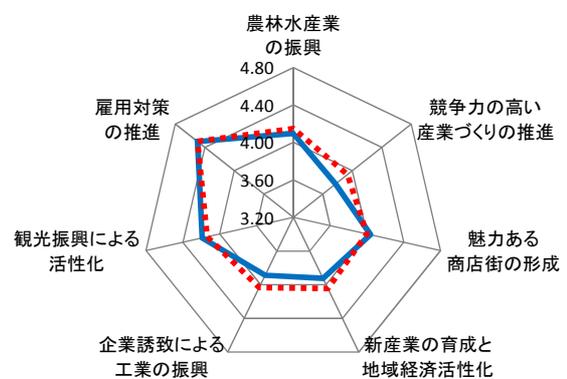
施策別満足度指数・重要度指数】

■ 20 歳代

(満足度)

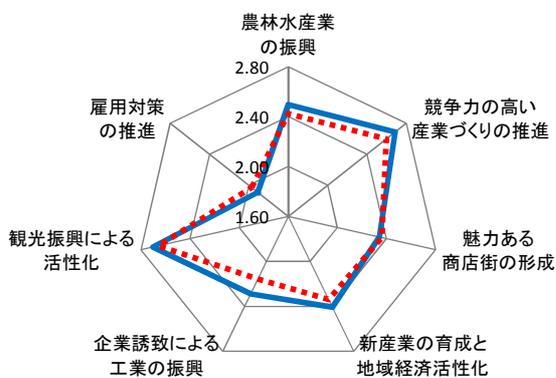


(重要度)

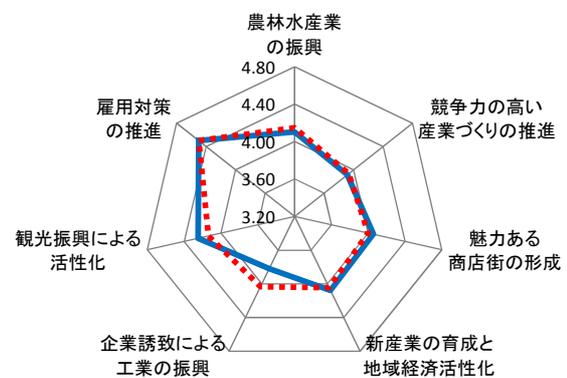


■ 30 歳代

(満足度)

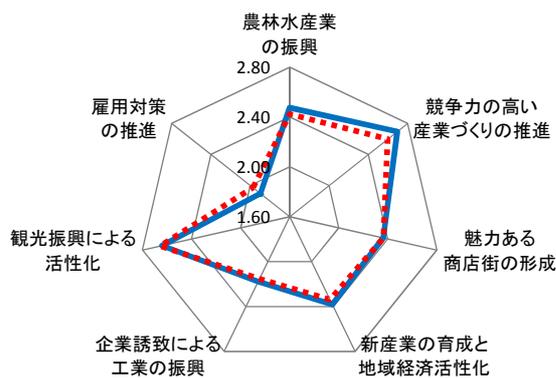


(重要度)

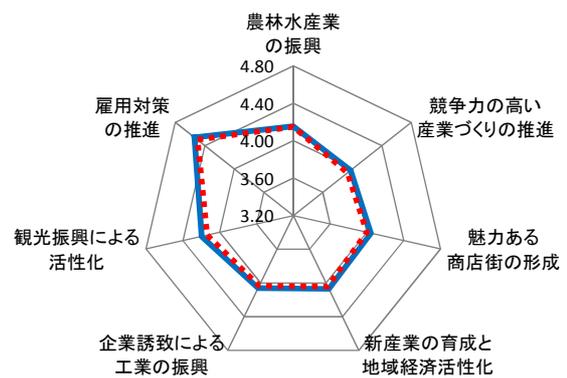


■ 40 歳代

(満足度)



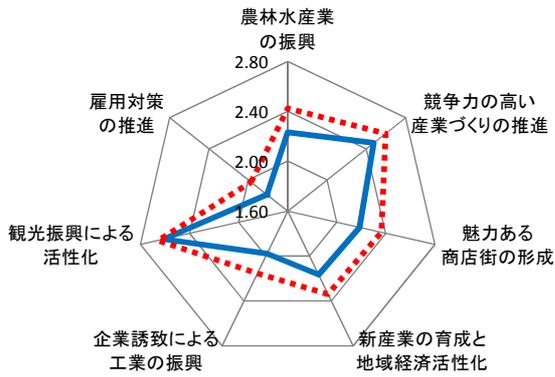
(重要度)



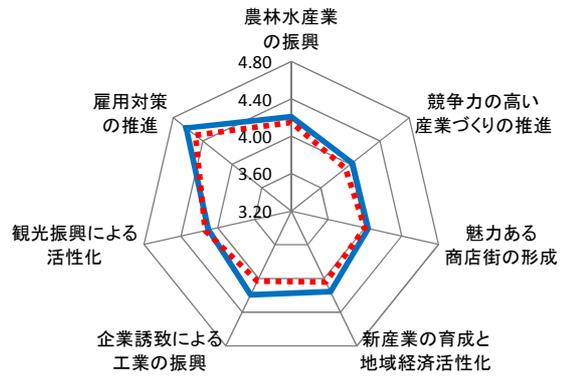
— 当該年齢の指数 - - - 全年齢の指数

■ 50 歳代

(満足度)

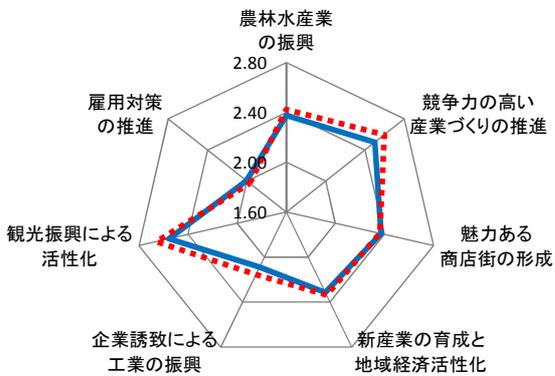


(重要度)

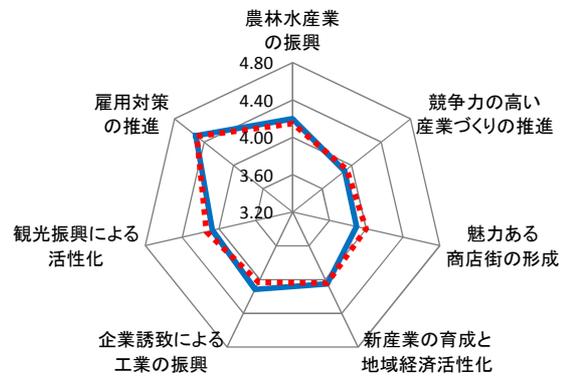


■ 60 歳代

(満足度)

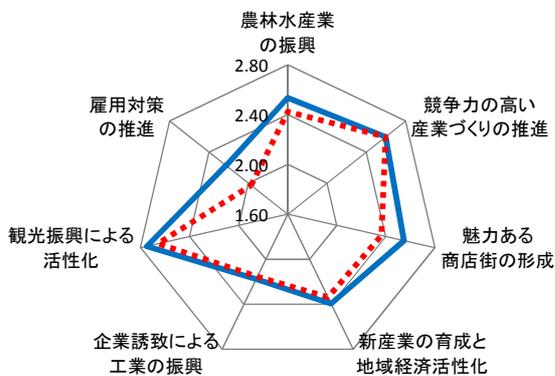


(重要度)

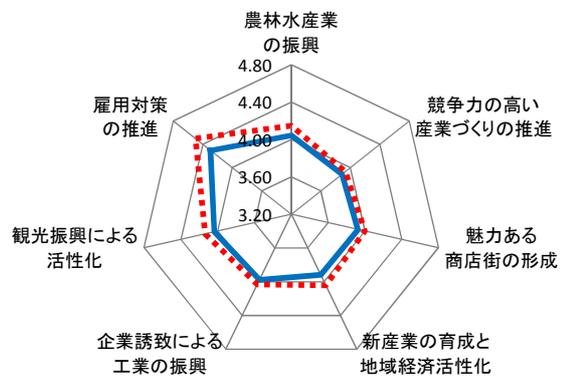


■ 70 歳代以上

(満足度)



(重要度)



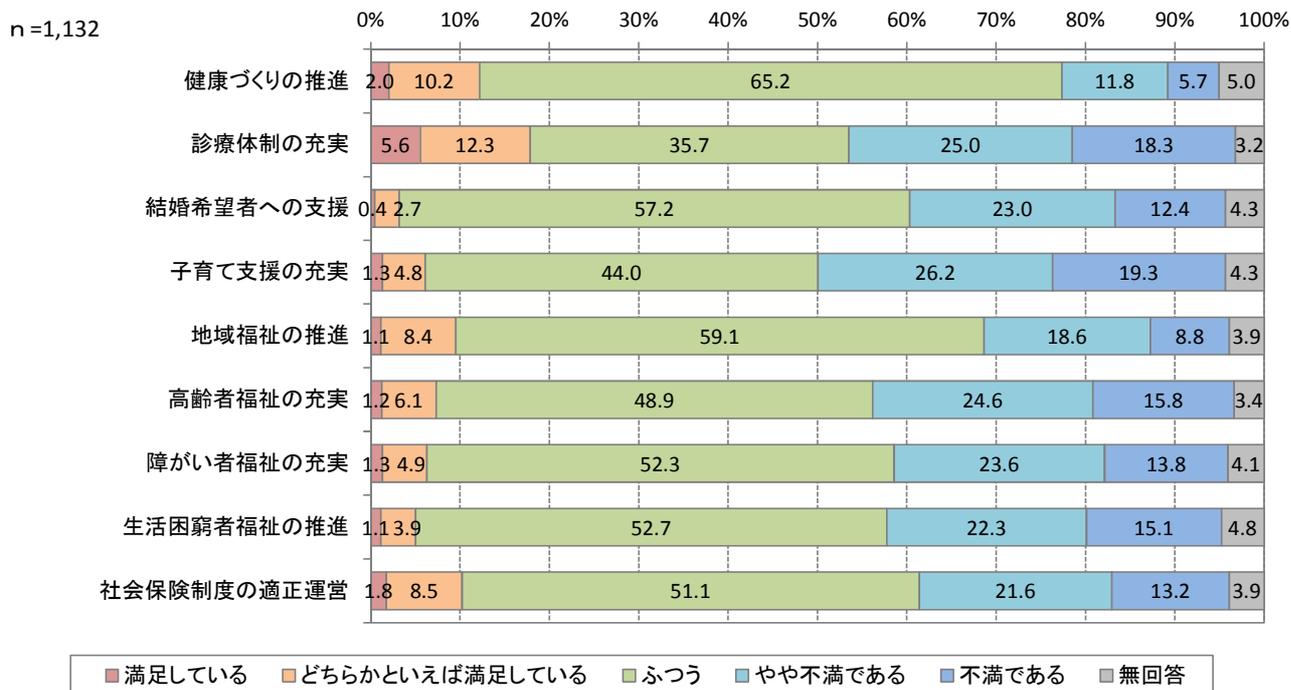
— 当該年齢の指数 - - - 全年齢の指数

【地域で支え合う健やか・安心な暮らしづくり】

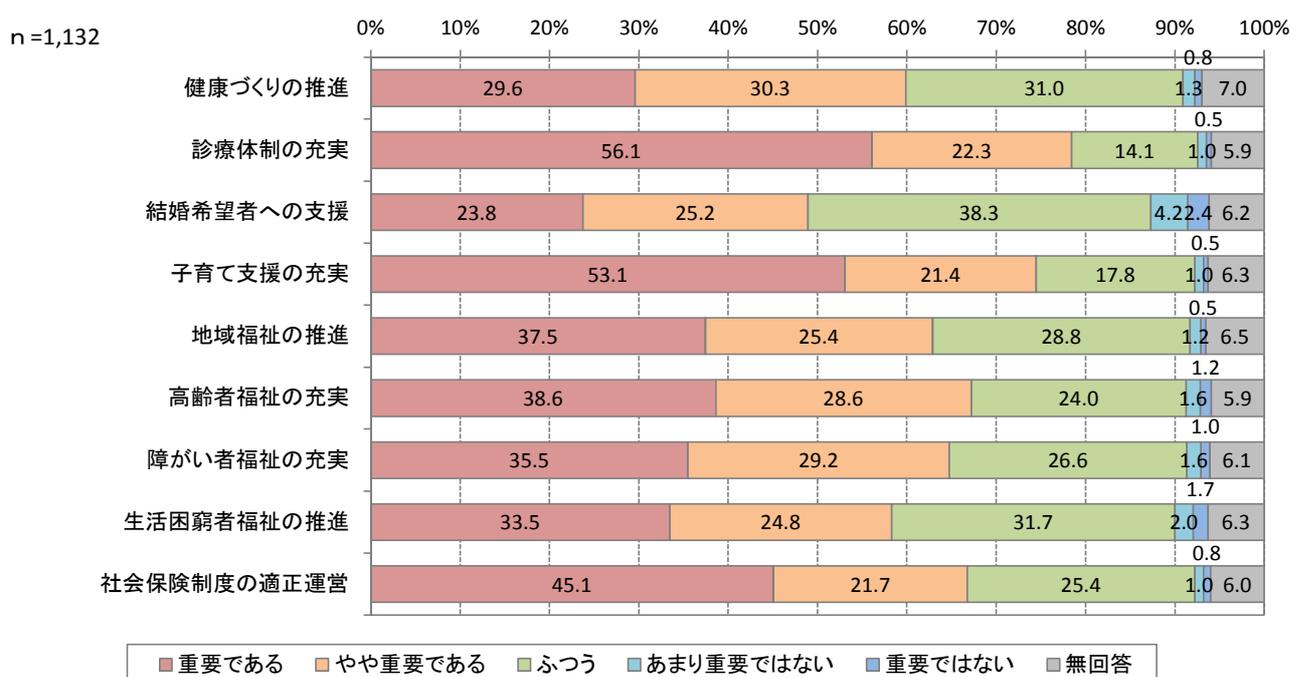
満足度では、「診療体制の充実」で『満足』の割合が比較的高く、「子育て支援の充実」で『不満』の割合が比較的高くなっています。

重要度では、「診療体制の充実」や「子育て支援の充実」で『重要』の割合が高くなっています。

【図-23 地域で支え合う健やか・安心な暮らしづくり分野の施策別満足度の割合】



【図-24 地域で支え合う健やか・安心な暮らしづくり分野の施策別重要度の割合】

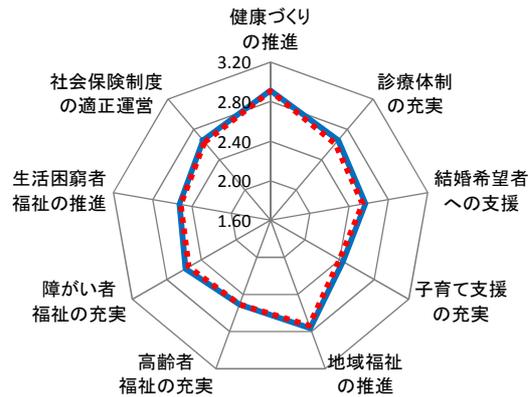


[居住地域別の特性]

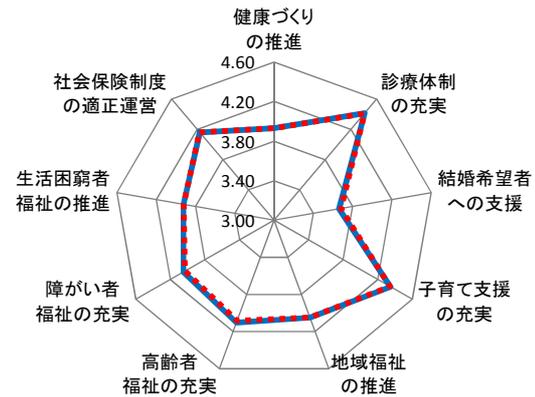
居住地域別にみると、金木地域で「子育て支援の充実」、市浦地域で「結婚希望者の支援」、
「障がい者福祉の充実」等で満足度指数が低くなっています。その一方で、市浦地域では「健康づくりの促進」や「生活困窮者福祉の推進」で満足度指数が高くなっています。

【図-25 居住地域別にみた地域で支え合う健やか・安心な暮らしづくり分野の
施策別満足度指数・重要度指数】

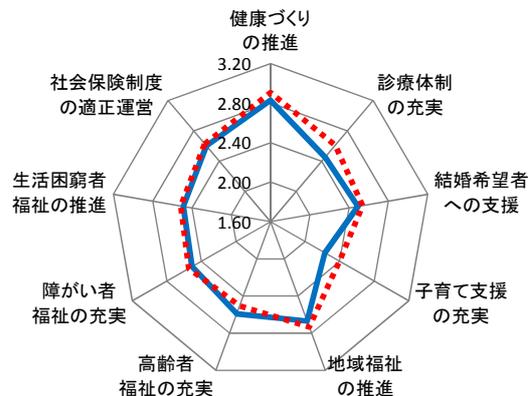
■五所川原地域（満足度）



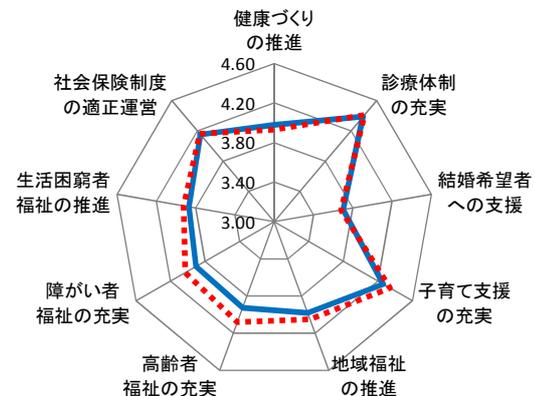
（重要度）



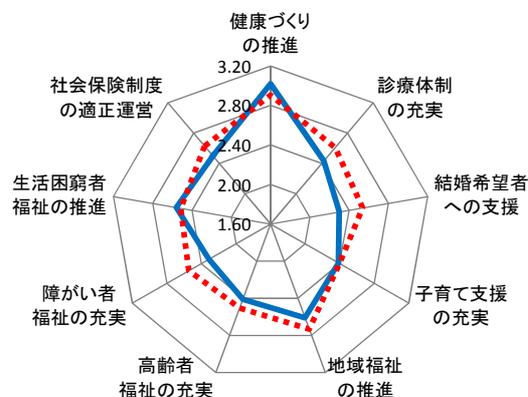
■金木地域（満足度）



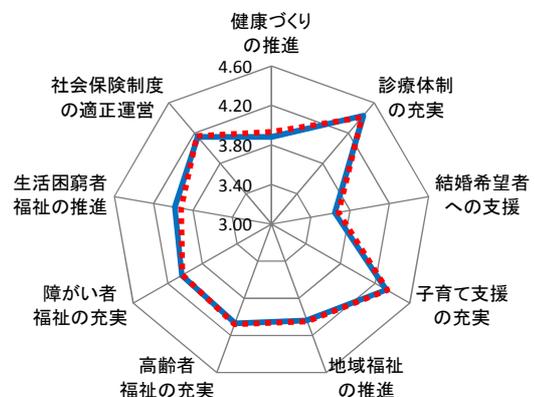
（重要度）



■市浦地域（満足度）



（重要度）



— 当該地域の指数 - - - 市全体の指数

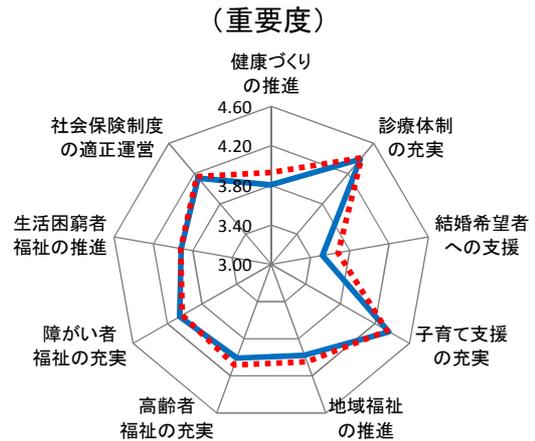
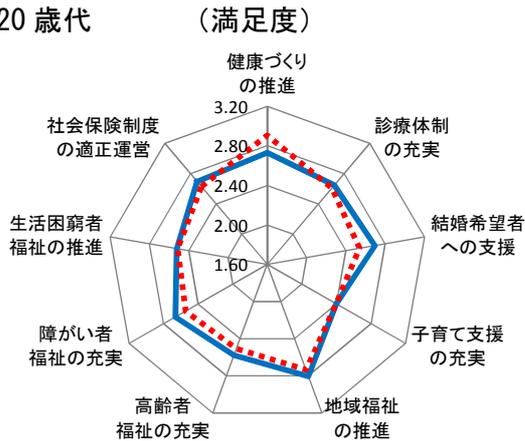
[年齢別の特性]

年齢別にみると、満足度では、全体的に50歳代で指数が低く、70歳代以上で指数が高くなっています。20歳代、30歳代では「結婚希望者への支援」の指数が高くなっています。重要度では全体的に50歳代で指数が高く、30歳代では「子育て支援の充実」の指数が高くなっています。

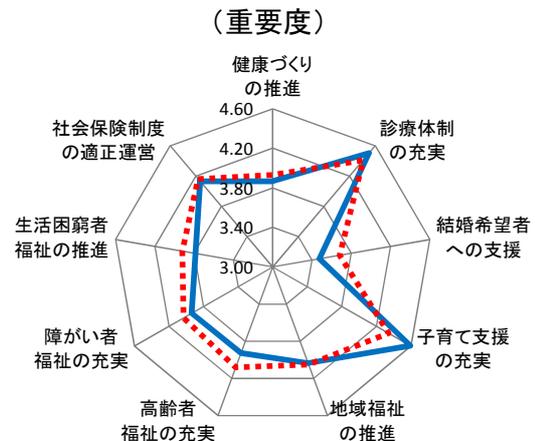
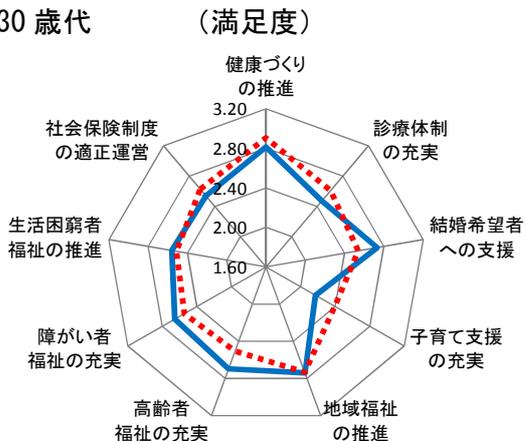
【図-26 年齢別にみた地域で支え合う健やか・安心な暮らしづくり分野の

施策別満足度指数・重要度指数】

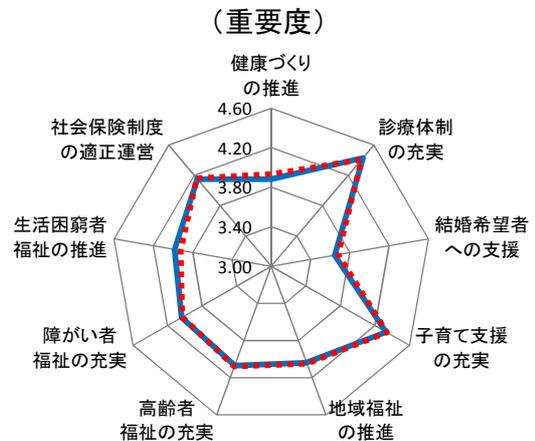
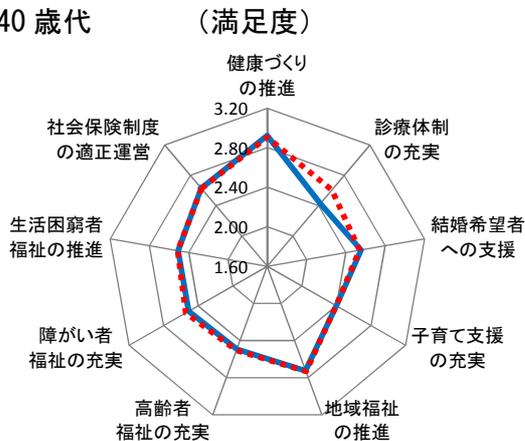
■ 20歳代



■ 30歳代



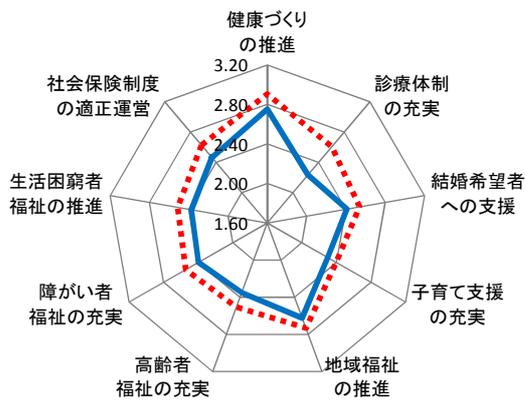
■ 40歳代



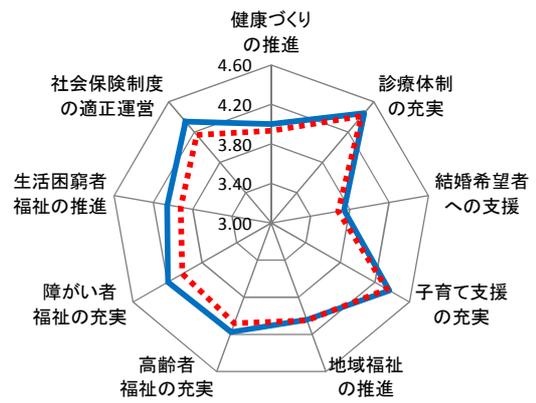
— 当該年齢の指数 - - - 全年齢の指数

■ 50 歳代

(満足度)

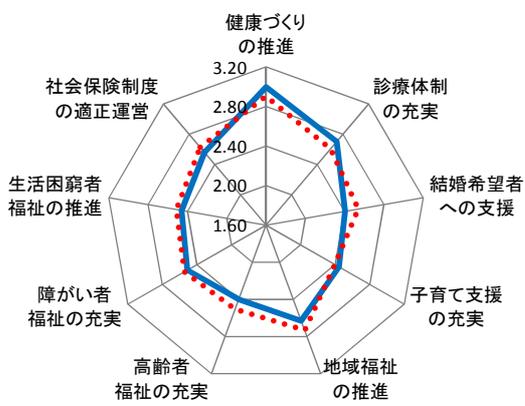


(重要度)

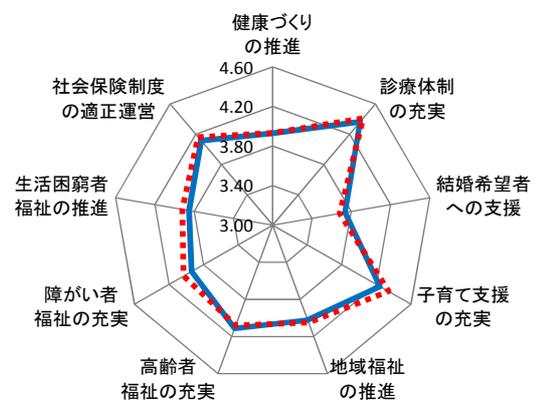


■ 60 歳代

(満足度)

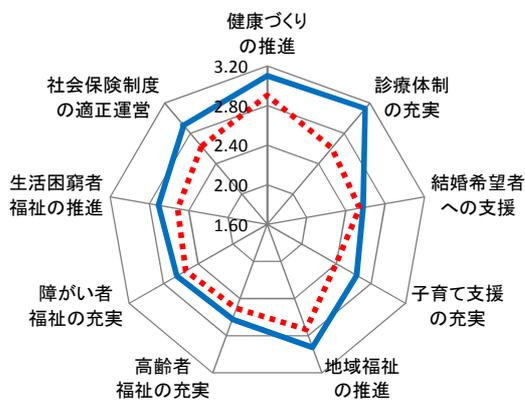


(重要度)

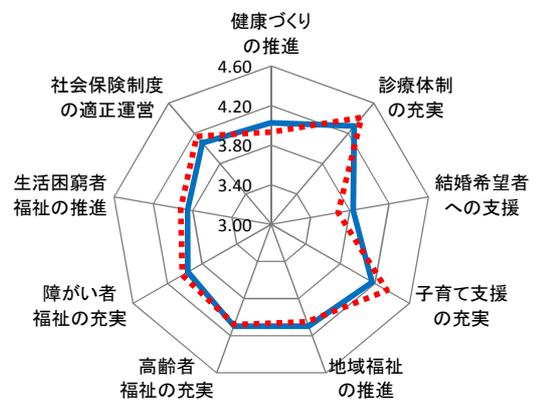


■ 70 歳代以上

(満足度)



(重要度)



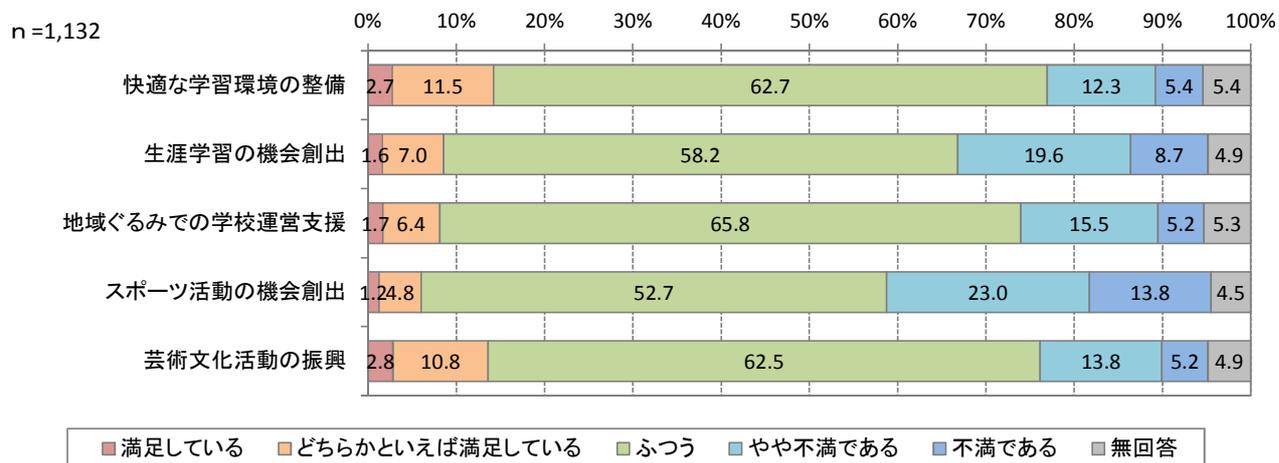
— 当該年齢の指数 - - - 全年齢の指数

【個性を伸ばし育む人財・文化づくり】

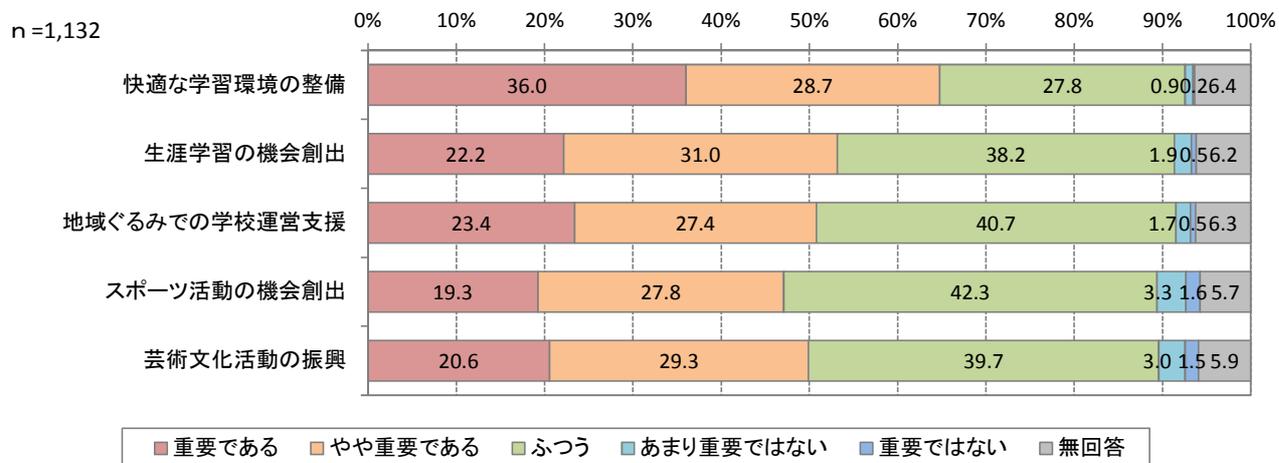
満足度では、「快適な学習環境の整備」で『満足』の割合が比較的高く、「スポーツ活動の機会創出」で『不満』の割合が高くなっています。

重要度では、「快適な学習環境の整備」で『重要』の割合が高くなっています。

【図-27 個性を伸ばし育む人財・文化づくり分野の施策別満足度の割合】



【図-28 個性を伸ばし育む人財・文化づくり分野の施策別重要度の割合】



[居住地域別の特性]

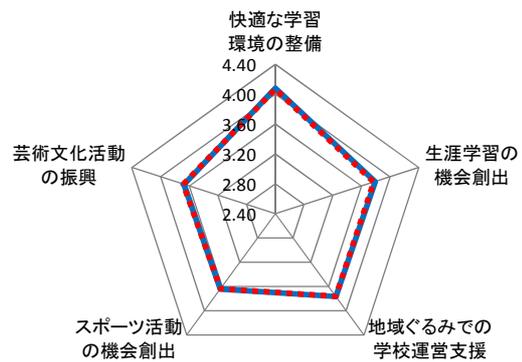
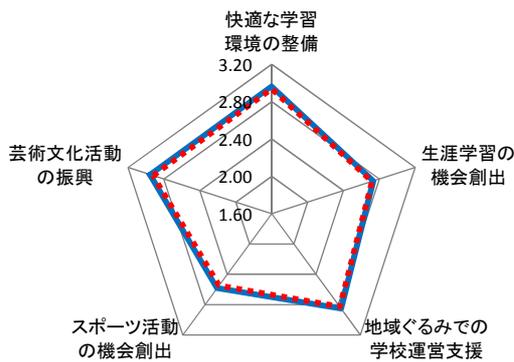
居住地域別にみると、五所川原地域においては概ね市全体の指数と同程度の満足度となっていますが、金木地域や市浦地域においては全般的に満足度指数が低くなっています。市浦地域では、特に「スポーツ活動の機会創出」や「芸術文化活動の振興」で満足度指数が市全体の指数を大きく下回っています。

【図-29 居住地域別にみた個性を伸ばし育む人財・文化づくり分野の

施策別満足度指数・重要度指数】

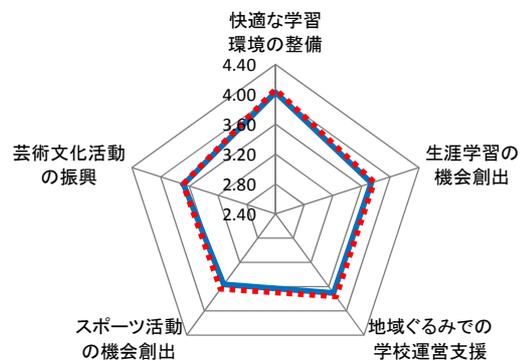
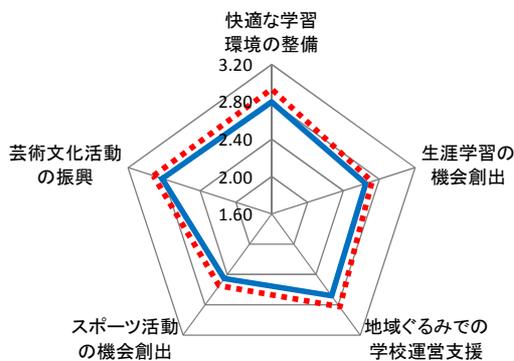
■五所川原地域（満足度）

（重要度）



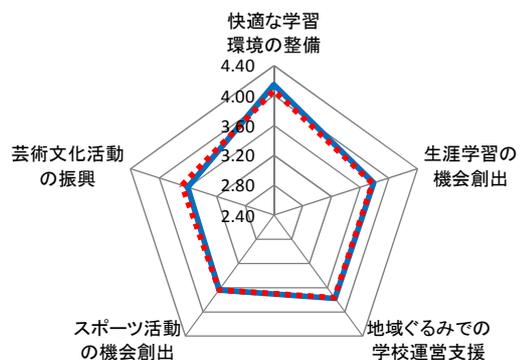
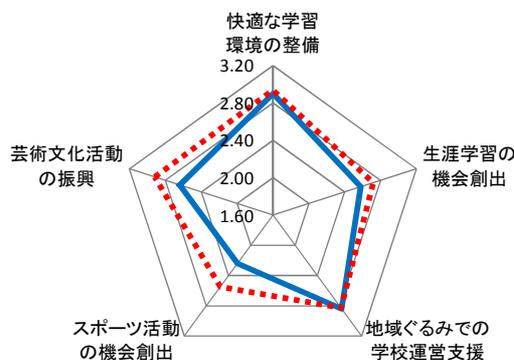
■金木地域（満足度）

（重要度）



■市浦地域（満足度）

（重要度）



— 当該地域の指数 - - - 市全体の指数

[年齢別の特性]

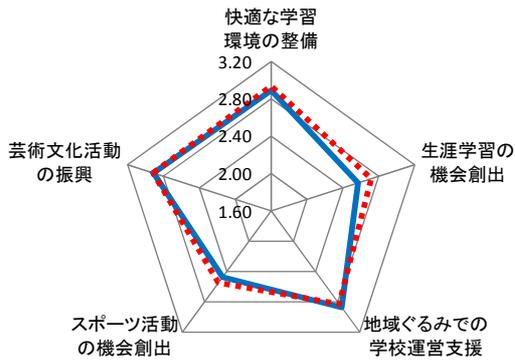
年齢別にみると、満足度では、70歳代以上で指数が高くなっています。また、20歳代、30歳代では「生涯学習の機会創出」の指数が低くなっています。

【図-30 年齢別にみた個性を伸ばし育む人財・文化づくり分野の

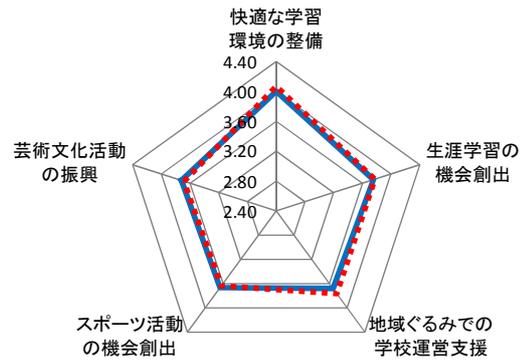
施策別満足度指数・重要度指数】

■ 20歳代

(満足度)

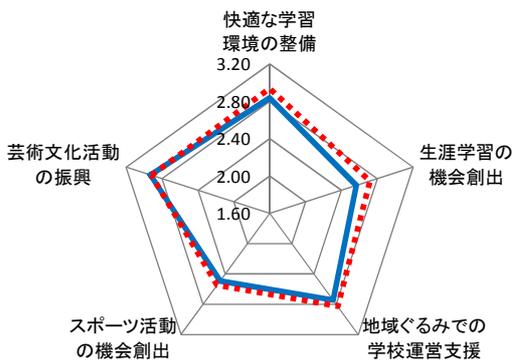


(重要度)

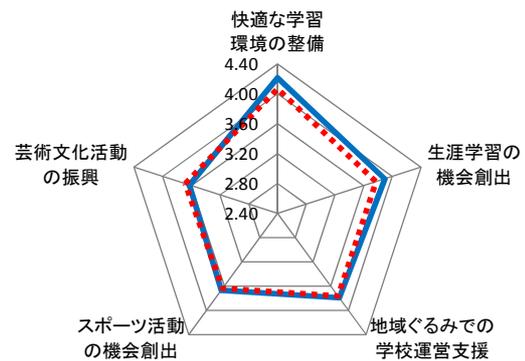


■ 30歳代

(満足度)

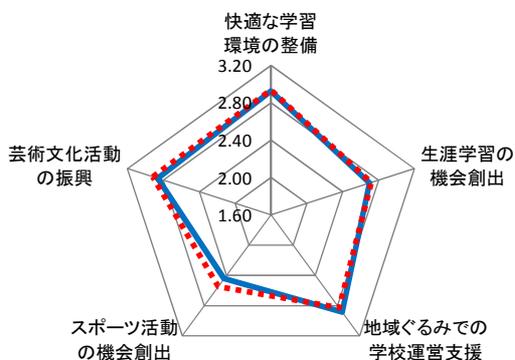


(重要度)

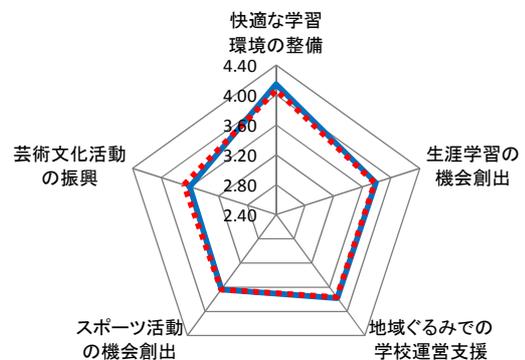


■ 40歳代

(満足度)

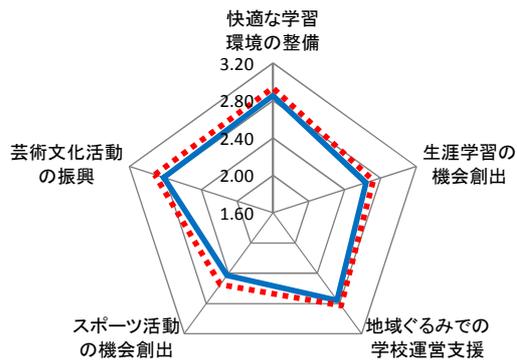


(重要度)

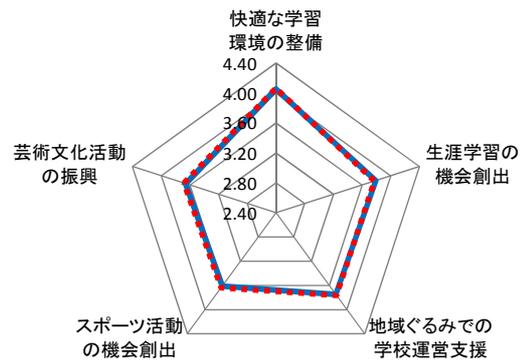


— 当該年齢の指数 - - - 全年齢の指数

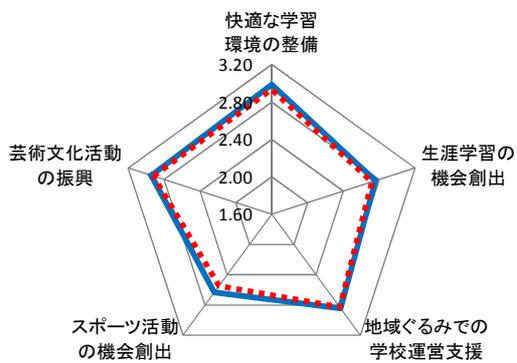
■ 50 歳代 (満足度)



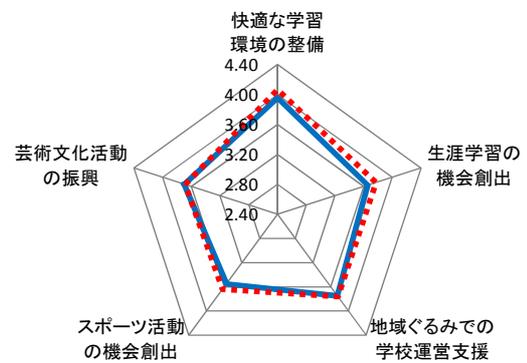
(重要度)



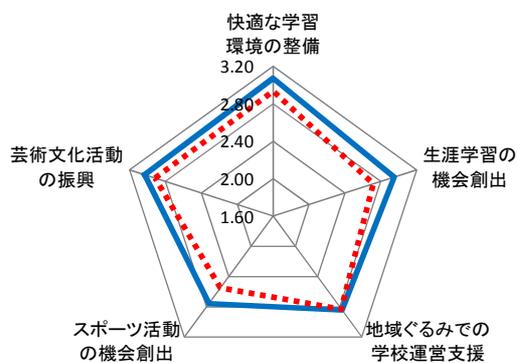
■ 60 歳代 (満足度)



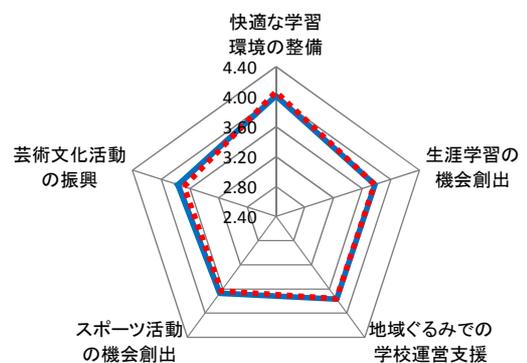
(重要度)



■ 70 歳代以上 (満足度)



(重要度)



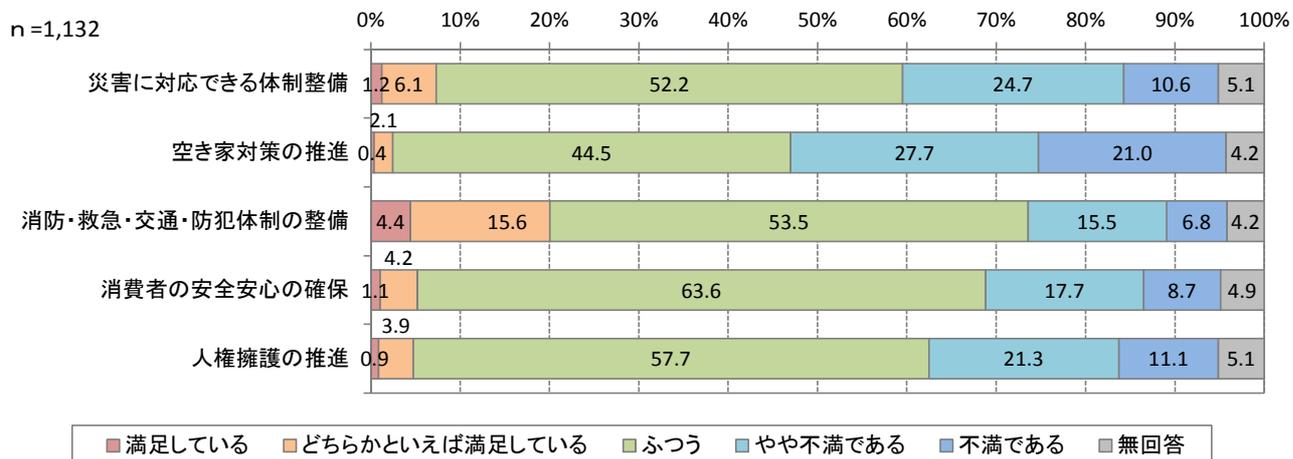
— 当該年齢の指数 - - - 全年齢の指数

【命と生活を守る安全・安心づくり】

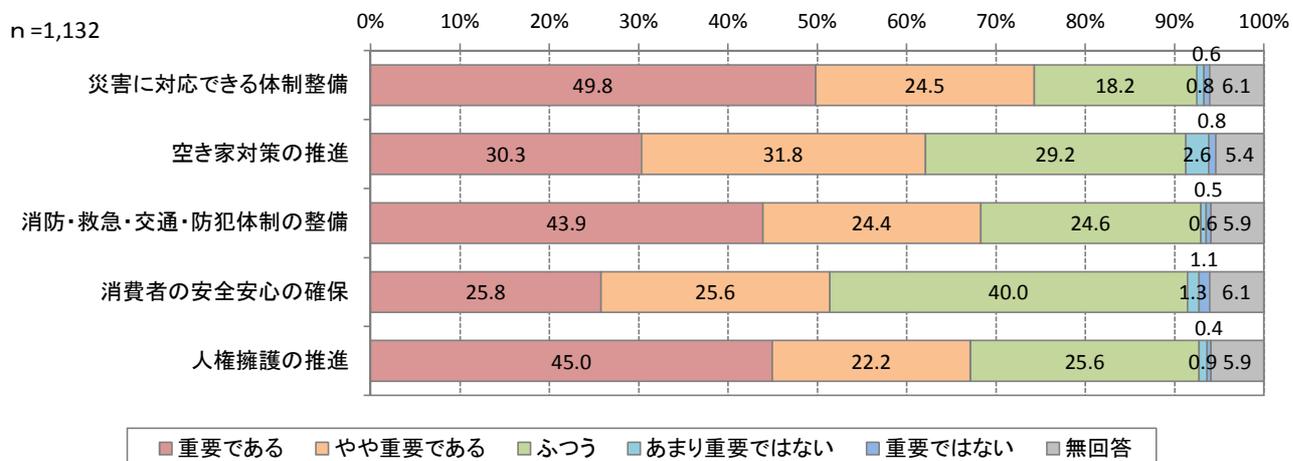
満足度では、「消防・救急・交通・防犯体制の整備」で『満足』の割合が高く、「空き家対策の推進」で『不満』の割合が高くなっています。

重要度では、「災害に対応できる体制整備」で『重要』の割合が比較的高くなっています。

【図-31 命と生活を守る安全・安心づくり分野の施策別満足度の割合】



【図-32 命と生活を守る安全・安心づくり分野の施策別重要度の割合】



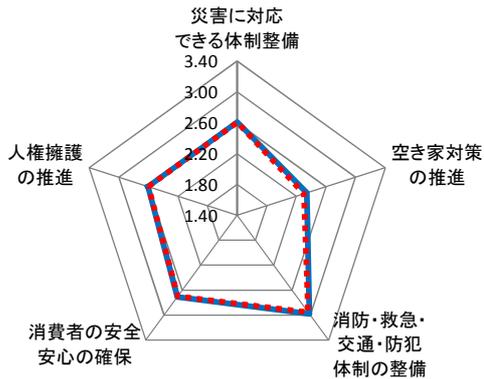
[居住地域別の特性]

居住地域別にみると、金木地域、市浦地域で「空き家対策の推進」や「消防・救急・交通・防犯体制の整備」で満足度指数が低くなっています。また、金木地域では「空き家対策の推進」で重要度指数が市全体の指数よりも高くなっています。

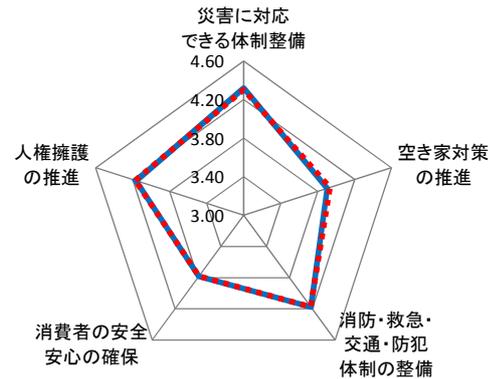
【図-33 居住地域別にみた命と生活を守る安全・安心づくり分野の

施策別満足度指数・重要度指数】

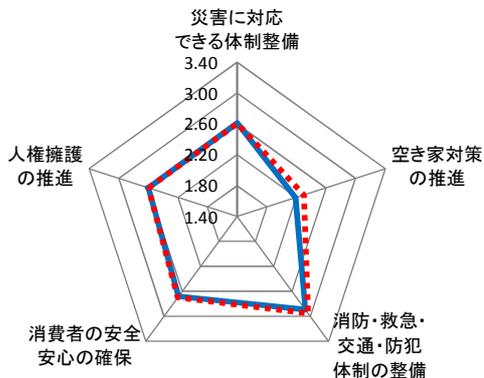
■五所川原地域（満足度）



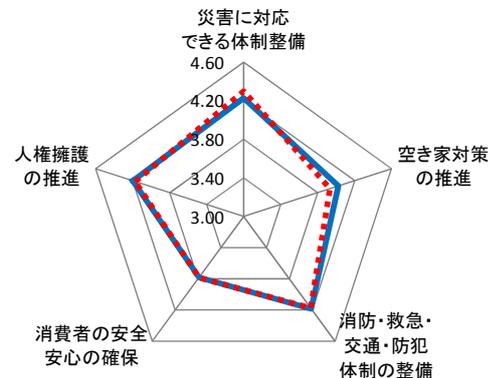
（重要度）



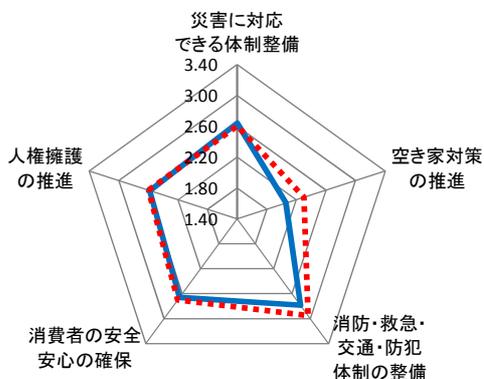
■金木地域（満足度）



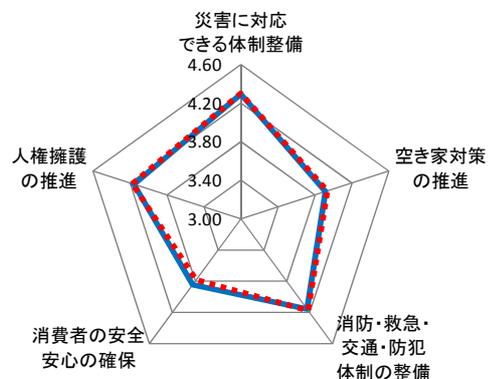
（重要度）



■市浦地域（満足度）



（重要度）



— 当該地域の指数 - - - 市全体の指数

[年齢別の特性]

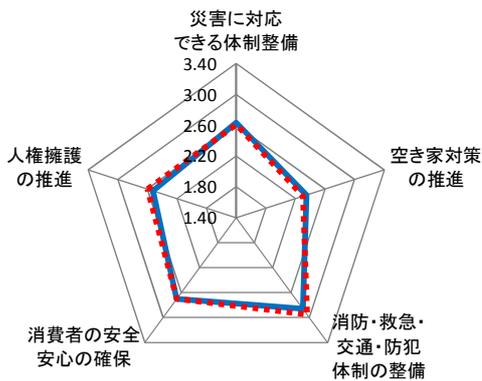
年齢別にみると、満足度では、全体的に30歳代、50歳代で指数が低く、70歳代以上で指数が高くなっています。
 重要度では50歳代の指数が全体的に高く、30歳代では「消費者の安全安心の確保」の指数が全年齢の指数より低くなっています。

【図-34 年齢別にみた命と生活を守る安全・安心づくり分野の

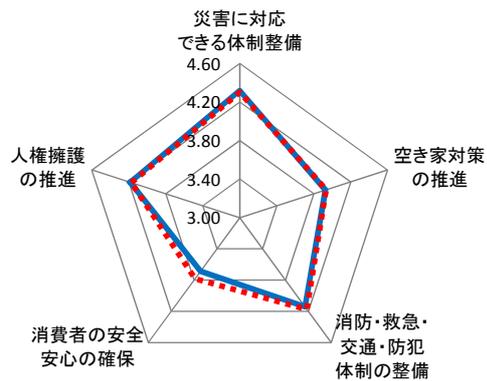
施策別満足度指数・重要度指数】

■ 20 歳代

(満足度)

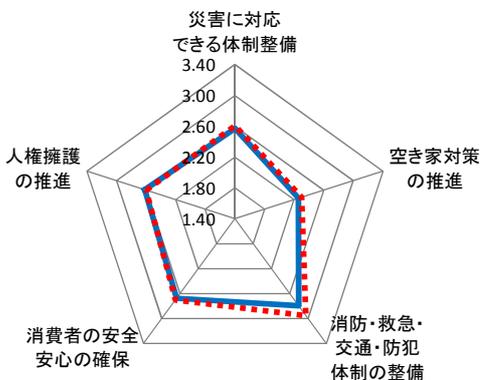


(重要度)

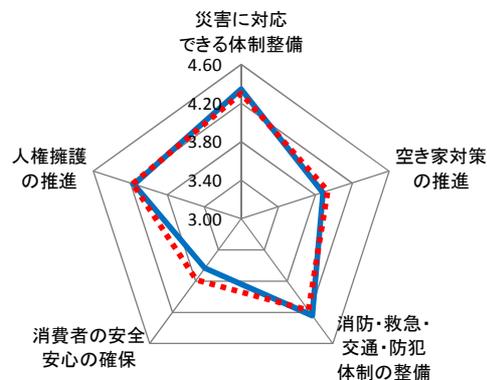


■ 30 歳代

(満足度)

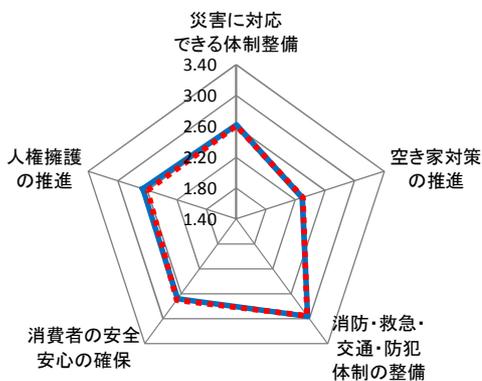


(重要度)

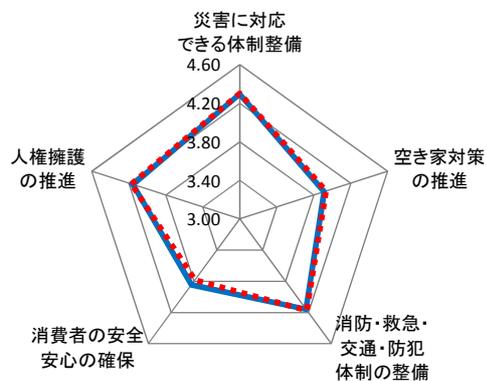


■ 40 歳代

(満足度)



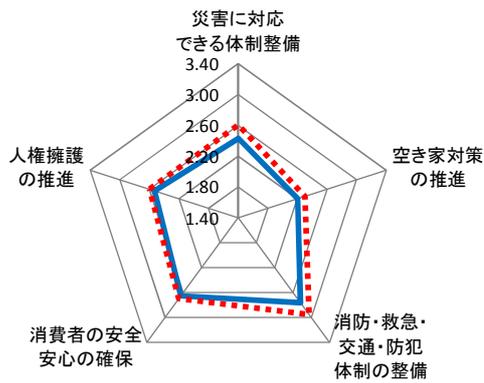
(重要度)



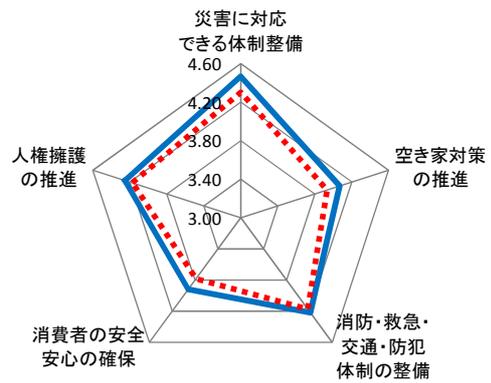
— 当該年齢の指数 - - - 全年齢の指数

■ 50 歳代

(満足度)

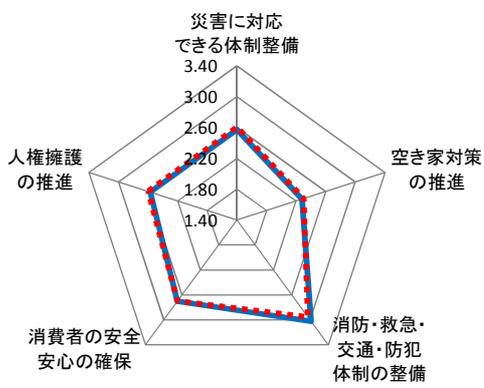


(重要度)

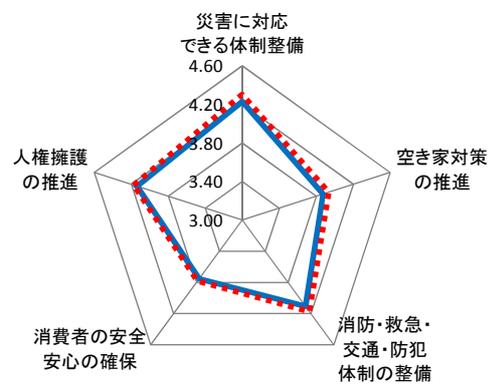


■ 60 歳代

(満足度)

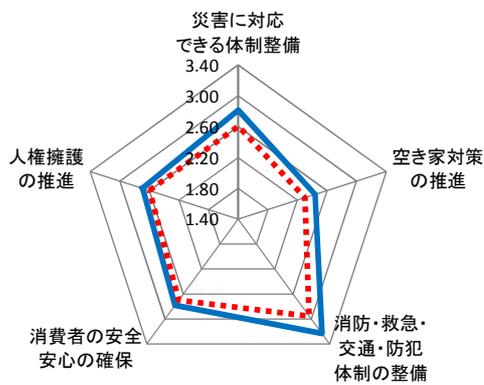


(重要度)

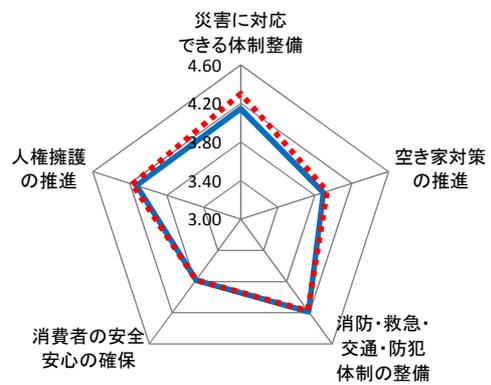


■ 70 歳代以上

(満足度)



(重要度)

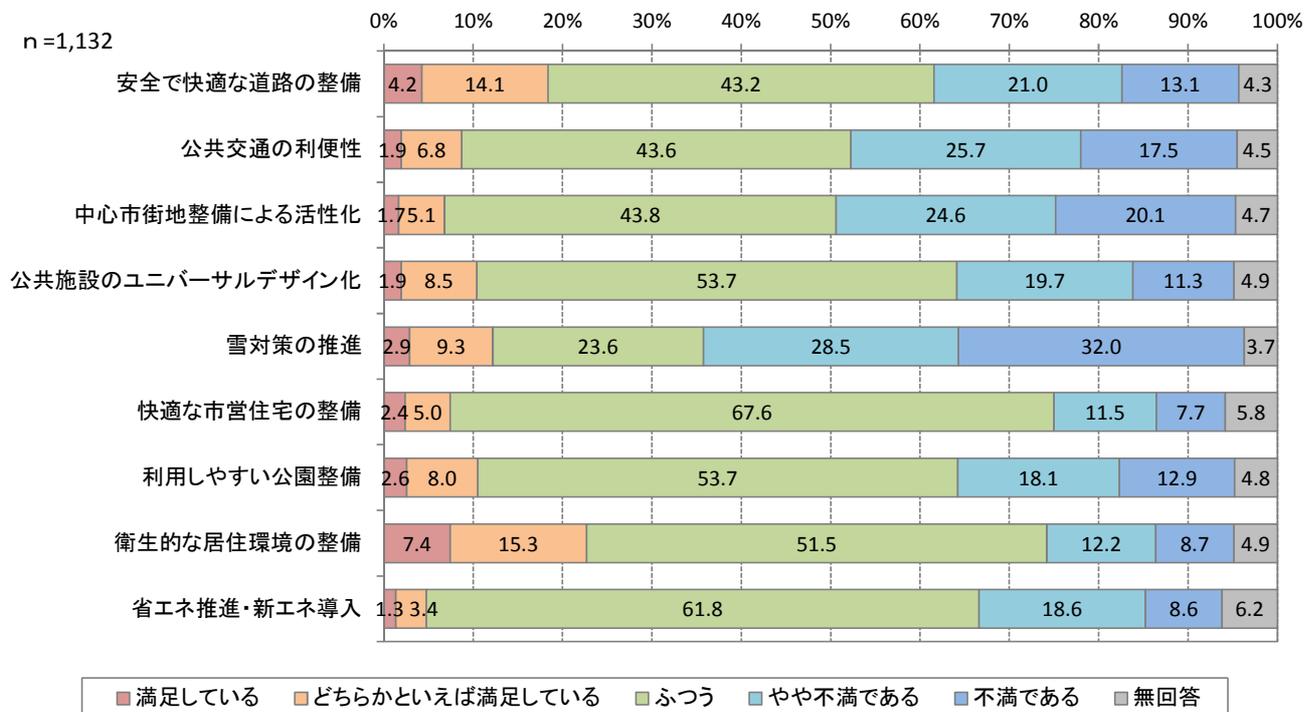


— 当該年齢の指数 - - - 全年齢の指数

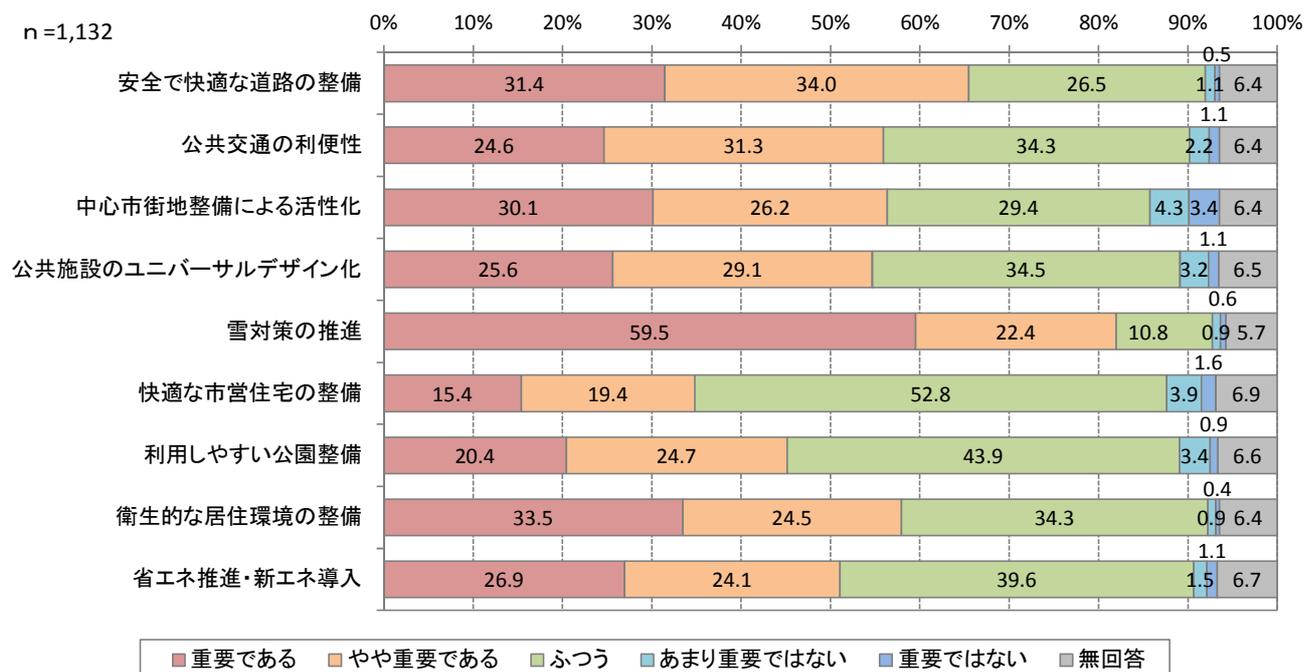
【快適で質の高い環境・住まいづくり】

満足度では、「衛生的な居住環境の整備」や「安全で快適な道路の整備」で『満足』の割合が比較的高く、「雪対策の推進」で『不満』の割合が高くなっています。
重要度では、「雪対策の推進」で『重要』の割合が高くなっています。

【図-35 快適で質の高い環境・住まいづくり分野の施策別満足度の割合】



【図-36 快適で質の高い環境・住まいづくり分野の施策別重要度の割合】



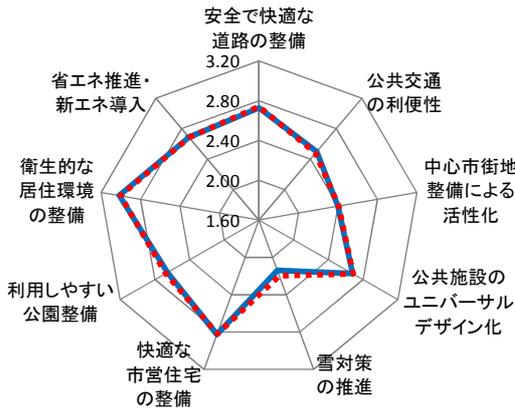
[居住地域別の特性]

居住地域別にみると、五所川原地域で「雪対策の推進」の満足度が他地域より低くなっています。また、市浦地域では「中心市街地整備による活性化」で満足度指数が市全体の指数よりも高くなっています。

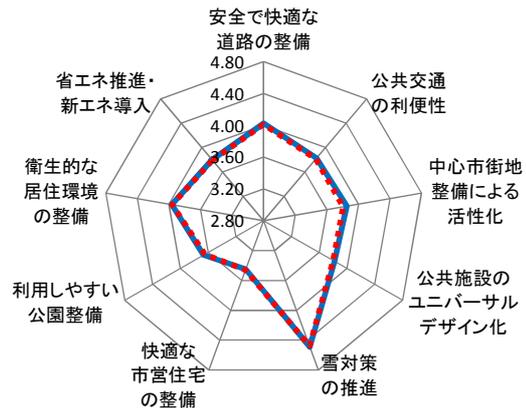
【図-37 居住地域別にみた快適で質の高い環境・住まいづくり分野の

施策別満足度指数・重要度指数】

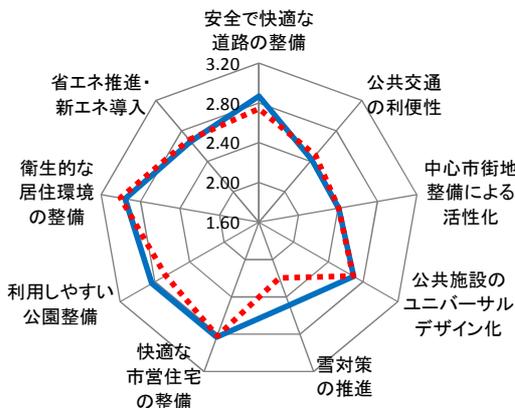
■五所川原地域（満足度）



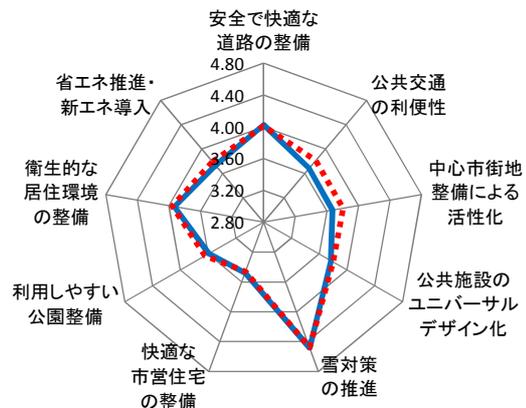
（重要度）



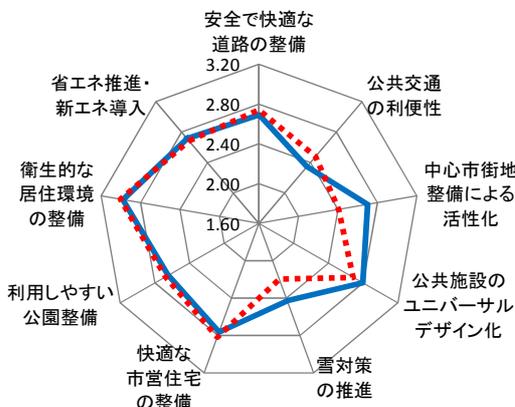
■金木地域（満足度）



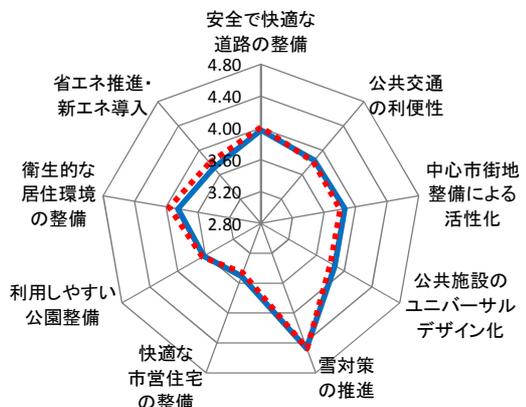
（重要度）



■市浦地域（満足度）



（重要度）



— 当該地域の指数 - - - 市全体の指数

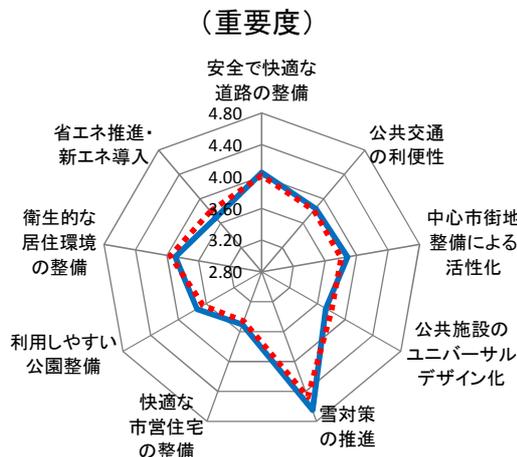
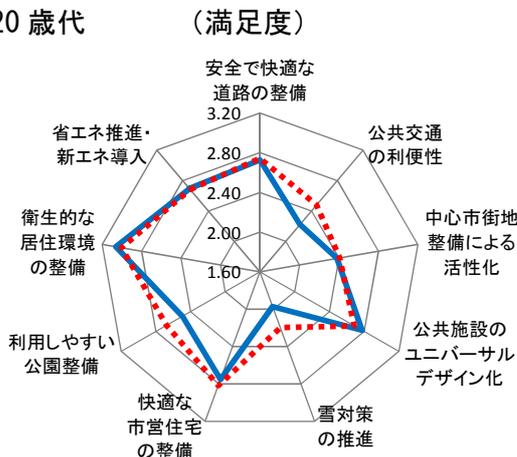
[年齢別の特性]

年齢別にみると、満足度では、全体的に30歳代、50歳代で指数が低く、60歳代以上で指数が高くなっています。

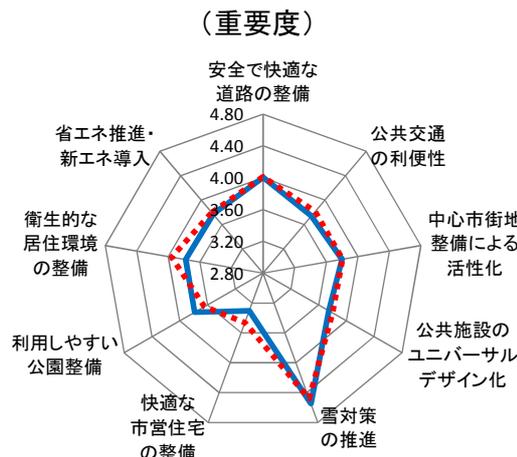
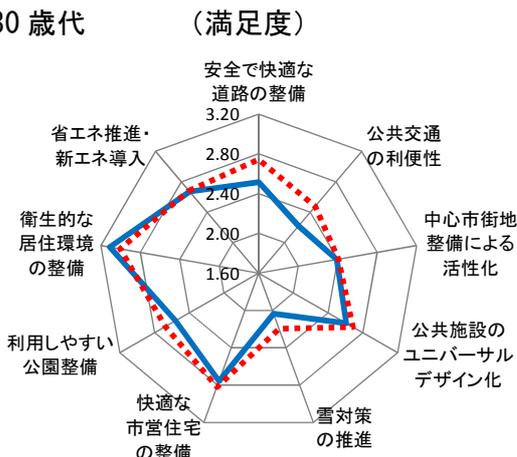
【図-38 年齢別にみた快適で質の高い環境・住まいづくり分野の

施策別満足度指数・重要度指数】

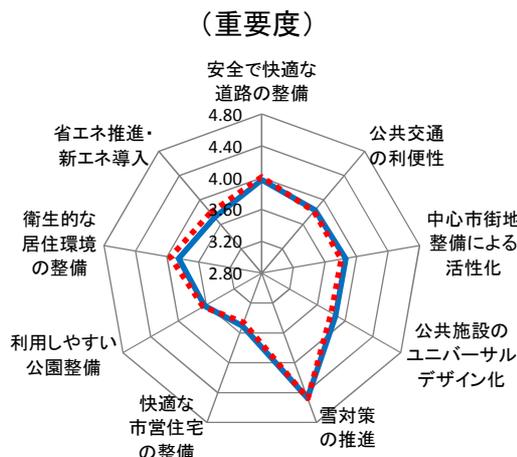
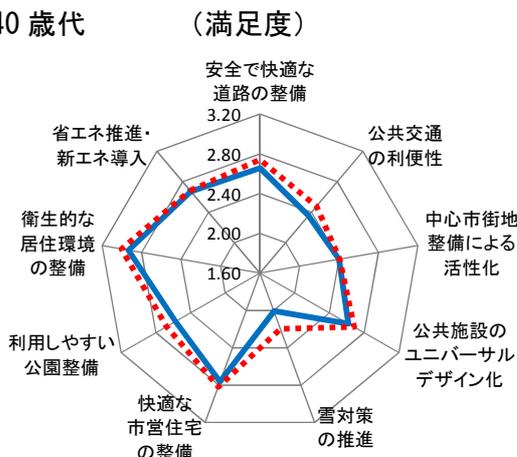
■ 20 歳代



■ 30 歳代



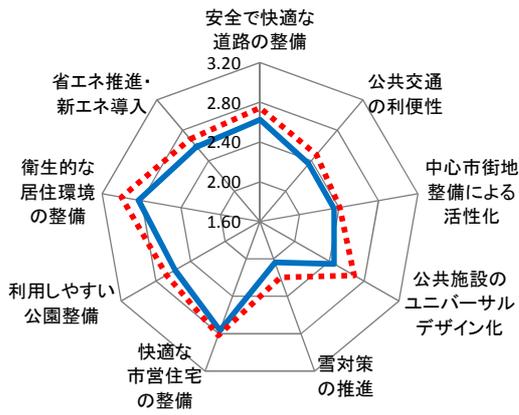
■ 40 歳代



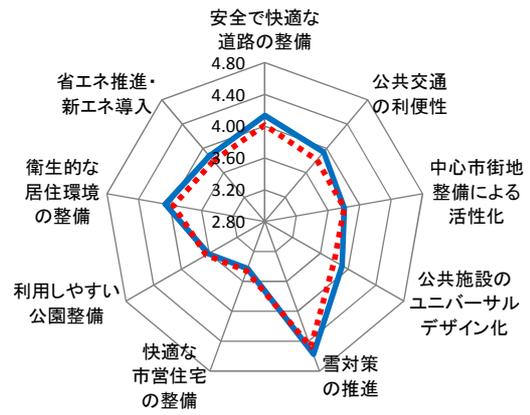
— 当該年齢の指数 - - - 全年齢の指数

■ 50 歳代

(満足度)

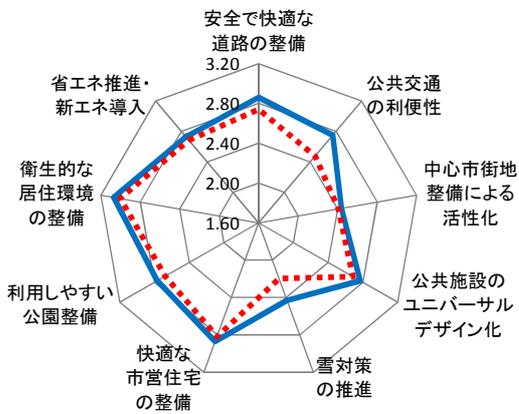


(重要度)

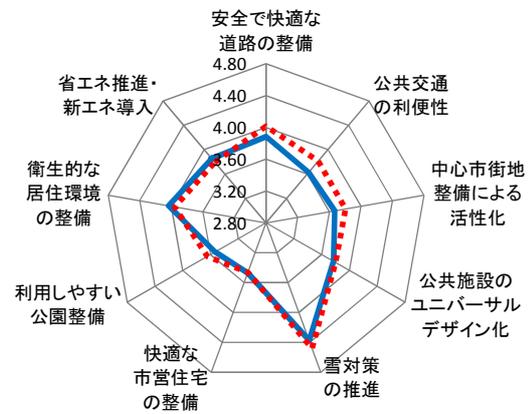


■ 60 歳代

(満足度)

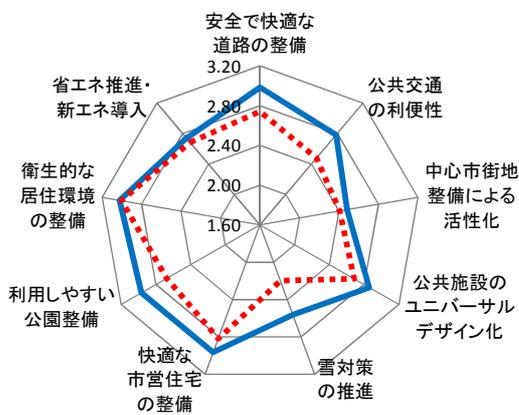


(重要度)

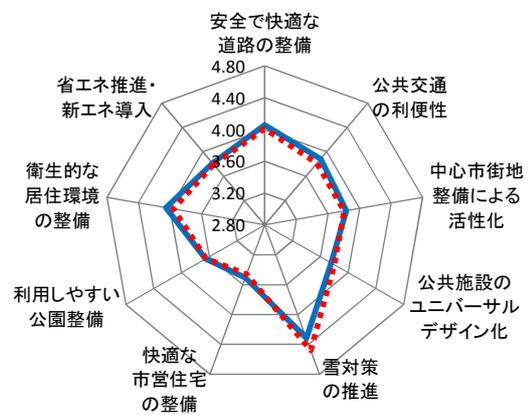


■ 70 歳代以上

(満足度)



(重要度)



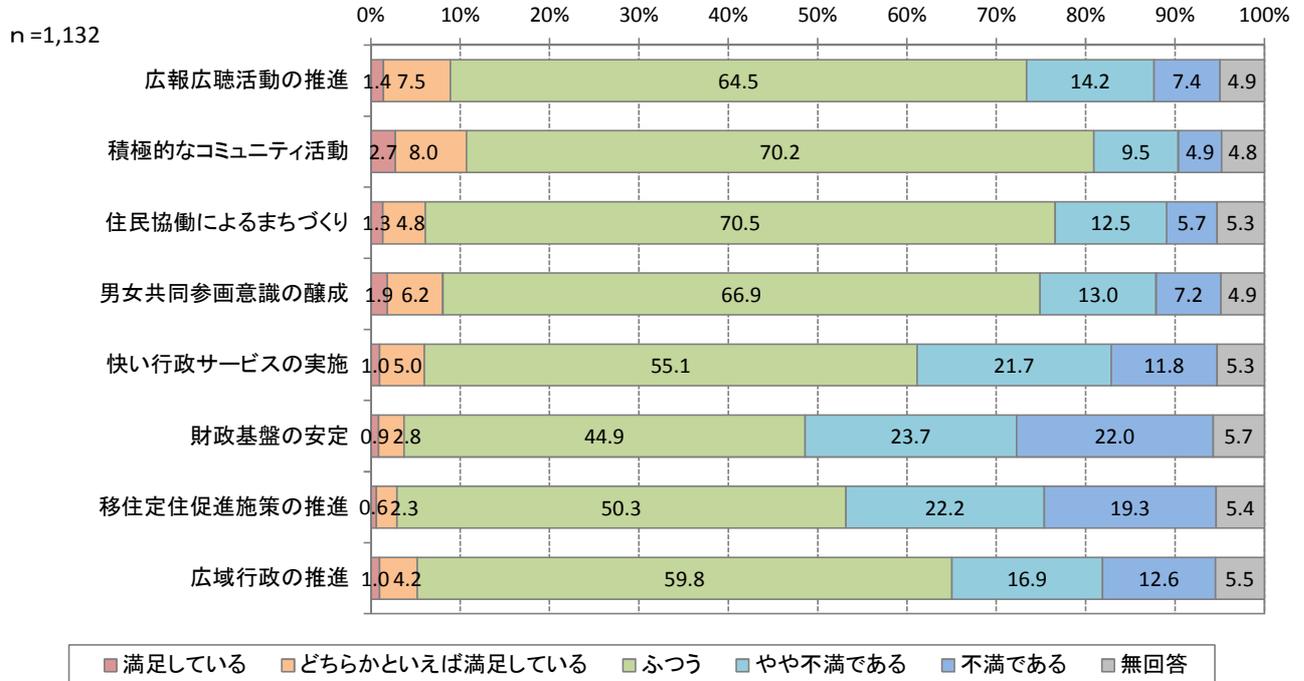
— 当該年齢の指数 - - - 全年齢の指数

【共にすすめる持続可能なまちづくり】

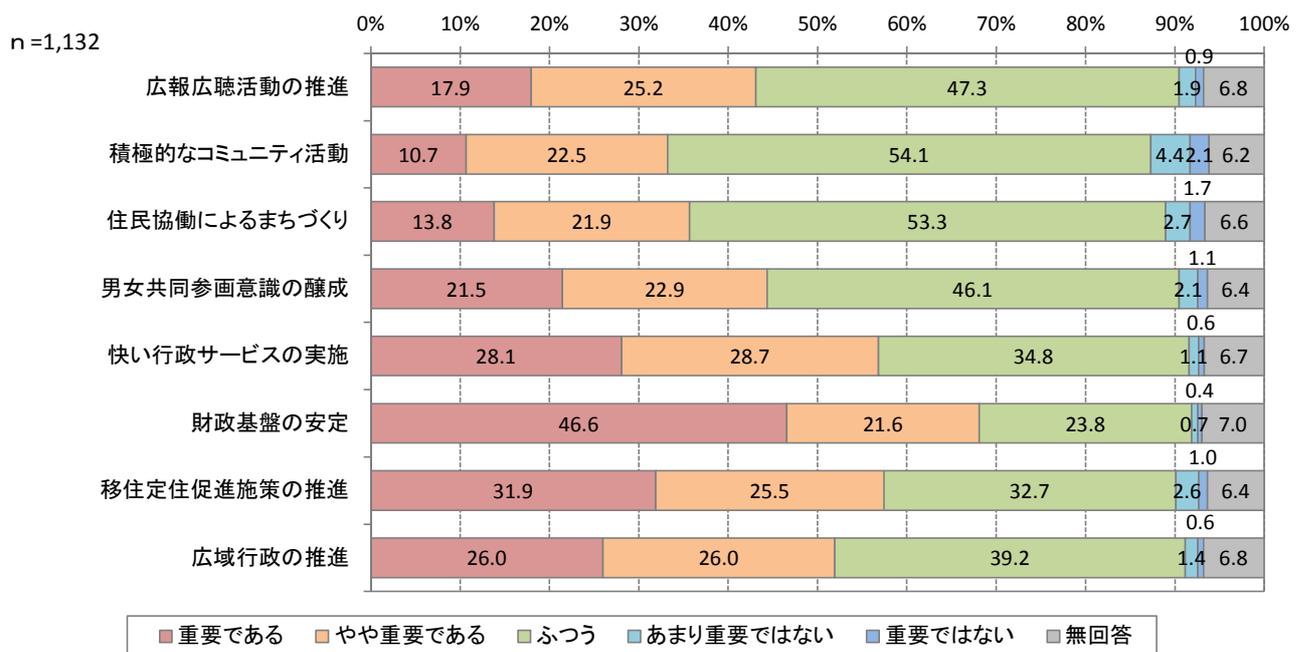
満足度では、「積極的なコミュニティ活動」で『満足』の割合が比較的高く、「財政基盤の安定」で『不満』の割合が高くなっています。

重要度では、「財政基盤の安定」で『重要』の割合が高くなっています。

【図-39 共にすすめる持続可能なまちづくり分野の施策別満足度の割合】



【図-40 共にすすめる持続可能なまちづくり分野の施策別重要度の割合】



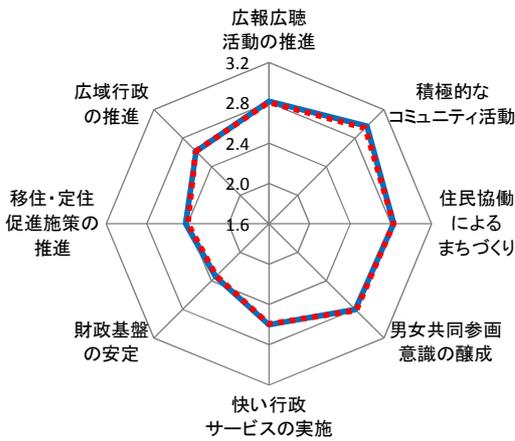
[居住地域別の特性]

居住地域別にみると、市浦地域で「広報広聴活動の推進」や「積極的なコミュニティ活動」の満足度が他地域より低くなっています。また、市浦地域では「広域行政の推進」、「移住・定住促進施策の推進」、「財政基盤の安定」及び「早い行政サービスの実施」で重要度指数が市全体の指数よりも高くなっています。

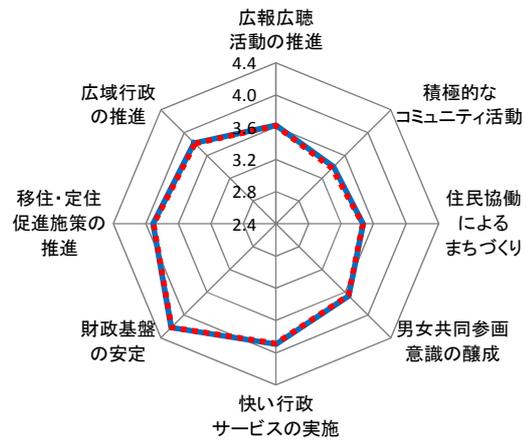
【図-41 居住地域別にみた共にすすめる持続可能なまちづくり分野の

施策別満足度指数・重要度指数】

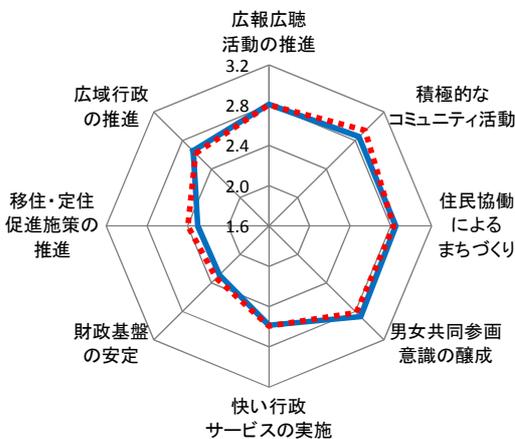
■五所川原地域（満足度）



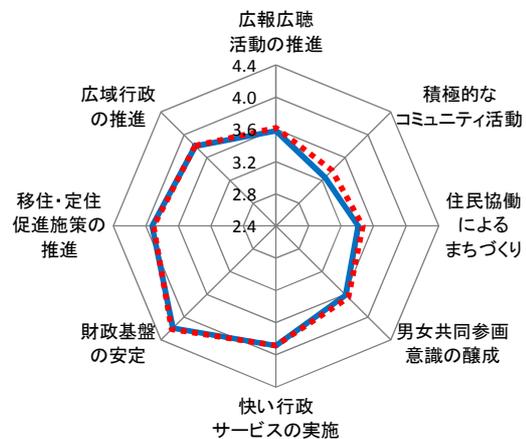
（重要度）



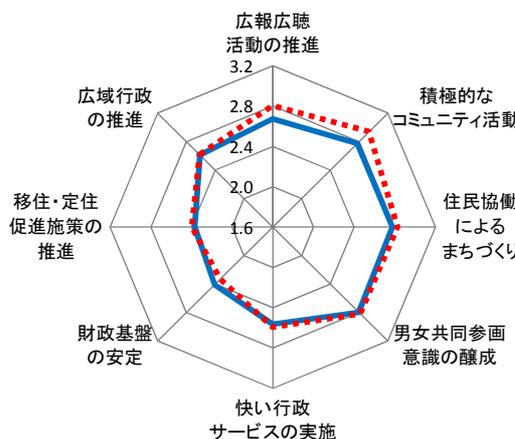
■金木地域（満足度）



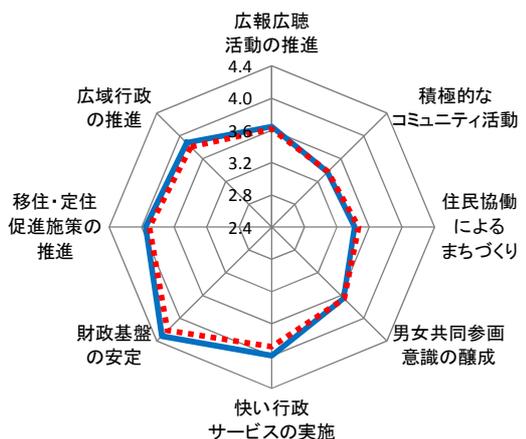
（重要度）



■市浦地域（満足度）



（重要度）



— 当該地域の指数 - - - 市全体の指数

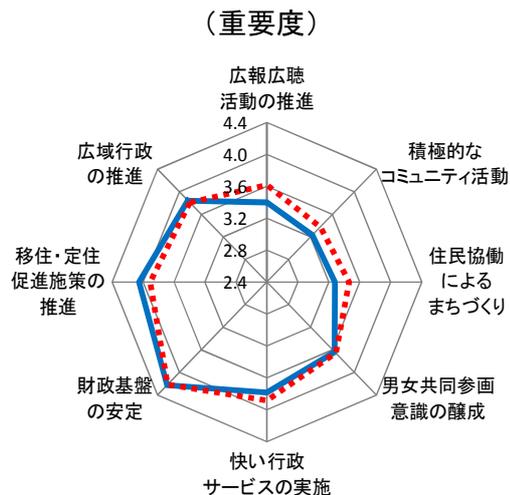
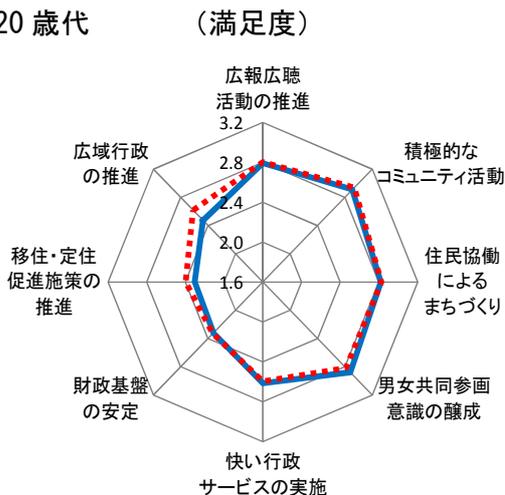
[年齢別の特性]

年齢別にみると、満足度では30歳代で「広域行政の推進」、「移住・定住推進施策の推進」、「財政基盤の安定」の指数が低く、70歳代以上で指数が高くなっています。
 重要度では30歳代の「広域行政の推進」、「移住・定住推進施策の推進」、「財政基盤の安定」が全年齢の指数よりも大きくなっています。

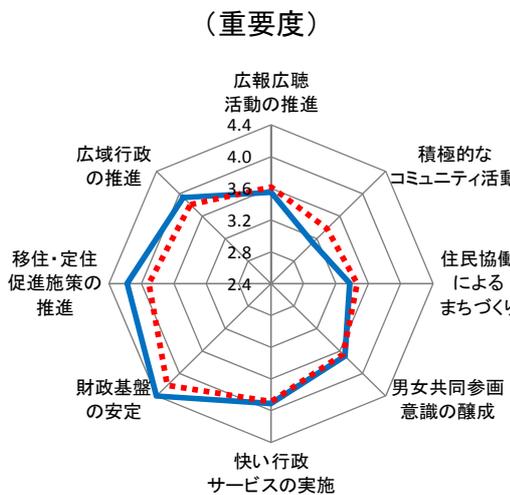
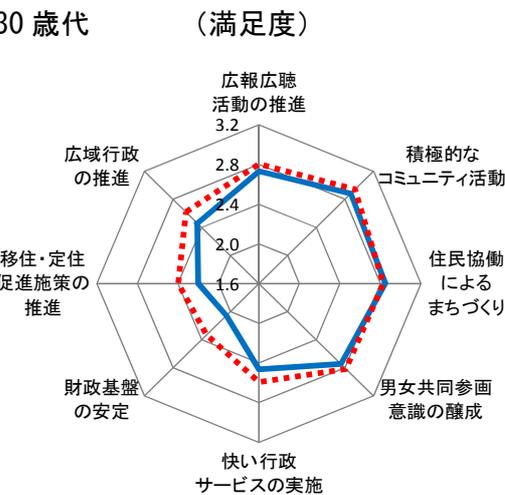
【図-42 年齢別にみた共にすすめる持続可能なまちづくり分野の

施策別満足度指数・重要度指数】

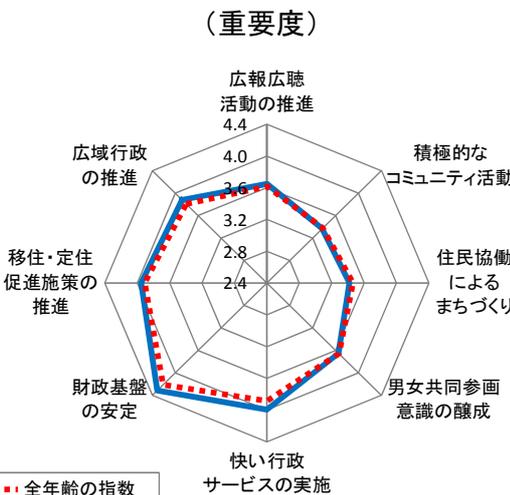
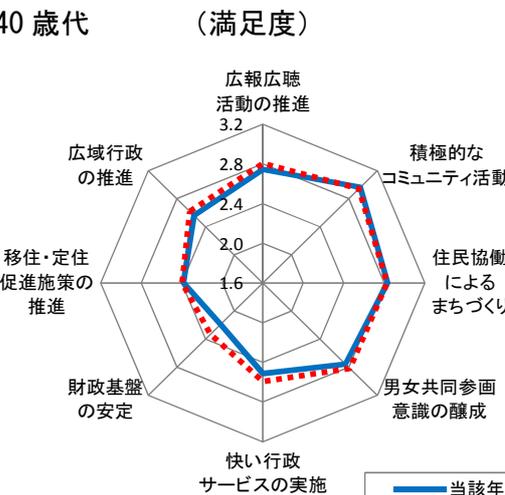
■ 20 歳代



■ 30 歳代



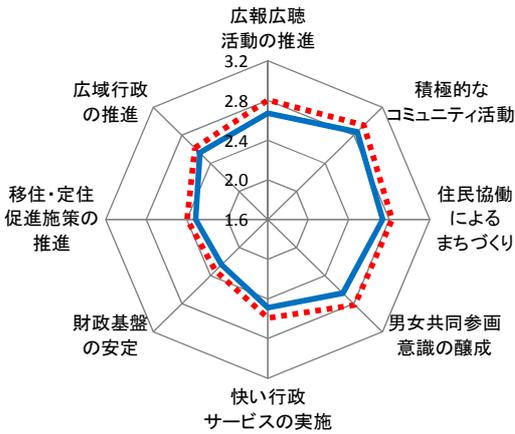
■ 40 歳代



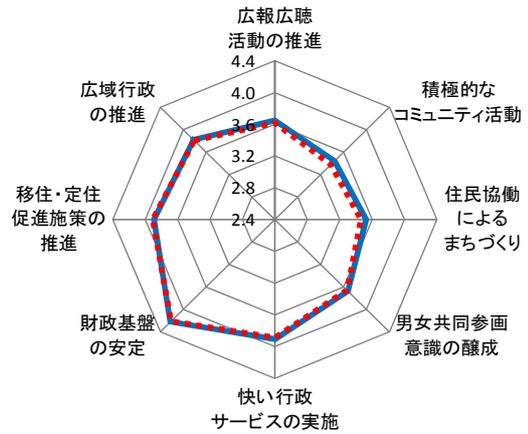
— 当該年齢の指数 - - - 全年齢の指数

■ 50 歳代

(満足度)

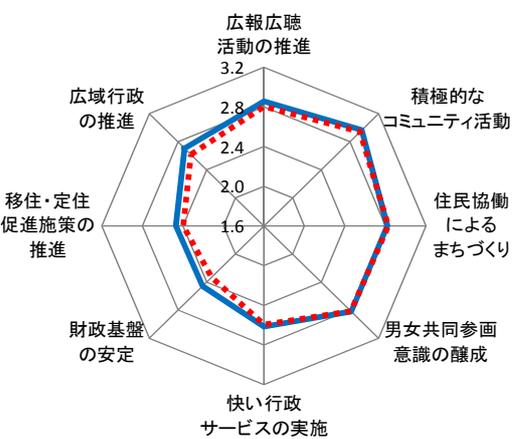


(重要度)

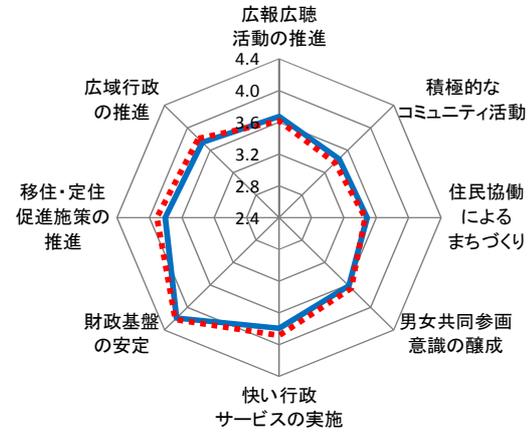


■ 60 歳代

(満足度)

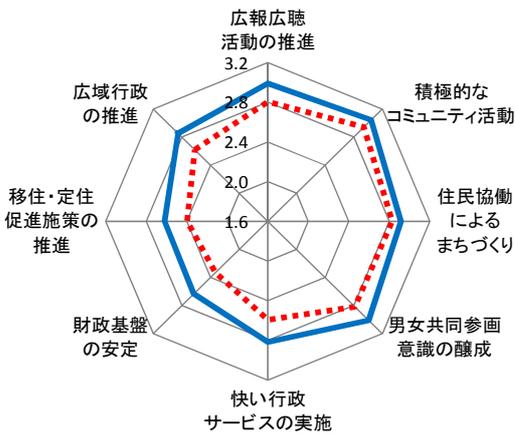


(重要度)

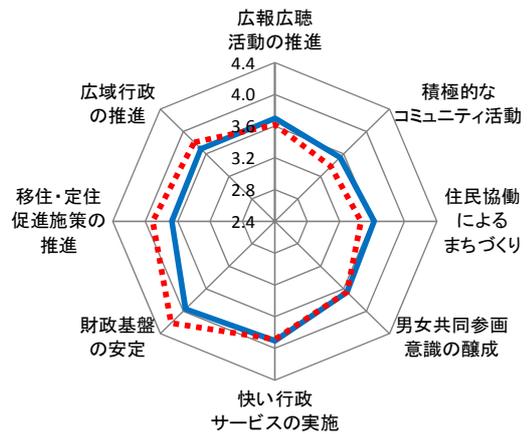


■ 70 歳代以上

(満足度)



(重要度)



— 当該年齢の指数 - - - 全年齢の指数

II-2-3. 考察及び過年度調査(平成 25 年度調査)との比較

政策分野別では、『満足』の割合に大きな違いはありませんが、「地域の強みを生かす産業・賑わいづくり」の『不満』の割合は約 50%と他の施策に比べて 10%以上高い値となっています。

施策別にみると、「衛生的な居住環境の整備」や「消防・救急・交通・防犯体制の整備」、「積極的なコミュニティ活動」など、居住環境や地域のつながり等に対しては、いずれも満足度が高く重要度は低い傾向となっています。これに対して、「雇用対策の推進」や「企業誘致による工業の振興」、「子育て支援の充実」など、地域活性化や少子化に資する施策に対しては、満足度が低く重要度は高い傾向となっており、施策の必要性を示すニーズ指数が高い項目となっています。

このことから、本市では、現状評価に基づき雇用の確保や少子化対策等に関する施策の強化が必要とされていることが考えられます。

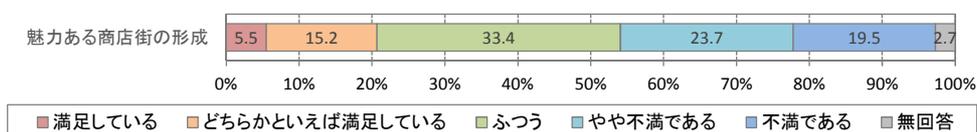
過年度調査（平成 25 年度調査）の結果と比較すると、概ね同じ傾向にありますが、「魅力ある商店街の形成」における『満足』の割合が 20.7%から 8.1%へと大きく減少（-12.6%）しています。これに対し、『災害に対応できる体制整備』や『生涯学習機会の創出』の重要度は 10%以上増加しています。

また、満足度指数、重要度指数、ニーズ指数について過年度調査（平成 25 年度調査）との差を見ると、全ての項目において±0.5 ポイント以下の変化となっています。その中においてニーズ指数の変化が比較的大きくなっており、特に、「新産業の育成と地域経済活性化」や「スポーツ活動の機会創出」、「観光振興による活性化」等の地域経済の活性化や健康増進に対するニーズが高まっているのに対し、「利用しやすい公園整備」や「公共施設のユニバーサルデザイン化」、「省エネ推進・新エネ導入」等に対するニーズが低下しています。

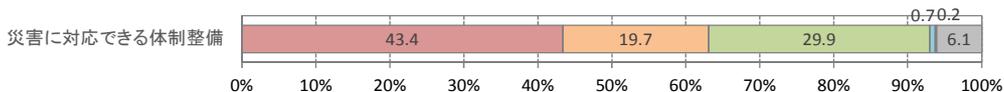
以上のような変化の要因としては、地域経済の疲弊による市街地の空洞化や、近年、全国的に集中豪雨をはじめとする大規模自然災害が増加していること、生涯を通じた自己啓発意識の向上等により、各施策に対する市民の認識（満足度や重要度）に変化が生じていることが考えられます。

【図-43 過年度調査（平成 25 年度調査）における回答結果】

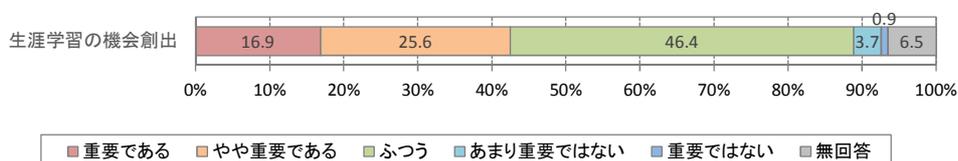
■産業振興分野の満足度の割合



■居住環境整備分野の重要度の割合



■教育文化振興分野の重要度の割合



【表-26 各施策に対する満足度指数、重要度指数、ニーズ指数
の過年度調査（平成 25 年度調査）との差（上位・下位 5 項目）】

■満足度指数

上位5項目		下位5項目		
1	省エネ推進・新エネ導入	0.18	魅力ある商店街の形成	-0.27
2	安全で快適な道路の整備	0.14	新産業の育成と地域経済活性化	-0.26
3	雪対策の推進	0.13	企業誘致による工業の振興	-0.16
4	利用しやすい公園整備	0.12	スポーツ活動の機会創出	-0.15
5	広報広聴活動の推進	0.10	障がい者福祉の充実	-0.12
6	公共交通の利便性	0.05	観光振興による活性化	-0.11

■重要度指数

上位5項目		下位5項目		
1	生涯学習の機会創出	0.19	公共施設のユニバーサルデザイン化	-0.32
2	観光振興による活性化	0.19	利用しやすい公園整備	-0.30
3	災害に対応できる体制整備	0.18	安全で快適な道路の整備	-0.12
4	消費者の安全安心の確保	0.17	公共交通の利便性	-0.09
5	農林水産業の振興	0.17	省エネ推進・新エネ導入	-0.08

■ニーズ指数

上位5項目		下位5項目		
1	新産業の育成と地域経済活性化	0.37	利用しやすい公園整備	-0.41
2	スポーツ活動の機会創出	0.31	公共施設のユニバーサルデザイン化	-0.28
3	観光振興による活性化	0.30	省エネ推進・新エネ導入	-0.28
4	生涯学習の機会創出	0.26	安全で快適な道路の整備	-0.26
5	消費者の安全安心の確保	0.26	雪対策の推進	-0.18

※それぞれの値は、(本調査による値) - (過年度調査(平成 25 年度調査)による値)により算出しています。

Ⅱ-3. 普段の生活について

市民のライフスタイルの動向等を把握するため、以下の項目についてアンケートを行いました。調査結果は、次のとおりとなっています。

- (1) ご近所同士のつながりを大切にしていますか
- (2) 日頃、健康増進のための取組（運動や食生活の改善など）をしていますか
- (3) 防災対策（食料・飲料の備蓄、家具の転倒防止など）をしていますか
- (4) 困った時に気軽に相談できる人はいますか
- (5) 地域のイベントや活動などに参加していますか
- (6) 高齢者や障がい者を援助するボランティア活動に参加していますか
- (7) 公共交通を日常的に利用していますか
- (8) 省エネルギーやリサイクルに取り組んでいますか
- (9) 趣味や教養を身に付けることに取り組んでいますか
- (10) 日常的にスポーツ活動をしていますか
- (11) 日頃市内で買い物をしていますか
- (12) 市の広報紙を読んでいますか
- (13) 市のホームページを見えていますか
- (14) 市のまちづくりの取組や財政状況に関心がありますか

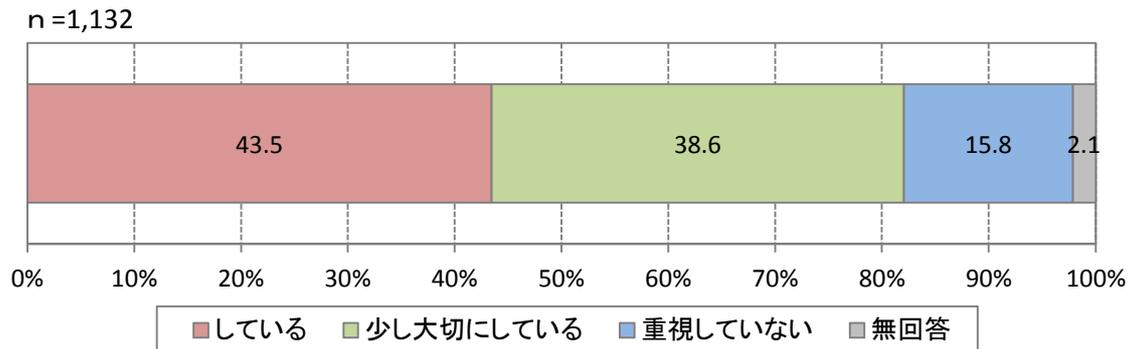
II-3-1.設問別回答結果

(1) ご近所同士のつながりを大切にしていますか

ご近所同士のつながりについて調査したところ、以下の結果となっています。

全体では、「している」が43.5%と最も高くなっています。居住地域別にみると、市浦地域で「している」と答えた人の割合が他の地域より高くなっています。また、年齢別では、年代が上がるほど「している」の割合が高く、若い年代ほど「重視していない」の割合が高くなっています。

【図-44 ご近所同士のつながりを大切にしているかについての割合（全体）】



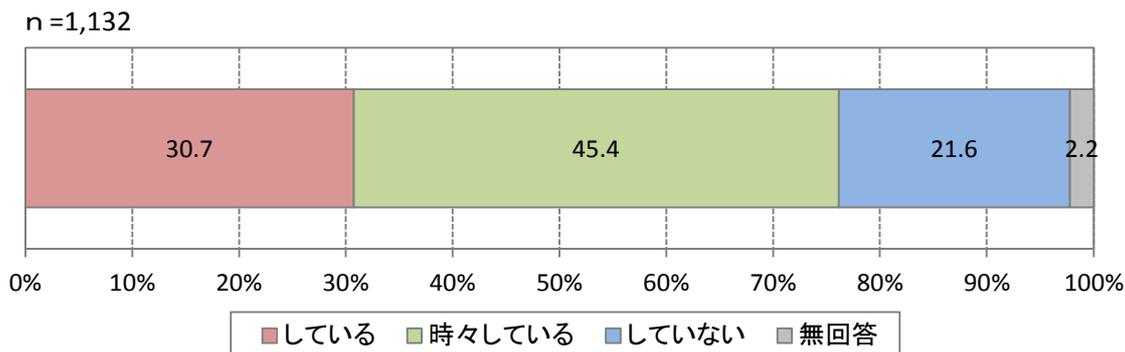
【表-27 ご近所同士のつながりを大切にしているかについての割合（属性別）】

		合計	している (%)	少し大切に している (%)	重視して いない (%)	無回答 (%)
全体		1,132 (100.0)	492 (43.5)	437 (38.6)	179 (15.8)	24 (2.1)
居住地域	五所川原地域	883 (100.0)	391 (44.3)	351 (39.8)	140 (15.9)	1 (0.1)
	金木地域	167 (100.0)	68 (40.7)	66 (39.5)	31 (18.6)	2 (1.2)
	市浦地域	52 (100.0)	31 (59.6)	13 (25.0)	7 (13.5)	1 (1.9)
	無回答	30 (100.0)	2 (6.7)	7 (23.3)	1 (3.3)	20 (66.7)
年齢	20歳代	138 (100.0)	23 (16.7)	66 (47.8)	47 (34.1)	2 (1.4)
	30歳代	146 (100.0)	34 (23.3)	67 (45.9)	45 (30.8)	0 (0.0)
	40歳代	188 (100.0)	59 (31.4)	91 (48.4)	38 (20.2)	0 (0.0)
	50歳代	190 (100.0)	71 (37.4)	88 (46.3)	31 (16.3)	0 (0.0)
	60歳代	227 (100.0)	130 (57.3)	84 (37.0)	10 (4.4)	3 (1.3)
	70歳代以上	223 (100.0)	174 (78.0)	41 (18.4)	8 (3.6)	0 (0.0)
	無回答	20 (100.0)	1 (5.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	19 (95.0)
性別	男性	493 (100.0)	213 (43.2)	204 (41.4)	73 (14.8)	3 (0.6)
	女性	617 (100.0)	278 (45.1)	231 (37.4)	106 (17.2)	2 (0.3)
	無回答	22 (100.0)	1 (4.5)	2 (9.1)	0 (0.0)	19 (86.4)

(2) 日頃、健康増進のための取組（運動や食生活の改善など）をしていますか

日頃の健康増進のための取組について調査したところ、以下の結果となっています。
 全体では、「時々している」が45.4%と最も高くなっています。居住地域別にみると、五所川原地域では「していない」の割合が他の地域と比べて低くなっています。年齢別では、年代が上がるほど「している」の割合が高く、70歳代以上については50%以上となっています。

【図-45 日頃の健康増進のための取組についての割合（全体）】



【表-28 日頃の健康増進のための取組についての割合（属性別）】

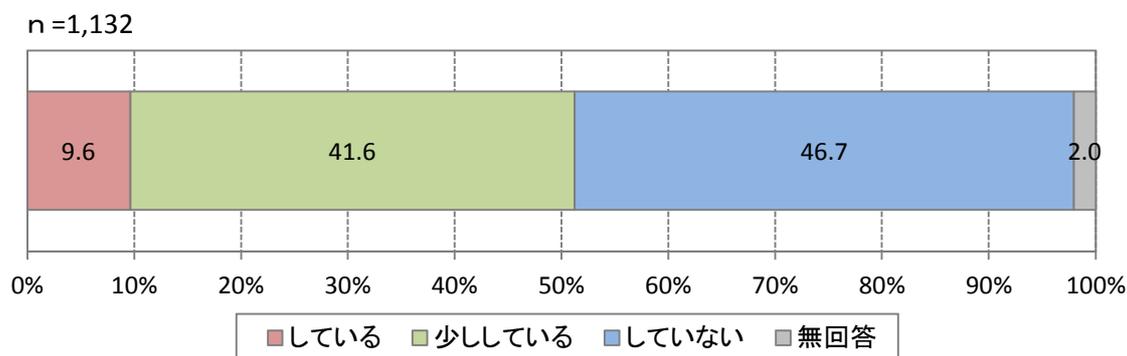
		合計	している (%)	時々している (%)	していない (%)	無回答 (%)
全体		1,132 (100.0)	348 (30.7)	514 (45.4)	245 (21.6)	25 (2.2)
居住地域	五所川原地域	883 (100.0)	278 (31.5)	413 (46.8)	189 (21.4)	3 (0.3)
	金木地域	167 (100.0)	50 (29.9)	77 (46.1)	39 (23.4)	1 (0.6)
	市浦地域	52 (100.0)	17 (32.7)	18 (34.6)	16 (30.8)	1 (1.9)
	無回答	30 (100.0)	3 (10.0)	6 (20.0)	1 (3.3)	20 (66.7)
年齢	20歳代	138 (100.0)	32 (23.2)	56 (40.6)	49 (35.5)	1 (0.7)
	30歳代	146 (100.0)	30 (20.5)	75 (51.4)	41 (28.1)	0 (0.0)
	40歳代	188 (100.0)	38 (20.2)	104 (55.3)	46 (24.5)	0 (0.0)
	50歳代	190 (100.0)	46 (24.2)	97 (51.1)	47 (24.7)	0 (0.0)
	60歳代	227 (100.0)	83 (36.6)	108 (47.6)	34 (15.0)	2 (0.9)
	70歳代以上	223 (100.0)	119 (53.4)	73 (32.7)	28 (12.6)	3 (1.3)
	無回答	20 (100.0)	0 (0.0)	1 (5.0)	0 (0.0)	19 (95.0)
性別	男性	493 (100.0)	162 (32.9)	204 (41.4)	122 (24.7)	5 (1.0)
	女性	617 (100.0)	186 (30.1)	308 (49.9)	122 (19.8)	1 (0.2)
	無回答	22 (100.0)	0 (0.0)	2 (9.1)	1 (4.5)	19 (86.4)

(3) 防災対策（食料・飲料の備蓄、家具の転倒防止など）をしていますか

防災対策（食料・飲料の備蓄、家具の転倒防止など）について調査したところ、以下の結果となっています。

全体では、「していない」が46.7%と最も高く、次いで「少ししている」が41.6%、「している」が9.6%と続いています。居住地域別にみると、市浦地域で「少ししている」の割合が50.0%と高く、また、「していない」の割合についても40%以下と他の地域と比べて低くなっています。年齢別では、20歳代で「していない」の割合が最も高く60%以上となっています。

【図-46 防災対策についての割合（全体）】



【表-29 防災対策についての割合（属性別）】

		合計	している (%)	少ししている (%)	していない (%)	無回答 (%)
全体		1,132 (100.0)	109 (9.6)	471 (41.6)	529 (46.7)	23 (2.0)
居住地域	五所川原地域	883 (100.0)	85 (9.6)	375 (42.5)	421 (47.7)	2 (0.2)
	金木地域	167 (100.0)	16 (9.6)	66 (39.5)	85 (50.9)	0 (0.0)
	市浦地域	52 (100.0)	6 (11.5)	26 (50.0)	19 (36.5)	1 (1.9)
	無回答	30 (100.0)	2 (6.7)	4 (13.3)	4 (13.3)	20 (66.7)
年齢	20歳代	138 (100.0)	8 (5.8)	46 (33.3)	83 (60.1)	1 (0.7)
	30歳代	146 (100.0)	7 (4.8)	68 (46.6)	71 (48.6)	0 (0.0)
	40歳代	188 (100.0)	15 (8.0)	84 (44.7)	88 (46.8)	1 (0.5)
	50歳代	190 (100.0)	19 (10.0)	81 (42.6)	89 (46.8)	1 (0.5)
	60歳代	227 (100.0)	28 (12.3)	96 (42.3)	102 (44.9)	1 (0.4)
	70歳代以上	223 (100.0)	32 (14.3)	96 (43.0)	95 (42.6)	0 (0.0)
	無回答	20 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (5.0)	19 (95.0)
性別	男性	493 (100.0)	57 (11.6)	196 (39.8)	236 (47.9)	4 (0.8)
	女性	617 (100.0)	52 (8.4)	273 (44.2)	292 (47.3)	0 (0.0)
	無回答	22 (100.0)	0 (0.0)	2 (9.1)	1 (4.5)	19 (86.4)

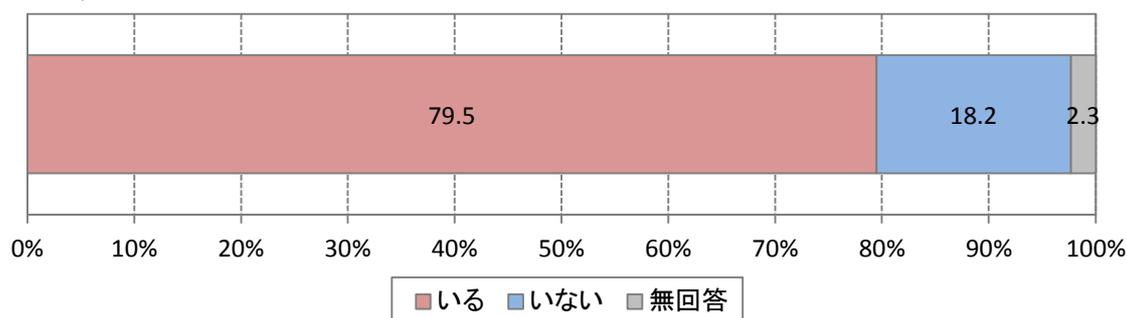
(4) 困った時に気軽に相談できる人はいますか

困った時に気軽に相談できる人はいるかについて調査したところ、以下の結果となっています。

全体では、「いる」が79.5%、「いない」が18.2%となっています。年齢別にみると、50歳代で「いない」の割合が高くなっています。男女別（性別）では、男性の方が女性に比べて「いない」の割合が高く、また、家族構成別では、ひとり暮らしの人が「いない」の割合が高くなっています。

【図-47 困った時に気軽に相談できる人はいるかについての割合（全体）】

n=1,132



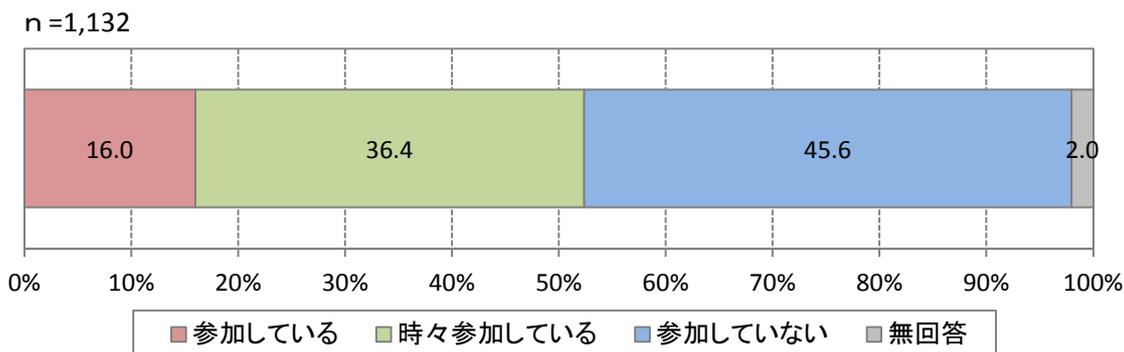
【表-30 困った時に気軽に相談できる人はいるかについての割合（属性別）】

		合計	いる (%)	いない (%)	無回答 (%)
全体		1,132 (100.0)	900 (79.5)	206 (18.2)	26 (2.3)
居住地域	五所川原地域	883 (100.0)	720 (81.5)	159 (18.0)	4 (0.5)
	金木地域	167 (100.0)	130 (77.8)	36 (21.6)	1 (0.6)
	市浦地域	52 (100.0)	43 (82.7)	8 (15.4)	1 (1.9)
	無回答	30 (100.0)	7 (23.3)	3 (10.0)	20 (66.7)
年齢	20歳代	138 (100.0)	118 (85.5)	18 (13.0)	2 (1.4)
	30歳代	146 (100.0)	118 (80.8)	28 (19.2)	0 (0.0)
	40歳代	188 (100.0)	150 (79.8)	38 (20.2)	0 (0.0)
	50歳代	190 (100.0)	144 (75.8)	44 (23.2)	2 (1.1)
	60歳代	227 (100.0)	178 (78.4)	47 (20.7)	2 (0.9)
	70歳代以上	223 (100.0)	191 (85.7)	31 (13.9)	1 (0.4)
	無回答	20 (100.0)	1 (5.0)	0 (0.0)	19 (95.0)
性別	男性	493 (100.0)	375 (76.1)	112 (22.7)	6 (1.2)
	女性	617 (100.0)	522 (84.6)	94 (15.2)	1 (0.2)
	無回答	22 (100.0)	3 (13.6)	0 (0.0)	19 (86.4)
家族構成	ひとり暮らし	81 (100.0)	61 (75.3)	19 (23.5)	1 (1.2)
	夫婦のみ	255 (100.0)	210 (82.4)	43 (16.9)	2 (0.8)
	親と子 (2世代)	515 (100.0)	414 (80.4)	98 (19.0)	3 (0.6)
	親と子と孫 (3世代)	225 (100.0)	185 (82.2)	40 (17.8)	0 (0.0)
	その他	33 (100.0)	28 (84.8)	5 (15.2)	0 (0.0)
	無回答	23 (100.0)	2 (8.7)	1 (4.3)	20 (87.0)

(5) 地域のイベントや活動などに参加していますか

地域のイベントや活動への参加について調査したところ、以下の結果となっています。
 全体では、「参加していない」が45.6%と最も多くなっています。居住地域別にみると、市浦地域では、「参加している」の割合が他の地域と比べて高く、金木地域では、「参加していない」の割合が高くなっています。年齢別では、年代が上がるほど「参加している」の割合が高く、若い年代ほど「参加していない」割合が高くなっています。

【図-48 地域のイベントや活動への参加についての割合（全体）】



【表-31 地域のイベントや活動への参加についての割合（属性別）】

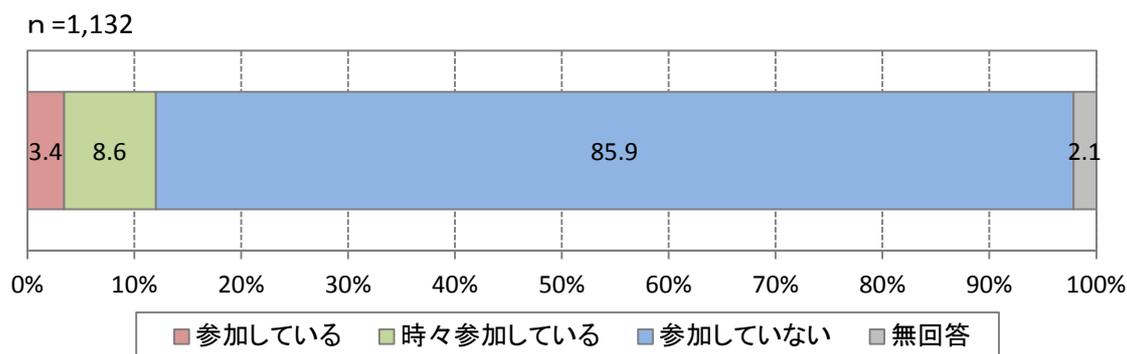
		合計	参加している (%)	時々参加している (%)	参加していない (%)	無回答 (%)
全体		1,132 (100.0)	181 (16.0)	412 (36.4)	516 (45.6)	23 (2.0)
居住地域	五所川原地域	883 (100.0)	145 (16.4)	335 (37.9)	402 (45.5)	1 (0.1)
	金木地域	167 (100.0)	26 (15.6)	57 (34.1)	84 (50.3)	0 (0.0)
	市浦地域	52 (100.0)	9 (17.3)	19 (36.5)	23 (44.2)	1 (1.9)
	無回答	30 (100.0)	1 (3.3)	1 (3.3)	7 (23.3)	21 (70.0)
年齢	20歳代	138 (100.0)	7 (5.1)	42 (30.4)	88 (63.8)	1 (0.7)
	30歳代	146 (100.0)	17 (11.6)	57 (39.0)	72 (49.3)	0 (0.0)
	40歳代	188 (100.0)	17 (9.0)	70 (37.2)	101 (53.7)	0 (0.0)
	50歳代	190 (100.0)	23 (12.1)	69 (36.3)	98 (51.6)	0 (0.0)
	60歳代	227 (100.0)	56 (24.7)	93 (41.0)	77 (33.9)	1 (0.4)
	70歳代以上	223 (100.0)	61 (27.4)	80 (35.9)	80 (35.9)	2 (0.9)
	無回答	20 (100.0)	0 (0.0)	1 (5.0)	0 (0.0)	19 (95.0)
性別	男性	493 (100.0)	92 (18.7)	184 (37.3)	215 (43.6)	2 (0.4)
	女性	617 (100.0)	89 (14.4)	226 (36.6)	300 (48.6)	2 (0.3)
	無回答	22 (100.0)	0 (0.0)	2 (9.1)	1 (4.5)	19 (86.4)
居住歴	5年未満	71 (100.0)	5 (7.0)	21 (29.6)	45 (63.4)	0 (0.0)
	5年以上 10年未満	58 (100.0)	6 (10.3)	24 (41.4)	28 (48.3)	0 (0.0)
	10年以上 20年未満	138 (100.0)	15 (10.9)	46 (33.3)	76 (55.1)	1 (0.7)
	20年以上 30年未満	195 (100.0)	13 (6.7)	70 (35.9)	112 (57.4)	0 (0.0)
	30年以上	646 (100.0)	142 (22.0)	250 (38.7)	253 (39.2)	1 (0.2)
	無回答	24 (100.0)	0 (0.0)	1 (4.2)	2 (8.3)	21 (87.5)

(6) 高齢者や障がい者を援助するボランティア活動に参加していますか

高齢者や障がい者を援助するボランティア活動への参加について調査したところ、以下の結果となっています。

全体では、「参加していない」が85.9%と最も多くなっています。居住地域別にみると、金木地域では、「参加していない」の割合が他の地域と比べて比較的高くなっています。年齢別では、年代が上がるほど「参加している」の割合が高く、若い年代ほど「参加していない」割合が高くなっています。

【図-49 ボランティア活動に参加しているかについての割合（全体）】



【表-32 ボランティア活動に参加しているかについての割合（属性別）】

		合計	参加している (%)	時々参加している (%)	参加していない (%)	無回答 (%)
全体		1,132 (100.0)	39 (3.4)	97 (8.6)	972 (85.9)	24 (2.1)
居住地域	五所川原地域	883 (100.0)	34 (3.9)	79 (8.9)	769 (87.1)	1 (0.1)
	金木地域	167 (100.0)	5 (3.0)	12 (7.2)	149 (89.2)	1 (0.6)
	市浦地域	52 (100.0)	0 (0.0)	5 (9.6)	46 (88.5)	1 (1.9)
	無回答	30 (100.0)	0 (0.0)	1 (3.3)	8 (26.7)	21 (70.0)
年齢	20歳代	138 (100.0)	3 (2.2)	13 (9.4)	121 (87.7)	1 (0.7)
	30歳代	146 (100.0)	1 (0.7)	7 (4.8)	138 (94.5)	0 (0.0)
	40歳代	188 (100.0)	4 (2.1)	8 (4.3)	176 (93.6)	0 (0.0)
	50歳代	190 (100.0)	9 (4.7)	13 (6.8)	167 (87.9)	1 (0.5)
	60歳代	227 (100.0)	8 (3.5)	25 (11.0)	193 (85.0)	1 (0.4)
	70歳代以上	223 (100.0)	14 (6.3)	31 (13.9)	176 (78.9)	2 (0.9)
	無回答	20 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (5.0)	19 (95.0)
性別	男性	493 (100.0)	15 (3.0)	54 (11.0)	422 (85.6)	2 (0.4)
	女性	617 (100.0)	24 (3.9)	43 (7.0)	547 (88.7)	3 (0.5)
	無回答	22 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	3 (13.6)	19 (86.4)

(7) 公共交通を日常的に利用していますか

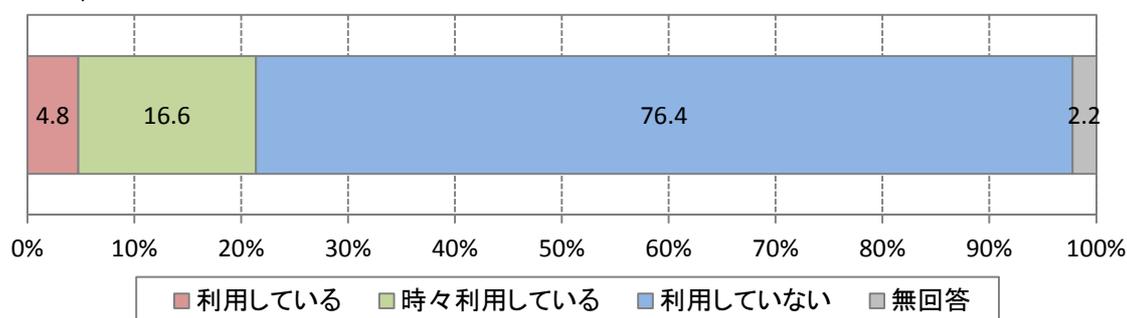
公共交通の利用について調査したところ、以下の結果となっています。

全体では、「利用していない」が76.4%と最も多くなっています。居住地域別にみると、五所川原地域では、「利用している」の割合が他の地域と比べて高く、市浦地域では、「利用していない」の割合が高くなっています。年齢別では、30歳～60歳代で「利用していない」の割合が高く、80%以上となっています。

通勤・通学先別では、他と比べて通勤・通学先が市内と答えた人の「利用していない」の割合が高くなっています。

【図-50 公共交通を日常的に利用しているかについての割合（全体）】

n=1,132



【表-33 公共交通を日常的に利用しているかについての割合（属性別）】

		合計	利用している (%)	時々利用している (%)	利用していない (%)	無回答 (%)
全体		1,132 (100.0)	54 (4.8)	188 (16.6)	865 (76.4)	25 (2.2)
居住地域	五所川原地域	883 (100.0)	49 (5.5)	153 (17.3)	678 (76.8)	3 (0.3)
	金木地域	167 (100.0)	4 (2.4)	26 (15.6)	136 (81.4)	1 (0.6)
	市浦地域	52 (100.0)	0 (0.0)	7 (13.5)	44 (84.6)	1 (1.9)
	無回答	30 (100.0)	1 (3.3)	2 (6.7)	7 (23.3)	20 (66.7)
年齢	20歳代	138 (100.0)	13 (9.4)	30 (21.7)	94 (68.1)	1 (0.7)
	30歳代	146 (100.0)	4 (2.7)	15 (10.3)	126 (86.3)	1 (0.7)
	40歳代	188 (100.0)	1 (0.5)	22 (11.7)	165 (87.8)	0 (0.0)
	50歳代	190 (100.0)	8 (4.2)	24 (12.6)	157 (82.6)	1 (0.5)
	60歳代	227 (100.0)	5 (2.2)	34 (15.0)	186 (81.9)	2 (0.9)
	70歳代以上	223 (100.0)	23 (10.3)	63 (28.3)	136 (61.0)	1 (0.4)
	無回答	20 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (5.0)	19 (95.0)
性別	男性	493 (100.0)	18 (3.7)	66 (13.4)	406 (82.4)	3 (0.6)
	女性	617 (100.0)	36 (5.8)	120 (19.4)	458 (74.2)	3 (0.5)
	無回答	22 (100.0)	0 (0.0)	2 (9.1)	1 (4.5)	19 (86.4)
通勤・通学先	市内	382 (100.0)	10 (2.6)	50 (13.1)	321 (84.0)	1 (0.3)
	市外	218 (100.0)	12 (5.5)	36 (16.5)	169 (77.5)	1 (0.5)
	なし	395 (100.0)	25 (6.3)	74 (18.7)	295 (74.7)	1 (0.3)
	無回答	137 (100.0)	7 (5.1)	28 (20.4)	80 (58.4)	22 (16.1)

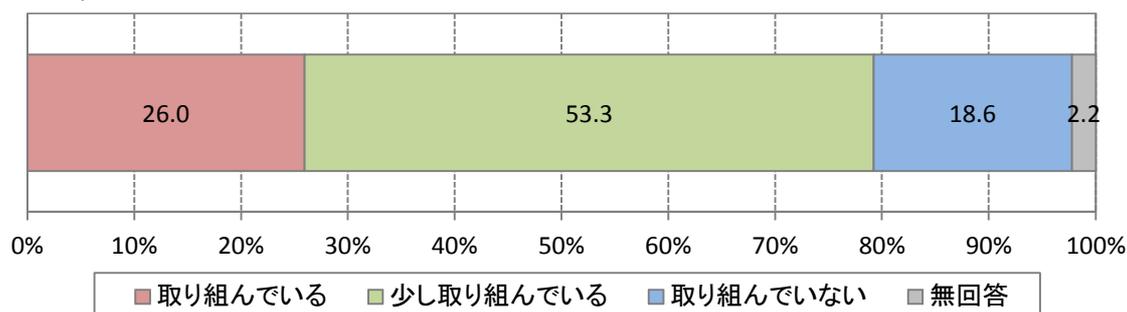
(8) 省エネルギーやリサイクルに取り組んでいますか

省エネルギーやリサイクルへの取組について調査したところ、以下の結果となっています。

全体では、「少し取り組んでいる」が53.3%と最も高くなっています。年齢別にみると、他の年代と比べて、60歳代、70歳代以上の人々が「取り組んでいる」の割合が高く、20歳代、30歳代では、「取り組んでいない」の割合が高くなっています。

【図-51 省エネルギーやリサイクルへの取組についての割合（全体）】

n=1,132



【表-34 省エネルギーやリサイクルへの取組についての割合（属性別）】

		合計	取り組んでいる (%)	少し取り組んでいる (%)	取り組んでいない (%)	無回答 (%)
全体		1,132 (100.0)	294 (26.0)	603 (53.3)	210 (18.6)	25 (2.2)
居住地域	五所川原地域	883 (100.0)	238 (27.0)	469 (53.1)	174 (19.7)	2 (0.2)
	金木地域	167 (100.0)	40 (24.0)	97 (58.1)	29 (17.4)	1 (0.6)
	市浦地域	52 (100.0)	14 (26.9)	30 (57.7)	7 (13.5)	1 (1.9)
	無回答	30 (100.0)	2 (6.7)	7 (23.3)	0 (0.0)	21 (70.0)
年齢	20歳代	138 (100.0)	20 (14.5)	74 (53.6)	42 (30.4)	2 (1.4)
	30歳代	146 (100.0)	33 (22.6)	75 (51.4)	38 (26.0)	0 (0.0)
	40歳代	188 (100.0)	46 (24.5)	112 (59.6)	30 (16.0)	0 (0.0)
	50歳代	190 (100.0)	42 (22.1)	120 (63.2)	28 (14.7)	0 (0.0)
	60歳代	227 (100.0)	79 (34.8)	120 (52.9)	26 (11.5)	2 (0.9)
	70歳代以上	223 (100.0)	73 (32.7)	102 (45.7)	46 (20.6)	2 (0.9)
	無回答	20 (100.0)	1 (5.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	19 (95.0)
性別	男性	493 (100.0)	121 (24.5)	267 (54.2)	103 (20.9)	2 (0.4)
	女性	617 (100.0)	172 (27.9)	334 (54.1)	107 (17.3)	4 (0.6)
	無回答	22 (100.0)	1 (4.5)	2 (9.1)	0 (0.0)	19 (86.4)

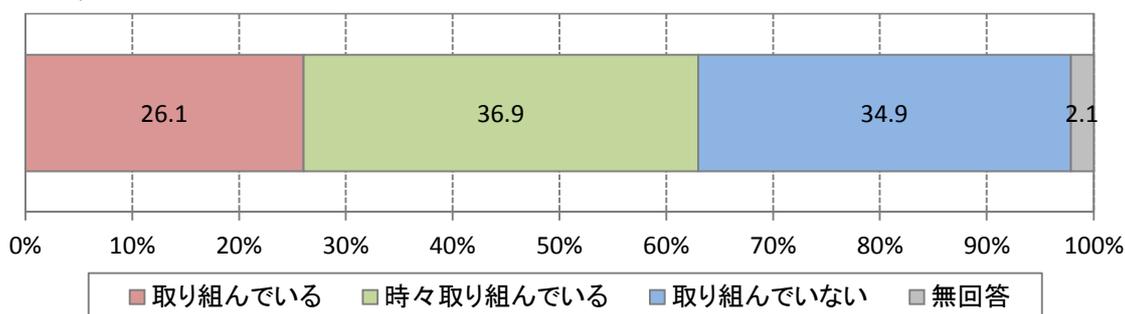
(9) 趣味や教養を身に付けることに取り組んでいますか

趣味や教養を身に付けることへの取組について調査したところ、以下の結果となっています。

全体では、「時々取り組んでいる」が36.9%と最も高くなっています。年齢別にみると、20歳代で「取り組んでいる」の割合が高く、40歳代、50歳で「取り組んでいない」の割合が高くなっています。男女別（性別）では、男性の方が女性より「取り組んでいる」の割合が高くなっています。

【図-52 趣味や教養を身に付けることへの取組についての割合（全体）】

n=1,132



【表-35 趣味や教養を身に付けることへの取組についての割合（属性別）】

		合計	取り組んでいる (%)	時々取り組 んでいる (%)	取り組んで いない (%)	無回答 (%)
全体		1,132 (100.0)	295 (26.1)	418 (36.9)	395 (34.9)	24 (2.1)
居住地域	五所川原地域	883 (100.0)	252 (28.5)	321 (36.4)	309 (35.0)	1 (0.1)
	金木地域	167 (100.0)	33 (19.8)	74 (44.3)	58 (34.7)	2 (1.2)
	市浦地域	52 (100.0)	7 (13.5)	22 (42.3)	22 (42.3)	1 (1.9)
	無回答	30 (100.0)	3 (10.0)	1 (3.3)	6 (20.0)	20 (66.7)
年齢	20歳代	138 (100.0)	52 (37.7)	47 (34.1)	37 (26.8)	2 (1.4)
	30歳代	146 (100.0)	36 (24.7)	57 (39.0)	53 (36.3)	0 (0.0)
	40歳代	188 (100.0)	37 (19.7)	72 (38.3)	77 (41.0)	2 (1.1)
	50歳代	190 (100.0)	46 (24.2)	63 (33.2)	81 (42.6)	0 (0.0)
	60歳代	227 (100.0)	58 (25.6)	99 (43.6)	69 (30.4)	1 (0.4)
	70歳代以上	223 (100.0)	66 (29.6)	79 (35.4)	78 (35.0)	0 (0.0)
	無回答	20 (100.0)	0 (0.0)	1 (5.0)	0 (0.0)	19 (95.0)
性別	男性	493 (100.0)	143 (29.0)	183 (37.1)	164 (33.3)	3 (0.6)
	女性	617 (100.0)	152 (24.6)	233 (37.8)	230 (37.3)	2 (0.3)
	無回答	22 (100.0)	0 (0.0)	2 (9.1)	1 (4.5)	19 (86.4)

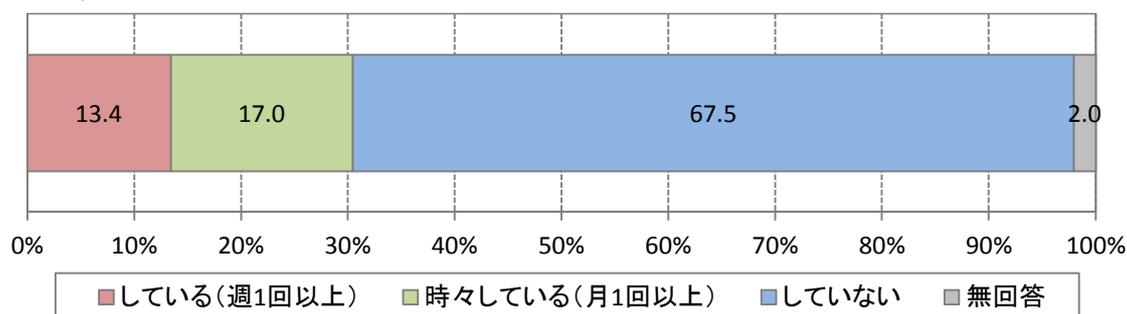
(10) 日常的にスポーツ活動をしていますか

日常的にスポーツ活動をしているか調査したところ、以下の結果となっています。

全体では、「していない」が67.5%と最も高くなっています。年齢別にみると、他の年代と比べて60歳代で「している（週1回以上）」、20歳で「時々している（月1回以上）」の割合が高くなっている一方、40歳代、50歳代、70歳代以上では「していない」の割合が高くなっています。男女別（性別）では、女性の方が男性に比べて「していない」の割合が高くなっています。

【図-53 日常的にスポーツ活動をしているかについての割合（全体）】

n=1,132



【表-36 日常的にスポーツ活動をしているかについての割合（属性別）】

		合計	している (週1回以上) (%)	時々している (月1回以上) (%)	していない (%)	無回答 (%)
全体		1,132 (100.0)	152 (13.4)	193 (17.0)	764 (67.5)	23 (2.0)
居住地域	五所川原地域	883 (100.0)	133 (15.1)	151 (17.1)	598 (67.7)	1 (0.1)
	金木地域	167 (100.0)	11 (6.6)	34 (20.4)	122 (73.1)	0 (0.0)
	市浦地域	52 (100.0)	7 (13.5)	7 (13.5)	36 (69.2)	2 (3.8)
	無回答	30 (100.0)	1 (3.3)	1 (3.3)	8 (26.7)	20 (66.7)
年齢	20歳代	138 (100.0)	25 (18.1)	36 (26.1)	76 (55.1)	1 (0.7)
	30歳代	146 (100.0)	18 (12.3)	29 (19.9)	99 (67.8)	0 (0.0)
	40歳代	188 (100.0)	20 (10.6)	30 (16.0)	138 (73.4)	0 (0.0)
	50歳代	190 (100.0)	19 (10.0)	29 (15.3)	142 (74.7)	0 (0.0)
	60歳代	227 (100.0)	42 (18.5)	35 (15.4)	148 (65.2)	2 (0.9)
	70歳代以上	223 (100.0)	28 (12.6)	34 (15.2)	160 (71.7)	1 (0.4)
	無回答	20 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (5.0)	19 (95.0)
性別	男性	493 (100.0)	83 (16.8)	96 (19.5)	311 (63.1)	3 (0.6)
	女性	617 (100.0)	69 (11.2)	96 (15.6)	451 (73.1)	1 (0.2)
	無回答	22 (100.0)	0 (0.0)	1 (4.5)	2 (9.1)	19 (86.4)

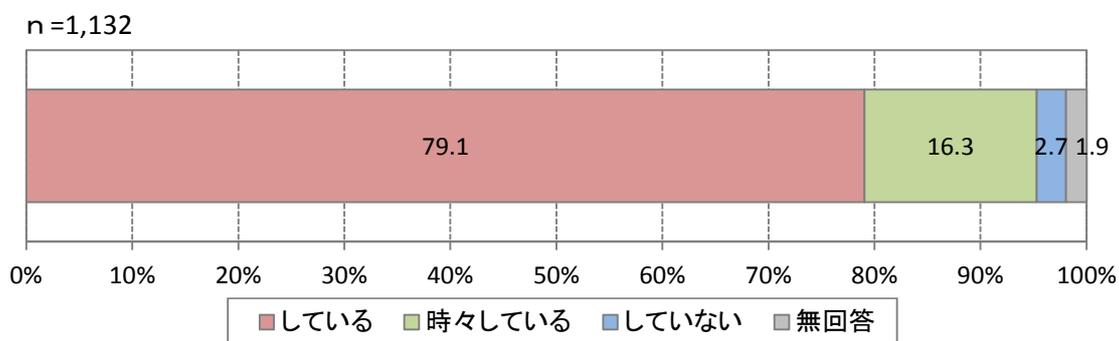
(11) 日頃市内で買い物をしていますか

日頃市内で買い物をしているか調査したところ、以下の結果となっています。

全体では、「している」が79.1%と最も高くなっています。年齢別にみると、20歳代で「している」の割合が他の年代と比べて低くなっています。男女別では、「している」の割合は女性の方が83.5%と男性の76.9%よりも高くなっています。

通勤・通学先別に見ると、通勤先に関わらず、「している」の割合が最も高くなっています。通勤・通学先が市外の人では、「している」は64.7%と、市内へ通勤・通学している人よりは低いものの、「時々している」の30.7%と合すると、9割以上の人が日頃市内で買い物をしていることが伺えます。

【図-54 日頃市内で買い物をしているかについての割合（全体）】



【表-37 日頃市内で買い物をしているかについての割合（属性別）】

		合計	している (%)	時々している (%)	していない (%)	無回答 (%)
全体		1,132 (100.0)	895 (79.1)	184 (16.3)	31 (2.7)	22 (1.9)
居住地域	五所川原地域	883 (100.0)	714 (80.9)	146 (16.5)	22 (2.5)	1 (0.1)
	金木地域	167 (100.0)	136 (81.4)	24 (14.4)	7 (4.2)	0 (0.0)
	市浦地域	52 (100.0)	37 (71.2)	13 (25.0)	1 (1.9)	1 (1.9)
	無回答	30 (100.0)	8 (26.7)	1 (3.3)	1 (3.3)	20 (66.7)
年齢	20歳代	138 (100.0)	96 (69.6)	35 (25.4)	6 (4.3)	1 (0.7)
	30歳代	146 (100.0)	117 (80.1)	28 (19.2)	1 (0.7)	0 (0.0)
	40歳代	188 (100.0)	150 (79.8)	33 (17.6)	5 (2.7)	0 (0.0)
	50歳代	190 (100.0)	159 (83.7)	29 (15.3)	2 (1.1)	0 (0.0)
	60歳代	227 (100.0)	191 (84.1)	32 (14.1)	3 (1.3)	1 (0.4)
	70歳代以上	223 (100.0)	181 (81.2)	27 (12.1)	14 (6.3)	1 (0.4)
	無回答	20 (100.0)	1 (5.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	19 (95.0)
性別	男性	493 (100.0)	379 (76.9)	95 (19.3)	17 (3.4)	2 (0.4)
	女性	617 (100.0)	515 (83.5)	88 (14.3)	13 (2.1)	1 (0.2)
	無回答	22 (100.0)	1 (4.5)	1 (4.5)	1 (4.5)	19 (86.4)
通勤・通学先	市内	382 (100.0)	336 (88.0)	40 (10.5)	6 (1.6)	0 (0.0)
	市外	218 (100.0)	141 (64.7)	67 (30.7)	10 (4.6)	0 (0.0)
	なし	395 (100.0)	323 (81.8)	60 (15.2)	11 (2.8)	1 (0.3)
	無回答	137 (100.0)	95 (69.3)	17 (12.4)	4 (2.9)	21 (15.3)

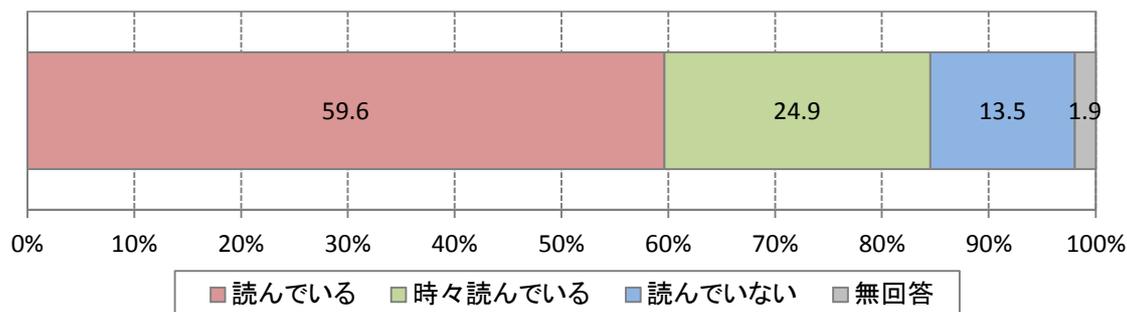
(12) 市の広報紙を読んでいますか

市の広報紙を読んでいるか調査したところ、以下の結果となっています。

全体では、「読んでいる」が59.6%と最も高くなっています。年齢別にみると、50歳代、60歳代、70歳代以上で「読んでいる」の割合がそれぞれ60%以上となっていますが、20歳代では20%程度となっています。

【図-55 市の広報紙を読んでいるかについての割合（全体）】

n=1,132



【表-38 市の広報紙を読んでいるかについての割合（属性別）】

		合計	読んでいる (%)	時々 読んでいる (%)	読んでいない (%)	無回答 (%)
全体		1,132 (100.0)	675 (59.6)	282 (24.9)	153 (13.5)	22 (1.9)
居住地	五所川原地域	883 (100.0)	542 (61.4)	226 (25.6)	114 (12.9)	1 (0.1)
	金木地域	167 (100.0)	102 (61.1)	39 (23.4)	26 (15.6)	0 (0.0)
	市浦地域	52 (100.0)	25 (48.1)	15 (28.8)	11 (21.2)	1 (1.9)
	無回答	30 (100.0)	6 (20.0)	2 (6.7)	2 (6.7)	20 (66.7)
年齢	20歳代	138 (100.0)	32 (23.2)	47 (34.1)	58 (42.0)	1 (0.7)
	30歳代	146 (100.0)	62 (42.5)	52 (35.6)	31 (21.2)	1 (0.7)
	40歳代	188 (100.0)	111 (59.0)	47 (25.0)	30 (16.0)	0 (0.0)
	50歳代	190 (100.0)	128 (67.4)	47 (24.7)	15 (7.9)	0 (0.0)
	60歳代	227 (100.0)	163 (71.8)	55 (24.2)	8 (3.5)	1 (0.4)
	70歳代以上	223 (100.0)	178 (79.8)	34 (15.2)	11 (4.9)	0 (0.0)
	無回答	20 (100.0)	1 (5.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	19 (95.0)
性別	男性	493 (100.0)	266 (54.0)	132 (26.8)	92 (18.7)	3 (0.6)
	女性	617 (100.0)	408 (66.1)	149 (24.1)	60 (9.7)	0 (0.0)
	無回答	22 (100.0)	1 (4.5)	1 (4.5)	1 (4.5)	19 (86.4)

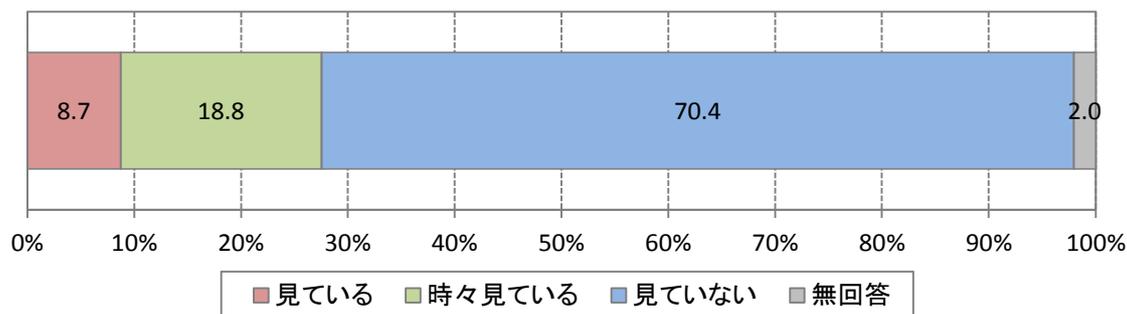
(13) 市のホームページを見ていますか

市のホームページを見ていないか調査したところ、以下の結果となっています。

全体では、「見ていない」が70.4%と最も高く、次いで「時々見ている」が18.8%、「見ている」が8.7%という順になっています。年齢別にみると、70歳代以上で「見ている」の割合が他の年代と比べて高くなっています。

【図-56 市のホームページを見ていないかについての割合（全体）】

n=1,132



【表-39 市のホームページを見ていないかについての割合（属性別）】

		合計	見ている (%)	時々見ている (%)	見ていない (%)	無回答 (%)
全体		1,132 (100.0)	99 (8.7)	213 (18.8)	797 (70.4)	23 (2.0)
居住地	五所川原地域	883 (100.0)	80 (9.1)	180 (20.4)	622 (70.4)	1 (0.1)
	金木地域	167 (100.0)	15 (9.0)	24 (14.4)	128 (76.6)	0 (0.0)
	市浦地域	52 (100.0)	4 (7.7)	7 (13.5)	40 (76.9)	1 (1.9)
	無回答	30 (100.0)	0 (0.0)	2 (6.7)	7 (23.3)	21 (70.0)
年齢	20歳代	138 (100.0)	2 (1.4)	21 (15.2)	114 (82.6)	1 (0.7)
	30歳代	146 (100.0)	9 (6.2)	38 (26.0)	99 (67.8)	0 (0.0)
	40歳代	188 (100.0)	8 (4.3)	39 (20.7)	141 (75.0)	0 (0.0)
	50歳代	190 (100.0)	7 (3.7)	36 (18.9)	147 (77.4)	0 (0.0)
	60歳代	227 (100.0)	19 (8.4)	41 (18.1)	165 (72.7)	2 (0.9)
	70歳代以上	223 (100.0)	54 (24.2)	38 (17.0)	130 (58.3)	1 (0.4)
	無回答	20 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (5.0)	19 (95.0)
性別	男性	493 (100.0)	47 (9.5)	100 (20.3)	343 (69.6)	3 (0.6)
	女性	617 (100.0)	52 (8.4)	112 (18.2)	452 (73.3)	1 (0.2)
	無回答	22 (100.0)	0 (0.0)	1 (4.5)	2 (9.1)	19 (86.4)

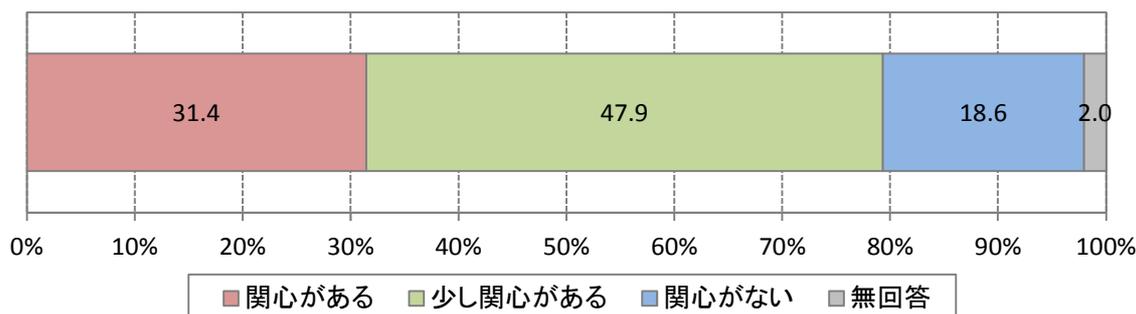
(14) 市のまちづくりの取組や財政状況に関心がありますか

市のまちづくりの取組や財政状況に関心があるか調査したところ、以下の結果となっています。

全体では、「少し関心がある」が47.9%と最も高くなっています。年齢別にみると、60歳代、70歳代以上では「関心がある」の割合がそれぞれ40%以上と高く、20歳代では「関心がある」の割合が20%以下と低くなっています。

【図-57 市のまちづくりの取組や財政状況への関心についての割合（全体）】

n=1,132



【表-40 市のまちづくりの取組や財政状況への関心についての割合（属性別）】

		合計	関心がある (%)	少し 関心がある (%)	関心がない (%)	無回答 (%)
全体		1,132 (100.0)	356 (31.4)	542 (47.9)	211 (18.6)	23 (2.0)
居住地	五所川原地域	883 (100.0)	283 (32.0)	433 (49.0)	166 (18.8)	1 (0.1)
	金木地域	167 (100.0)	58 (34.7)	77 (46.1)	31 (18.6)	1 (0.6)
	市浦地域	52 (100.0)	13 (25.0)	27 (51.9)	11 (21.2)	1 (1.9)
	無回答	30 (100.0)	2 (6.7)	5 (16.7)	3 (10.0)	20 (66.7)
年齢	20歳代	138 (100.0)	22 (15.9)	59 (42.8)	56 (40.6)	1 (0.7)
	30歳代	146 (100.0)	38 (26.0)	80 (54.8)	28 (19.2)	0 (0.0)
	40歳代	188 (100.0)	43 (22.9)	104 (55.3)	41 (21.8)	0 (0.0)
	50歳代	190 (100.0)	57 (30.0)	95 (50.0)	38 (20.0)	0 (0.0)
	60歳代	227 (100.0)	97 (42.7)	109 (48.0)	19 (8.4)	2 (0.9)
	70歳代以上	223 (100.0)	98 (43.9)	95 (42.6)	29 (13.0)	1 (0.4)
	無回答	20 (100.0)	1 (5.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	19 (95.0)
性別	男性	493 (100.0)	192 (38.9)	212 (43.0)	87 (17.6)	2 (0.4)
	女性	617 (100.0)	163 (26.4)	328 (53.2)	124 (20.1)	2 (0.3)
	無回答	22 (100.0)	1 (4.5)	2 (9.1)	0 (0.0)	19 (86.4)

II-3-2. 考察及び過年度調査(平成 25 年度調査)との比較

普段の生活について、過年度調査（平成 25 年度調査）と比較すると大きな変化は見られませんが、項目別に特徴をみると、以下の事項が挙げられます。

- ・ 施策として「災害に対応できる体制整備」が『重要』との回答は多いものの、「防災対策（食料・飲料の備蓄、家具の転倒防止など）をしていますか」という設問に対しては、「している」という回答が少なく、個人での防災対策はあまり進んでいない状況が見受けられます。このことから、大規模自然災害等への備えとして、行政による防災体制の充実に加え、各家庭においても食料品や生活必需品の備え、家具の転倒防止等の防災対策に努めるよう、市民の防災意識を啓発することで、市全体としての防災力の強化を図ることが重要です。
- ・ 「ご近所同士のつながりを大切にしていますか」、「地域のイベントや活動などに参加していますか」などの設問の回答結果から、市民の多くが住民同士のつながりを大切にしていることが見受けられます。一方で、「高齢者や障がい者を援助するボランティア活動への参加」については、「参加していない」という回答が9割近くを占めており、今後高齢化が進行する中で、福祉行政の充実に加え、市民の助け合い・支え合い意識を行動につなげる仕組みが求められます。
- ・ 「公共交通を日常的に利用していますか」という設問に対しては、「利用していない」という回答が約8割となっています。これに対し、「公共交通の利便性」に対する『満足』の割合は非常に小さく、『重要』の割合はとても大きい値となっています。また、日常の買い物は市内でしているという回答が約8割を占めるなど、公共交通を利用したいが、利便性の低下等から利用されていない状況が考えられるため、より利便性の高い公共交通システムの構築が求められます。
- ・ 広報紙や市のホームページは、若い年代ほど見ていない傾向となっています。また、市のまちづくりの取組や財政状況への関心も同様に若い世代ほど関心が薄い傾向が見受けられます。今後、市民協働でよりよいまちづくりを進めるためには、さまざまな情報媒体を通じ、幅広い年代に市政に対して、より強い関心を持っていただくことが重要です。そのためには、さまざまな世代の市民が必要とする市政の情報を容易に取得できるよう、情報発信の充実にも努める必要があります。

II-4.人口減少に関する認識について

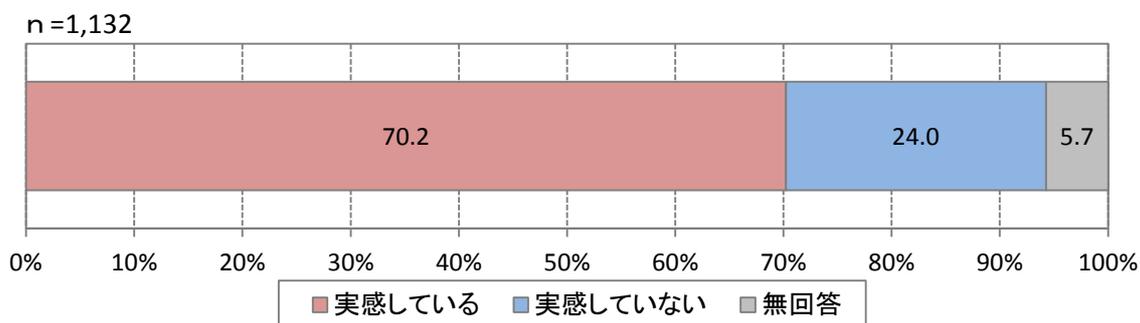
II-4-1.項目別回答結果

(1) 五所川原市において、人口減少が進んでいることを実感していますか

五所川原市において、人口減少が進んでいることを実感しているか調査したところ、以下の結果となっています。

全体では、「実感している」が70.2%と最も高くなっています。年齢別では、年代が上がるほど「実感している」の割合が高く、若い年代ほど「実感していない」割合が高くなっています。

【図-58 人口減少の実感についての割合（全体）】



【表-41 人口減少の実感についての割合（属性別）】

		合計	実感している (%)	実感していない (%)	無回答 (%)
全体		1,132 (100.0)	795 (70.2)	272 (24.0)	65 (5.7)
居住地	五所川原地域	883 (100.0)	605 (68.5)	233 (26.4)	45 (5.1)
	金木地域	167 (100.0)	138 (82.6)	23 (13.8)	6 (3.6)
	市浦地域	52 (100.0)	41 (78.8)	7 (13.5)	4 (7.7)
	無回答	30 (100.0)	11 (36.7)	9 (30.0)	10 (33.3)
年齢	20歳代	138 (100.0)	91 (65.9)	43 (31.2)	4 (2.9)
	30歳代	146 (100.0)	86 (58.9)	54 (37.0)	6 (4.1)
	40歳代	188 (100.0)	127 (67.6)	57 (30.3)	4 (2.1)
	50歳代	190 (100.0)	140 (73.7)	47 (24.7)	3 (1.6)
	60歳代	227 (100.0)	182 (80.2)	32 (14.1)	13 (5.7)
	70歳代以上	223 (100.0)	160 (71.7)	34 (15.2)	29 (13.0)
	無回答	20 (100.0)	9 (45.0)	5 (25.0)	6 (30.0)
性別	男性	493 (100.0)	350 (71.0)	115 (23.3)	28 (5.7)
	女性	617 (100.0)	435 (70.5)	151 (24.5)	31 (5.0)
	無回答	22 (100.0)	10 (45.5)	6 (27.3)	6 (27.3)

**(2) 人口減少が進んでいることをどのような点で感じていますか
(実感していると回答した方のみ)**

人口減少を「実感している」と回答した 795 人のうち 747 人 (94.0%) の方から具体的な意見をいただきました。意見の中には、複数の分野 (テーマ) にまたがっているものがあったため、その内容から、以下の分野に分類した結果、総意見数は 1,112 件となりました。

分野別で最も多かったのは、「近所の子供の数が減った」についての意見となっており、全体の 26.2% を占めています。次いで「空き家が多くなった」、「学校やクラスの統廃合 (児童・生徒数の減少)」に関する意見が多く寄せられています。

【表-42 人口減少の実感についての具体的な記述】

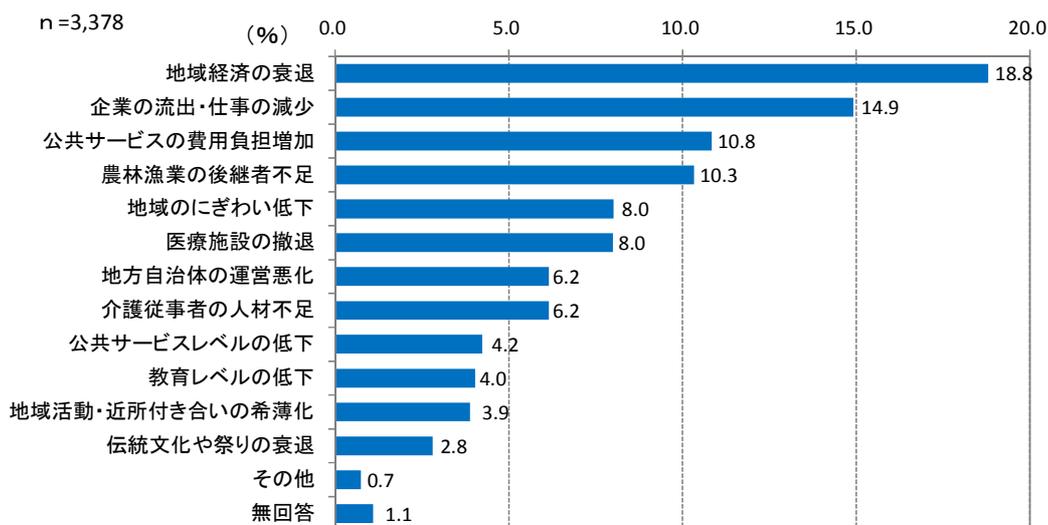
分野 (テーマ)	意見数	(構成比)
1 近所の子供の数が減った	291	26.2%
2 空き家が多くなった	176	15.8%
3 学校やクラスの統廃合 (児童・生徒数の減少)	174	15.6%
4 市外・県外への人口流出 (市内に雇用の場がない)	119	10.7%
5 高齢者が多い	77	6.9%
6 若い人が少ない	72	6.5%
7 世帯構成人数が少なくなった	46	4.1%
8 未婚率の増加等による出生数の減少	41	3.7%
9 市内に人が少ない	38	3.4%
10 空き店舗などの増加	19	1.7%
11 町内会の行事等に人が集まらない	10	0.9%
12 広報紙等の数値から	9	0.8%
13 その他	40	3.6%
合計	1,112	100.0%

(3) 今後人口減少が進むことにより、どのような点に不安を感じますか

今後人口減少が進むことにより、どのような点に不安を感じるかを調査したところ、以下の結果となっています。

全体では、「地域経済の衰退」が18.8%と最も高く、次いで「企業の流出・仕事の減少」が14.9%という順になっています。居住地域別にみるといずれの地域においても、「地域経済の衰退」の割合が最も高くなっています。年齢別にみると、30歳代、40歳代で「地域経済の衰退」の割合が20%以上と高くなっています。

【図-59 人口減少による不安点】



※nの値は複数回答の総数であるため、総回答者数の1,132より大きい値となっています。

【表-43 人口減少による不安点（その他意見）】

高齢者、福祉に力を入れるのは解りますが一番働かないといけない30代、40代の子供を持ち母親が安心して働ける職場がまったくない。小・中は勿論ですが高校生を持つ親が一番お金がかかるときに何の支援が無いのはつらいと思う。高校はいまや義務みたいなもののに。
税金が上がるため困る
冬期間を安全に通行できる道路の確保
これから良くなると思えない
さらなる人口減少の加速
アンケートをとるくらいなら、もっと住みやすい環境を整えるべき
薄給
市民の個人所得低下により、まち全体の個人住宅の老朽化や施設の荒廃、治安の悪化、道路の整備不良
すでに低下、悪化しているものもある
JR等公共の交通が不便
財政危機
他の市町村との合併!!
私が高齢者になった時、今よりまちが暗くなりそう
税金が上がる事
子育て世帯が子育てしやすい環境(行政)が希薄。例えば、中学生まで医療費無料とか
店の倒産
伝統文化や祭りの衰退
市内に住む人の負担が増えること
長く働く会社等がない
労働力の減少による都会との格差(給料とか)
働き手がない
税収減少、税金引上げ
空き家が増えることによる治安の悪化
地域の便利化の低下

【表-44 人口減少による不安点（属性別）】

■全体

	合計	地域経済の衰退	・企業の流出 ・仕事の減少	地域のにぎわい 低下	公共サービスの レベルの低下	地方自治体の 運営悪化	教育レベル の低下	公共サービスの 費用負担増加	後継者不足 農林漁業の	介護従事者の 人材不足	医療施設の 撤退	近所付き合 いの希薄化	地域活動・ 祭りの衰退	その他	無回答
		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
全体	3,378 (100.0)	635 (18.8)	504 (14.9)	271 (8.0)	143 (4.2)	208 (6.2)	136 (4.0)	366 (10.8)	349 (10.3)	208 (6.2)	270 (8.0)	131 (3.9)	95 (2.8)	25 (0.7)	37 (1.1)
居住地域	五所川原地域	2,622 (100.0)	505 (19.3)	396 (15.1)	210 (8.0)	109 (4.2)	166 (6.3)	105 (4.0)	297 (11.3)	272 (10.4)	158 (6.0)	207 (7.9)	94 (3.6)	65 (2.5)	19 (0.7)
	金木地域	511 (100.0)	92 (18.0)	73 (14.3)	36 (7.0)	21 (4.1)	27 (5.3)	22 (4.3)	50 (9.8)	59 (11.5)	38 (7.4)	45 (8.8)	24 (4.7)	14 (2.7)	4 (0.8)
	市浦地域	171 (100.0)	23 (13.5)	20 (11.7)	20 (11.7)	10 (5.8)	10 (5.8)	7 (4.1)	15 (8.8)	16 (9.4)	9 (5.3)	12 (7.0)	11 (6.4)	13 (7.6)	2 (1.2)
	無回答	74 (100.0)	15 (20.3)	15 (20.3)	5 (6.8)	3 (4.1)	5 (6.8)	2 (2.7)	4 (5.4)	2 (2.7)	3 (4.1)	6 (8.1)	2 (2.7)	3 (4.1)	0 (0.0)
年齢	20歳代	424 (100.0)	70 (16.5)	74 (17.5)	49 (11.6)	18 (4.2)	18 (4.0)	17 (4.0)	43 (10.1)	33 (7.8)	23 (5.4)	31 (7.3)	13 (3.1)	27 (6.4)	5 (0.7)
	30歳代	438 (100.0)	90 (20.5)	73 (16.7)	39 (8.9)	23 (5.3)	29 (6.6)	30 (6.8)	41 (9.4)	32 (7.3)	20 (4.6)	37 (8.4)	5 (1.1)	9 (2.1)	8 (1.8)
	40歳代	536 (100.0)	111 (20.7)	92 (17.2)	41 (7.6)	22 (4.1)	42 (7.8)	31 (5.8)	56 (10.4)	43 (8.0)	23 (4.3)	50 (9.3)	11 (2.1)	6 (1.1)	5 (0.6)
	50歳代	594 (100.0)	115 (19.4)	79 (13.3)	36 (6.1)	31 (5.2)	33 (5.6)	27 (4.5)	80 (13.5)	59 (9.9)	35 (5.9)	51 (8.6)	25 (4.2)	19 (3.2)	2 (0.3)
	60歳代	667 (100.0)	133 (19.9)	96 (14.4)	41 (6.1)	26 (3.9)	43 (6.4)	16 (2.4)	82 (12.3)	93 (13.9)	40 (6.0)	44 (6.6)	33 (4.9)	11 (1.6)	2 (0.3)
	70歳代以上	674 (100.0)	106 (15.7)	81 (12.0)	61 (9.1)	21 (3.1)	41 (6.1)	14 (2.1)	61 (9.1)	87 (12.9)	67 (9.9)	54 (8.0)	44 (6.5)	21 (3.1)	3 (0.4)
	無回答	45 (100.0)	10 (22.2)	9 (20.0)	4 (8.9)	2 (4.4)	2 (4.4)	1 (2.2)	3 (6.7)	2 (4.4)	0 (0.0)	3 (6.7)	0 (0.0)	2 (4.4)	0 (0.0)
	性別	男性	1,513 (100.0)	303 (20.0)	220 (14.5)	116 (7.7)	60 (4.0)	111 (7.3)	55 (3.6)	159 (10.5)	170 (11.2)	89 (5.9)	112 (7.4)	55 (3.6)	37 (2.4)
女性		1,814 (100.0)	322 (17.8)	274 (15.1)	150 (8.3)	81 (4.5)	94 (5.2)	80 (4.4)	204 (11.2)	175 (9.6)	119 (6.6)	155 (8.5)	76 (4.2)	55 (3.0)	11 (0.6)
無回答		51 (100.0)	10 (19.6)	10 (19.6)	5 (9.8)	2 (3.9)	3 (5.9)	1 (2.0)	3 (5.9)	4 (7.8)	0 (0.0)	3 (5.9)	0 (0.0)	3 (5.9)	0 (0.0)

■人口減少を「実感している」

	合計	地域経済の衰退	・企業の流出 ・仕事の減少	地域のにぎわい 低下	公共サービスの レベルの低下	地方自治体の 運営悪化	教育レベル の低下	公共サービスの 費用負担増加	後継者不足 農林漁業の	介護従事者の 人材不足	医療施設の 撤退	近所付き合 いの希薄化	地域活動・ 祭りの衰退	その他	無回答
		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
全体	2,450 (100.0)	479 (19.6)	355 (14.5)	202 (8.2)	99 (4.0)	149 (6.1)	99 (4.0)	268 (10.9)	273 (11.1)	142 (5.8)	185 (7.6)	99 (4.0)	73 (3.0)	23 (0.9)	4 (0.2)
居住地域	五所川原地域	1,837 (100.0)	371 (20.2)	268 (14.6)	151 (8.2)	71 (3.9)	116 (6.3)	71 (3.9)	209 (11.4)	208 (11.3)	105 (5.7)	134 (7.3)	67 (3.6)	46 (2.5)	3 (0.2)
	金木地域	435 (100.0)	81 (18.6)	62 (14.3)	30 (6.9)	18 (4.1)	23 (5.3)	20 (4.6)	44 (10.1)	50 (11.5)	29 (6.7)	38 (8.7)	21 (4.8)	14 (3.2)	1 (0.2)
	市浦地域	146 (100.0)	19 (13.0)	17 (11.6)	19 (13.0)	9 (6.2)	7 (4.8)	7 (4.8)	13 (8.9)	14 (9.6)	7 (4.8)	10 (6.8)	10 (6.8)	12 (8.2)	0 (0.0)
	無回答	32 (100.0)	8 (25.0)	8 (25.0)	2 (6.3)	1 (3.1)	3 (9.4)	1 (3.1)	2 (6.3)	1 (3.1)	1 (3.1)	3 (9.4)	1 (3.1)	1 (3.1)	0 (0.0)
年齢	20歳代	289 (100.0)	44 (15.2)	46 (15.9)	35 (12.1)	11 (3.8)	12 (4.2)	14 (4.8)	30 (10.4)	26 (9.0)	17 (5.9)	17 (5.9)	9 (3.1)	23 (8.0)	1 (0.3)
	30歳代	268 (100.0)	59 (22.0)	48 (17.9)	29 (10.8)	14 (5.2)	14 (5.2)	19 (7.1)	22 (8.2)	19 (7.1)	8 (3.0)	18 (6.7)	4 (1.5)	6 (2.2)	0 (0.0)
	40歳代	371 (100.0)	80 (21.6)	59 (15.9)	30 (8.1)	14 (3.8)	28 (7.5)	20 (5.4)	39 (10.5)	33 (8.9)	15 (4.0)	33 (8.9)	9 (2.4)	5 (1.3)	1 (0.3)
	50歳代	440 (100.0)	89 (20.2)	64 (14.5)	24 (5.5)	21 (4.8)	24 (5.5)	21 (4.8)	58 (13.2)	45 (10.2)	26 (5.9)	38 (8.6)	16 (3.6)	12 (2.7)	0 (0.0)
	60歳代	550 (100.0)	112 (20.4)	76 (13.8)	34 (6.2)	21 (3.8)	38 (6.9)	14 (2.5)	68 (12.4)	81 (14.7)	31 (5.6)	35 (6.4)	30 (5.5)	9 (1.6)	0 (0.0)
	70歳代以上	506 (100.0)	88 (17.4)	55 (10.9)	48 (9.5)	17 (3.4)	32 (6.3)	10 (2.0)	49 (9.7)	67 (13.2)	45 (8.9)	42 (8.3)	31 (6.1)	17 (3.4)	2 (0.4)
	無回答	26 (100.0)	7 (26.9)	7 (26.9)	2 (7.7)	1 (3.8)	1 (3.8)	1 (3.8)	2 (7.7)	2 (7.7)	0 (0.0)	2 (7.7)	0 (0.0)	1 (3.8)	0 (0.0)
	性別	男性	1,111 (100.0)	225 (20.3)	152 (13.7)	89 (8.0)	52 (4.7)	79 (7.1)	42 (3.8)	116 (10.4)	130 (11.7)	59 (5.3)	79 (7.1)	44 (4.0)	30 (2.7)
女性		1,310 (100.0)	248 (18.9)	196 (15.0)	110 (8.4)	46 (3.5)	68 (5.2)	56 (4.3)	150 (11.5)	140 (10.7)	83 (6.3)	104 (7.9)	55 (4.2)	41 (3.1)	3 (0.2)
無回答		29 (100.0)	6 (20.7)	7 (24.1)	3 (10.3)	1 (3.4)	2 (6.9)	1 (3.4)	2 (6.9)	3 (10.3)	0 (0.0)	2 (6.9)	0 (0.0)	2 (6.9)	0 (0.0)

■人口減少を「実感していない」

	合計	地域経済の衰退 (%)	企業・仕事の流出・減少 (%)	地域のにぎわい低下 (%)	公共サービスの低下 (%)	地方自治体の運営悪化 (%)	教育レベルの低下 (%)	公共サービスの費用負担増加 (%)	農林漁業の後継者不足 (%)	介護従事者の人材不足 (%)	医療施設の撤退 (%)	地域活動・近所付き合いの希薄化 (%)	伝統文化や祭りの衰退 (%)	その他 (%)	無回答 (%)	
全体	788 (100.0)	140 (17.8)	127 (16.1)	63 (8.0)	42 (5.3)	55 (7.0)	34 (4.3)	89 (11.3)	63 (8.0)	50 (6.3)	77 (9.8)	26 (3.3)	18 (2.3)	2 (0.3)	2 (0.3)	
居住地域	五所川原地域	678 (100.0)	120 (17.7)	109 (16.1)	54 (8.0)	36 (5.3)	47 (6.9)	32 (4.7)	80 (11.8)	51 (7.5)	40 (5.9)	68 (10.0)	23 (3.4)	16 (2.4)	2 (0.3)	0 (0.0)
	金木地域	66 (100.0)	10 (15.2)	10 (15.2)	6 (9.1)	3 (4.5)	4 (6.1)	2 (3.0)	6 (9.1)	9 (13.6)	8 (12.1)	5 (7.6)	2 (3.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (1.5)
	市浦地域	19 (100.0)	3 (15.8)	3 (15.8)	1 (5.3)	1 (5.3)	2 (10.5)	0 (0.0)	1 (5.3)	2 (10.5)	2 (10.5)	2 (10.5)	1 (5.3)	1 (5.3)	0 (0.0)	0 (0.0)
	無回答	25 (100.0)	7 (28.0)	5 (20.0)	2 (8.0)	2 (8.0)	2 (8.0)	0 (0.0)	2 (8.0)	1 (4.0)	0 (0.0)	2 (8.0)	0 (0.0)	1 (4.0)	0 (0.0)	1 (4.0)
年齢	20歳代	127 (100.0)	25 (19.7)	27 (21.3)	13 (10.2)	7 (5.5)	6 (4.7)	3 (2.4)	13 (10.2)	6 (4.7)	4 (3.1)	14 (11.0)	4 (3.1)	4 (3.1)	1 (0.8)	0 (0.0)
	30歳代	154 (100.0)	28 (18.2)	21 (13.6)	10 (6.5)	9 (5.8)	14 (9.1)	11 (7.1)	18 (11.7)	12 (7.8)	10 (6.5)	17 (11.0)	1 (0.6)	2 (1.3)	0 (0.0)	1 (0.6)
	40歳代	157 (100.0)	29 (18.5)	31 (19.7)	11 (7.0)	8 (5.1)	14 (8.9)	11 (7.0)	15 (9.6)	10 (6.4)	8 (5.1)	17 (10.8)	2 (1.3)	1 (0.6)	0 (0.0)	0 (0.0)
	50歳代	149 (100.0)	25 (16.8)	14 (9.4)	12 (8.1)	10 (6.7)	9 (6.0)	6 (4.0)	22 (14.8)	14 (9.4)	9 (6.0)	12 (8.1)	9 (6.0)	7 (4.7)	0 (0.0)	0 (0.0)
	60歳代	92 (100.0)	19 (20.7)	15 (16.3)	7 (7.6)	5 (5.4)	5 (5.4)	2 (2.2)	12 (13.0)	7 (7.6)	8 (8.7)	7 (7.6)	2 (2.2)	2 (2.2)	1 (1.1)	0 (0.0)
	70歳代以上	96 (100.0)	11 (11.5)	17 (17.7)	8 (8.3)	2 (2.1)	6 (6.3)	1 (1.0)	8 (8.3)	14 (14.6)	11 (11.5)	9 (9.4)	8 (8.3)	1 (1.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
	無回答	13 (100.0)	3 (23.1)	2 (15.4)	2 (15.4)	1 (7.7)	1 (7.7)	0 (0.0)	1 (7.7)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (7.7)	0 (0.0)	1 (7.7)	0 (0.0)	1 (7.7)
性別	男性	338 (100.0)	65 (19.2)	57 (16.9)	25 (7.4)	7 (2.1)	29 (8.6)	12 (3.6)	38 (11.2)	35 (10.4)	24 (7.1)	28 (8.3)	11 (3.3)	5 (1.5)	1 (0.3)	1 (0.3)
	女性	434 (100.0)	71 (16.4)	67 (15.4)	36 (8.3)	34 (7.8)	25 (5.8)	22 (5.1)	50 (11.5)	27 (6.2)	26 (6.0)	48 (11.1)	15 (3.5)	12 (2.8)	1 (0.2)	0 (0.0)
	無回答	16 (100.0)	4 (25.0)	3 (18.8)	2 (12.5)	1 (6.3)	1 (6.3)	0 (0.0)	1 (6.3)	1 (6.3)	0 (0.0)	1 (6.3)	0 (0.0)	1 (6.3)	0 (0.0)	1 (6.3)

Ⅱ-4-2.考察

本市における人口減少に関する認識については、多くの市民が人口減少を実感しており、その要因としては、「近所の子どもの数が減った」、「空き家が多くなった」、「学校やクラスの統廃合」など、日常生活の中での地域内の変化によるものが上位を占めています。また、人口減少が進むことで感じる不安については、「地域経済の衰退」や「企業の流出・仕事の減少」等が上位を占めています。現在の五所川原市の施策に対する満足度の調査・分析結果では、雇用の確保や子育て支援、空き家対策等に対する満足度が低い傾向にあり、市民の人口減少に関する認識は、施策に対する満足度と同じ傾向となっています。

このことから、加速する人口減少を緩和させ、持続可能な地域社会を形成するためには、雇用の確保や子育て支援の充実など、市民が安全・安心に暮らし続けるための基盤を整えることが必要であると考えられます。

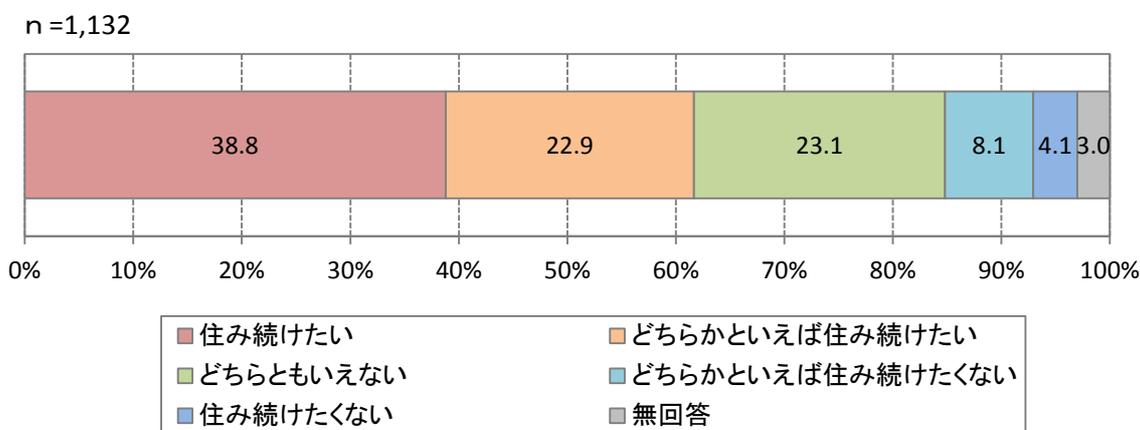
II-5.定住意向

II-5-1.回答結果

これからも五所川原市に住み続けたいかを調査したところ、以下の結果となっています。全体では、「住み続けたい」が38.8%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が23.1%、「どちらかといえば住み続けたい」が22.9%、「どちらかといえば住み続けたくない」が8.1%等と続いています。

居住地域別にみると、市浦地域では「住み続けたい」が40%以上と高くなっています。年齢別では、年代が上がるほど「住み続けたい」の割合が高くなる傾向がみられ、20歳代、30歳代では「どちらかといえば住み続けたい」の割合が最も高くなっています。

【図-60 まちに住み続けること（定住意向）についての割合（全体）】



【表-45 まちに住み続けること（定住意向）についての割合（属性別）】

		合計	住み続けたい (%)	どちらかといえば住み続けたい (%)	どちらともいえない (%)	どちらかといえば住み続けたくない (%)	住み続けたくない (%)	無回答 (%)
全体		1,132 (100.0)	439 (38.8)	259 (22.9)	262 (23.1)	92 (8.1)	46 (4.1)	34 (3.0)
居住地域	五所川原地域	883 (100.0)	347 (39.3)	207 (23.4)	211 (23.9)	71 (8.0)	30 (3.4)	17 (1.9)
	金木地域	167 (100.0)	65 (38.9)	33 (19.8)	37 (22.2)	14 (8.4)	13 (7.8)	5 (3.0)
	市浦地域	52 (100.0)	22 (42.3)	8 (15.4)	9 (17.3)	6 (11.5)	3 (5.8)	4 (7.7)
	無回答	30 (100.0)	5 (16.7)	11 (36.7)	5 (16.7)	1 (3.3)	0 (0.0)	8 (26.7)
	年齢	20歳代	138 (100.0)	26 (18.8)	49 (35.5)	38 (27.5)	17 (12.3)	6 (4.3)
	30歳代	146 (100.0)	39 (26.7)	37 (25.3)	36 (24.7)	21 (14.4)	13 (8.9)	0 (0.0)
	40歳代	188 (100.0)	58 (30.9)	46 (24.5)	53 (28.2)	17 (9.0)	11 (5.9)	3 (1.6)
	50歳代	190 (100.0)	58 (30.5)	49 (25.8)	58 (30.5)	13 (6.8)	8 (4.2)	4 (2.1)
	60歳代	227 (100.0)	118 (52.0)	34 (15.0)	46 (20.3)	16 (7.0)	5 (2.2)	8 (3.5)
	70歳代以上	223 (100.0)	136 (61.0)	38 (17.0)	28 (12.6)	7 (3.1)	3 (1.3)	11 (4.9)
	無回答	20 (100.0)	4 (20.0)	6 (30.0)	3 (15.0)	1 (5.0)	0 (0.0)	6 (30.0)
性別	男性	493 (100.0)	195 (39.6)	111 (22.5)	118 (23.9)	36 (7.3)	22 (4.5)	11 (2.2)
	女性	617 (100.0)	238 (38.6)	142 (23.0)	141 (22.9)	55 (8.9)	24 (3.9)	17 (2.8)
	無回答	22 (100.0)	6 (27.3)	6 (27.3)	3 (13.6)	1 (4.5)	0 (0.0)	6 (27.3)

Ⅱ-5-2.考察

これまでの調査・分析結果から、居住環境や地域コミュニティ活動に対する満足度が高いのに対し、これからも五所川原市に「住み続けたい」、「どちらかと言えば住み続けたい」との回答は約 60%にとどまっています。これは、本市への愛着や定住の希望はあるものの、慢性的な雇用状況の悪化など、市外へ転出せざるを得ない状況によるものであると考えられます。

その中で、「どちらともいえない」との回答が約 20%になっており、本市への定住を促進するためには、まずは「どちらともいえない」と考えている市民が、今後も住み続けたいと思えるよう、本市で暮らすことに対して魅力を感じられる環境づくりを推進することが必要であると考えられます。

Ⅲ 自由意見

今回のアンケート調査では、1,132 人のうち 397 人（35.1%）の方から自由意見をいただきました。意見の中には、複数の分野、テーマにまたがっているものがあったため、その内容から、以下の分野（テーマ）に分類した結果、総意見数は 651 件となりました。

分野別で最も多かったのは、「行政経営など」の分野についての意見となっており、全体の 30%以上を占めています。テーマ別では、子育て支援、雪対策、市政運営・行財政改革に関する意見が多く寄せられています。

【表-46 自由意見の回答数】

回答構成	回答数	(構成比)
記述あり	397	35.1%
記述なし	735	64.9%
合計	1,132	100.0%

【表-47 自由意見分野別件数一覧表】

分野（テーマ）	意見数	(構成比)
1 都市基盤（中心市街地、都市環境、道路整備、公共交通）	69	10.6%
2 産業（農林水産業、商工業、観光、雇用・就労）	98	15.1%
3 保健・医療・福祉（保健・健康づくり、地域医療、高齢者福祉、子育て支援、障がい者福祉、社会保障）	127	19.5%
4 居住環境（雪対策、ごみ、上下水道、居住環境、消防・救急・防災、交通安全・防犯・消費生活）	112	17.2%
5 教育文化（学校教育、スポーツ、社会教育・生涯学習、芸術・文化・伝統）	15	2.3%
6 行政経営など（市政運営・行財政改革、市民参画・広報広聴・情報公開、コミュニティ活動・地域交流、まちづくり・将来のまち、少子化対策・定住促進、市町村合併・地域格差、市議会運営・市議会議員、税金・使用料・手数料、市職員、窓口対応、市役所庁舎・公共施設、アンケート調査、その他）	213	32.7%
7 その他	17	2.6%
合計	651	100.0%

【表-48 自由意見】

Ⅲ-1. 都市基盤

(1) 中心市街地 (32 件)

中心市街地	
1	大町を（旧商店街）どうしたいのか、全く伝わってこない。これで本当に地域の活性化になっているのか？疑問。買い物客はエルムなどに流れ、駅周辺が寂れている。ねぷたの時だけ人で賑わってもどんなものか。もっと先のことを考えて取り決めてほしい。
2	どこも駅前通りに活気がないのは同じですが、何か目玉になるようなものはないか？
3	まちづくりでは大町のみならず、旧市街地（本町、駅前）の復興にも是非とも目を向けてもらいたい。
4	中心部の空き地が少なくなるような政策を実施して欲しい。中心部に人がいない＝廃れた街というイメージとなってしまう。道の駅のようなものが中心部にあってもいいのかもしれない。中心部からは遠い市内に住んでいる高齢者向けに、定期的な移動手段を整備し、道の駅で買い物をしてもらおう（月に一回地域ごとのバスツアーなど）。
5	五所川原駅前の整備はどうするのか。西北五の中心として相応しいまち並みにできないか？
6	高校時代、五所川原市内に通っていたので、先日 30 年ぶりにまちを訪れた友人がたまげていました。私もこの今のまち並みに目が慣れてしまっていました。まちのど真ん中が駐車場だらけなのはやっぱり異常だと思います。車を持たない子供、若者や老人が毎日の買い物に苦労しない商店街があればなあと思います。立ちねぷたの館そばのおいなりさま（神社）の参道？なのかな？せっかくハコものがずらーっとできていてもテナントが入らなくてシャッターが降りている状態なのも残念。せっかく表通りから隠れたい場所にあるので、手作りの得意な人たちに安く貸し出して、手作り小物のお店とか、おいしい漬物屋さんとか市民が気軽に立ち寄れる場所にしてほしい。観光客が喜んでくれるのは嬉しいですが、まず何より市民が楽しめるまちになれたらいいなと思います。
7	私はよく公共の乗り物を利用しています。青森へ行くのも、弘前へ行くのも電車だったり、バスだったり、公共の乗り物が好きなのは間違いないのですが、世間の人達の笑い話だったり悩み事だったり聞くと、私だけ悩んでいるのではないんだと思ってほっとする時があるからです。でもどこへ行くのも出発点は五所川原の駅前です。駅前からまち中を見た時の寂しさ…。まちに賑わい戻そうと市役所の皆さんは本当に思ってるのでしょうか？だいぶ前になりますが、県外からの観光バスでいらした人が、ガイドさんに「ここは無人駅ですか」と五所川原駅を見て聞いていました。どこでもまちの顔となるのは駅前だと思います。そして、真っ直ぐに見えるのが大町です。壊してしまったあとの大町はどうしたんでしょうか…。空き地になって何年になることでしょうか。あそこには何か建つ予定はあるのでしょうか。もし予定があるとすれば、どこに書いているのでしょうか。先送りばかりしていると、どんどん若い人達は五所川原を出て行くと思います。市役所の皆さんも一度、五所川原駅の前に立って、じっくりロータリー方面を見てみてはいかがでしょうか！
8	駅乗降口を東と西どちらからも入れるようにして、東西の駅前を整備してもらいたい。
9	五所川原駅付近の活性化。

中心市街地	
10	エルムばかりではなく、旧中心街（駅前通りなど）の活性化に、もっと力を注いで欲しいと思います。例えば、弘前市土手町のように、色んな方面でのイベントを行うとか。関東方面からの移住者を市のHP上で募集したり、若者が一生住みたいと思うような、賑やかで明るい「五所川原市」を望んでいます。
11	商店の中心が駅近くではなく、ヨーカドー、イオンの両極に分かれた様に思います。昔の様な市内の賑わいがなくなった様に思い、淋しく思います。時代の流れで仕方のないことなのでしょうか？頭の切り替えが必要なのでしょうか？（車社会だから…）五所川原市の中心が元気でなければ、市全体が寂れていく様に思われます。市内を歩く人通りの少なさに、五所川原市はどうなるのだろうと不安も感じます。
12	立ちねぶたやエルムにだけ力を入れている。五所川原の駅前は死んでいる。どうせ書いたところで何の改善にもならないと思うが、書かないよりはましだ！！
13	駅前開発の意味はあったのか？どれだけの税金を使って、あんなに開発して、市民全員に何のメリットがあったのだろうか。普段だれがああ場所に行っているのか？ごく一部の人が潤い、その負担が市民全部に降りかかっているように思える。
14	市の中心街の空洞化の解消がなかなか進んでいないと感じています。今、旧中三デパート跡地にドラッグストアが建設されていますが、近くの高齢者の買い物を考えると、スーパーと一体となった方が良いと思います。民間企業の経営上の問題ですが、今年、バラバラに新設されるのは残念です。
15	エルムばかりではなく、大町ももっと活気を上げる商店街を作ったらいいと思います。
16	市の顔である駅、駅周辺が不十分だと思います。
17	旧市内の活性化についても行政と市民が一体となって取り組んでほしい。
18	駅周辺にもっと若者達が行ける施設を作る。
19	五所川原市として、“立ちねぶた”に力を入れているのは分かるのですが、駅前の工事を見ていると、何をしようとしているのか！？現在の状況ですと、工事前よりも閑散として、まとまりのない状態だと思います。税金を使っての立ち退きでこの有様ですか。住んでいた人たちを移動させ、それまでに関係なかった店がど真ん中に位置するなど理解できないことだらけです。一般市民は権力にかなわないものです！！
20	元の中心街が廃れてしまったのは、もうしょうがないと考えるが、まだ大病院、駅、役場はあるので、高齢者が安心・安全に住める地域として、元の市街地を整備してはどうかと思う。
21	トカトントン広場とかまちなかパーク等、再計画って何？って感じてしまいます。結論から言いますと、エルム、ジャスコに負けない、子供から老人まで参加できるまちの中心を作ることが、農業から雇用まで解決へ導く糸口とっております。そして現代において最重要なのが、駐車場の確保！！駐車場がしっかりと確保できないとシャッター街になって行くのは当たり前です。今こそ一等地にまちの公共機関を作るのではなく、どんどん駐車場を作り、起業できる環境を作ってあげて下さい。特に若者の起業には、どんどん援助してあげて下さい。中心とするまちの土地所有者には、五所川原の現状の借料は高いと言って下さい！昔のキ・友・中時代はもう終わったのだから…。

中心市街地	
22	まち並みにロマンを感じない。旧市街地がゴーストタウンに見えている。
23	五所川原市の中心部には、様々な若者が集まる、遊べる場が少なく、人口流出の原因の一つになっていると考えている。弘前市では、現在、駅北側の大規模な「まちづくり」が行われ、専門店等を招致する準備が整いつつある。現状、財政が厳しいかもしれないが、エルムの街以外の若者の場が市の中心にできれば良いと願う。また、中心以外の場所では、高齢者が集まりやすい、集まりたくなるような催し物を行い、地域の繋がりを疎かにしないことも重要である。近年はどの市町村でも、少子高齢化が問題となり、停滞してしまっている。何とか知恵を絞り出し、五所川原市の新しい活性化を生み出してもらいたい。
24	エルムを中心にもっとまちを広げて欲しい。
25	旧市街地等の道が狭い。旧市街地が死んでいる。飲み屋しかない。 立ちねぶたの館はいらない。 中三、丸友、マルキ、キノシタのあった良き時代へ。
26	まちの中は（特に五所川原駅の辺り）もう手を加えなくても良いので、もっと他の所にも目を向けて下さい。
27	五所川原市や金木町の駅周辺の活気を取り戻して欲しいです。使っていない建物等をもっと活用できないもののでしょうか？
28	五所川原はパチンコ屋が多く、とても下品。 駅周辺の歩道も整備されておらず、とても子供が安心して歩けるような場所ではない。 人口減少は問題だが、移民（外国人）を受け入れる様な愚策は望まない（犯罪が増えるだけ）。 とても若い人が「住みたい」と思えるようなまちになっていない。駅周辺が盛り上がっていないまちは、まちとは呼べない。 昔の商店街、アーケード街が懐かしい。あのような活気がなければいけない。
29	五所川原市内で、特に駅の周辺が殺風景に感じます。学生の時からあの辺りは日中でもシャッターが閉まっていて、通りもあまりないのでさみしいな、と感じていましたが、建物がなくなる事によって、一層さみしい感じになったような…。もう、いっそのこと駅前の方にエルムをもって行きませんか!?高いビルを建てて欲しいのではないんです。今あるものを活用して。難しい事を言うようですが…。うまく何かをやって欲しいんです。半ば勢いで書いたので、字が汚くて申し訳ないです…。
30	中心市街地ってどこにあるの？昔は駅前、大町辺りとかと思っていたけど、今やエルムが中心じゃないの？観光客に「中心市街地はどこですか？」と聞かれても、私には答えられません。以前と同じ駅前から大町、旧ロータリーを中心市街地と呼ぶには、整備しても無理だと思います。やはり、新市街地ってエルムの事ですか？
31	寂れたまち並みはずっと変わらないままで。魅力を感じさせない。駅周辺が整備されない限り大町はそのまま…唯一エルムの街は良いと思う。人気のあるまちを真似てみてもいいのではないか…。
32	駅前、大町の商店街の活性化を図る事。

(2) 都市環境 (22 件)

都市環境	
1	<p>市政に関するアンケートですが、五所川原市内と自分の住んでいる市浦地域では答える事が異なる所もあると思いました。</p> <p>市浦（十三地区）に関して市にお願いがあります。コミュニティセンターを建てていただいたことはとても喜ばしく思っています。しかし今まで使っていた公民館を壊すことにより、公園で遊ぶ子供達がトイレに困ることになります。今でも公園の付近の商店や民家にトイレを借りに行くそうです。子供達が遊ぶ場所、祭りの会場として使っている場所にトイレが無いのはいかがなものでしょうか。せめてトイレと手洗い（水飲み場）を検討してください。子供達が安心して安全に遊べる公園であって欲しいと願っています。どうぞ宜しくお願いします。</p>
2	<p>使用されない堰の処理（雑草が密集して悪臭がひどい）。</p>
3	<p>お金をかけずに子供が遊べる場所が欲しいです。また、幼児を持つ母親の働く場所もなかなか難しいと思いました。時間帯を考えるととても幼児の親は働けない環境であると実感しています。働きやすい職場を整えていただきたく思います。</p>
4	<p>公園はあまり整備されているとは思えませんが。</p>
5	<p>遊ぶ所を作ってもらいたい。</p>
6	<p>芦野公園の整備や動物園をもっと楽しめるようにして欲しい。動物も少なくなって、賑わいが無い。</p>
7	<p>芦野公園なども整備はされていると思うが、警察なり市の担当の方の見回りがあったほうが良いと思う。小さい子供が遊んでいるにもかかわらず、小、中学生がビービー弾をすぐ近くで撃って遊んでいるのをよく見かけます。</p>
8	<p>住宅街に子供達が安心して遊べる公園を増やして欲しい。</p>
9	<p>私はみどり町の市営住宅に住んでいますが、現在は公園に遊具がなく、外で遊ぶ所がありません。小さな子供達も遊べるような公園を作ってほしい。</p>
10	<p>今の季節感じるのですが、まちの景観が青森市や弘前市、あるいは都会に比べると、なんか淋しいというか、乏しい…。おもてなしの観点から言うと、もう少し花があっても良いのでは…。街路樹の下など草が生い茂っていて残念だなと思う。せめてメインストリートだけでも手入れの行き届いた「花でのおもてなし」を希望したいです。</p>
11	<p>特に市街を歩いて感じるのは、なんと殺風景なまちなのかと。これはなぜなのだろうと…。やはりこれはまち並みに植栽がほとんど整えられていない事です。冬、雪が多いから除雪の邪魔になる。だから、何も植えない方が良いとの考えなのかもしれませんが。それでは雪の多い青森市、弘前市はどうでしょうか？街路樹を確保し、手入れがなされ、きれいなまち並みです。4ヶ月間の雪の為に後の8ヶ月間殺風景なまちでいいのでしょうか？どこへ旅行へ行っても、わー。住んでみたいまちだなーと思うのは、必ず街路樹が整えられているまちです。こう考えるのは私だけでしょうか。</p>
12	<p>まちの規模に対して、公園等が少ないです。私の住んでいる地区には1つもないので、車か、自転車で行かないと遊ぶ所がありません。気軽に行ける公園を。できれば1地域に1つくらいはあってほしい所です。</p>

都市環境	
13	最近、小さい公園の遊具がどんどん撤去されていて、何もなくなっているのでもさみしい。今後、遊具を増やす予定はあるのか？
14	各地の公園の整備をしてくれることをお願いします。
15	公園のすべり台を足で蹴って、パワー、パワーと耳障りな音を立てる子供が多いので、音の出にくい材質のものに取り替えられないものだろうか。
16	今、2人の乳幼児を育児中です。五所川原はなかなか子供を自由に遊ばせるところがなく、困っています。折角、家の近くに公園？があるのですが、全く整備されてなくて、使用することが出来ませんでした。また、弘前のヒロロや青森のラビナ等、無料で子供達を遊ばせることができる屋内型の公園のようなものがあると、母親同士の輪も作りやすいので、欲しいなと思います。
17	菊ヶ丘公園で、毎日夕方17:30~になると、犬を遊ばせに来る人が集まっているが、リードを外して自由に走り回らせていて、犬に追いかけられたこともある。子供も遊んでいるし、大変危なく思っています。ノーリードは禁止にして欲しい。
18	公園の数を増やして欲しい（遊具数も増やして欲しい）。
19	菊ヶ丘公園を整備し、市民の憩いの場として欲しい。いかがなものか。
20	1年半ほど前に仙台から五所川原に転入して来ました。五所川原には公園が多くてきれいに整備もされているので、子どもも喜んでおります。
21	公園の整備に不満があります。災害があったとき、一時的に避難するにしても、トイレや水飲み場が、市内の公園には設置されていない状況です。私が知っているのは、岩木川の北斗グラウンドの側と菊ヶ丘公園、広田団地内の公園だけです。散歩をしたときに、利用しようと思っても出来ない状況です。遠方から来た場合に、利用できないのは不便です。また、散歩道も草で覆われていたり、河川側の道も十分に整備されていないと思われます。東日本大震災の教訓を活かし、今一度公園を含めた公的建物を一つ一つ確認して下さい。よろしくお願いします。
22	去年五所川原市に引っ越してきたが、その前に住んでいた埼玉よりも、子供が遊ぶ公園も少ないし、管理がされていない。

(3) 道路整備 (10 件)

道路整備	
1	津軽道の道路が悪い。
2	道路がボロボロでみすぼらしいのできれいにしてほしい。
3	道路の舗装工事が下手です。すぐ悪くなったり、いつもつぎはぎで舗装して、指定業者の見直しが必要だと思います。
4	道路のひび割れ等がひどく、所々に舗装を敷いているが、全く直したことになっていない。市浦地区（相内）内の道路整備をきちんとしてほしい。
5	マリュウ通りが、市道か県道か国道かわかりませんが、信号が改善できないものかどうかご検討願いたい。マリュウ前の通りから、エルム～五所川原大橋の通りまで、信号が5～6ヶ所あり、青又は赤がまちまちに変わっているので、いらいらするという声が多く聞かれます。青森市内の信号のように、一斉に青又は赤にできないものかどうかご検討をしていただけたらと思います（信号のところに右折車線はありますが、左折車線がないので無理かもしれませんが。）。
6	道路をもっと大きくしたらいいと思います。
7	中央小学校への通学路（松島町、グリーンベルト）の車輛規制の見直しとグリーンベルトを道路として整備出来ないものか。
8	町内で、横断歩道のラインが消えている所が多々ある。道路のセンターラインも消えている所が随分ある。観光客も大事だが、市民のためにもお金を使ってほしい。
9	道路が凹んだりしている所がありますので、市長さんも何かと大変でしょうが、できましたら見に来て頂いて、直して頂けるようにして下さいがあればありがたいです。どうか、どうかよろしくお願い致します！！
10	市道・県道の格差が激しい。

(4) 公共交通 (5 件)

公共交通	
1	富士見団地も、一人暮らしの高齢者が増えました。それに伴い希望することは、エルム街、オルテンシアへのバスが団地を経由して欲しいことです。これは住民の多くの声であります。エルムへの買い物、オルテンシアへの催事の見学など、行きたくても足が無くて困っている現状です。住み良い社会づくりのために、是非実現させて下さることを願っています。案として、1号棟の北側の道路を少し広げて、バス停を造ったら如何なものかとの提案もございます。ご検討のほど、宜しく申し上げます。
2	公共交通を利用しての移動ができるようにしてほしい。不便である。この先、車の運転が出来なくなった時の移動手段がない。
3	バス、路線や本数なども増やして欲しい。
4	五所川原駅、津鉄、弘南バス等が一体して整備が必要だと思います。
5	もう少し交通の便が増えても良いと思います(自家用車じゃない人の交通手段が少ないです。)

Ⅲ-2. 産業

(1) 農林水産業 (7件)

農林水産業	
1	私は農業をしていますが、米が安く、減反が多くなって行く中、ブランド的野菜が五所川原市にはないと思います。五所川原市では、そういうところをどうお考えなのでしょうか。だれでも出来る、高収入にできるブランド野菜を考えてほしい。
2	農業の面でもブランドの開発、地域物産を生かした生産性のある仕事を自治体と市民で力を出すべきだと思います。
3	産業の活性化、法人農業の促進。
4	第6次産業と五所川原市の元々得意な産業を特化させてはどうでしょう？
5	「農業」について。新規での参入が難しい。よそ者扱い。JA等役人達が威張りすぎ。
6	農業にももう少し目を向けて欲しいです。何とか生活できるくらいの値段にして欲しいです。
7	農家を大事にしてほしい。 建設業だけが優遇されているのでは!!

(2) 商工業 (11件)

商工業	
1	軽トラ市はもっと新鮮で市価より安い商品が欲しいです。ちょっと高いし、新鮮さが足りないような。わがままかな。
2	みどり町には、近くにスーパーがなく、とても不便です。だんだん年老いてくるので、スーパーを作ってほしい。バスでエルムまで行くしかなく、一時間おきなのでとても不便です。回数を増やして欲しい。
3	市内に道の駅を作って欲しいです。
4	津軽道インター周辺に工業団地を設備し、県外からの企業誘致を図る。
5	きちんとした道の駅がない。
6	高齢者、病人、けが人等が歩いて買い物ができるよう、冬場の買い出し対策として、スーパーの支店、または出張店舗が必要。エルムまではタクシーで買い出しする人たちがいます。コンビニのようなスーパー支店が欲しい(コンビニは割高)。
7	五所川原に嫁いでまだ1年半ですが、近所づきあいは大切にしたいと思っています。しかし、五所川原は情報が少ないと思います。地域経済の活性化を図りたいのなら、五所川原市内にどんな店があるか、居酒屋や服屋、レストラン等、何も情報がないため、エルムに人が集まると思います。クーポンマガジン「カム」までレベルを高くしなくても良いので、クーポンもあって、お店のオススメが載っているチラシ?みたいなのがあれば、商店街や川端などに足を運ぶと思います。
8	五所川原市に純粋な「道の駅」が出来ることを願ってます。つがる市の物産館、鶴田の道の駅、なみおかの道の駅に、私はお客様を連れて、わざわざ行ってるのです。
9	コストコやI K E A、東急ハンズ等、五所川原近郊にあればいいと思います。人が集まる場所(ショッピングモール、飲食店、その他施設等)がもっとあれば、人々が働く場所もでき、人口減少を減らすことに繋がらないでしょうか?とにかく活気を!!

商工業	
10	「道の駅」とか「市場」みたいな、生産者と消費者が一体となって新鮮な食料の入手、また、そうした購買を通じて交流できるような場所、建物の建設を望む。
11	五所川原の商店街は営業している所が少ない。駐車場がないため、どこに行くにも不便。若い人達が入る店があまりない（E L M、ジャスコしかない）。そのため、高齢者が多くなり、若者は県外に出てしまう。市のイベントが増えたのは、とても良いと思いますが、立ちねぶたも厳しくなり、盛り上がりが減った気がします。みなさんが住みやすく、楽しい、笑顔の五所川原にして下さい。

(3) 観光 (36 件)

観光	
1	五所川原に住んで、6年ですが、年間を通してまちおこしのイベントがあって良いと思いました。(メロスマラソン、軽トラ市、立ちねぶた等)先に立ってやろうと思う方がたくさんいるのだと思いました。立ちねぶたに出てみたいと思うのですが、子供会がないので残念です。月一回とか無料で参加できる子供向け教室があれば良いと思います。たとえば、チケット12回で空手、サッカー、英語、そろばん等の中から選ぶような感じで・・・みんなの意見でよりよい五所川原市になっていくと思います。
2	立ちねぶた祭りでは歩いている人が多く、見た目に良くない。踊りを増やして欲しい。参加するのは良いことだが、ベビーカーをおしてまで参加するのはどうかと思うし、ビール等を飲みながらおしゃべりして歩いている人を見るととても残念に思う。もっと五所川原をアピールできる踊りで、まとまりをつけて欲しい。 花火大会では見る場所が離れてしまうとアナウンサーの声が聞こえづらいので、線路側にもスピーカーをつけて欲しい。
3	地域物産のブランド化はいいと思いますが、贈答品としては少々、価格設定が高いと思うし、量も少ない気がしてあまり活用する気にならない。
4	虫送り火祭りが縮小傾向になり、寂しさを覚えます。予算の関係でそうなったと思うのですが、市や商店街の活性化のためにも昔のような祭りの賑わいが欲しいです。観客はほとんど父兄各位といった状況でも出発も立俣武多の館ありきで運行距離も短く、運行された方々のご尽力は大変なものだと思いますが、せめて昔のように駅前出発とはいかないものでしょうか？ なのための虫送り祭りなのか・・・本来の虫送りではなくなっているような気がします。 立俣武多もカラス跳人を除外するだけではなく、カラスさんたちにねぶたを作らせてみては？ 案外真剣に作るかもしれないし、祭りを大切にする気持ちにもなるかも、と思います。甘い考えかな？
5	立ちねぶたのような祭りイベントをする。田んぼアートのようなことができないだろうか。F M五所川原はいまいちだし。五所川原のご当地アイドルAKBのような・・・。ミス五所川原開催なんて？ どうかしら。

観光	
6	<p>五所川原市には、作家太宰治の生家があるため、年間かなりの観光客が来てくださっています。太宰の人気・知名度は、現在までも長く、中学生の教科書に利用されている「走れメロス」の影響もかなりあると思います。これにあやかり、市内に「顔はめ看板」を作成しては如何でしょうか。</p> <p>例えば</p> <p>①五所川原駅では「メロスと妹と町の人」の顔はめ看板</p> <p>②金木駅では「走っているメロス」の顔はめ看板</p> <p>③道の駅トーサムでは、夕日をバックに「王とセリヌンティウスとメロス」の顔はめ看板等です。他にも寄りそうな観光地に「妹の結婚式」等、物語に沿っていろいろな看板を作れます。ただ、それだけでは1箇所写真で撮って終わりそうなので、全部を回った写真が撮れたら何か良いことが起こる。</p> <p>例えば、子供向けには「友情パワースポット」的に売り出しても面白いと思います。「恋人」向けだともっと良いのですが、関連を思いつきません。</p>
7	馬ノ神山に展望台を設置できないものかどうか（津軽一帯の眺望が抜群）。
8	五所川原の名物を作れ。
9	<p>観光と農家をもっと結び付けるべきだと思う。米作りのためもどってきたが、農家はやっていけない。</p> <p>農家：年寄りしかやってない（若者が居ない）。兼業では大変である（そりゃ、やらない）。儲からない。</p> <p>観光：観光PRが足りない？宿泊施設は？【農家と観光】案があっても通らないと思うので書きませんが、できることはあると思います。</p>
10	<p>現在目に見えて行われている観光産業や減塩・食事に対する取り組みはとても良いと思う。いい食材がたくさんあるので、PRに力を入れてアピールすべき！金木には太宰という有名人もいるのです。それにのってもっと大きくPRできる事はあると思う。市が活性化されなければ、若い人達はどんどん県外に流れ、戻る事はなく、人口の減少、年寄りばかりで後継者がなく衰退する一方です。</p>
11	<p>広告関連の仕事に就いているので、県内の自治体と接することが多いです。</p> <p>規模が異なるので、単純な比較にはならないと思いますが、弘前市などは、あらゆる面で洗練されていると感じます。訪れたい、住みたいと思わせる行政の思いが伝わります。五所川原市は、ちょっと…。同規模程度の十和田市でさえも、観光に対する取り組みは数段レベルが高いと思います。よく周囲からは「五所川原はぱっとしない」といわれることがあります。市民としては残念です。全てが市政の責任だとは思いませんが、市民全体で意識を高めていく手立てを考えていければと思います。</p>
12	<p>意見を少し述べたいと思います。</p> <p>菊ヶ丘公園の桜とってもきれいに咲きます。夜ライトアップして夜桜などをやってみてはいかがでしょうか。ねふたも大事ですけど、もう少し市内を盛り上げたらどうでしょう。</p>
13	<p>ねふたの歩道の場所取りで市外や県外の人がかっかりしています。少しどうにかしてください。</p>

観光	
14	<p>観光資源の整備活用について以下のとおり。</p> <p>金木町の宝、文学者太宰治。太宰の生家斜陽館。</p> <p>電車の駅のある芦野公園。</p> <p>12本ヤシ。道路を整備し、観光バス通行可。</p> <p>十三湖でのシジミ取り体験。</p> <p>宿泊施設の建設。</p> <p>太宰の生家へ泊まろう！！古民家へ泊まろう的な考え方で斜陽館で宿泊体験。</p> <p>田舎料理の提供。すべて地元の人間で地元の食材を使用。</p>
15	<p>“〇〇のまち 五所川原”と感じられるものがない。立ちねぶただけでは暮らしに直結しない。</p> <p>教育のまち、農業のまち、福祉のまち・・・等市民も、県外の方にとっても実感できるまちづくりをして欲しいです。</p>
16	<p>私は金木地区の方ですが、観光に対してもっと力を注いでもらいたい。出来るなら宿泊施設を作っていただきたいと思う。五所川原中心街も大事ですが、金木地区、市浦地区の観光に誠意を示して欲しい。地方があるから中央があるんです。地方なくして中央は栄えない。宜しく！！</p>
17	<p>現在、五所川原市では立ちねぶたで多くの観光客を呼んでおりますが、その他の地域でも何か、例えば市浦なら牧草地帯の一角か、あるいは金木地区の山のどこかに、四季の花々の群生地を広く造り、もや（青森市）のコスモス、横浜町の菜の花、又はどこかの芝桜、紫陽花など、五所川原市のそこに行かないと見られないと云う様な特徴を出し、将来的にはレストラン、宿泊も出来、産直の物も置いて、働く場所も増えて、観光客も呼べるそんなことも考えて欲しいと思います。</p>
18	<p>立ちねぶたばかりやっているの、金木・市浦地区の祭りにも予算を増やすとか考えて下さい。</p>
19	<p>五所川原に何十年も住んでおりますが、温泉が多くてとても良いと思います。五所川原に住んでいる人に限り、200円ぽっきりの温泉を作ってみたらいいと思います。</p>
20	<p>駅の所にある小さいのではなく、車も停められるような大きい道の駅のような所を作って、観光に活気を持たせたらどうでしょう。</p>
21	<p>五所川原市に移り住んで、走れメロスマラソンや、太宰治や虫送り、今まで知らなかった催しも多く、特に太宰の居住跡がある事がとても誇らしい事だなと感じました。ただ、催しが終わった後、看板がいつまでも設置されているのが気になりました。</p>
22	<p>イベント事をもっと増やす。</p>
23	<p>中央では飲料水（六甲の水、富士山の水 etc.）だけでもバカ売れなのです。</p>
24	<p>五所川原市の目指すものが何なのかわかりづらい。駅前を活性化させたいのかも知れないが、無理ではなかろうか？折角、ねぶたがあるのに、いまいち活かしきれてないように感じる。ねぶたがあつて、市にお金が落ちているようには感じられない。観光客が来ても、市にお金が落ちてないと思う。</p>
25	<p>他県などに旅行しても、五所川原市が大好きですぐに恋しくなります。ですが、自分で住んでみると恥ずかしい部分もたくさんあります。まず、栄えているのがELM周辺ばかり。立佞武多の館もそんな大して見所ありという感じがしません。五所の大イベント立佞武多も、去年の天候も悪かったのですが、観光客が少なくてがっかりです。カラスが少ないとか、厳しくなったとかどうでもよくて、警察が一行に並んで追いかけているのは、見た目が悪いです。</p>

観光	
26	毎年、立佞武多に吉幾三さんが来てくれていますが、ただ台に乗っているだけなので、なぜ来ているんだろうと毎年思います。
27	ねふたに関してですが、18,000k先のブラジルのサンパカーニバルに出場していますが、税金をかけて、ブラジルに持って行く意味が、今ひとつ理解できません。その分の税金があれば、何かしら別の予算に活用できると思います。
28	立ちねふた見物や津鉄列車の各企画等を目的に、観光客がどんどん増えてきている点は、すごく嬉しいと思います。関係されている方々の御尽力に頭が下がります。その立ちねふたや津鉄列車を前面に出しながら、五所川原市各地域の観光資源にももっとスポットを当てて頂けたらと思います。小さな集落でも大きな目玉資源がある！！というところがたくさん点在しているはずです。そういう地域をフューチャーし、観光客を呼び込めば、その地域・集落自体の活性化にもつながります。もしかしたら、その活性化が更に良い相乗効果を生み出していかもしれません。宣伝・広報活動を上手く実施し（市外・県外の知り合いから、五所川原は宣伝下手！と良く言われています）、今以上の素敵な五所川原市となるよう期待します。
29	立佞武多以外活気がない。
30	立ちねふたの活性化、素晴らしいと思い、誇りに思います。
31	津鉄で、テレビ、新聞でいろいろアピールしてますが、建物が老朽化し、観光に来た方へもあまりにも恥ずかしい（弘南バス待合所含む）と思います。市役所新設の前に市民体育館、市営球場、北斗グランド（河川敷）等を整備して、エルム以外に市以外の方々が来るようなまちづくりを注いで欲しい。
32	コンサート等を行えるようなホールがあれば…と思います。オルテンシアよりも規模の大きなものです。青森市や八戸等のように、もっと様々なアーティスト等と呼ばたらいいと思います。また、パークイン、サンルート、サンルートパティオの他に宿泊施設があればと思います。
33	まちにイベントを行い、人が集まり、活気あるまちづくりになる様。
34	観光にお金をかけない。ねふたや虫祭りをやめる。
35	先日、数年ぶりに虫送りに参加したが、予想以上の人出、賑わいを感じた。また、FMラジオで虫送りが紹介されていた（全国版番組）。人口を増やす事は、急には難しいと思うので、祭り、集いの時に人が集まって賑わうまちになって行ければ良いと思う。地域イベントには、積極的に参加したいと思っているので、市でも支援して行って欲しい。
36	五所川原市観光地、催し物の他県へのアピール不足。観光に来られた方達が五所川原市に宿泊せず、他地へ行ってしまふ事がとても残念に思います。民間から民宿という形で提供してくれる家を応募、登録するなど活用してみたいかでしょうか。五所川原立佞武多 歴史ある五所川原の文化が次世代につなげて行く事を願う者です。

(4) 雇用・就労 (44 件)

雇用・就労	
1	市浦が好きで市浦に戻ってきました。でも働く場が少ない。もっと地元の産業を元気にしてほしい。
2	五所川原市にも安定した雇用の場があったら活気づくと思う。
3	あと数年で60才を目前にして、65歳が高齢者対象になることには少し…(笑)。健康ならまだまだ働き盛りのわけですから、シルバー人材の強化もよろしくです！
4	都会の方から多く、誘致企業を取り入れてくれるような市政であってほしい。
5	企業誘致して働く場所を増やして欲しい。
6	働く場所が少ないのもあるが、いまだに賃金格差があり、特に若い人の流出は防げないと思います。公務員と民間の賃金格差もあると思いますし、労働の対価に見合った賃金体系にして欲しいです。
7	働く所を増やして欲しい。
8	よくわからないが、大手企業が五所川原に支店や営業所があればいいのになあ。
9	若者の働く場を作る知恵を皆で真剣に考えていくこと。
10	市浦(相内)地区内にも、シルバーとか関係なく、車の免許がない人のためにも、働く場所を作って欲しい(生活困窮者も)。 ヘルパーの資格をもっていて普通車の免許がない人も平等に働けるようにして欲しい。
11	五所川原には他の市町村と違って20代から30代40代の若者たちの働く会社が少なく、政争が激しく、これからの若い人達は大変だなあと思っています。
12	仕事をする場所を増やして欲しい。人口減少などが減少するのではないかな？
13	ドームの所を通る度に、若い人たちが草取りとかしているが、話ばかりして時間がたっているように思えます。何度もそういう場面を目にしています。雇用を増やす為かもしれないが、簡単な仕事はシルバー人材センターにお願いしてはどうか？私は体が痛くなるほど働いて税金を払っているんですから、経費節約でお願いします。
14	ずっと前から思っていたことがあります。どうして五所川原にはレジャーランドが一つも無いのだろうということです。何か一つ位あれば、市に金が入るし、市民の働く場所になるのに、多くの人が働けるのにとずっと思っています。
15	ここに居ても先が見えない。住んでいけるか、不安になる。仕事もない。働く場所も少ない。不満だらけです。
16	企業誘致を進めて欲しい。移住、子育ての面からも、働き口がないと、住みにくい。業づくりへ力を入れて欲しいです。
17	市長さんはじめ市議会議員の皆様には、是が非でも市に将来性ある企業を誘致して下さるよう、汗を流してもらいたいです。ただ単に、人件費を安く出来るからとの理由では企業誘致は難しいと思う。それであれば、中国や東南アジアの国外へ、企業は人材を求めてしまう。
18	若者、高齢者問わず、就業・雇用の場の確保、拡大して欲しい。企業の誘致をもっと精力的に進めて欲しい。
19	若い人の就職先を確保するために、農業をできるようにしたらどうでしょう。

雇用・就労	
20	年金生活者に仕事を下されば助かるのです（月6万円では生活できないので）。体が動く内は働いて少しでも収入を得たいのですが…。悲惨な事件が起こらない為にも。税金等支払が拡大している近年、一般若者がもっと生き生き働け、高収入になれば、人口も増えるのではないのでしょうか。派遣事業が悪い下りでは。
21	学校を卒業したばかりの若者に就職を。収入がないと年金の支払いも結婚も無理。従って、人口が増えない。パート、アルバイトだと市内では10万円前後かな。市職員の皆様には、理解できない額です。定年退職される方は、ハローワークで仕事を見つけて下さい。若者に仕事場、与えて下さい。50歳～定年までのボーナス、退職金、市民から見ればすごい事です。生活保護者の方が国民年金者より収入が多いのは、おかしいと思いませんか。何か良い方法（解決）はありませんか。不思議です。今全国で色々な事件があります。原因の一つは、無職、生活苦です。安定した職員の皆様の心に届いたら嬉しいです。
22	パートの若者に希望を！時給が安くて結婚できない。人口減少になっている。謙遜で親切で従業員に思いやり深い経営者が少ない様です。
23	市税、保険税等の納税。いかに税を取り立てるかという発想から、いかに仕事、職場、産業を育てるかという発想をして欲しい。仕事をし、収入があれば、納税できるわけですから、市や県は企業を育成し、労働人口を増やす対策を。そのためには、東京の中央依存から開発担当、発明団体、工業系の大学と連携をして、新しい産業を育成した方が企業誘致より効果があると考えています（市内では大手保険会社の撤退、東芝、日立等の撤退をみて欲しい）。
24	市内に（県においても）働き口が少ないため、人口流出は防げない。農業、漁業の法人化を計り、給与化しないと若い人たちは他へ移動してしまう。安心して働ける環境がないと衰退の一途であり、将来が見えてこないため、人口減少は避けられない。行政の対応（対策）が重要となる。
25	私も間もなく定年退職を迎えますが、健康で働く気持ちがあれば働きたいと思っている人が多くいると思うので、市側でも取り組んで頂きたいと思います。安心、安全なまちづくりのために、応援、協力していきたいと思います。
26	市長、議員に企業を連れてきてもらう努力をしてもらう。
27	五所川原市には魅力を感じられる会社がほぼない。これでは若い人たちは定着しない＝人口減少＝色々な質の低下につながるのではないかと。
28	安定した仕事が欲しいです。人口減少になるのではないかと思います。
29	地元で若者の働く場を、使用人を増やすこと。
30	企業誘致→人口増加・消費アップ。
31	雇用創出に即効性のある処方箋である企業誘致が、徹底されていないと感じる。最も新しい（最近の）企業立地が東芝のコールセンターであることは、プラス・マイナス・ゼロどころか、マイナスの雇用効果となっている。税制、補助制度の見直しは当然のこと、漆川工業団地のPR活動や、思い切った分譲価格の引き下げなども真剣に考えていくべき。20年近く新規立地のなかった六戸町の金矢工業団地への大型木材加工施設の立地を詳しく調べ、県と足並みを揃えて企業誘致活動に取り組んで頂きたい。
32	若い人も中高年の人も安心して働ける所があると安心できるので、そういう場を作って欲しい。

雇用・就労	
33	若者の仕事を？
34	安定して働ける会社などが少なく、市内で仕事をするのができなくて大変。母子家庭なので、資格を取りたいと思っても、経済的に無理もあり、資格がないと仕事があるけど雇ってもらえない。資格を取るための支援などあればいいと思う。
35	仕事がない。
36	市内だけでなく市浦地区にも若い人達が暮らせるような仕事場が欲しい。
37	若い子たちが正社員で働ける所が市内にたくさんあれば良いと思います。
38	若い人の職業の斡旋、説明の有無。県内企業の定住。
39	若い人が出稼ぎをしなくても収入を得ることが出来るように、企業誘致を進めて欲しい。ますます、今のままでは、若い人がどんどん都会に出て行き、年寄りばかりにならないように、行政も考えて欲しいと思います。
40	若い人の就労の場が少ない。
41	給料が少ないため将来が見えない。
42	雇用先がもっとあれば良いと思う。そうすれば人口の減少を防げると思う。
43	若い世代の人が安心して子供を生んで育てられる（仕事があって給料が上がっていく）、市であって欲しい。老人（退職した人等）が元気なうちは安心して生きていける、仕事出来る市であって欲しい。仕事をしたい人が、きちんと働ける場所がある五所川原市であって欲しいと思います。
44	雇用がない為、市への定着も減って当然で、打開策を考えないといけない。真剣に取り組んで実行してもらいたいと思う。

Ⅲ-3. 保健・医療・福祉

(1) 保健・健康づくり (2件)

保健・健康づくり	
1	最近、健康を意識してか、ウォーキングをしている人を結構見かけます。例えば、60歳になったら記念に万歩計をプレゼント(欲しい人に)したら、いかがなものでしょうか。
2	短命県返上と県が題材的に謳っているのに、市として動いている様子が見えない。夏場は積雪もなく、ウォーキングやランニング等、個人でお金のかからない運動が出来るが、冬期はそうゆう場所がなく、健康管理が難しい。3年ほど前までは、ドームを開放し、周回をウォーキングやランニングを市民に開放していたが、突然、使用できない状態になった。タイプは違うが、平川市の平賀ドームは市で管理している。トレセンやドームを一般開放し、(ウォーキングやランニング)冬期のトレーニング場がある。五所川原市も見習って欲しい。市外の団体や学生に開放する前に、市民税を払っている市民に優先的に使用させてもらいたい。

(2) 地域医療 (33件)

地域医療	
1	西北病院の建物取壊しを東奥日報で知るより、広報で知りたいね。つがる総合病院には、時折お世話になっているから苦情は我慢する。
2	つがる総合病院の医師の質の改善を望みます。
3	大きい病院が近くにあるにもかかわらず、紹介状が無ければ行けない点。個人病院からの紹介だとお金がかかる点など、かえって近隣に住んでいる方が良いと思われる。
4	つがる総合病院に関しては市民の間では安心して入院できないと不満を聞きます。入院しても他地域への転院を勧められるので入院患者も家族も不安になります。出来るならば、居住地域での入院を最優先して欲しいです。
5	つがる総合病院の優秀な医師の確保。
6	総合病院が出来たが、個人病院への紹介が目立つ割に特に変化が見られない。個人病院へはあまり行きたくはない。病院代が高くつく。
7	安心して入院できるつがる総合病院にしてほしい。
8	つがる総合病院、りっぱに出来ましたがいりいろ制約等あり、なかなか親近感もてません。
9	つがる総合病院と以前の西北病院の違いがあまり感じられない。相変わらず土日祝日休み、待ち時間が早くはなっているが…。仕事を休んで通院となるので、別に多少時間が長いのはあまり苦にならない。市長が力説していたイメージとは違う気がします。それならいっそのこと、民間病院を何かの形で優遇したほうが助かるのではないのでしょうか。田町のクリニックさんなどは、遅くまで受付してくれますよ。
10	つがる総合病院の運営が、利用者から不評の声が多々聞かれる。運営側の都合や便利でなく、利用者(患者)の立場での運営を強く希望します。又、将来のため医師育成のための制度(看護師等も含む)を制定して、充実したスタッフづくりに努めて欲しい。

地域医療	
11	つがる総合病院の待ち時間が長すぎます。診察が終わると午後になってしまいます。建物だけが新しく、中の方は全く進歩していません。するべきです。職員の方ももっと患者や患者の家族の気持ちを考えて欲しいです。看護師は親切ですが、一部の先生は最悪です。一般の人は医療に関して素人です。説明を聞いてもよくわからないので、もっとわかりやすく話して欲しいです。皆の税金で給料をもらってるので、市民に親身になってくれる職員になってもらいたいです。
12	金木病院、つがる総合病院ですが、やはり評判が悪い事この上ありません。患者をしかる医師、入院患者に対して自分の業務を増やさない様に嫌味を言う看護師、今すぐ命に係わる状況じゃなければ急患を受け入れない病院。税金をかけて作る必要はありませんでしたよね。この2つの病院の評判の悪さは、すごいものです（地元の者は嫌ってわざわざ弘大まで行っています。もしくは、ドクターヘリで県病まで行ってます。）。
13	つがる総合病院の看護師の対応が、青森市内の病院と比べると腹立たしいことがいっぱいあります。
14	つがる総合病院の職員の対応、態度がとても悪い。税金を多くとっている割に何に使われているのかわからない。私達は、市役所職員等の為に税金を払っているではありません。職員なども市の責任者としてしっかりした態度で仕事をして欲しいです。
15	つがる総合病院は、駐車場も迷うし、何か目印をして車の運転をしやすい駐車場にしたらいいと思います。まだ病院には慣れていない人が多いみたいで、1回で済ませるものが2回以上行かないと、とか聞きました。大きい病院がせつかく五所川原に建ったのに、迷いが多いのではないのでしょうか？お年寄りの方はとても困ると思います。内容的なものをわかりやすく、チラシでも入れてみたらいいと思います。
16	西北病院の評判が悪いです。
17	五所川原市に住めていて良かったです。災害など少なく、都市とふるさとの中間の感じの五所川原は、とても住みやすく嬉しいです。その五所川原の良さを伸ばして、沢山の人口と活気あふれる市になればと思うのだけれど、一部どうしても昔から変わらないマイナスな所があるので、そこを改善できたら、素敵なまちになると思っています。そのマイナスな部分とは、市役所内とつがる総合病院内のスタッフのレベルが低すぎる所です。そのレベルの低いスタッフが地元のスタッフというのは、とても残念でなりません。せつかく、新病院になり、設備が良くなったのに残念です。これでは、新市役所になっても残念な結果になってしまいそうです。
18	つがる総合病院が完成してからの診療、診断、対応の評判が最悪です。多大な借金をして設立したのに、医療従事者の対応が悪いです。市で病院に対する街頭調査すべき。財政の無駄遣いになってる。
19	つがる総合病院の正面玄関の駐車のことについて、私は不満がある。何故、車を駐めてはダメか。納得いかない。おもしろくない。怒りさえ覚える。改善願う。
20	つがる総合病院の駐車場が足りない。
21	つがる総合病院が立派になっても、対応出来ない手術など、大学や県病に紹介され、1日も早く設備など整えてもらいたい。
22	つがる総合病院の産婦人科の所に男子トイレがあるのは、お互い気まずい感じがする。たまに音が聞こえる時もあるので…。

地域医療	
23	総合病院の体制を考えた方がいいと思う。
24	総合病院を夜間に急患で受診したときの対応を考えて欲しい。研修医への不満が、小児科の病院へ行くと、他の家庭からもよく耳にします。
25	ドクターのレベル、考え方をもっとスキルアップして、他県、東京ぐらいの知識、技術を上げて、安心して行ける病院を作ってください。青森のレベル、特に五所川原はレベルが低い！！
26	病院も、つがる総合になってから使いにくい。通院してるのに具合が悪いと言っても「先生が決める」と言って診てもらえない。元の西北病院の方が良かった。
27	総合病院前などの代行タクシーが車道の両脇に停車していて、一車線になっていて危ないので、改善して欲しい。
28	病院も 24 時間利用できるようになって欲しい。費用も安ければ尚良し。
29	だれでも受診出来るつがる総合病院にして欲しい。
30	つがる総合病院は、初診の前に他の病院の紹介状が必要だとか、初診料が高い等と聞きました。もっと受診しやすい病院であって欲しいです。
31	金木、つがる総合の病院、看護師のレベルが低すぎる。ほとんどの方が公務員であるのだから、対価に見合ったサービスができるように訓練すべきだ。これは、簡単にできうるものなので、早期に改善して欲しい。
32	金木病院の駐車場について、病院に仕事で行っている人々が駐車場を 1/2 以上使っているので、病院に行っても車を置けないので何とかして下さい。私は病院にいった時とても困っています。
33	つがる総合病院に緊急で子供を連れて行っただが、かなり待たされた挙句、研修生が往診し、つたない感じで不安をおぼえた。体制を見直した方が良い。また、全体的に看護師の対応があまりにも怠慢で不快に感じる事が多い。建物の前にたむろし、タバコを吸っている姿をよく見掛けるが、通院している方から見ると、いかがなものかと思う。公金で運営している事を自覚し、身を正すべきだと思う。

(3) 高齢者福祉 (13 件)

高齢者福祉	
1	補道の整備をもっと丁寧に！！ 高齢者の押し車がスムーズに行くように。
2	高齢者対策については、バリアフリーがあまり進んでいないと思います。公共施設は万全だと思いますが、商店街やせっかくの太宰の記念館を作ったのにバリアフリーではないと思います。観光客を呼び込みたいのなら、自動ドアなど車椅子が通れるくらいの余裕が欲しいです。道路も凹凸が多く商店街に人を呼びたいのなら、高齢者や障害者の方々が安心して歩ける歩道づくりが必要だと思います。
3	老人ホーム（特養）が少ないのではないかと思います。実際、自分のおじいちゃんが施設入所する年になったが、料金が高くてとても私の家でやりくりできるような金額ではなく、すごく私の親が苦勞していた。普通の人には年金が 6 万円も貰えていないというのに、施設は当たり前 8 万～10 万などと言っている。

高齢者福祉	
3	全然割りにあっていない。これから他の人も老人になった時に困るに違いない。もっと皆が老人ホームなどに入りやすいようにしていく必要があると思います。グループホームや有料老人ホームなどはいっぱいあるが高いと思います。もっと考えてみてください。
4	高齢者が外へもっと外出できるように環境を整えて欲しい。
5	少子高齢化が進み、独居の高齢者世帯が増えてきており、独居の方が孤独死するという事例も多くなっているのではないかと考えられる。独居の方（世帯）を把握し、見守りする体制や支援体制を強化していくべきと思う。
6	お年寄りが安心できる交通の便利をもっと増やせばいいのではないのでしょうか？
7	老人の一人暮らし支援対策を考えてほしい。
8	歩道を歩くとデコボコだらけ、高齢者のウォーキングならつまずいてしまう。草ぼうぼうです。
9	高齢者にパソコン等の使い方を教えて欲しい。現在ありますけど、人数が少ないようです。それに冬期ですと、市浦地区からだに通うのが大変なので、避けて欲しいです。できたら、地区に出張して教えてもらいたいです。
10	高齢者にもう少し力をお願い。
11	横浜市は70歳以上の方は10時から15時まで、市営バスは無料バスでした。10時を待って出かけて、お金を使って楽しんで帰る訳です。一石二鳥な訳です。ガラガラのバスを見るたびにそれを思います。年寄りにもっとお金を使ってもらえるようなシステムを取れば良いのに…。
12	誰でも老後安心して生活出来るような五所川原市にして欲しい。
13	老人である故、何も出来ないし、全てに於いて、どうでもいいやという思いが強いのです。それではいけないのですが、老人にもっと生き生きと生きて行ける環境が欲しいです。一人一人の心が沈んでる！これでは活性化も何も無い。

(4) 子育て支援 (55件)

子育て支援	
1	共働き、子育て世代の場合、保育園、学童などの整備がもっと必要。どこかの市のように2人目育休中に卒園などはありえない措置。学童保育も6年生まで可能になったはず。また、8時～18時までの時間も働く壁になっている。8時からの就労で8時開始には間に合わず、仕方なく保育園等を探さなければならない。長期休みの利用が少ないのではなく、利用できないのが実情。
2	経験した感想ですが、高校生を持つ母親は、一番忙しいと思うのですが、高校へ通うバス、交通機関が高く、やはり車で送り迎えをし、4～5時間のパートだと生活が厳しく、だからといって7～8時間の仕事に就くと、仕事と家庭の両立が厳しく、毎日ヘトヘトになってました。ほとんどの子供は、高校に行く時代になってきているので、児童手当とか、高校に入る前に一時金とかあっても良いのでは？と思ってました。そうしたら、4～5時間のパートでも送り迎えとか仕事と家庭の両立も楽になってゆくのではと。ほとんどの職場が今は4～5時間程度の仕事しかなく、7～8時間の仕事は介護とか調理の仕事しかなくなってます。子供を育てながらも、働きやすい環境をつくってほしいと思います。
3	つがる市のように医療費を中学生まで無料にして欲しいです。強く思います！！というか、してください！！

子育て支援	
4	つがる市のように、子供の医療費を中学生まで無料にしてほしい。五所川原市は子育てにもっと力を入れるべきだと思う。
5	他県、他市に比べると、子育て支援が充実していないことやわかりにくいことが目につきます。保育料も払えず、失業手当を待っているところです。
6	医療費助成制度（子供）。五所川原市は未就学児は自己負担なしですが、つがる市は中学卒業までとなっています。子供がいる人としては、つがる市に魅力があります。この先家を建てる事になったら、つがる市を選ぶでしょう。周辺市町村へ合わせる事も大事だと私は思います。また、母子家庭の友達がありますが、母子の方は自己申請しないと医療費は戻ってこないとの事です。なぜ、金銭面で厳しい状況にある方が、一度医療費を支払い、申請後に戻るといった感じなのでしょうか？とても理解しがたいのですが。
7	収入に関係なく、全ての子供の医療費が無償になると助かります。子供の数も増えるのではないのでしょうか？
8	子供の医療費も、まわりの地域のように中学生になるまで負担を無くして欲しいと思う。もっと、子供を育てやすい地域にして欲しいと思います。
9	弘前や鶴田やつがる市などの子供の居る世帯に医療費、保育料金など、あと健診の回数など比べたら、あきらかに費用は高く、健診も少なくがっかりしました。
10	乳児～中学生までの医療費免除。
11	子供の医療費について、つがる市を見習って欲しい。
12	他の市町村のように、収入に関わらず乳幼児医療費を無料にして欲しい。子育て支援をして、医療や教育に力を入れなければ、人口は増加しないと思います。税金を沢山納めている家庭が無料ではないという事に疑問です。青森市等でも上限はありますが、課税の上限が五所川原市の2倍位あるので、かなりの家庭で無料で通院することが出来ます。上限を上げることを考えて欲しいです。立ちねぶたの事にお金を使いすぎて、他がおろそかになっている気がします。
13	小学校、放課後預かってくれる施設（学童）をもっと充実させて欲しい。毎週土曜日開設して欲しい。月～金曜日6時までだと早い。もっと長くして欲しい。土日出勤の保護者も増えてきているので、そういう人達のためにも考えて欲しい。
14	小さい子供がいる家庭の母親が仕事をする場合、もう少し働きやすい職場が増えたほうが良い（職安で内職等を紹介する等）。
15	子供の医療費補助制度が他の自治体よりも充実していない。小学生以上は大人と同様に医療がかかるということ、医療費補助制度を受ける為の所得制限があることなど、安心して子育てが出来るとはいえないところ。近隣の自治体では、医療費補助制度に加え、出産祝金の拡大や子供の人数に応じた米の支給など子育てに力を入れているようなので、当市においてももっと力を入れていただきたい。
16	子供に対するサービスも悪い。医療費、せめて小学校終わるまでただにするとか。これ全員思っていると思う。
17	今年の12月に出産予定なので、子育てしやすい市になってほしいです。

子育て支援	
18	過疎化を進めたくなければ、未来の子供達をもっと大事にすべきと考えます。移住して一年くらいですが、他県に比べても全てのことが衰えています。田舎だからしょうがないなどの理由で済む問題ではありません。田舎だから、過疎化が進んでいるからこそ、もっと子供に対する制度をもっと考えてほしいと思います。
19	子供を生んで育てるには、ものすごく育てにくい。子供の学力の低下も目に見えてわかるようになってきている。将来を担う子供達も、よりよい環境の中で育てるためにはどうするか。もっと考えるべきだ！！また、保育料が高すぎる！
20	どんどん空き家も多くなって、子供が減ってきているのに、子供が欲しいと思っても子供を産める環境が悪すぎる。医療費が五所川原だけ無料で無い事。
21	生活保護者への金銭的支援よりも、子育て世帯、または不妊治療補助などへ、もっともっと支援が必要と感じます。
22	3歳の子を持つ親です。宮城県から嫁いできて、6年目になります。市内に仕事は少なく、青森市の方へ通勤。近くに頼れる親戚もおらず、保育園のお迎えはいつもギリギリ（市内の保育園は19:00迄のところほとんど）。冬になると、除雪も適切に行われず、通勤時間も1時間以上。今後、子が小学校に上がると、学童保育を利用しなければいけないが、それも18:00まで。おまけに土曜日は利用できない。民間の保育施設・シッター等も探してみたが、全くありません。今はファミリーサポートを利用して、なんとか日々を過ごしている（が、病児保育してくれる場所はないので、病気等に対応できない。）。親は安心して仕事を出来る環境ではない。まずは保育環境を整えて欲しい。これでは安心して子供を産み、育てることが困難。他の自治体の取り組みを見て、勉強し改善して欲しい。
23	小学生の医療費を無料にして欲しいと思います。
24	立ちねぶたの館近辺の小店などが全然入店してなくて、今後どのようになるのかと思う。市に住んでいても、あの辺には特に行きたいとは思わない。1年に1回の祭りの為に、あんなにお金を掛けて整備する必要があったのか、館を作る意味があったのか疑問です。立ち退いた人だけが大金をもらって得をしたとよくまわりでも言っています。それが税金だと思えば腹立たしい。そんなことに使うなら、子どもの医療費を、つがる市などのようにタダにしてほしい。これからやってもらっても、うちは子供が大きくなったのでずるい気もしますが…。エルムがなければ、何も魅力のない市だと思う。
25	はっきり言って、五所川原市には住みたいとは思いません。子供が独立したら市外へ出ようと思っています。 つがる市等は子供の医療費は無料だと聞いていますが、五所川原市だけではないですか？小学生中学生高校生になっても病気やケガはします。学生でもお金はかかるのに、病院代だってバカになりません。五所川原市の人口を減少させたくないのであれば、住みやすい環境、病院のレベル化、子どもへの対応を本気で考えて下さい。
26	安心して暮らせる環境づくり、子育てがしやすい環境づくり、子供をもっと産める、安い料金で医療費を安くすればいいのではないのでしょうか？
27	子育てにもう少し優しいまちになってほしいです。隣のつがる市は、中学生まで医療費が全員無料です。小さい子がいる人は、つがる市に住みたがります。ますます、五所川原市は高齢化してしまおうと思います。

子育て支援	
28	病後児保育のお願い 今は専業主婦ですが、これから仕事等をするのにあたって、病中、病後保育は不可欠だと思います。友達のお母さんの話をよく聞くのですが、「もしこれから仕事をするにしても、病気になったときに、面倒をみってくれる人がいない。親も離れた所に住んでいて、頼みづらい」との事。安心して仕事をするためには必要だと思います。
29	出産への手当、乳幼児への手当を充実した方が、若い世代が安心して暮らせる。出生率が上がるのは間違いない！！他の市町村に大分遅れを取っている。このままでは財政破綻するよ！！
30	子育てへの充実と補助。
31	子供が減少しているのが現状です。それは、経済的な面が少なくないと思います。もっと子供を安心して産めるよう、市で助成するなどしたらどうかと思います。
32	乳幼児医療給付の対象年齢をもっと引き上げて欲しい（小学生も無料にして欲しい）。未就学児は無料で、立て替え払いもしなくて良くなり、大変助かっています！！
33	子供が多くいる世帯への補助などがあればいいと思う。子供の医療費の助成を中学生までにして欲しい。周辺の市町村は、もう中学生まで助成をしている。老人も大事だが、子供のいる世帯を大事にして欲しい。
34	両親ともいる家庭の子供の医療費（乳幼児医療費）は病院で支払わなくてもいいのに、一人親の家庭は病院で支払い、その後、市役所への申請に行かなければならないのは、違和感を感じる。一人親こそ、支払わなくてもよくしなければならないのでは…？と思う。
35	子供にかかる医療費の所得制限をなくして欲しい。
36	認定子ども園など、子育て支援は充実していると思う！！
37	子供の医療費の免除を、せめて小6まで引き延ばして欲しい。保育料をもう1度見直して、つがる市のように安くして欲しい。
38	学校給食の無料化。
39	近隣市町の友達に聞くと、五所川原市の行政サービスはあまり良くない（子育て支援など）。
40	子供の医療費を義務教育終了まで無料にして欲しい。
41	大きな市では、子育て支援（医療費中学生まで無料）など、積極的に取り組んでいるが、五所川原市は、取り組みが、他市町よりも2歩も3歩も出遅れていると感じます。
42	五所川原市は子供の医療費助成制度を見直した方がいい。このままだと、五所川原市の人口は減る一方なのではないだろうか。中学校を卒業するまで医療費を無料にできないのだろうか。
43	所得によって変動するのは理解できるが、保育園のお金がやっぱり高い。賃金も高いわけでもない、保育料が高いだと2人目、3人目を作ろうと思えない。なのに、人口減少と言われるのであれば、その辺をしっかりとって欲しい。
44	母子家庭に対し、月1回、食料品を無料で配布をしてもらいたい。賞味期限が近い食品でも構いませんので。例えば、お米、缶詰、乾麺、レトルト食品等、食べる物さえあれば、少しでも前向きに生活できると思うので。
45	出産、子育てしやすい環境作り。支援。
46	共働きの方が安心して仕事ができるよう、子供を預けられる施設を作って欲しい。

子育て支援	
47	人口減少は止まらないと思う。結婚することへの不安、負担が大きすぎると思う。祭りや市街地の整備も大事なことではあると思うけど、実際に結婚し、子供が出来ると、予想はしていたが、かなり金銭面で苦しいと感じます。もっと人口増加を考えているとしたら、祭りや市街地の整備と並行してでも、子供がいる世帯やこれから子供ができて安心できるような制度が必要かと思います。それだけとは言いませんが、鶴田や柏へ引っ越しする人が何人もいます。理由を聞くと、子供への医療費の補助があるからと答えていました。未来のある子供を安心して育てて行けるような制度ができるよう、期待しています。現時点で、人口増加のために、自分の勉強不足かもしれませんが、見えてこないです。
48	乳幼児医療の所得制限も見直して欲しい。
49	小学校の放課後保育を6年生までと、午後7時までの延長を実施してもらわないと親は安心して仕事できません。是非検討して下さい。
50	学校の部活にお金がかかりすぎる!!少ない費用でできる選択で選んでいるので、子供が好きな事を思い切り出来るように環境を整えて欲しい。
51	保育料をもう少し安くしてほしい。児童手当の更新を郵送でできるのはすごく助かります。
52	お年寄りも大切ですが、若い人、子供達が住みたいと思う市にしてほしいです。医療費は小学校へ入学前まで無料は短いと思う。つがる市は新しい市営住宅もたくさんあって住みたいと思う。でも子供達のこともあるので、引越しもできないので、子供達も安心して住める地域になってほしい。
53	子育て支援も充実しており、入園前の子どもを抱える親にとっても過ごしやすい・生活しやすいと感じます。
54	いくら子どもの医療費が無料とはいえ、保育料にとられてしまうのであれば、育てやすい環境にはないと思う。高校生まで無料になってくれれば助かる。つがる市のように。妊婦健診や、分娩費用はかからなくても、仕事をもつ者としては、保育料が高すぎて子どもを増やそうとは思わない。高齢者の肺炎球菌のワクチン、インフルエンザワクチン等無料なのに、どうして子ども達に助成がないのですか。子どもをもつ者に優しくないし、大切にされていないと感じる。
55	引っ越してきて年収が減ったが、子供の教育費（特に保育園の料金（2人分で5万超（1ヶ月）です。家計が大変です。児童手当の2倍はしています。）が増えた。子供が少ないからでしょうか？どんどん子供が減っていくと思います。

(5) 障がい者福祉 (5 件)

障がい者福祉	
1	障がい者、高齢者の皆さんが安心して歩けるように(車椅子でも) 道路又は歩道をきちんと整備していただきたい。
2	障がい者、障がい児、高齢者にとっては、住みにくい土地だと思う。高齢者の施設だけでなく、障がい者や障がい児が利用できる施設をもっと作って欲しいと感じます。
3	市浦(相内)地区に、障がい者を雇用できる場所を設けたらどうだろうか(空き家、空き地を利用して)。
4	身障者にやさしい行政を!
5	障がい者をもっと暮らしやすいまち、仕事ができる場所(一般企業の採用が少ない)を増やして下さい。

(6) 社会保障 (19 件)

社会保障	
1	生活保護の不正受給者を把握して、市財政の健全化に真剣に取り組んでほしい。
2	生活保護を受けている人の中には、ズルをしている人がかなりいると思う。もっと、厳しく審査してほしい。車を乗ってたり、仕事で収入もある人もみかけます。自分もかなりきつい生活をしているのに、生活保護を受けている人の方がリッチな生活をしています。ズルいです。不公平です。優秀な議員さんがついているんでしょうか!!ちゃんとしてください。
3	検診についても、近隣の町村では無料または低料金で行っているのに、五所川原では高すぎる。色んな所から引っ越してみても、一番住みにくいところである。
4	国保を安くして欲しい。
5	今現在、近隣世帯で様々な家庭事情で返済に追われて、生活費の遣り繰りに苦労している現状で、消費税(10%)、国民健康保険税(30~40万)、市民税(県民税)(3~5万)このような状況で払えない国民年金などがあります。そのような世帯に、今では滞納世帯に年金委託業者から督促で財産差押えと脅しにも聞こえると心痛めている様子です。そこで、各世帯で病院通い回数が違います。各世帯医療費年総額使用状況を調べ、最低基準を決めて、満たない世帯に一部払い戻し金を出してはいかがなものでしょうか。
6	バイトにも雇用保険等をつけて、仕事を失った後のことも考えられるようにして欲しい。最低賃金を700円~(750円~800円~)にして暮らしやすく!生活保護受給をしている人より給料少なくて苦しい。光熱費等も普通にとられると生活費が足りず大変苦しむ。ばかばかしくなる!!

社会保障	
7	市（国保）の健康診断、40歳からじゃなく35歳からとか。働き盛りの35歳からでもいいと思う。条件付にするのではなく、強制で受けさせること。あと、国保の女性の乳がん検診、30歳からマンモグラフィーでの検査をさせること。20代でもなる乳がん、触診だけでは不安。子育て環境と国保に対するサービス、これ一番！！社保の人とはやはり差を感じるので、もう少し国保の人に優しい環境（市）でいてほしい。
8	医療制度の見直しが無ければ、本当に住んでいたくないまちです。
9	市民健診の集団検診を12月にでも受けれるように出来たらと思います。
10	生活保護について、もっと考えてほしいです。もっと厳しく審査をするべきです！
11	現在年金受給により生活しているが、介護保険料など保険税等が差し引かれ、残りの年金での生活が大変であります。
12	毎月人口減少分と同数の生活保護が増え、進出企業がなければ、行政財政等がなければ、その様に財政破綻とマスコミに取り上げられる。昭和38年の市政を思い出して。
13	経済活動は民間企業に主体的に動いてもらい、医療・介護などの福祉活動に予算を組んで欲しい。
14	国民年金、厚生年金とも、従来は一緒に近くのコミセンで、一緒に地区毎に健診を受けられたのが、厚生年金の方は地区の健診をするのに、青森の方に電話してから市役所の方に又、電話して申し込みするという手間がかかる。従来のように、一緒に国民年金、厚生年金と分けることなくして欲しい。厚生年金の方が手間がかかることで、健診を遠ざけている気がする。
15	福祉の充実。
16	仕事をしていない人への税金等の請求が高い。免除される場合の通知等がもっとあってもいいと思う。そしてわかりやすくした方が良い。
17	五所川原市がもう少し生活が楽になるように、厚生年金もですが、最低のランクを国民年金の人達の事も考えて下さい。かけていない人にも何かしらの助けを。
18	生活保護にばかり手厚く、きちんと税金を納めている市民に還元されていない。
19	年金生活での暮らしが難しくなってきましたね。年金は安くなる、食べ物は高くなる。

Ⅲ-4. 居住環境

(1) 雪対策 (50 件)

雪対策	
1	毎年冬になると感じます。通勤で鎌谷町通りを利用しています。毎年除排雪が遅く、すり鉢状態で、高校生も車道を歩き、とても危険です。市内から近いというのになぜ融雪溝がないのでしょうか？市内のバス通りは、雪が無くスッキリとしているのに、鎌谷通りはいつも雪で埋もれています。ご回答をお願いします。
2	除雪をしっかりとやってもらいたい。
3	冬の除雪すごく不満です。エルムから金山焼に行く田んぼ道の雪、片道しか除雪してくれないので事故になりそうになります。毎回車でその道で、除雪が半分で、道がすごく狭いし、除雪車が毎回毎年道路両側にある目印ポールを何本もなぎ倒し、道路の幅がどこまでなのかわからなくて困る。毎年3、4本のポールが壊されています。大切に扱ってほしいです。もう、ポール壊さないでください。冬車で外出するのが、本当に怖いんです。車通りが少ないかもしれませんが、利用者にとっては不満に思っ、困っている人がいます。雪に白いポール見にくいです。たぶん除雪車からは見えづらいのかもしれませんが。雪とポールが見分けのつくようになりませんか。吹雪いているときは全く見えません。北海道にいいものがあるってTVで見たような気がします。何とかしてください。頼みます。
4	冬の除雪についても同様で、すごく粗末である。除雪回数も少ない。
5	住宅地では冬の雪片付けが大変なので、流雪溝、融雪溝の工事を広めて欲しい。
6	雪片付けにブル、月2回くらい来ます(雪降らない時)。来た時は底まで削ってほしいです。道路の狭い所には、大型ブルが入れないという人と片付けてくれる人もいます。有り難くて手を合わせ拝みました。3月ブル出動最後の日、削ってください。お願い致します。
7	除雪をもっときちんとしてほしい。
8	除雪に関しては、市民が一生懸命除雪した後に除雪車が雪の塊を置いてゆくのはどうかと思います。それでなくても毎日除雪で疲労困憊しているのに、さらにさらに・・・です。除雪する方々も昼夜関係なく大変だと思いますが、除雪費を払っているのですから、きちんとした除雪をするよう担当の方も指導して欲しいです。短命県返上とうたってますが、これでは短命県返上どころの話ではありません。除雪で命を縮めます。 公共施設前の除雪、中心商店街の除雪の徹底をお願いします。特に毎年思うのですが、ハローワーク前の歩道の除雪は全くと言っていいほどしていません。通学する子供達が車道を歩く羽目になるし、高齢者にとっても危険です。歩道の除雪の徹底をお願いします。市民は歩道の除雪もしているのですから。中心商店街での空き地の前は特に雪が積もっています。集客したいのなら歩きやすいまちにして欲しいです。 以上長い文になりましたが、どうか一考されていただきたいと思います。市民のために一生懸命働いて下さっている五所川原市の職員の皆様、酷暑でのお仕事どうかお体に気をつけて。
9	特に冬は雪のため、高齢者など大変苦勞しています。除雪にもっとお金を使って欲しい。雪国なので雪国に対する対応を考えて欲しいです。 国道はもちろん市道のほうも除雪に力を入れて欲しいです。

雪対策	
10	私はみどり町に住んで居ります。何ととっても困っていることは、冬場の雪の問題であります。自分も年々高齢化しており、日々の雪片付けに限界を感じています。これまで以上の除排雪の徹底を願うと共に、早急な流雪溝の設置を切にお願いいたします。
11	除雪体制の見直し（業者等）。地区によって技術の差がありすぎる。
12	高齢者も安心して生活できる冬期間の除雪、排雪、流雪溝の整備を行って欲しい。家庭の排雪場所が少ない地域を調査して欲しい。
13	排雪をもっと増やして欲しい。除雪ばかりで片付ける方が大変。それだけでなくとも老人ばかり。
14	雪対策が年毎に改善され、やがて冬でも住み良い安心して暮らせるまちづくりを要望します。市民が老いも若きも自然な形で触れ合える、ちびっ子農園のようなものが各地域毎にあったらと思います。それが災害時の集まれる空間となり、冬の除雪対策になればと要望します。
15	冬、雪が降り積もると、だんだんと道路の幅が狭く、脇に雪が積もっていて、車が来てもよけることが出来ない。
16	融雪のことですが、早朝は大変気を使いながら車の運転をしているはもちろんだけど、融雪の蓋を開けたままや棒を立てたり、スノーバンプを寝かせたりしている場所はとても危険です。どうにかならないでしょうか？
17	国道 101 号の空き家も目立つようになった。あのような除雪では、老人が片付けられないのだから、これからも人口は減少するであろう。弘前に住みたいと思う人はこれからも増えるに違いない。また、学校や通学路の除雪は市が責任をもって取り組み、安全で住みやすいまちづくりを進めて欲しい。雪対策が弘前並みに！！
18	除雪のこと。雪の処理に困っています。処理場所がないと除雪を市にお願いするしかありません。市の除雪ばかりではなくて、各所に処理可能な所があれば、市民は自分たちでもっと除排雪できると思います。それに、スノーステーションまかせではなく、あくまでも市の業務だと思っています。市役所内にも監督職員を置くべきだと思います。見回りもするべき。
19	冬期間の除排雪は大変です。弘前などは排雪の開発など研究しているようですが、我がみどり町境界は高齢者が多く、除雪のダンプは来ますが、固い凍った雪を玄関前に置いて行き、片付けられません。その雪のせいで病院通いです。市内商店街は側溝整備され、排雪がスムーズに行われているようです。こんな不公平が続いているので、みどり町に空き家が多くなるのでしよう。津軽の廃品回収業者でも特にみどり町の除雪は悪いと指摘されてます。側溝の泥上げも一度もしてません。長雨がくれば洪水になること間違いないです。これも早急の対策が必要と思われるます。
20	冬期間、除雪が適切に行われていない。A住宅は冬期間、何回も除雪が行われているのに、B住宅は冬期間3回ぐらいしか除雪が行われていないなどという話を聞きますが、どういう基準で行っているのでしょうか？
21	流雪溝の新設。冬期間雪の捨て場が少ないため道路幅が狭くなるので、既設の側溝に冬期間水を流して流雪溝としてもらいたい。
22	高齢者、障がい者等にとって除雪の問題は大きいと思います。立場になって対応支援して頂きたい。

雪対策	
23	除雪は何十 cm 以上降らないと来てくれないのですから、除雪に来た時は少し広く丁寧にやってもらいたい。小路道では軽自動車も通れても普通車はやっとなです。道路パトロールも小路へ入ってパトロールして下さい。
24	除雪に対しては、近くの市町村に比べ雑な感じがします。職場の人や近所の方と話していてもよく不満が聞かれる事なので、もう少し丁寧にやって頂けたら嬉しいです。
25	除雪、排雪をもっとする（特に細い道の排雪）。 曲がり角の除雪を丁寧にやる。押してきた雪の方が多いのがほぼですね。
26	冬の除雪はとても助かるが、道路玄関前の雪置きに朝、参っています。皆さんそうだと思います。融雪機械を市でつけて頂きたいと思うが、どこも同じで財源がないですね。冬はとても暮らしにくいです。冬に暮らしやすくなる工夫をたくさん知りたいです。
27	雪が降っても除雪がこない為、路上で車が埋まりそうになることがある。費用がないのかもしれないが、何とかして欲しい。
28	除雪で雪が積もってなくても除雪する。松島の中をもう少し除雪してもらいたい。
29	北国である以上、冬は雪が降るのは当たり前なので、除雪した雪のことを考えて道路をもっと広くしてもらいたい。一時、お金はかかるかもしれないが、一生雪は降るので！ 上記、雪も活用して、夏のクーラー代わりにできないか。
30	除雪も、いつも同じ場所が同じ会社だと、知り合いの家の前は綺麗にしたり、不公平だと思います。時々変えて欲しい。
31	冬の除雪、本線ばかりでなく、町内も 1 日 1 回でも除雪をお願いします。
32	除雪について、町内毎にアンケートを取るなど、地域住民の意見を聞いた方がいい。
33	除雪の際にブルドーザーが玄関前にドッサリと雪を置いていく。その処理が大変である。ブルドーザーを運転している人によっては、きれいに除雪していつてくれる人もいる。この違いは何だろうか。市では、きちんと除雪できる能力とやる気のある業者を選定すべきである。雪が積もったから、ただ形どおりにかき分けてそれで終わればいい、と勘違いも甚だしい人がいるのではないか。この豪雪地帯では、やはりきちんとした除雪をしてくれないと困る。中途半端な除雪では大変困るし、憤りを感じる。我々はきちんと税金を払っている。このような状態ではやはり五所川原市に見切りをつけて、というかこの青森県とは早々におさらばして、雪で苦労しなくてもよい所に移住でもしたいという気持ちが強くなる。
34	冬（雪）の除排雪をもう少し早めにお願ひできないものでしょうか。交通量が多い所（蓮沼（平和町通り））なのに、住宅が少ないためか、排雪してもらえず、車を出すとき、左右の確認ができないほど壁になってしまいます。学校の近くや公共施設を最優先することは理解できます。同じ税金を払っているのだから、流雪溝もなく排雪場所もない地域にもご配慮をお願いします！！
35	除雪、排雪。
36	除雪にもっと力を入れて欲しい。
37	雪の多い地域なので、冬場は細かい路道でも、できればきれいに除雪、排雪をしてもらいたいです。
38	冬期間、大通りの除雪は大変良い。市外に比べるとレベルが違う。ただ、住宅街（細い道）の除雪は、なかなか来なかつたりするため、困る。

雪対策	
39	りんご並木の用水路に排雪しやすいような“雪捨て道”を空けて欲しい。車庫前に雪を置いて行かれてもどこにも捨て場がないことがあるので。また、昨年はずちの畑に雪を盛り上げたことがあるので、すぐTELして取り除いてもらったが、安易に私有地を雪捨て場にしないでもらいたい。
40	除雪後、家の前に雪を残して行くこと（門の前等）。
41	平等に除雪、排雪を行って欲しいです。向かい側には雪が少しなのに、自宅側には大量に雪を置いて行くことがないようにお願いします。融雪溝も整備されている場所もあるのに、不平等を感じます。
42	冬の除雪対策ですが、除雪をお願いしても、とても嫌な態度をされることがあります。そのようなことのないようにお願いします。
43	私は市政にお願い。1番先にやらなければならないこと。排水だと思えます。冬の除雪粗末で、ダメだと思えます。今後よろしく頼みます。お願い。太宰治の顔などつけないで下さい。嫌いです。
44	今住んでいる所は、一軒家で持ち家ですが、居住15年目になります。15年の中で除雪に不満を感じなかったのは、一度だけ。多数の苦情があるだろうな…と思い、直接誰かに苦情を言った事はないです。家族内での愚痴程度。どうにもならないかもしれませんが…、どうにかするには難しいかもしれませんが、あまりにも雑で、いい加減。主観ですが、五所川原市内が一番ひどいように感じます。今年の除雪に誠意が感じられたら幸いです。一般市民には公表できない事情があるのでしょうか？ 提案：各地域を担当する除雪業者を詳しく（名前）公表し（毎年です）、責任を持った除雪業務を行う様にして欲しいです。
45	除雪をして下さるのは嬉しいが、分厚い氷を家の前に置いて行かれ、返って負担が増えています。ロータリーはお金がかかるのかもしれないが、できるだけ多く出動して頂きたいです。
46	私は70歳過ぎています。今から冬の雪を考えることがあります。子供も県外に出ています。冬になったら時々、関心持って頂きたい。よろしくお願いします。
47	除雪が全然ダメです。これのせいで住み続けたくないとってしまう。観光業に使うお金を除雪にも回して下さい。
48	除雪のことですが、あまりに粗末で、暖気になると、車で走るのが大変です。きれいに除雪して欲しいです。
49	冬の除雪が大変なので、もっと丁寧にやってくれるとうれしいです。
50	冬の除雪の問題 高齢者が多くなっており、道路の除雪はただ道路脇に雪を置いていくだけであり、降雪が多い時は大変である。毎年のものであり、市街地には流雪溝の設置があるが、住宅地はない。今後流雪溝の整備を積極的に進めてもらいたい。 （例）各家庭の融雪、除雪設備の費用無料貸し出しなど

(2) ごみ (15 件)

ごみ	
1	ゴミ出しを弘前市のように簡素化(名前なし・分別に大型よし及び自宅前回収) など、リサイクルまた高齢者にやさしくしてもらいたい。
2	プラスチックゴミの頻度(回収)が少なく困る。月4回(週1回)の回収にしてほしい。
3	町内のゴミ収集について 町内に設置しているゴミ集積場所の衛生面からも全てのゴミ袋を回収して欲しい。 善意で掃除をしてくれている人の負担をなくして欲しい。 置き去りにしたゴミ袋を後からでもいいのでもう一度持って行ってくれる車があれば良いと思う。 「きれいなまち」五所川原にして欲しい。
4	五所川原市の観光でもある金山焼きに通ずる市内からの道路に、いつもゴミ袋にはいったゴミが散乱している。観光で通る人に見せられたものじゃないと思う。ゴミの回収業者が落としていっていると思われます。監督する市の担当課もきちんと現状を把握して、きちんと対応してもらいたい。立ちねふたをいくらやってもゴミだらけだと恥ずかしいと思います。
5	リサイクルできるペットボトルや空き缶、びんの回収についても、八戸と比べると不便です。八戸は全て一緒にして、しかもスーパーのレジ袋に入れてごみとして出してもOKですが、五所川原では全て分別、しかも有料の袋です。周辺の自治体がそうだから理由ではないと思いますが…。施設の問題、それこそ財政の問題もあることは理解できますが、何かで「得をしているな」と感じることでできるものがなければ、「五所川原に住みたい」と積極的に思えません。一般庶民が「得をしている」と感じるのは、ハード面等の整備ではなく、まずは「支出を抑えられる」という点ではないかと考えます。
6	ゴミの出し方が甘すぎる。大量に出す家庭は有料にする方がいいと思う。
7	ゴミ箱を設置し、まちをきれいに！ゴミ箱は各町内会で設置し、管理しているそうです。市で設置してほしいです。
8	8月から「燃やせないゴミ」の分別が始まるが、とても不安だ。他の市町村だと、分別が面倒でない話をよく聞きます。ゴミ袋の値段を20~30円上げてもいいので、分別を簡単にして欲しい。高齢者にとっては、優しい市とは言えないような気がする。
9	燃やせるゴミの日を1日増やして欲しい。1人暮らしだと、缶・瓶・ペットボトルのそれぞれのゴミがなかなかたまらず、ゴミを捨てに行けない(ゴミ袋、いっぱいにならないから)ので、缶・瓶・ペットボトルを一緒の袋にして、捨てても良いようにして欲しい。それか、もう少し小さいサイズのゴミ袋を販売して欲しい。
10	ゴミの分別が他の自治体より細かいと思います。可燃ごみが特に細かいです。設備の関係なのでしょうか…?
11	リサイクルプラスチックと燃やせないゴミをうまく分別して出すためには、袋の色を変えた方がいいと思うのだが…。
12	ゴミを捨てる所がコンビニ等しかないため、ポイ捨てが多いと思う。
13	燃やせないゴミの収集日を増やして欲しい。

ごみ	
14	有料のゴミ袋のサイズが2種類しかなく、ペットボトルやビン・カンの中々ゴミが出ないので、大きい袋だとたまらないうちに捨てないといけなくなるので、小さいサイズのゴミ袋を作してほしい。
15	不便に感じるのは、ゴミ収集に関してです。ご近所の方とも話題になるのですが、 ①不燃ゴミ、資源ゴミ収集の日の少なさ ②粗大ゴミの種類が限られすぎで且つ1年にたった1度のみで不便 ③指定ゴミ袋の使いにくさ（持ち手をつけていただきたい） 青森県は紙ゴミが多いとCMでも放送していますが、紙を資源ゴミとして捨てるチャンスも少ないし、捨てにくいと思います。どうしても以前住んでいた仙台と比べてしまうのですが（すみません）、他県のも参考に改善して頂きたいです。

(3) 上下水道 (6件)

上下水道	
1	下水道に接続していない。または下水道のない住宅が割に多くあり、転入してから驚いています。 私の実家は五所川原市より零細な自治体（県外）ですが、既に10年以上前に下水道が整備され接続できており、快適な水環境にあります。残念ながら五所川原市は、中心街の住宅街ですら未だ浄化槽（しかも合併式で無く単独方式）だったり、汲み取りだったり衛生面に不安が募ります。 高齢化が著しいからこそ、豪雪地帯だからこそ、清潔な暮らしが、簡便な下水道の整備が重要なのではないのでしょうか。今後は本管が施設された地域から接続する為の助成金や補助金を投資し、普及率を高めるようお願い申し上げます。
2	市街地の下水道を何とかしてくれ。おれん家は汲み取りだ。
3	国が元気なうちに借金しても下水道は推進して下さい。
4	下水道の普及。
5	上下水道代が高すぎる。
6	米田・唐笠柳・吹畑地区も人口が増えているので下水道を充実させてもらいたいです。

(4) 居住環境 (22 件)

居住環境	
1	側溝の改修をしてもらいたい。
2	わら焼き等、もっと厳しく取り締まって欲しい。
3	<p>私は市営住宅に住んでいる者ですが、現在入居している方で、入居規約を守らない方に対して規制が甘いのではないですか。本当に迷惑を受けてます。</p> <p>①ペットの逃・吠え・排尿（しつけが出来ていない） ②大家族での自家用車所有が多くて迷惑駐車 ③ゴミ出しマナーが悪い</p> <p>市民全体的に、公営住宅住民・アパート住民の近隣との交遊感・協力性がない。それに伴いさまざまなトラブルが起きます。まずは、人々の和・協調性をどのようにしてまとめるかご指導ください。</p> <p>新設の建物で大型建造物は、外部構造・内部構造で耐震強度・災害防止強化の施工は満足できます。しかし、中型建造物（公営住宅・各所コミセン等）は外部耐震強度・水害対策基礎高・バリアフリー・低層建物施工は素晴らしいが、内部構造があまりにも近代化しすぎて、予算のかけすぎでは。人々が多く出入する際、補修・改修に経費がかからないように。</p> <p>公営住宅引越し者から引越しの際、借り始め時の元のままで返してくださいとあるが、どの程度で返したら良いものか。ある人は補修費用に25万もかかる見積もりを頂いたと驚きを隠せないということでした。皆さんが解り易い基準を出すべきではないでしょうか。</p>
4	市営住宅数を増やしてください。
5	<p>側溝の泥上げについて 町内でボランティアで取り組んでいる側溝の泥上げをもう一度市で考えて欲しい。</p> <p>側溝の泥上げは通してやらないと流れがスムーズに行かないので、無人の宅地の側溝対策として固定資産税のほんの一部を使用して、シルバーセンターや他の業者に委託して、地区毎に区切って何年化計画で取り組んだらどうか。</p>
6	市内には「堰」がたくさんあり、もっと整備して虫・めだか等住めるようになったらいいです。
7	市営住宅はかなり老朽化しています。今は昔のように直してもらえず、よく見もせずにペンキを塗っておしまいです。押入れはカビだらけ、部屋の中も壁もカビでいっぱいです。以前住宅のアンケートをとりましたが、建て直しの様子がありません。早く新しくして欲しい。
8	住宅街のあちらこちらに残る農業用灌漑用水のための水路が時代の流れに伴い、役目を終えた水路の様に夏場ドブ臭さがたまりません。どうかしてほしい。
9	秋のわら焼き、どこの所有者の田んぼか分かるので罰則を厳しくして下さい。見て見ぬふりではなくならない。健康に害です。事故にも繋がります。
10	裏の川の土が段々下がっていています。エルムの近くの川の整備だけでなく、広げて行ってほしいです。
11	雪解け時期に、道に水がいっぱい溜まる箇所を多く見かけます。排水側溝の整備を急いでもらいたい。
12	子供の頃に比べると（30年前）まだましになったが、わら焼き公害はまだひどい。こんな地域は、他の県ではないのでは？厳しく取りしめる&対策して、わら焼きゼロにして下さい。
13	排水路の整備・補修。

居住環境	
14	市営住宅を子持ちの核家族世帯も入りやすくして欲しい。
15	市営住宅の除雪が年々、縮小されてきて不便に感じます。また、公園の遊具のサビや切れが目立つように思います（危ない）。この辺の設備もよろしくお願い致します。
16	ここに住んで20年以上流れて来ていた温泉水が流れなくなって、側溝が滞留し、夏は特に臭いがひどい。冬も雪を溶かせなくなった。
17	子供が寝てるのに、選挙のマイクの音で起きた。小さい子供がいる家等、事前に調べて、その家の付近では音を小さくする等、配慮して欲しい。
18	放し飼いの猫が多くて、糞尿の臭い、畑の荒らしように非常に困っています。野良猫化している。動物を飼っている意識がない。どうにかならないものかしら？
19	岩木川土手南方向河川敷の木々が、幹が太くなったり、草などで、岩木山の景色が、見晴らしが悪いどころか、草がぼうぼうしていると五所川原市が貧乏たらしく、みすぼらしく見えるのですが？私的には、余計な木を伐採してもいいのではと・・・？
20	空き家対策は早急に行って欲しい。職場近くに多くあり、屋根などの飛散物など多く、怪我など心配。
21	夏になれば水害で床上浸水になります。
22	高齢者のみ地域に住む者ですが、下水の泥上げの掃除は困難であり、過去何年も行われていない状態にあります。大雨の時期にはどこかの庭先の物が流れてくる始末です。必ず町内で行わなければならないものなのか良い対策を聞かせてもらえれば幸いです。

(5) 消防・救急・防災 (15件)

消防・救急・防災	
1	救急医療に対する市民の不満は届いていると思うが、一向に改善されない。
2	防災についてもすごく不満である。今何が起きているのか、今どういう状況であるのかなど防災無線、放送などの対応が無く年寄りにはすごく暮らしにくいまちである。
3	毎日のように救急車のサイレンを聞き、救命士の方々の仕事の大変さに頭が下がります。立佞武多の防災設備もパンフレットで拝見し、とても素晴らしいと思います。
4	短命県返上に向けて、塩分控えめ（減塩）、だし活用、野菜摂取等に取り組んでいます。が、合わせて五所川原市に必要なのは、つがる総合病院の医師の充実（土、日、夜間の緊急、救急時の医師の確保、看護師（急な手術になっても対応できる））ではないでしょうか。救急車で弘大や県病に搬送している間に病状が悪化していきます（時間との戦い）。つがる総合病院で対応できるように。色々難しい点はあるかと思いますが、医療充実、若い30代、40代、50代の病気早期発見、死亡率が下がればよいと思います。
5	一人暮らしが多い中、地震、災害があった時、有線放送のスピーカーがあつたらいいと思います。つがる市の方向からサイレンが鳴った時、人が居なくなった時に放送が聞こえてきます。三好のほうにも有線スピーカーが欲しいです。
6	病院（救急）を特区に据えて、除排雪優先だとか。※少子化対策になると思います。時間の余裕が必要と思います。
7	防災放送が何を言っているのか全然聞き取れなくて、テレビなど利用する。

消防・救急・防災	
8	救急車が病院まで着くのに、家で時間がかかり過ぎて亡くなった方もいるという話を聞きました。もっとすぐ病院に連れて行って行けば、間に合った人もたくさんいると思います。
9	防災の面で気になることがあります。相原の用水路に蓋のない箇所が2箇所ほどあり、大雨等の増水時、そこから田畑に水が逆流し、住宅街の用水路まで流れ込み、住民からの通報で地域の消防団員が胸まで川につかりながら、ビニルシートで覆っているとの話を聞きました（大雨時毎回です）。ここ最近、日本全国、雨による自然災害が目につくようになっていきます。大きな災害が五所川原で起きる前に、蓋2つで防げる災害があるのであれば、この蓋2つは決して、たかが蓋とはならないはずで。大雨でも安心して過ごせる五所川原を願っております。
10	昨年、市内の川が氾濫しそうになったとき、市役所から避難勧告のお知らせが携帯に何度もありました。自分の住んでる所の近くの川の名称も知らないで、不安を煽られたものでした。避難勧告が入った後の市民の行動を調査されましたか？九州に降ってるような雨が五所川原に降ったら、平屋の方は全滅です。道路は川のようになって車だつて乗れません。最悪2Fのある方は2Fに避難できますが、それぞれのお宅の食料備蓄はどうなんでしょう…。公民館は避難場所になんかならないでしょうね。
11	火事、災害が夕方5時～朝9時の間にあったとき、防災無線が放送されない。1番大事な事が人手不足を理由にカットされている。1日も早く以前のようにして下さい。 新しい屯所を作ったらしいが、釘1本打てないとは、ホース、ヘルメットその他必要な物が準備できないのであれば、屯所の意味をなさない。もっと高齢者が入所出来るところを作って、家族の負担を少なくして下さい。
12	東日本大震災の際、避難所を確保して頂き利用しました。的確、迅速で安心して過ごせました。この震災の後、どこの自治体も災害の対応ができる様になっていると思いますが、この時の五所川原市の対応はとても良かったと思いました。ありがとうございました。 防災マップが他の自治体よりも見やすいと思います。
13	地震等が起こった際の計画として、水・食料などの保管は素晴らしいと思ったが、女性や子供への配慮並びに食物アレルギーを持っている人々に対する対応はどうなっているのだろうか？避難が長期化する場合も想定されていないような気がする。
14	金木川（金木町川端町近辺）の洪水対策の徹底をお願いします。町内では、常にその話題が出ています。雨が降ると心配で眠れません。
15	救急車のことですが、家に到着してから病人を乗せて家から出るまで時間がかかりすぎると思うのですが何とかならないでしょうか。

（6）交通安全・防犯・消費生活（4件）

交通安全・防犯・消費生活	
1	赤いりんご並木通りに歩道がないので、水路に蓋をしてもらいたい。人が歩けるように。
2	通学路は児童のことを考え、時間帯や危険箇所の安全に留意する。
3	警察による速度取締が、市内・市外に関わらず多すぎる。車に乗らない人、短距離通勤者は良いが、市外に通勤している人や運転を生業としている人は、リスクが多くなる。飲酒の取締はわかるが、速度の取締は度を越えている。誰も望んでいないし、無駄。
4	駅前交通環境も危険で、整備がなされていない。

Ⅲ-5. 教育文化

(1) 学校教育 (5 件)

学校教育	
1	小学生、中学生にいろいろなものを生で鑑賞させたい。
2	1年、いえ1日も早く、小中学校の統合を希望します。大人数の中で勉学に励み、生活する事によって、子供は成長し、心体共に強くなるものだと、強くなってほしいと願うばかりです。必ずしも市内でなくともかまいません。近隣町村、つがる市、中泊町の小中学校と是非統合させて下さい。お願いします。全国に遅れを取ってしまうと思います。
3	どこも少子化のため、統合や廃校になっている学校が多くなっているのです、子供の入る人数が少なくても、自分たちの学校の良いところを見つけてもっともっと発信させていけたらいいと思う（地域交流など）。
4	五所川原市に何十年かかってもいいので、大学が出来ればいいと思います。大学があれば、若者が東京に行かなくても勉強することが出来るし、違う地域の若者も大学に集まってくるし、大学を作ることは大変なことだと思いますが、五所川原市に大学出来るのを楽しみにしています。
5	教育に関しては、学校の苛めの問題に市教育委員会、学校側等、真剣に取り組んでほしいと思います。

(2) スポーツ (7 件)

スポーツ	
1	市内に巨大なスポーツ施設を建設し、県大会以上クラスの大会、イベント等を専用に運営する。一度の大会で数千人規模の人を呼べる為、市の活性化につながるのではないのでしょうか。また、それを見込んで市営の宿泊施設等も建設し、業務委託で経営できれば、市の人口減少も抑えられるのではと考えています。
2	五所川原市は運動施設が本当に少ないのではと思います。運動したくてもなかなか場所が取れない。例えば、サンビレッジ、空きがない状態です。ドームはどうでしょうか？2階周回路は雨の為雨漏り、雪が降ると雪どけで使えない。数年前のことですが、今は改善されたのでしょうか。私たち市民が快く使える場所を提供して欲しいと願っています。
3	スポーツ施設など、ちゃんとしたものを作って欲しい（中途半端なものでなく、プロスポーツなどきちんとやれるもの）。子供とお金をかけず、一日楽しめるような場所・施設があるとうれしい。
4	金木町にトレーニング用体育館がほしい。
5	市内の人が自由に汗を流す活動はないのでしょうか。私の地元では、平日の夜7時～1時間、公民館でエアロビとヨガがありました。幅広い年齢層でとても楽しかったです。一体市内の体育館で、どのような活動をしているのか、参加を呼びかけたりとかはしないものなのでしょうか？
6	以前、金木にあったトレーニングセンターのような施設が欲しいです。
7	一年中使用出来るウォーキング場やプール場を建設してもらいたいです。

(3) 社会教育・生涯学習 (2件)

社会教育・生涯学習	
1	人材の有効活用。特にボランティア活動の推進による公共施設の維持等。
2	図書館の整備・運営のあり方について、現在の蔵書数では足りないと感じる。民間の書店業者などに運営を委託するなどして、蔵書数を増やしたり、カフェスペースなども作り、人々の交流スペースとしても良いように思う。

(4) 芸術・文化・伝統 (1件)

芸術・文化・伝統	
1	当市は他の地域に比べて文化面で遅れている。美術館、資料館等一本化、一体化させた文化施設の充実を図って欲しい。いかがなものか。

Ⅲ-6. 行政経営など

(1) 市政運営・行財政改革 (39 件)

市政運営・行財政改革	
1	予算消化の為の出張、物品購入、工事等が見受けられ、無駄な支出を未だに行っている。節約して予算を残した部署、事業を計画できないものか。
2	むなしさばかり募ります…。行政は、何のために、誰のために存在するのでしょうか？為政者は、誰のために市政を動かしているのだろうか？市民の声を聴き、市民の為の市政を行うという「選挙時の訴え」はどうなったのかな？地域との住民懇談会は3年に1回？市民の声も聴かず、市民の知らないところで物事（事業等）が決められ、後で意見をどうぞという。なぜ先に声を聴くわけにはいかないのだろう。広報など、カタカナ言葉を並べて注釈も付けない知ったかぶり。いいね。仕事で覚えさせられた言葉を、有頂天になって使っている様は知識を持たない多くの市民を見下していると思えません。言いたい事は一杯あるが、言ってもむなしさが募るだけ。いい五所川原市を創り上げるための「人材育成」には、今もこれからも努力して欲しい。
3	時代が変化しているのに今までと同じ市政をしているとどうなるか。 市も1家庭と同じ気持ちで。 収入が少なければそれなりの対策を。 何が無駄で何が必要か。 国や県や親を当てにしないで自立できる教育、技能、精神を。いずれにしても公務員の発想は薬にも毒にもならない。三者の意見・知識を求めること。
4	効率が悪い。公共物の建物が多。何をやるにしても半端である。税金ばかりが毎年上がっていき、生活が苦しい人の事を考えていない。
5	立ちねぶた等、観光に力を入れる事もよい事だと思いますが、中心商店街の活性化、行政サービスの充実化等、市民の生活にもっと目を向けるべきだと思います。市職員は五所川原市を良くする為にもっとアイデアを出し合う等努力してもらいたいです。
6	観光や産業に力を入れるのも必要だと思うけれど、地元の人には五所川原の中心街には行かないのが現実なのに、お金をいっぱい使って中心街を新しくしたり、まわりの住宅ばかり新しくなって、意味あるのだろうか？市民の知らないところで、裏の実力者たちの力によって、無駄な事にお金を使って五所川原はよくなるんじゃないか・・・？と友達と話しています（市民の本当の声ですよ）。
7	立佞武多にお金がかかりすぎだと思う。お金をかけた分、収入があるのでしょうか？日本中ならともかく外国までとなるといかなものか。税金も高くなるし、いろいろな物が高くなり、国民年金では大変です。生活保護を受けている人より少ないとの事。議員の力を借りてもらっている人達も多いとの話を良く聞きますし、周りにもいます。
8	市民税はどんどん増やさされ、いっきに新しく大きな施設を建てて市民への負担が大きいし、負担ばかりが大きくなり何が人口減少ですか？市の方で少しでも軽くし、子供産んでも大丈夫と思わせる様な五所川原市にしたいです。子供に対する政策など周りの市町村と比べて下さい。比べた時、五所川原市の政策をどう思いますか？子供のいる世帯、親の気持ちをもっと真剣に考えてください。
9	子育て世帯の受け入れなど、若者をどう取り込むか。もっと積極的に活動して欲しいと思う。

市政運営・行財政改革	
10	新しい市役所や対応の悪い市の職員に税金を使うより、市民への生活のしやすさを第一にすることが大事ではないでしょうか。今の状況に税金を使いすぎているとは思わないのですか。自分たちが良ければそれでいいのですか。市民の声が届かない、子育てのとてもしにくい五所川原市です。つがる市がとてもうらやましいです。
11	立ちねぷたにより観光客を呼び寄せるのも大事であるが、先ずは、住人達の沢山の声をきき、住みよい市にして欲しい。
12	とにかく、少子高齢化を「異常」と捉え、早急に改善すべきだと思います。地域が崩れているのに「共生」も無いと思います。建物ばかり建って、建設業者ばかり潤っているのでは、いかなもののでしょうか？都市計画も中途半端で、行政、消防などと公共のものを一つにまとめるとか、どうせ多額の財政を使うのなら、未来へつなぐ方策にしてほしかったです。プール、体育館、消防、市役所がバラバラに存在し、他市からきてもわかりにくく恥ずかしいです。どうしてこうなってしまったのか。私たちも反省です。子供達にはもっとお金を使って欲しい。学校給食をもっと豊かにできないのでしょうか？一日のうちの一食を他市町村からもうらやましがられる給食にできないものなのでしょうか？簡単にはいかないかもしれませんが、行政を担う人の自覚、本気さが足りないように思います。安定した収入を得、老後は高い年金を貰うわけですから・・・。
13	市政には何も期待できない。
14	市の政策と市民の視点、見識に相違があるのではないのでしょうか。双方を満足させることは到底不可能ではあるとしても、現実との誤差を少しでも解消し、真摯に施策を行うべき時期ではないのでしょうか。近年、真新しい施策もあまり見えず、行政の想いが感じられず、施策の中、長期的なビジョンや意図するところが伝わっていないように思われる。いたずらな施策では、将来に負の遺産ばかりが残り、今後立ち行かなくなりほしくないのでしょうか。市政の内容をより時間をかけて吟味し、それによって導き出される結果を少しでも良い方向に向けて行きたいという想いを、市民と共有できるようにする必要があるのではないのでしょうか。農林水産業、人材、文化、安全・安心な暮らし等々。市民に対するより良い市政であるよう再考しながら、施策を打ち出していただきたいと思います。
15	市民が快適に暮らせて、退職後も収入が得られる環境であるように。年金で生活できない。行政はもっともっと考え、形にしてほしいです。漠然と何となくの行政のみでは、市の変化は見込みない。地に足をつけて本気で取り組むことにより、各々が改善されることになるはずである。
16	市の財政上の問題は、全国共通ですが、一般会計ではなく、公債費の将来、旧西北中央病院解体を含む病院事業全体の経費、国民健康保険+介護保険になると思いますが、無駄な経費の削減に努めながら安心安全な五所川原市の未来に向かってがんばってほしいと思います。
17	空き家対策として、行政がもっと率先して解体に取り組んでほしい。
18	地域の課題は正に「しごと」であり、そのための人、まちです。小生を含めて高齢者は過去の経験と現状維持の思考が大半です。それでは地域は残れません。年寄りを大切にすることも良いが、次の世代のために何を残すべきか提示して下さい。
19	県南地方の経済は、当市に比べ活気があるように思われる。市政の今後のために参考（取り組み方等）にしてみてもどうかしらと思っています。

市政運営・行財政改革	
20	何かをするためにお金がかかるのはわかりますが、本当に必要な事であるのか、十分考えてもりたい。私たちの収入であれだけの税金が取られて、残りのお金で生活するのは大変なことです。割合が決まっているから仕方ないとはいえ、市長をはじめ高収入の方々には最低収入の人たちの生活をもっともっと理解して頂きたいと思っています。市役所における無駄は、紙使いとか、新しい役所を建てるとか、本当に必要なことでしょうか？ 苦しい財政ならそれなりでいくしかないでしょう。
21	市政の顔（姿、形、コンセプト）何も見えない。
22	市政においての透明性が欠如しているように感じる。例えば、公共事業において、しっかりと情報の公開をしなければならないと思う。行政においては、市民に情報を公開し、その評価をしっかりと受けることが大切であり、次へとつながっていく。五所川原の市政においては、まずは、公開をしっかりとやることによって、初めて参画の意義が生まれてくる。評価を媒介として議論をすることが、今の市政に求められている。ぬくもりとか優しさを失った行政から、血の通った暖かい人間が住民に対する公務活動を行うことを大事にしなければならない。市政における大命題が見えてこない。
23	岐阜県高山市の国島市長さんは朝7時～8時30分まで、市長室で市民の声を聞くために市長室を開放する日があるんだそうです。そしてその日のうちに確認出来ることは確認して、やれることはやって市民に応じてるそうです。
24	お年寄りの方々ばかりに気を遣って、若者をないがしろにするのはダメだと思う。五所川原の未来は、若い世代が築いていくので、お年寄りメインに市政を行うのはどうかなあと思う（お年寄りの方々しか興味を示さないで、そちらをメインにする気持ちも分かるけど。）。
25	待ちの行政ではなく、攻めの行政を全面的に実行して欲しい。他の市から見て、魅力あるまちづくりに努めて頂きたい。
26	何とかしなくてはいけない事が多すぎます。でも何とかしなくては、人口も減り、そもそも若者もいなくなり、老人だらけで夢も希望もない最悪な市になると思います（今もダメですけど。）。低賃金、仕事先がないための若者の県外流出や結婚出来ない＝子供も生まれない＝老人だらけ←この図式何とかして欲しいです。五所川原で働ける所なんて、究極、エルム or 介護じゃないですか…。
27	それこそ市民に対して、笑顔や相手の立場に立った対応をして欲しい。親身になって心配りのある市政の方を期待します。
28	市、県民税などきちんと払っているのに、町内会費を払わないとゴミ出しできないのはおかしいと思う。税金を受け取っているなら町内会などに頼らず、行政できちんとして欲しい。
29	管轄は第1次産業しかないが、どうにかして昔の第1次産業にして下さい。第2次産業の犠牲になっているようです。どうにかして地場産業の拡大などに、政治でどうにかして下さい。

市政運営・行財政改革	
30	市でイベント等によって、地域を活性化させていくことは、良いと思います。ですが、継続ができなくなったため、民間企業に委託した場合、きちんとその民間企業が持続していくための手助けをきちんとした方が良いと思います。予算がない、助成金をお薦めしますというのは、誰でも返答できる答えです。そうではなく、一緒に考えて、より良いイベントにしていけるのも市の仕事ではないのでしょうか？また、市政とは関係ありませんが、役所に行った時に挨拶しても見るだけや、笑顔がないということが時々あります。忙しいのはわかりますが、一般企業でも当たり前に行っていることができてないのは、理解しかねます。
31	市政には何も期待していません。
32	五所川原市は建設事業が多すぎ、無駄遣いが目立つ。事業計画の方法が、長期に渡ってまちづくりをするという創造性に欠ける。大町中心街のまちづくりにしても、行政実行する際の手続き不足が噂されている。長期的展望に立った時、関係法令に照らしたら、事業実施して行くべきである（例えば新市役所の建設等）。五所川原市の発展は、人口の減少と共に退廃するであろう。それを防ぐためには、思い切った、長期に渡るまちの改造が必要と考える。数年ではなく、100年単位で考えるべきであろうと思う。東京都が上野公園を作った時のような斬新な発想が必要であろう。学校統合の跡地にコミュニティセンターのような建物を作るのは、地域の土建業、建設業の仕事を増やしているに過ぎない様な気がする。
33	平成27年度の一般会計の予算額が対前年度比で2億円増えているが、当市はまだまだ厳しい財政状況下におかれている。財政削減のために次の事業の見直しを計るべきと考える。いかなものか。 ①1,856万円もかかる走れメロスマラソン大会 参加費を徴収しているのに。 ②スポーツ、文化勲章 余りにもくれすぎ。もっと厳選すべき。
34	①不要な金の使いすぎ（祭り等）。 ②道路の整備（夏：側溝詰まり、冬：除雪）。 ③市は農業に力を入れていない。 ④口だけ行事がなっていない。仕事をしてほしい。市民の為の仕事。
35	若い人が減るという事は、市政に対する若い人の意見が反映されないからではないかと思う。
36	介護の仕事をしています。担当の方が変わった時、書類等の記入方法・解釈が変更になる時があります。引継ぎに時間を要して欲しい。法改正時の対応も遅い。
37	財政健全化。
38	東京までの交通費が高いので、都会に出た人たちは、容易に帰って来られない。五所川原にいる若者たちも、もっと気軽に都会に遊びに行けるようにしないと、ますます子供たちは都会に流れるのではないか。青森空港や、新青森までのバス代を無料にし都会までの交通費の半分補助はできないものだろうか？盆、正月しか帰れないふるさとではなく連休があればいつでも帰れるふるさとに！若者が日帰りでも遊びに行けるように！私自身、交通費がもっと安ければ出席してみたいセミナーもあるし、買い物にも行きたい。
39	市民のためになる事を考えていない気がします。未だに、権力者のための建物ばかり、業者はいつも同じ。もう少し五所川原全体を見てまちづくりを考えてほしいです。

(2) 市民参画・広報広聴・情報公開 (17件)

市民参画・広報広聴・情報公開	
1	現在、錦町のアパートに住んでいるが、広報ごしよがわらが届かない。ぜひ届けて欲しい。
2	広報ごしよがわらは毎月楽しみにしております。色んな事を知る事が出来るし役立っています。ありがとうございます。
3	立佞武多に税金が使われているが、一体いくら使われているのか公開して欲しい。
4	市の行政のお知らせなど、県からの情報でも、ローカルのニュース番組内で放送してくれたらいいと思います。ラジオを聞く習慣があまりないので、Gラジオもそんなに聞いてません。夕方ニュースが始まる時間帯だと家族が揃っているので、同時に情報を得ることが出来て、話し合うことができるのでいいような気がします。
5	どういう活動をし、その活動の結果をもっと市民に告知すべき。結果だけでなく、活動内容も知らせるべき。公務や市のHPだけでなく、エルムや病院等多くの人の目に触れる場所に提示する。そうしなければ、不満すら感じる事が出来ない。
6	立ちねぶたの館、斜陽館、三味線会館、しーらんど海遊館の年間の入場者数、収入、支出を「広報ごしよがわら」に年1回掲載して欲しい。また、ドームの利用回数、収入、支出も掲載できたらと思う。
7	とりわけ、青森県の五所川原でなければならないという理由づけをしてもらいたい。たとえば、五所川原高等学校を中心とした高学歴の有望な人材を多数県内外に輩出していることや、稲作やりんご園を長年営んできたのとかで、良心的な人柄の地域風土。まちおこしや観光（特に立ちねぶた祭り）、イベントなどが青森県でも最も盛んな地域であることを全面的に宣伝してもらいたい。特にインターネットや地元テレビ局を大いに活用し、全国へ五所川原をアピールし、世界的に有名な企業や、ブランド企業、IT企業、若い起業家たちに関心をもってもらえるように努力してもらいたい。市、特に市職員や、地元の人々と知恵を絞り、行動することが大切だと思います。失敗を覚悟で挑むべきです。たとえ、結果が出なくても、未来の五所川原市民は称賛すると思います。駄文につきお許しください。五所川原が大好きな一市民。
8	アパートに入居して税金を払っても、広報誌が届かない。大家などに届けさせてほしい。
9	広報をもっと見やすく分かりやすく字を大きくしてみてもどうでしょうか？
10	市のホームページ、見にくくないですか？字がいっぱいすぎて見にくいです。どの年齢層向けに作っているんだろうかと思います。
11	市のホームページの見たい情報がどこにあるのかが、今のサイトの作りだとわかりにくいので、もう少し分かりやすくして欲しい。
12	青森県の米のコマーシャルを東京では見たことがないと都内にいる友達が言っているので、市で1ヶ月に2、3回でもテレビに映してもらえば、もう少し良くなるのでは？
13	市の広報等、難しい用語が多く、理解で出来ない。
14	市民広報が月1回の配布になってから、市政の状況がわかりづらくなった。必要な経費はしっかりかけて、もっと情報を提供した方が良いと思う。
15	市広報は大変見やすくなって、感謝しています。市民の目線の方向で、さらなる御精進をお願いします（難しい語句の説明とか）。
16	広報の中に、市のHPでご覧下さいとありますが、パソコン等を所有していない人にとってはいかがなものか。

市民参画・広報広聴・情報公開	
17	<p>市民税を払っているのに、市の広報がきません。電話をすれば送ってくれるのですが、その後またこなくなります。</p> <p>商品券の情報など全く知る事ができませんでした。小さい子供がいるので、健診の情報なども知りたいので、ぜひなんとかしてほしいです。</p>

(3) コミュニティ活動・地域交流 (9件)

コミュニティ活動・地域交流	
1	若い人たち（結婚適齢期）の集いの場を作ってほしいです。
2	公園、花壇を町内の方々が年何回か集まり、草取り等をする事により、町内の方々の顔、コミュニケーションがとれるのではないのでしょうか。
3	若い人が定住しない限り未来はないと思います。結婚したいと思っているけどチャンスがない男女は沢山居ると思うので、何か行政としても、それを手助けしてほしいです。 気楽に参加できる出会いの場のイベント等。
4	若年者にとって、地域で楽しんだり、交流したりする場所や施設、機会が少なすぎる。 活気のあるまちを目指すならば、子ども達や若年世代が住みやすい・働きやすい・子育てしやすい・楽しいと感じる施設の整備やイベントを設けるべき。 補助制度が拡充してほしい（公営のスポーツ施設の整備、子育て世帯への補助や交流・意見交換機会の拡充など）。
5	ショッピング等は充実してきたので、今度は住みたい、住みやすいと思える場所になるといいなあと思います。 例えば学生の県外ボランティアでりんごを育てる体験や、地域を活性化させてくれる人を募集してホームステイ体験など、田舎もなかなかいい所である事を体験するきっかけを作ってあげる事も一つの手だと思う。
6	少子化、高齢化、雇用等、たくさんの問題を抱えている現状を市民全員が痛感しているとは思っております。今までは国が悪い、市が何もしてくれない、世の中の流れだからと対岸の火事のようにしてきましたが、受け身ばかりでなく、市民一人一人が提案し、介入していかなければとは思っております。しかし、残念なことに普通のサラリーマンである私に、市政に共に参加させて頂ける場も窓口もほぼありません。今現在あるのは、博識者や経営者へのご機嫌取りの場しかないと思ってます。まず、私と同じような考えを持つ人たちが集まり、意見を出して行ける場を作ってほしい。金を持っている人が、持っている分だけ儲かる仕組みは下策としか考えられません。
7	周りで30代、40代になっても独身でいる人が多く、出会う機会がないのかな？と感じる。「街コン」のような機会をもっと増やしたりした方が良いのでは？少子高齢化と言うが、子供が増えないことには元も子もないと思うので。
8	独身者に出会いの場を多くして欲しい。
9	前にエルムの中にテーブルがあり、そこにお年寄りがたくさん集まっており、現在では行き場がないのがかわいそうに見えていますという人々の声も聞こえています。お年寄りがコミュニケーションを取る場所も作って欲しいと思います。

(4) まちづくり・将来のまち (10 件)

まちづくり・将来のまち	
1	新市庁舎の中は斬新なアイデアが盛りこまれているのでしょうか？ 沢山考えたんでしょうね？ 今でも立佞武多の周辺を通ります時に虚脱感を覚えますね。安心して老後を任せても良いのかしら？ と。他に良いまちがあるんじゃないのかしら？ と。
2	市民が希望を持って、このまちに住んでよかったと思えるまちであって欲しいと思います。粗末な回答で失礼致します。
3	20 代の意見としましては、公共団地の増加、安定した職（仕事場）づくり、その 2 点から人口減少と地域格差を止める事が、これからの北五地域にとって最も重要なことだと思います。
4	住み続けられないでしょう。子供達に誘われればそちらに行く。書ききれないほどあるよ！
5	まち自体が活性化が無い為死んでいると思います。デパートが 3 個あった時は賑わいもあり良かったのに、立ちねぶただけに力を入れてるのはどうかと思う。五所川原はそれしかないのでしょうか。農業も進んでいるのではないのでしょうか。もっと、地域の人々の発展を考えて欲しいです。他では道の駅など充実しています。中心地が空いているところにそれをやれば、農家の方もまちの人々も立ちねぶたに寄った方も立ち寄れて活性化すると思います。議員の方々ももっと考えて働いてくれたらと思います。当選する時だけ良い事を言っておいて、他の県に視察に行ったら旅行だけ楽しんでいるようではいけないと思います。市民に良いことを前向きに行動しなければ五所川原は良くなりません。もっと考えて欲しいです。是非道の駅をつくって欲しいです。私は活性化できるのなら是非協力したいと願います。
6	20 年、30 年先を考えると、居住地域の制限などで密集度を高くして、除雪の効率化・郊外の除雪の停止など思い切った事をしなければ、運営が難しくなるのではと思います。前例の無い事に対しては、批判も多くなるかもしれませんが、新たな取り組みを進めて、より住みやすい地域となるよう期待しています。
7	冬に住んでも安心できる、住みやすいまちづくりをして欲しいです。
8	弱い人を助けようという気持ちになり、子供をかわいがって、良い社会を作って欲しい。
9	住んで楽しい発展性がある地域にして欲しいです。プロ野球（楽天？ 巨人？ 笑）が来る日が来たらいいなー。
10	もっと五所川原が元気になるようにしてほしいです。

(5) 少子化対策・定住促進 (13 件)

少子化対策・定住促進	
1	若い方々の住み易いまちづくり、子育てしやすい環境づくりの推進を心より期待しています。
2	若い世代が働き、子供を育てて行きたいと思えるような地域作り、就労の場を確保すべきだと考えます。
3	地域の特色を活用したイベント等も良いだろうけど、又ねふた祭りや観光に力を入れているように見えますが、一番大事なのは若者が多く長く住みついてくれることが一番の活性化につながるのではないのでしょうか？
4	今のままの事業を続けていると、確実に子供が減り、市に活気がなくなり、今来てくれている観光客もこなくなると思う。高齢者に対する事業も大事だが、同時に子供を増やす為の対策をどんどん考えるべきだと思う。子供のための支援事業が増えると、その事業を求めて他地域からの移住者も出てくるかもしれない。とにかく、人口を増やす為にはどうすべきかを考えなければ、今の子供たちも地元に残りたくないと思い、益々人口減少が進んでいくと思う。一度人口が減少するとなかなか取り戻せないと思うので、早急に人口を増やす為の対策をたてて欲しい。
5	昔から当地に産業が乏しく、若い人が県外に出て、年々空き家が目に付く。小学校次々閉校。この先、小中統合の時代？地元で働く場をつくるのがなにより大切な時期かと思っている。このままだと将来、部落消滅の危機です。短命県返上どころでない。部落消滅危機返上急がれる。
6	人口の減少が進むと色々な事など困る気がします。 子供が多い家庭には、今以上の待遇がないと安心して産めないのが現状だと思います。女性の方は、仕事もしつつ家事もあり大変だと思うし、共働きでの子供二人以上は、かなりの負担だと思います。子供の出生が多いほど、地域の発展や団結が進むと考えてます。自分が苦勞したくないから、子供は作らないという声も多いので、何か良い案を考えて、そういう人を少なくしてもらいたいと思います。
7	「年寄り」や「観光客」のことよりも「若者」の事を重要に考えたほうが良いと思う。いつも「介護」「福祉」「観光客」のための中心地の活性化。それでは「若者の上京」は止まらないと思う。住んでいてもメリットを感じない。20代、30代くらいの話も聞くべき。頭ごなしに「ダメ!」「前例がない」等門前払いしないで「高齢者」等の話を聞くみたいに聞いて欲しい。「そうしている。」と言われても全然伝わってこない。その他にも色々あるが、常識的に考えれば分かることをしっかりやって欲しい。悪い言い方だが「年寄り」を労わっても経済的には潤わないと思う。介護福祉の社員だけが潤う。若者が潤わないと、活気自体出てこないはず。
8	若者の県外流出を止めないと五所川原市も大変なことになると思う。
9	社会における未来とは子供を指すのだと思います。子供が育てやすいまちとなることを希望します。
10	これからの時代は若い人が少しでも市内に残り、結婚し、出産していかないと人口減少を止められない。そのために、今現在、在住している世代だけでなく、他の市町村の人たちも「五所川原市は安心して子育てできる環境である」というまちづくりをするべき。

少子化対策・定住促進	
11	若者離れは深刻な問題だと思う。働き口がない上に、働けたとしても薄給であるため、あまり地元で就職したいとは思わない。具体的にどういうことをすればいいかを聞かれると答えられないが、地元私以外に誰も残っていないので、とても寂しい。若者が思わず戻ってきちゃうような五所川原市にして欲しい。
12	若い人達が住み良い市にして欲しい。
13	子供が安心して遊んで暮らせる環境作りをしてほしいです。

(6) 市町村合併・地域格差 (14 件)

市町村合併・地域格差	
1	まちだけをきれいにしないで、市外の方にも目を向けてください。
2	市内には 100 円バスが有って、病院・買い物にとっても便利でうらやましい限りです。同じ税金を払っているのに、市外地に住んでいる人は、高額なバス代を払って出かけてます。なんか不公平ではないですか？せめて 1 日 2 回位の 100 円バスを通して欲しいと思うのですが。
3	大町に税金使いすぎ！一部の市民だけの優遇は許さん！！
4	市内中心部がある一点の地域（エルム）のみ発展し、郊外が充実していない。
5	まち中の方だけのバス（エルム行きのバス）はありますが、週に一回でも東西南北のすみずみまで願っています。市民として、税金は同じに納めていて不便な思いをしております。税金は取るが分配無しのように、はじの方の市民はとられ損をしている様な気がしてなりません。
6	旧五所川原市にだけ祭り事があって、金木町などに賑わいが無い。
7	地図を見て、健診場所、避難場所、学区、選挙など、一度見直して欲しいです。
8	市内と市浦とのいろいろな面での差を感じる。個人、個人のボランティアなど、犠牲の上で成り立っている部分が多い。
9	旧市内が重点的にされている感がある。もっと金木地域にも目を向けて頂きたい。
10	市のサービスが、地域差のない、市民平等に受けられるようにして欲しいと思います。
11	五所川原市内はさておき、市浦、金木地区の道路整備、金木地区の体育館等、旧市以外にも都市計画等の計画をしっかりと立て、実行して欲しい。
12	五所川原市の顔である市内が空き家、空き店舗などが多く、一部の人だけが私腹を肥やしています。私の住んでいる地域では未だに下水道も整備されていない状況です。地域によっての格差がありすぎます。道路の整備、冬の除雪、適切に行われていません。一番望んでいるのは、下水道の整備を。一日でも早く行って頂きたいです。地域格差のない行政を望みます。
13	中心都市だけを活性化させても地元に住んでいる人には、利便化の向上にはなりません。市浦、相内にお住まいの方は不便ではないと思います。
14	人口減少が進んでいる地域でも、道路・歩道の整備、下水道の整備、公共交通の維持を忘れないで進めて欲しいです。都市部から農村地域への移住推進とコーディネートを進めたら、活性化が生まれる可能性があると思います。

(7) 市議会運営・市議会議員 (17 件)

市議会運営・市議会議員	
1	市議会議員の定数の削減。
2	市会議員の数は多すぎる。
3	市議会議員が多すぎる (20 人くらいでよい)。
4	議員の数が多すぎる。
5	消費税増税より国会議員の方々の給料を少し減らし、国民の方々の負担を減らすのもいいと思う。
6	議員を減らせ。
7	市議も仕事も出来ず、常識のない人がいる。市民の税金がそんな人に払われると思うと腹が立つ。
8	市政を行う人の若返りを願います。特に五所川原市長及び市議会議員。
9	市議会議員の定数削減してもいいのでは？市浦地区に元気がない。
10	議員の数を減らしてほしい。
11	議員の政務調査費の廃止。
12	政治家たちの活動が見えない。
13	議員の定数を少なくする。市の事業入札を市内業者に限らず、公募により安価に押さえる。議員の推薦による職員をなくして、有能な人材を用いるようにする。
14	市民に選ばれた市議等の市の行政に携わる方々に、市民の為に働いて欲しいと思う。
15	市会議員が多すぎる。
16	人口の減少に合わせて市議会議員の定数を鋭い視点に立って削減するより根本的な方策はないと思う。市民の意見が行政に反映されなくなるとの懸念は詭弁だ。
17	議員の削減を早く実行する。

(8) 税金・使用料・手数料 (20 件)

税金・使用料・手数料	
1	病院や市役所など大きな建物を壊したり、建てたりと多額の税金を無駄に使っている。
2	税金高すぎ。
3	立佞武多サンパウロ出陣は税金ですか？焼失しているようですし、税金であれば無駄遣いはやめて下さい。高い税金を有効活用して欲しいです。
4	給料少なくても仕事はしなければならぬ。税金ばかりで暮らしが少しも楽にならない。
5	少ない給料なのに住民税が高いので、もっと安くして欲しい。その分買い物が出来れば地域活性化につながると思う。
6	八戸市から転居して来ましたが、水道料金が高いことに驚きました。1.5 倍位なのではないでしょうか。自治体で定めている公的料金が割高なのが影響を与えているのかどうか分かりませんが、五所川原は物価が高い印象を受けます。クリーニング代、ガス代、アパートの家賃等です。転勤を命じられ、諸条件を鑑みて五所川原に住まざるを得ない人も多いでしょう。そういう方にとっては、五所川原は、住みやすいまちとは決して言えないような気がします。
7	プレミアム商品券より税金を安くしてほしいです。
8	税金が高い。
9	生き生きセンターの風呂の料金を下げる！350 円は高すぎる。100 円にできないか。
10	うちは転勤族で、県内、県外、いろいろな所に住みました。五所川原の水道代が高く、びっくりしています。なぜ、高いのですか？
11	市民税が高いのではないかと。特に水道代や排水（トイレの使用後の排水用）施設使用料を安くして欲しいです。各町内会に対する補助金（25,000 円、行政連絡員に対するガソリン代と御礼も含んでいるようですが）を出すのは、必要はないと思います。町内会員であれば、各町内ごとに町内会（年会）費が徴収されているわけですから。
12	収入の単価が、平均よりかなり低い、物価は安くない。公共料金が高い。子供の補助する（医療費など）お金や制度が悪い。つがる市などは中学まで無しだとか？それで移住する人もいます。税金が高くて生活が苦しい。働けど働けど、我が暮らし楽にならず。毎月赤字な上、税金や年金の支払い請求は否応なしにくる。この郵送料はどんなに税金の無題使いになっているかと思うと、腹立たしくさえなる。格差が大きい。お金がある人は贅沢をしているが、保護世帯の人はやっと生活しているし、保護世帯も多いと思う。高齢者も多く、生活は大変だと思う。
13	税金が高すぎる。他県に比べて収入が少ないにも関わらず、税金は当たり前取る。
14	高い税金を納めてても、何もしてもらってない感じがしない。水道料は高いし、五所川原市に住む利点を感じられない。
15	市民税が高すぎると思います。死んでしまった商店街を大金をかけて整備するのはとてもいいことだと思いますが、年に 1 度の立佞武多のためにお金使いすぎ。地元の土建業と死んでしまった商店の店主の借金を市が肩代わりしているようにしか思えません。
16	全国的に生活保護の不正受給、救急車の緊急性のない要請が多発しています。適正に税金を使って欲しいと思います。
17	住民税（市税）が高すぎる。びっくりした。 選挙広報が郵送で、びっくりした。お金がもったいない。各町内に任せるなどして、節約すべきだと思う。他の方も言っていた。

税金・使用料・手数料	
18	他市町村と比べ、住民税が異常と思えるほど高額。その分、公共サービスの充実や冬期の除雪をきれいにやってもらえればいいが、目に見えて十分と思えるような部分がない。人口減少を危惧しているのであれば、市民が納得するような施策を行うべき。現状のままであれば、住民税が安く、地域として魅力のある、他市町村への移住の流れは止まらないと思う。
19	市税が高い為、人口も減っているのだと思う。
20	病院、市役所の移転・建て替えなどで、市民の負担だけが増している。建物だけ大きくしても、中味はそのままである。

(9) 市職員 (31 件)

市職員	
1	議員等による口利きでの職員採用はやめて、公正な採用試験を実施し、優秀な人材を入れる。
2	職員を減らす。
3	役所職員をもっと勉強させ、民営のようにサービスを良くさせてもらいたい。
4	市役所の職員は、顔見知りでもあいさつなし。(市役の) 上役などには頭が地面につくようなあいさつ。バカじゃない。役人様気分だね。
5	市役所の職員は市民が役所へ訪れたら元気よく挨拶してください。
6	市職員が市民の目線を見ていない人が多いと感じている。職員が市民のニーズに答え、もっともっとボランティア精神で、市民の要望に答える必要があると強く感じている。地方公務員だからといって、腕組みをしている時代でない。
7	職員を減らせ。
8	役所内で備品などでもっともっと節約できる事があるのでは？役所の方々の親切さ、親身さが欲しいです。
9	市職員の対応・態度を今一度改めて欲しい。とても良い対応の人がいる中で、無骨な対応はかなり腹立たしい。一般企業であれば考えられない。観光産業に従事する人たちがとても親切なのに、市の職員が横柄な態度であきれた。 五所川原市を良くしたいのであれば、先ず職員の姿勢からなのでは？観光客に接する方々はとても親切ですよ？！市の窓口となる職員は横柄な態度は妥当でしょうか(金木庁舎や本庁(課は違うが2度あった))？基本的なことが改善されないのであれば、このようなアンケートは税金の無駄！！何を回答・意見・提案しても何も期待できない。
10	公務員の人の一部の対応に不満がある。特に 40、50 代の、質問した時の対応など。
11	市民から見れば、市役所の給料は雲上の金額。汗を流した分だと良いが、早く飯を食い、通販の回し読み等、市民感覚からかけ離れている。市長(代理)自らが、襟を正し調査して欲しい。長期に渡る欠勤も人件費の無駄。市職員の給料が上がれば、我々の税が重くなるのは明白。中泊や外ヶ浜だけでなく、当市もやがて消滅地域に数えられるようになる。ねぷたばかりでなく、市全体が魅力あるまちになるように、職員全体が考える市であって欲しい。
12	市役所のレベルの低さ。電話で問い合わせしている時、話の最中に咳をして失礼を詫びない。話が優しくない。電話をして迷惑そうな話し方。こんなレベルじゃ活性化は無理です。新しい市役所になってもきっと同じなので、五所川原には何も望みません。協力もしません。

市職員	
13	市役所の職員の対応、態度がとても悪い。
14	市民が困ってお願いに行っても何も出来ない。議員様が行ってお願いすれば出来る。市民を馬鹿にしている市職員困ったもんだよ。
15	人口減少により、市議会議員の定数削減が4人より6人の方が良い。又、議員報酬が高い。
16	受付職員さん笑顔がないですが、そんなに仕事したくないのかなあ。私、気が強いので、つつい面付きしてしまいます。直した方が良いですよ！！
17	役所の仕事。縦割りなので、もう少し横の連絡もして欲しいです。
18	たまに市役所に伺った際、役所内のダラダラした雰囲気等を目の当たりにします。市の中核で働く人たちがこんな感じかと、毎回がっかりします。一般企業では考えられないことです。まずは、役所の中に“活力ある”風を吹かせて頂きたいと、切にお願い申し上げます。
19	市民へのサービス向上。 市職員の資質の向上。 不正は絶対しないこと。
20	市役所の対応が以前よりも良く感じ、利用しやすくなりました。
21	伝統を大切にすることも必要だが、時代に応じて変化することも必要だと思う。新しいものを取り入れ、よりよい市を作ることが必要だと思うが、市の職員もコネで採用してるようじゃ、このまま五所川原市も良くはならないと思う。上に立つ人が自分さえ良ければいいという考えのままだと前には進まないと思う。市役所の職員の態度も前よりはだいぶ良くなったと思うが、まだ、横柄な態度の人もある。まずはそこから直してもらいたい。
22	市役所の採用に疑問あり。昨年度は17名に最終合格を出し、今年度行う試験では2名予定と、年度ごとのバラつきが大きすぎて、前回下位合格者よりも高得点を出した人間が最終合格できず、次点となるのには納得できない。行政のコストを考えても、一度に大量の人間をいれることよりも、数年度に分けて入れる方が、現場の混乱を少ないのではないかと？（昨17名→今2名でなく、例えば昨7名→今7名→来5名等）
23	減多に役所を利用せず、勝手にわからなかったのに面倒くさそうに対応されたことがあります。神様の様に扱う必要はないですが、ある程度愛想の良い対応を心がけて下さい。忙しいとは思いますが、むかつきます（あからさまに顔に出す人がいます）。
24	市役所職員が多いのでは？役所に行ってみると暇そうにしている職員が多い（年配の方）。大事な税金を無駄なものに使ってほしくない。他の市町村に比べて行政サービスは悪いです。
25	期日前投票に行ったとき、エレベーターが一緒になった市職員の方々の会話で「自分は県知事選に興味はないが、仕方ないから行く」ということを言っていた。市民の目の前で言うのは恥ずかしいと思う。
26	五所川原に引っ越ししてきた理由は、市内で、近いところで用事を済ませることが出来るからです。初めて五所川原の市役所に行って、転居の手続きやいろんな手続きをした時、どのように記入しているのか分からず、職員に聞いたら、見本（記入例）などを見せてくれるかと思ったら、他の住民の書いたものを見せて教えてもらい、すごく驚きました。プライバシーが常識な世の中、何だか古い考えのように感じました。職員一人一人、責任のある行動をしてもらいたいと思いました。

市職員	
27	どこの行政も大変だと思います。日本の国そのものが大変なのは分かりますが、国との兼ね合いの中で五所川原市が良くなるように市の職員の考慮と努力を望みます。
28	地方公務員の給料引き下げの見直しに伴って、当市の議員報酬も0.1月分引き下げるが、それでも民間給料と比べあまりにも優遇されすぎている。もっと引き下げるべきと考える。いかなものか。
29	市役所の職員はもう少し元気よく対応した方が良くと思う。窓口では、無表情で元気のない人が対応していて、奥では職員同士の会話や笑い声が大きい声で聞こえてくると、市役所の印象が悪くなる。
30	市職員の削減を早く実行する。
31	分庁舎の職員を教育しなおすべきだと思う。市職員、全体的にレベルを上げるべきだ。窓口には、知識のある対応できる人を置くべき。五所川原市から人口減少を食い止める努力をもっとするべきだ。良所はたくさんあるのに、うまく利用できない、宝の持腐れ市だ。

(10) 窓口対応 (7件)

窓口対応	
1	まず、市役所に行くのが面倒くさい。期日前投票も、5階まで行かなきゃいけないのは、赤ちゃんがいる家庭では大変。あちこち動き回って書類を取りに行くのも大変。期日前投票は、スーパーなどでしてもらえたら助かる（ジャスコでやった。）。
2	就職して、健康保険が変わるときに年金が変わることを知らなかったの、2度市役所に行くことになった。窓口が違うのは仕方が無いが、必ずセットで変わるものならば教えてもらいたかった。他にも無駄が多いと思う。
3	数年前、トラブルがあり、電話帳で調べて、市役所内にある消費者生活相談室へ行ったが、担当した方は一生懸命に対応してくれたがとても不慣れな方だった。東奥日報平成27年4月21日夕刊2頁に掲載された（一ッ谷中央公民館裏の）消費生活センターとはどう違うのか？似たような機関をあちこちに作らず、専門的に長けた機関を一つに絞って欲しい。トラブルは解決にはならなかった。市役所の担当した方はとても親身に対応してくれました。市役所の担当の方への文句ではありません。一ッ谷の消費生活センターの連絡先は電話帳に載っていないのでは？
4	市役所、土日運営できませんか。せめて、つがる市のように出張所（土日も営業）を設けるなど。つがる市と比較すると五所川原市はサービスが悪すぎる！！数年後、つがる市に移住したいと考えます（当然です。）。
5	エルムに市役所の窓口を作ってほしいです。働くお母さんも増えているし、土日でも手続き出来ると嬉しいです。
6	青森市のように、住民票とかコンビニで発行できるようにしては？良いものは取り入れましょう！
7	4月1日より医療費を窓口で払わなくなったのは、とてもいいと思った。

(11) 市役所庁舎・公共施設 (11 件)

市役所庁舎・公共施設	
1	公共施設の使用基準が曖昧で、個人使用がしづらい。リアルタイムでホームページ等に掲載して欲しい。
2	市役所が遠く、車の運転の出来ない年寄りには、近くのエルムなどに出張所が欲しい。
3	新町と布屋町の間にある公園の建物どうするのか。プール(市営)は無駄である。まだまだ無駄が多い。
4	今の市役所の脇の駐車場を市民に有料で貸し出せばよいと思います。五所川原市民であれば、一ヶ月 1,000 円位、以外であれば 2,000 円位で貸し出せば、あまり高くない金額なので借りやすいと思う。夜間の病院脇の路上駐車を減らすのにもよいと思います。駐車場入口に監視所もあるので、夜間に駐車場の対応をする人を 2 人位配置すれば、路駐対策にもなると思います。駐車場を借りている人の識別方法は、車のフロントガラス上等にラミネートした A 4 サイズの証明書みたいなものを置いておき、入るときにそれを確認する方法がいいと思います。今でも片側の路駐は少なくなっているが(病院側)、反対側に路駐している人が見られるので、もし目撃したら糊の残る用紙などをフロントウィンドーに貼って、注意書き、警告をしていけば少なくなるような気がします。いつも通る時、駐車禁止エリアの標示がしてあるところでも停めている人がいるが、そういう人はわかっていて停めている人が大半だと思うので、強い対応が必要だと思います。
5	財政厳しい今、各支所が必要か。金本支所、市浦支所職員が必要か、考える必要があると思う。中泊を見習うべき点が多いと思う。本庁 1 本にして、電話で連絡、封筒で切手なしでも市役所宛の郵便物 OK 等考える点が多いと思う。
6	ドームを改良し、コンサートなどできれば人も集まると思う。
7	早く、新しい市庁ができれば良い。
8	公共施設が充実していない。子供達が使用したくても使える場所がない！！ダンス練習には、適した所が一つもない！青森市や弘前市には市民センター、ホール、低料金(学生料金)で利用できる場所がたくさんあるのに、なぜ五所川原市にはないのですか??市の施設だと思って交渉しても、委託されている所が多く、貸してくれない！なぜ貸してくれないのか意味がわかりません。婦人の家は、なぜ土日休み、18時に終わるので、学生は無理！青森市の婦人の家は、22時までやって、しかも無料…意味がわからない！！市役所に問い合わせしましたが、高い料金の場所を言われただけ。子供達が活動できる場所を作って下さい。
9	オルテンシアや克雪ドームなど、多目的施設の規模の小ささ、中途半端な大きさでは、利用者も利用しづらい。もっとお金を貯めて作った方が、利用者も増え、地域活性化につながると思う。
10	箱物はあといいりません。市民の事をもう少し考えて、建てる時には市民投票を希望します。
11	保健センターの駐車場は狭いですが、利用者には市役所に車を止めて来いと言って、職員の方がセンターに車を駐めているのはおかしいと思う。

(12) アンケート調査 (15 件)

アンケート調査	
1	アンケート。何を聞いているのかよくわからないところが多い。満足度と重要度の違いがよくわからない。従って、両方同じところに○印をつけた。
2	わからないことはふつうに丸をしました！
3	私2年以内の間に同じようなアンケート出していましたけど、2回アンケートに答えても協力になるの？
4	環境により感じ方は様々かと思います。このアンケートは生かされるのか？疑問ではありますが、わずかな期待をもつ事で自分が生かされそうです。
5	いつも広報を見てはいても、情報を全部把握しているわけではないので、アンケートに答えるのがとても難しかった。五所川原がもっとよくなってほしいとは思っているけど、何をどうすればという具体的な考えは持っていない。
6	設問の内容が多岐で選択に苦労した。設問の内容に理解できないものもあった。全体的に答えにくかった。一般市民に問う設問にしては、非常に難しく、特に高齢者にとっては難しく感じた。 ※この設問は市役所で作成されたものですか。もう少し、具体的に表現できないものでしょうか。答えに窮するところが多々あった（ニュース解説や社説でもこんなに難しくない。）。
7	アンケートの重要度は、確かに重要だと思うが、そこに市民の税金を増やしてまで、取り組んで欲しいということではありません。意見は言わせてもらいましたが、何か提案があるかと言われれば、申し訳ありませんがありません。すいません。
8	アンケートの満足度、重要度に○をつけるのに迷います。
9	満足しているから不満までの項目が5つありますが、「わからない」の項目があったらいいと思いました。
10	私は鉄道業に携わっているのですが、問4の人口減少は深刻な問題で、年々通学の生徒が減っているため、収益の面で大きな影響が出ています。また、観光のお客さんも大きな収入源なので、収容に繋がる手だてがあればと提案致します。
11	質問では、・・・が行われていることとなっているが、五所川原市では全然何も行っていない。行っていないにも関わらず、行っているとは何故？行っているつもりなのか？特に(41)市の財政基盤が安定していること。借金ばかりの市なのに安定しているつもりなのか？どこの業者が質問を考えたの？もう少し質問事項を検討すべきなのでは？どこの業者に委託して、このアンケート用紙を作成したのか？公表すべき。どんなことをして欲しいのかという質問をすべきである。
12	少数意見が反映されることを希望します。
13	市政に関する事ではないのですが、五所川原に来てまだ3年足らずなので、問3に関して内容がわからないので、答える事が出来ませんでした。申し訳ありません。
14	アンケート項目に分からないの項目が必要では？
15	アンケートを作るにあたってもう少し具体的に自分達の活動内容や、意見を述べ、それについてのアンケートを行わないとこのアンケートに対しての答えはみな同じようなことになると思うのですが…。例えば、市の財政を〇〇〇に力を入れて投資しているが、それについて実感がありますか？またどのように改善、進めた方がいいと思いますか？的な感じ。

(13) その他 (10 件)

その他	
1	何かと大変でしょうが、市職員の方の仕事頑張ってください。ご苦労様です。
2	意見とは言えませんが、今までに変わった事もなければ、今まで通りに思われます。上の人も、我良しでなく、もっともっとすばらしい人間作りしてほしいと思います。
3	保身をはかる側に何を言っても伝わらない。
4	若い人達に何万円か補助金を出してほしい。
5	選挙について 国政選挙 40%…、市町村議員選挙 70%…これが一番問題です。これでは国が壊れます。国が壊れれば五所川原も壊れます。
6	公平公正を望む。
7	人口が少なくなり、いろいろ行政としても大変な時でしょう。しかしながら、必ず定着点ができることも、また間違いないと思います。あきらめず、何とか個人的にも頑張りたいものです。
8	若者を引きとめるためには、常に変化し続けることが必要ではないかと考えます。これでいいということはないのです。しかし、財政の問題もあるので難しいところですね。
9	市民は皆さんの頑張りをしています。良い街になってもらうため、応援しています。
10	市民からのお願いをもっと聞いて欲しい。

Ⅲ-7. その他

(1) その他 (17 件)

その他	
1	冬は住みたくない。ハワイにでも行きたい。
2	何もかも「中途半端」。詰めが甘いのは市民性でしょうか。そろそろ脱却しないと人口流出は免れないですね。
3	毎日ご苦労様です
4	東京、仙台など移り住んできているが、五所川原市に全く魅力を感じない。人口減少も必然かと。
5	その日の暮らしに一杯一杯で余裕ゼロ。
6	現在市浦地区に住んでいますが、誠に住みにくい。よそ者を受け付けない体制は、田舎特有の特徴で情けない。年寄りばかりが多い為、昔の考え方ばかり。挨拶しない、人を見れば逃げる。ずっとこの感じで生きていくのかと思います。観光客も来るはずがない。
7	身体障がい者（脳性マヒ）のため回答できません。
8	私たちに出来ることがあれば喜んで協力したいと思っております。五所川原市のために共に頑張りましょう。
9	このままではダメ。
10	市のことを考える時間ができて良かった。
11	特にないです。いつもお疲れ様です。ありがとうございます。
12	色々考えて下さり、一生懸命だと思います。ありがたいです。協力できることは、できる限りします。
13	まじめにやれ。
14	夢も希望もない。 気持ちの小さいヤツが多い田舎。 言葉が汚い。
15	車、バイク等は免許がないと運転出来ないし、無免許運転すれば違法になるのに、客に料理を出す仕事の人達は、調理師免許がなくても客に料理を出してお金をもらう事が出来るのは、おかしいと思います。調理師免許がない店で、食中毒等が出た時は、市で補償等してくれるんですか？
16	「五所川原市の地名」が刊行されましたが、執筆者の個人的な憶測による内容で書かれている箇所があるが、歴史的な書物の観点からみるといかがなものか。
17	なんかください。

IV 參考資料

IV-1. 市民意識調査票（五所川原市に関するアンケート調査票）

五所川原市に関するアンケート ご協力をお願い

市民の皆様方におかれましては、日頃から市政に対するご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

市では、平成27年3月に五所川原市総合計画を定め、「活力ある・明るく住みよい豊かなまちーみんな大好き ごしょがわらー」を目指す将来像として各種施策の推進に取り組むとともに、「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、五所川原市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定に向けた調査・分析を行っています。人口減少や超高齢化が進行していく中で、これからの市政について市民の皆様のお考えをお伺いし、地域特性に沿った効果的かつ効率的な各種施策の推進にあたっての基礎資料として活用したいと考えています。

今回の調査では、20歳以上の市民の皆様の中から無作為に3,000人を抽出させていただき、皆様が普段の暮らしの中でどのようなことを感じ、また、今後の五所川原市にとってどのような点が重要と考えているかをお聞きするものです。

ご回答は全て匿名のデータとして統計処理し、プライバシーの保護に配慮することはもちろん、他の目的に使用することは一切ございませんので、率直なご意見をお願いします。また、今回のアンケート調査結果は、「広報ごしょがわら」などで公表いたします。

ご多忙のところ誠に恐縮ですが、大切なアンケートとなりますので、趣旨をご理解の上、是非ご協力をよろしくお願いいたします。

平成27年7月

五所川原市長職務代理者 五所川原市副市長 三上裕行

<ご回答にあたってのお願い>

1. ご回答は直接この調査票にお書きいただき、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて
7月17日（金）までに ポストにご投函ください。
2. このアンケート調査には、必ずお送りした封筒の **宛名のご本人** がお答えください。もし、何らかの都合でご回答できない場合は、ご家族のどなたがご回答いただいてもかまいませんが、その場合は、宛名のご本人の立場でお答えください。
3. ご回答は、ボールペンまたは濃い鉛筆などではっきりとお書きください。
4. このアンケートについてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

〒037-8686 五所川原市宇岩木町12番地
五所川原市財政部企画課企画調整係
TEL 0173-35-2111(代表) 内線 2151~2154
FAX 0173-35-3617
E-mail kikaku@city.goshogawara.lg.jp

問1 ご回答いただくご本人(宛名の方)について、(1)~(7)のそれぞれあてはまるもの1つに○をつけてください。

(1) 性別

1. 男性	2. 女性
-------	-------

(2) 年齢

1. 20歳代	2. 30歳代	3. 40歳代
4. 50歳代	5. 60歳代	6. 70歳代以上

(3) お住まいの地域

1. 五所川原地域	2. 金木地域	3. 市浦地域
-----------	---------	---------

(4) 五所川原市での居住歴

1. 5年未満	2. 5年以上10年未満	3. 10年以上20年未満
4. 20年以上30年未満	5. 30年以上	

(5) 家族構成

1. ひとり暮らし	2. 夫婦のみ	3. 親と子(2世代)
4. 親と子と孫(3世代)	5. その他[]	

(6) 職業

1. 経営者	2. 勤め人	3. 自営・自由業
4. 農業	5. 林業・漁業	6. パート・アルバイト
7. 専業主婦・主夫	8. 学生	9. 無職
10. その他[]		

(7) 通勤・通学先

1. 市内	2. 市外	3. なし
-------	-------	-------

問2 あなたの普段の生活について、(1)～(14)のそれぞれあてはまるもの1つに○をつけてください。

(1) ご近所同士のつながりを大切にしていますか

1. している	2. 少し大切にしている	3. 重視していない
---------	--------------	------------

(2) 日頃、健康増進のための取組(運動や食生活の改善など)をしていますか

1. している	2. 時々している	3. していない
---------	-----------	----------

(3) 防災対策(食料・飲料の備蓄、家具の転倒防止など)をしていますか

1. している	2. 少ししている	3. していない
---------	-----------	----------

(4) 困った時に気軽に相談できる人はいますか

1. いる	2. いない
-------	--------

(5) 地域のイベントや活動などに参加していますか

1. 参加している	2. 時々参加している	3. 参加していない
-----------	-------------	------------

(6) 高齢者や障がい者を援助するボランティア活動に参加していますか

1. 参加している	2. 時々参加している	3. 参加していない
-----------	-------------	------------

(7) 公共交通を日常的に利用していますか

1. 利用している	2. 時々利用している	3. 利用していない
-----------	-------------	------------

(8) 省エネルギーやリサイクルに取り組んでいますか

1. 取り組んでいる	2. 少し取り組んでいる	3. 取り組んでいない
------------	--------------	-------------

(9) 趣味や教養を身に付けることに取り組んでいますか

1. 取り組んでいる	2. 時々取り組んでいる	3. 取り組んでいない
------------	--------------	-------------

(10) 日常的にスポーツ活動をしていますか

1. している(週1回以上)	2. 時々している(月1回以上)	3. していない
----------------	------------------	----------

(11) 日ごろ市内で買い物をしていますか

1. している	2. 時々している	3. していない
---------	-----------	----------

(12) 市の広報誌を読んでいますか

1. 読んでいる	2. 時々読んでいる	3. 読んでいない
----------	------------	-----------

(13) 市のホームページを見えていますか

1. 見ている	2. 時々見ている	3. 見ていない
---------	-----------	----------

(14) 市のまちづくりの取組や財政状況に関心がありますか

1. 関心がある	2. 少し関心がある	3. 関心がない
----------	------------	----------

問3 あなたは、次の表に示した項目について、現状をどのように感じていらっしゃいますか。
 また、今後、取り組むことがどのくらい重要だとお考えですか。
 ①現在の満足度、②今後の重要度についてご回答ください。

	①満足度（〇は1つ）					②重要度（〇は1つ）				
	満足している	満足している どちらかといえば	ふつう	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	ふつう	あまり重要ではない	重要ではない
①満足度、②重要度それぞれ1つに〇をつけてください （記入例）⇒	1	2	③	4	5	1	②	3	4	5
地域の強みを生かす産業・賑わいづくり										
(1) 農林水産業の生産基盤が整備され、担い手が確保されていること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(2) 農林水産物のブランド化や6次産業化 ^{*1} が推進され、農林水産業を通じた交流が図られていること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(3) 地域の特色を活かした取組・イベント等の支援により、魅力ある商店街が形成されていること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(4) 地域資源を活用した新たな産業の育成など、地域経済の活性化が図られていること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(5) 企業誘致の推進などにより、工業の振興が図られていること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(6) 観光客の増加により、地域の観光産業が発展すること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(7) 職業能力を開発したり、働く場所を増やしたりすること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
地域で支え合う健やか・安心な暮らしづくり										
(8) こころと体の健康づくりへの取組が行われ、健康への関心が高まること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(9) 病気になっても、診療体制が充実しており安心して病院に行けること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(10) 結婚を希望する男女への出会いの場創出など、結婚への支援があること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(11) 安心して子どもを産み、健やかに育てることができること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(12) 地域全体で支え合い、安心して地域で暮らしていけること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(13) 高齢者が生きがいを持ち、安心して生活できる環境が整っていること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(14) 障がいを持つ方が将来的に自立した生活を送ることができるような福祉サービスや相談体制が整っていること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(15) 生活困窮者の相談体制が整い、就労を支援し生活保護が適正に運営されること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(16) 介護・医療など社会保険制度が、適正に運営されること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

	①満足度（〇は1つ）					②重要度（〇は1つ）				
	満足している	満足している とどちらかといえば	ふつう	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	ふつう	あまり重要ではない	重要ではない
①満足度、②重要度それぞれ1つに〇をつけてください （記入例）⇒	1	2	③	4	5	1	②	3	4	5
個性を伸ばし育む人財・文化づくり										
(17) 小中学校において、安全な施設環境と充実した教育環境が整備されていること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(18) 生涯にわたって興味のあることを学んだり、取り組める環境や機会があること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(19) 地域ぐるみで学校運営を支援する体制が整備されていること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(20) 誰でも気軽にスポーツに親しめる環境や機会があること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(21) 市民によって地域の伝統が受け継がれるとともに、文化活動が盛んであること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
命と生活を守る安全・安心づくり										
(22) 災害が起きても対応できる体制が整備されていること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(23) 空き家対策が適切に進められていること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(24) 消防・救急並びに交通安全・防犯に関する体制、環境が整っていること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(25) 消費生活に関する苦情や被害などの相談体制が整備されていること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(26) 虐待や暴力、いじめについて、相談体制が整っていること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

※1 6次産業化：

第1次産業とこれに関連する第2次、第3次産業に係る事業（生産、加工、販売）の融合等により新たな付加価値を創出し、農林漁業および地域の活性化を目指す取組

	①満足度（〇は1つ）					②重要度（〇は1つ）				
	満足している	満足している とどちらかといえ ば	ふつう	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	ふつう	あまり重要ではない	重要ではない
①満足度、②重要度それぞれ1つに〇をつけてください （記入例）⇒	1	2	③	4	5	1	②	3	4	5
快適で質の高い環境・住まいづくり										
(27) 道路がよく整備されていて、安全で快適に移動できること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(28) バスや鉄道などの公共交通手段が利用しやすいこと	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(29) 中心市街地を整備することによって市の顔である“まち”が活性化すること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(30) 公共施設（病院・福祉施設など）が誰でも使いやすくユニバーサルデザイン ^{**2} 化されていること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(31) 道路の除雪が適切に行われ、安全に通行できること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(32) 市営住宅が整備されていること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(33) 公園がよく整備されていて、誰でも利用しやすいこと	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(34) 下水・し尿処理やごみ収集などがきちんと行われ、衛生的な環境が整っていること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(35) 省エネルギー対策や新エネルギー ^{**3} の導入による地球温暖化防止対策が積極的に進められていること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
共にすすめる持続可能なまちづくり										
(36) 知りたい市役所の情報を手に入れやすいこと	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(37) 町内会などによるコミュニティ活動が積極的に行われていること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(38) 市民団体等の主体的な活動を支援するなど、住民と行政との協働によってまちづくりが進められていること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(39) 男女の性別に関係なく、お互いを尊重し合う社会であること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(40) 市民が満足できるような効率的な行政サービスが行われていること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(41) 市の財政基盤が安定していること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(42) 市外からの移住や、定住促進など、住んでみたい・住み続けたいまちづくりが進められていること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(43) 周辺市町村と力を合わせて、よりよい行政サービスが行われていること	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

問4 現在日本では人口減少が問題となっており、五所川原市においても現在の 57,638 人(平成 27 年 5 月 31 日現在)から、2035 年(平成 47 年)には約 40,000 人以下にまで人口が減少するという推計も示されています。(国立社会保障・人口問題研究所推計値)

人口減少に関する認識について、(1)~(2)の各項目をお答えください。

(1) 五所川原市において、人口減少が進んでいることを実感していますか

(どちらか1つを選んで○をつけてください。)

1. 実感している	2. 実感していない
【「1(実感している)」と回答された方に伺います】 人口減少が進んでいることをどのような点で感じますか	
[]	
(記述例) 近所の子供の数が減った、空き家が多くなった 等	

(2) 今後人口減少が進むことにより、どのような点に不安を感じますか

(3つまで選んで○を付けてください。)

1. 地域経済の衰退	2. 企業の流出・仕事の減少
3. 地域のにぎわい低下	4. 公共サービスレベルの低下
5. 地方自治体の運営悪化	6. 教育レベルの低下
7. 公共サービスの費用負担増加	8. 農林漁業の後継者不足
9. 介護従事者の人材不足	10. 医療施設の撤退
11. 地域活動・近隣付き合いの希薄化	12. 伝統文化や祭りの衰退
13. その他 []	

問5 あなたは、これからも五所川原市に住み続けたいと思いますか。

(あてはまるもの1つに○をつけてください。)

1. 住み続けたい	2. どちらかといえば住み続けたい
3. どちらともいえない	4. どちらかといえば住み続けたくない
5. 住み続けたくない	

※2 ユニバーサルデザイン：

年齢や障がいの有無などに関わらず、すべての人が快適に利用できるように製品や建造物、生活空間などを利用可能であるようにデザインすること

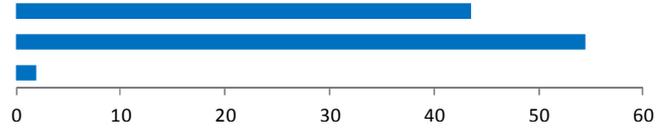
※3 新エネルギー：

太陽光発電や風力発電などの「再生可能エネルギー」のうち、地球温暖化の原因となる二酸化炭素の排出量が少なく、エネルギー源の多様化に貢献するエネルギー

IV-2. アンケート集計表（設問ごとの単純集計結果）

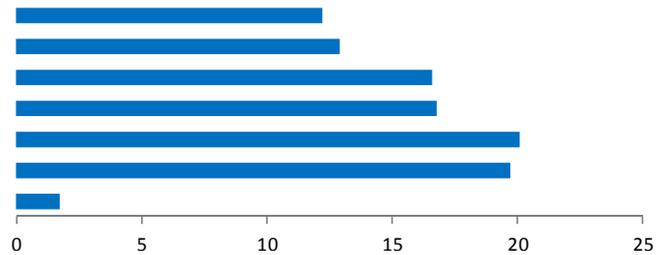
問1-1 性別

No.	カテゴリー名	n	%
1	男性	493	43.6
2	女性	617	54.5
	無回答	22	1.9
	全体	1,132	100.0



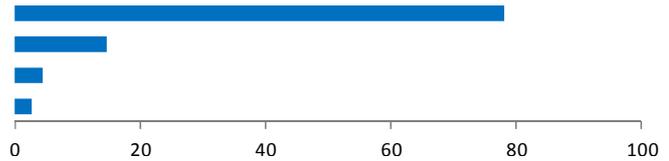
問1-2 年齢

No.	カテゴリー名	n	%
1	20歳代	138	12.2
2	30歳代	146	12.9
3	40歳代	188	16.6
4	50歳代	190	16.8
5	60歳代	227	20.1
6	70歳代以上	223	19.7
	無回答	20	1.8
	全体	1,132	100.0



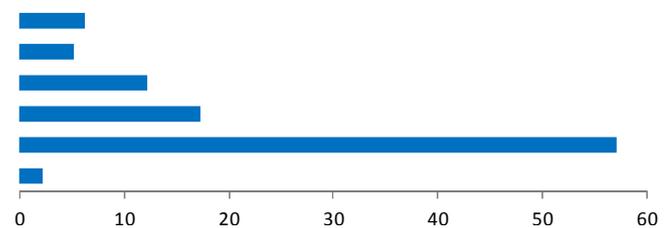
問1-3 お住まいの地域

No.	カテゴリー名	n	%
1	五所川原地域	883	78.0
2	金木地域	167	14.8
3	市浦地域	52	4.6
	無回答	30	2.7
	全体	1,132	100.0



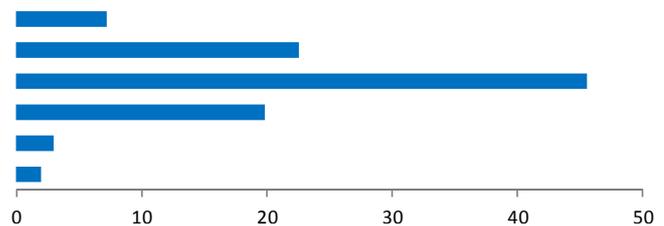
問1-4 五所川原市での居住歴

No.	カテゴリー名	n	%
1	5年未満	71	6.3
2	5年以上10年未満	58	5.1
3	10年以上20年未満	138	12.2
4	20年以上30年未満	195	17.2
5	30年以上	646	57.1
	無回答	24	2.1
	全体	1,132	100.0



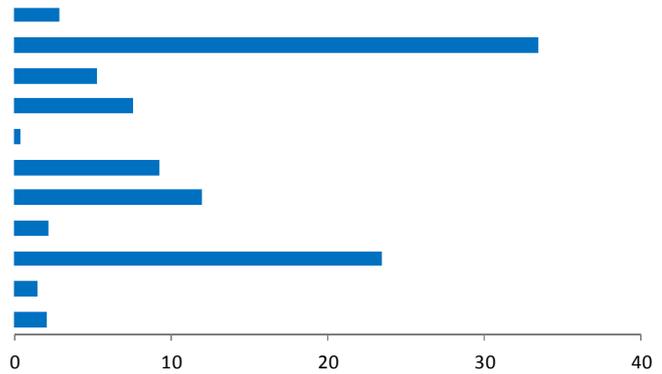
問1-5 家族構成

No.	カテゴリー名	n	%
1	ひとり暮らし	81	7.2
2	夫婦のみ	255	22.5
3	親と子(2世代)	515	45.5
4	親と子と孫(3世代)	225	19.9
5	その他	33	2.9
	無回答	23	2.0
	全体	1,132	100.0



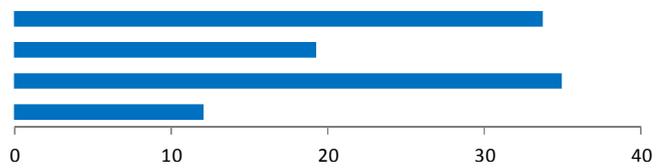
問1-6 職業

No.	カテゴリー名	n	%
1	経営者	33	2.9
2	勤め人	378	33.4
3	自営・自由業	60	5.3
4	農業	86	7.6
5	林業・漁業	4	0.4
6	パート・アルバイト	105	9.3
7	専業主婦・主夫	135	11.9
8	学生	25	2.2
9	無職	265	23.4
10	その他	17	1.5
	無回答	24	2.1
	全体	1,132	100.0



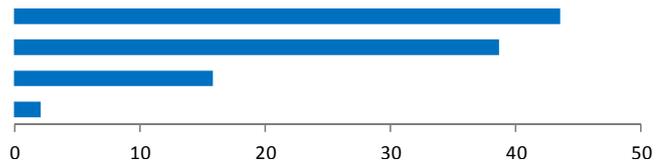
問1-7 通勤・通学先

No.	カテゴリー名	n	%
1	市内	382	33.7
2	市外	218	19.3
3	なし	395	34.9
	無回答	137	12.1
	全体	1,132	100.0



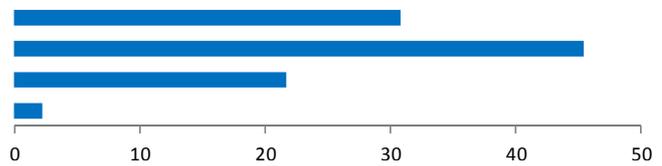
問2-1 ご近所同士のつながりを大切にしていますか

No.	カテゴリー名	n	%
1	している	492	43.5
2	少し大切にしている	437	38.6
3	重視していない	179	15.8
	無回答	24	2.1
	全体	1,132	100.0



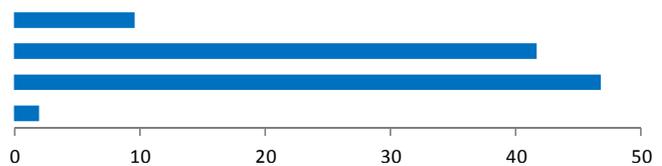
問2-2 日頃、健康増進のための取組(運動や食生活の改善など)をしていますか

No.	カテゴリー名	n	%
1	している	348	30.7
2	時々している	514	45.4
3	していない	245	21.6
	無回答	25	2.2
	全体	1,132	100.0



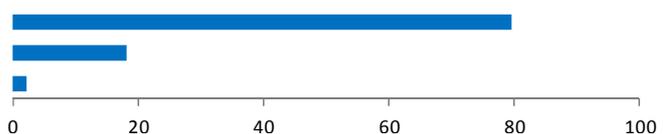
問2-3 防災対策(食料・飲料の備蓄、家具の転倒防止など)をしていますか

No.	カテゴリー名	n	%
1	している	109	9.6
2	少ししている	471	41.6
3	していない	529	46.7
	無回答	23	2.0
	全体	1,132	100.0



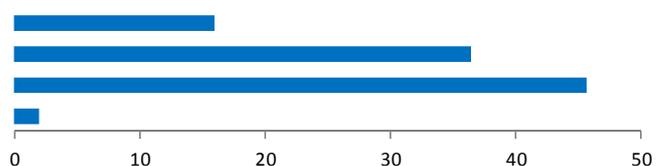
問2-4 困った時に気軽に相談できる人はいますか

No.	カテゴリー名	n	%
1	いる	900	79.5
2	いない	206	18.2
	無回答	26	2.3
	全体	1,132	100.0



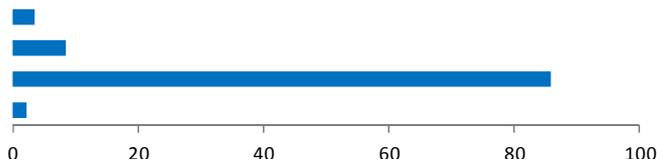
問2-5 地域のイベントや活動などに参加していますか

No.	カテゴリー名	n	%
1	参加している	181	16.0
2	時々参加している	412	36.4
3	参加していない	516	45.6
	無回答	23	2.0
	全体	1,132	100.0



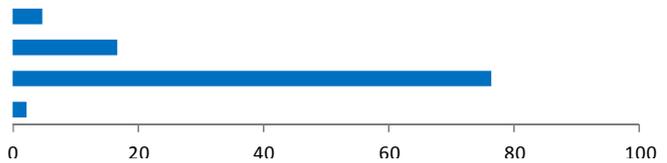
問2-6 高齢者や障がい者を救助するボランティア活動に参加していますか

No.	カテゴリー名	n	%
1	参加している	39	3.4
2	時々参加している	97	8.6
3	参加していない	972	85.9
	無回答	24	2.1
	全体	1,132	100.0



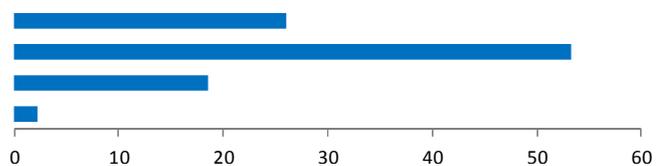
問2-7 公共交通を日常的に利用していますか

No.	カテゴリー名	n	%
1	利用している	54	4.8
2	時々利用している	188	16.6
3	利用していない	865	76.4
	無回答	25	2.2
	全体	1,132	100.0



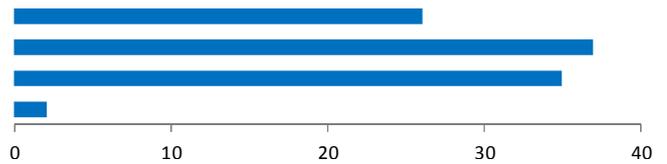
問2-8 省エネルギーやリサイクルに取り組んでいますか

No.	カテゴリー名	n	%
1	取り組んでいる	294	26.0
2	少し取り組んでいる	603	53.3
3	取り組んでいない	210	18.6
	無回答	25	2.2
	全体	1,132	100.0



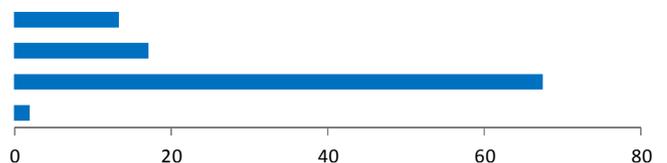
問2-9 趣味や教養を身に付けることに取り組んでいますか

No.	カテゴリー名	n	%
1	取り組んでいる	295	26.1
2	時々取り組んでいる	418	36.9
3	取り組んでいない	395	34.9
	無回答	24	2.1
	全体	1,132	100.0



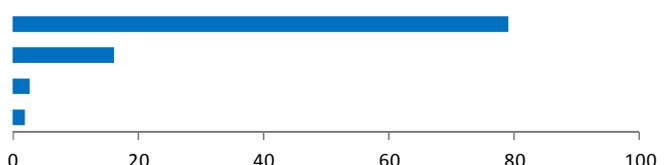
問2-10 日常的にスポーツ活動をしていますか

No.	カテゴリー名	n	%
1	している(週1回以上)	152	13.4
2	時々している(月1回以上)	193	17.0
3	していない	764	67.5
	無回答	23	2.0
	全体	1,132	100.0



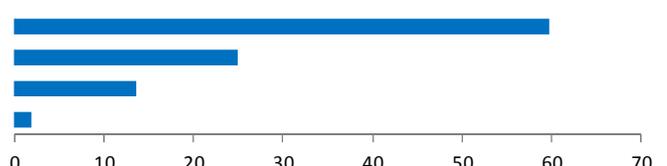
問2-11 日ごろ市内で買い物をしていますか

No.	カテゴリー名	n	%
1	している	895	79.1
2	時々している	184	16.3
3	していない	31	2.7
	無回答	22	1.9
	全体	1,132	100.0



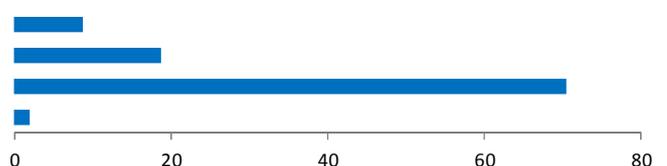
問2-12 市の広報紙を読んでいますか

No.	カテゴリー名	n	%
1	読んでいる	675	59.6
2	時々読んでいる	282	24.9
3	読んでいない	153	13.5
	無回答	22	1.9
	全体	1,132	100.0



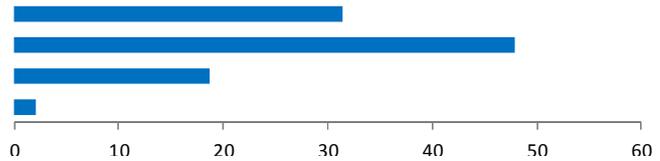
問2-13 市のホームページを見えていますか

No.	カテゴリー名	n	%
1	見ている	99	8.7
2	時々見ている	213	18.8
3	見ていない	797	70.4
	無回答	23	2.0
	全体	1,132	100.0



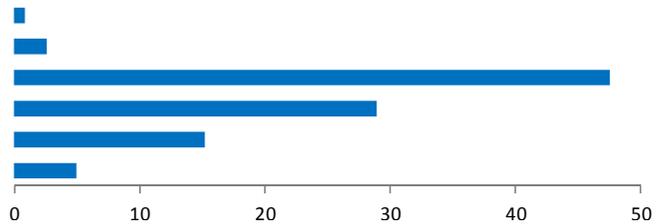
問2-14 市のまちづくりの取組や財政状況に関心がありますか

No.	カテゴリー名	n	%
1	関心がある	356	31.4
2	少し関心がある	542	47.9
3	関心がない	211	18.6
	無回答	23	2.0
	全体	1,132	100.0



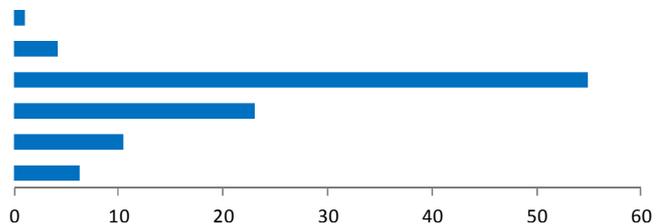
問3-1【満足度】 農林水産業の生産基盤が整備され、担い手が確保されていること

No.	カテゴリー名	n	%
1	満足している	10	0.9
2	どちらかといえば満足している	29	2.6
3	ふつう	538	47.5
4	やや不満である	327	28.9
5	不満である	172	15.2
	無回答	56	4.9
	全体	1,132	100.0



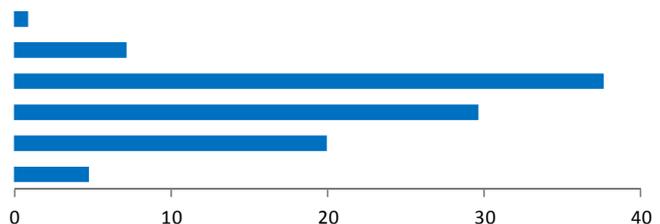
問3-2【満足度】 農林水産物のブランド化や6次産業化が推進され、農林水産業を通じた交流が図られていること

No.	カテゴリー名	n	%
1	満足している	11	1.0
2	どちらかといえば満足している	48	4.2
3	ふつう	622	54.9
4	やや不満である	261	23.1
5	不満である	119	10.5
	無回答	71	6.3
	全体	1,132	100.0



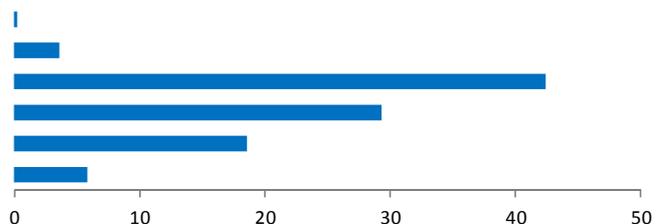
問3-3【満足度】 地域の特色を活かした取組・イベント等の支援により、魅力ある商店街が形成されていること

No.	カテゴリー名	n	%
1	満足している	10	0.9
2	どちらかといえば満足している	81	7.2
3	ふつう	426	37.6
4	やや不満である	335	29.6
5	不満である	226	20.0
	無回答	54	4.8
	全体	1,132	100.0



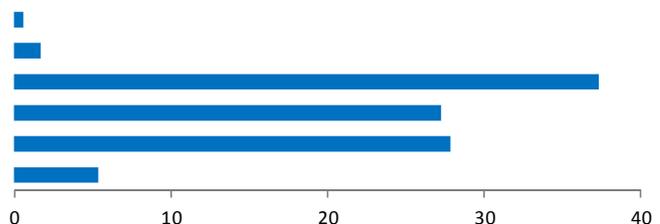
問3-4【満足度】 地域資源を活用した新たな産業の育成など、地域経済の活性化が図られていること

No.	カテゴリー名	n	%
1	満足している	3	0.3
2	どちらかといえば満足している	41	3.6
3	ふつう	480	42.4
4	やや不満である	332	29.3
5	不満である	210	18.6
	無回答	66	5.8
	全体	1,132	100.0



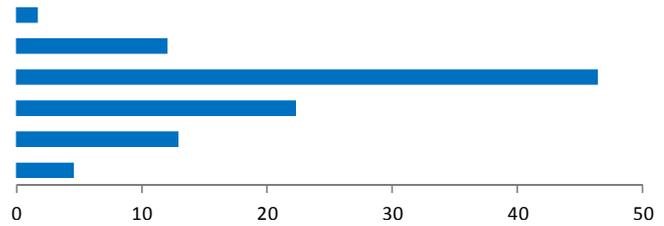
問3-5【満足度】 企業誘致の推進などにより、工業の振興が図られていること

No.	カテゴリー名	n	%
1	満足している	7	0.6
2	どちらかといえば満足している	19	1.7
3	ふつう	422	37.3
4	やや不満である	308	27.2
5	不満である	315	27.8
	無回答	61	5.4
	全体	1,132	100.0



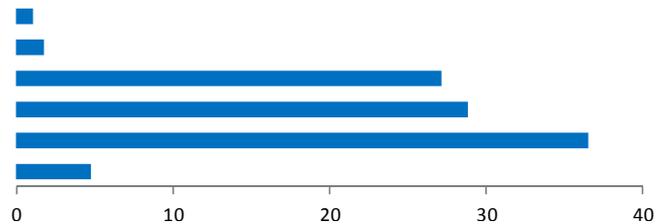
問3-6【満足度】 観光客の増加により、地域の観光産業が発展すること

No.	カテゴリー名	n	%
1	満足している	19	1.7
2	どちらかといえば満足している	137	12.1
3	ふつう	525	46.4
4	やや不満である	253	22.3
5	不満である	146	12.9
	無回答	52	4.6
	全体	1,132	100.0



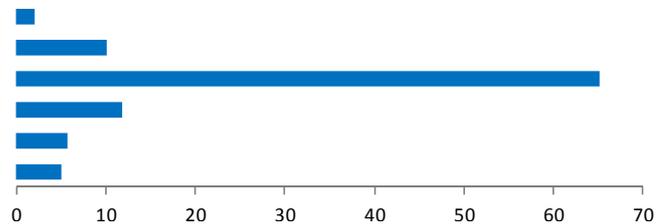
問3-7【満足度】 職業能力を開発したり、働く場所を増やしたりすること

No.	カテゴリー名	n	%
1	満足している	12	1.1
2	どちらかといえば満足している	20	1.8
3	ふつう	307	27.1
4	やや不満である	326	28.8
5	不満である	413	36.5
	無回答	54	4.8
	全体	1,132	100.0



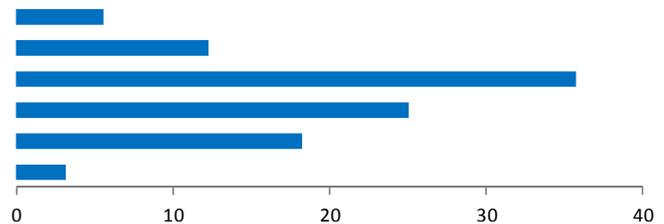
問3-8【満足度】 ところと体の健康づくりへの取組が行われ、健康への関心が高まること

No.	カテゴリー名	n	%
1	満足している	23	2.0
2	どちらかといえば満足している	115	10.2
3	ふつう	738	65.2
4	やや不満である	134	11.8
5	不満である	65	5.7
	無回答	57	5.0
	全体	1,132	100.0



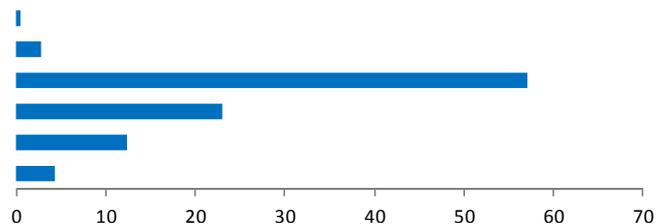
問3-9【満足度】 病気になっても、診療体制が充実しており安心して病院に行けること

No.	カテゴリー名	n	%
1	満足している	63	5.6
2	どちらかといえば満足している	139	12.3
3	ふつう	404	35.7
4	やや不満である	283	25.0
5	不満である	207	18.3
	無回答	36	3.2
	全体	1,132	100.0



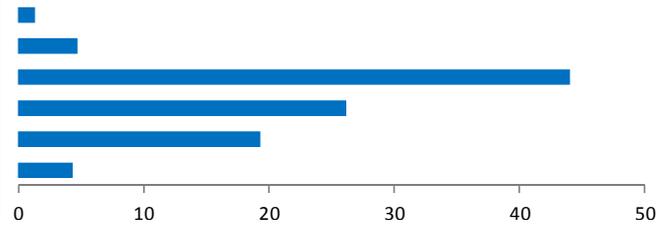
問3-10【満足度】 結婚を希望する男女への出会いの場創出など、結婚への支援があること

No.	カテゴリー名	n	%
1	満足している	5	0.4
2	どちらかといえば満足している	31	2.7
3	ふつう	647	57.2
4	やや不満である	260	23.0
5	不満である	140	12.4
	無回答	49	4.3
	全体	1,132	100.0



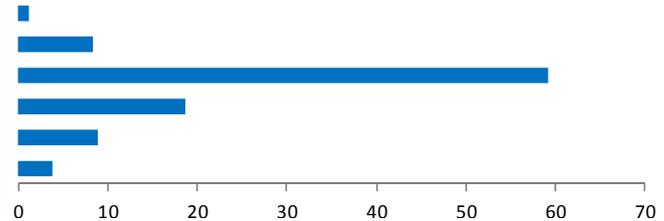
問3-11【満足度】 安心して子どもを産み、健やかに育てることができること

No.	カテゴリー名	n	%
1	満足している	15	1.3
2	どちらかといえば満足している	54	4.8
3	ふつう	498	44.0
4	やや不満である	297	26.2
5	不満である	219	19.3
	無回答	49	4.3
	全体	1,132	100.0



問3-12【満足度】 地域全体で支え合い、安心して地域で暮らしていけること

No.	カテゴリー名	n	%
1	満足している	13	1.1
2	どちらかといえば満足している	95	8.4
3	ふつう	669	59.1
4	やや不満である	211	18.6
5	不満である	100	8.8
	無回答	44	3.9
	全体	1,132	100.0



問3-13【満足度】 高齢者が生きがいを持ち、安心して生活できる環境が整っていること

No.	カテゴリー名	n	%
1	満足している	14	1.2
2	どちらかといえば満足している	69	6.1
3	ふつう	553	48.9
4	やや不満である	279	24.6
5	不満である	179	15.8
	無回答	38	3.4
	全体	1,132	100.0



問3-14【満足度】 障がいを持つ方が将来的に自立した生活を送ることができるような福祉サービスや相談体制が整っていること

No.	カテゴリー名	n	%
1	満足している	15	1.3
2	どちらかといえば満足している	56	4.9
3	ふつう	592	52.3
4	やや不満である	267	23.6
5	不満である	156	13.8
	無回答	46	4.1
	全体	1,132	100.0



問3-15【満足度】 生活困窮者の相談体制が整い、就労を支援し生活保護が適正に運営されること

No.	カテゴリー名	n	%
1	満足している	13	1.1
2	どちらかといえば満足している	44	3.9
3	ふつう	597	52.7
4	やや不満である	253	22.3
5	不満である	171	15.1
	無回答	54	4.8
	全体	1,132	100.0



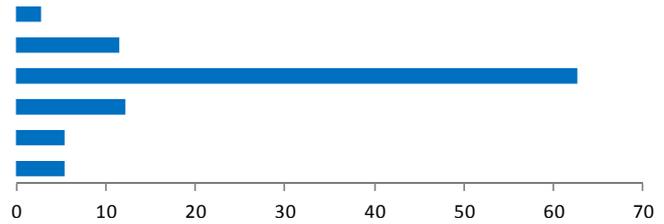
問3-16【満足度】 介護・医療など社会保険制度が、適正に運営されること

No.	カテゴリー名	n	%
1	満足している	20	1.8
2	どちらかといえば満足している	96	8.5
3	ふつう	579	51.1
4	やや不満である	244	21.6
5	不満である	149	13.2
	無回答	44	3.9
	全体	1,132	100.0



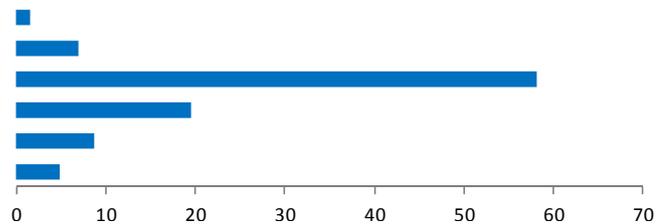
問3-17【満足度】 小中学校において、安全な施設環境と充実した教育環境が整備されていること

No.	カテゴリー名	n	%
1	満足している	31	2.7
2	どちらかといえば満足している	130	11.5
3	ふつう	710	62.7
4	やや不満である	139	12.3
5	不満である	61	5.4
	無回答	61	5.4
	全体	1,132	100.0



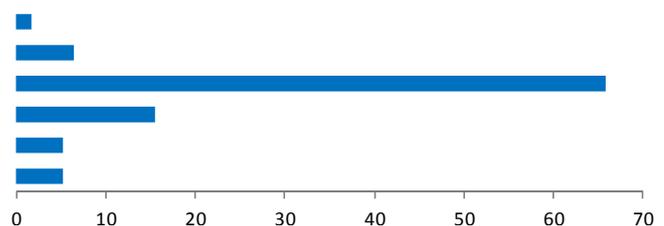
問3-18【満足度】 生涯にわたって興味のあることを学んだり、取り組める環境や機会があること

No.	カテゴリー名	n	%
1	満足している	18	1.6
2	どちらかといえば満足している	79	7.0
3	ふつう	659	58.2
4	やや不満である	222	19.6
5	不満である	99	8.7
	無回答	55	4.9
	全体	1,132	100.0



問3-19【満足度】 地域ぐるみで学校運営を支援する体制が整備されていること

No.	カテゴリー名	n	%
1	満足している	19	1.7
2	どちらかといえば満足している	73	6.4
3	ふつう	745	65.8
4	やや不満である	176	15.5
5	不満である	59	5.2
	無回答	60	5.3
	全体	1,132	100.0



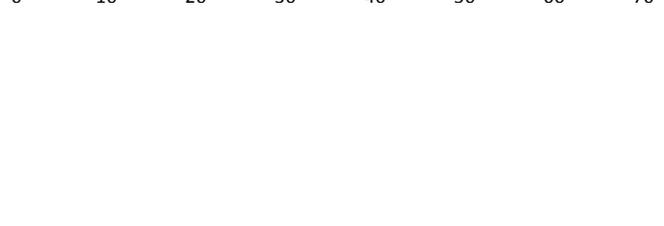
問3-20【満足度】 誰でも気軽にスポーツに親しめる環境や機会があること

No.	カテゴリー名	n	%
1	満足している	14	1.2
2	どちらかといえば満足している	54	4.8
3	ふつう	597	52.7
4	やや不満である	260	23.0
5	不満である	156	13.8
	無回答	51	4.5
	全体	1,132	100.0



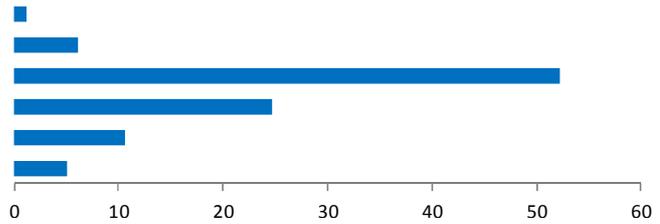
問3-21【満足度】 市民によって地域の伝統が受け継がれるとともに、文化活動が盛んであること

No.	カテゴリー名	n	%
1	満足している	32	2.8
2	どちらかといえば満足している	122	10.8
3	ふつう	708	62.5
4	やや不満である	156	13.8
5	不満である	59	5.2
	無回答	55	4.9
	全体	1,132	100.0



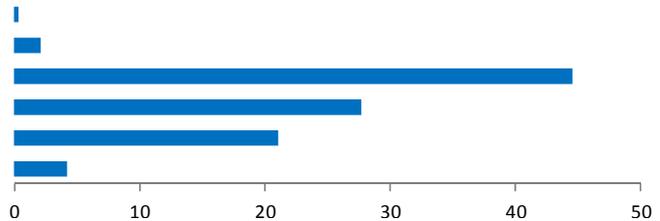
問3-22【満足度】 災害が起きても対応できる体制が整備されていること

No.	カテゴリー名	n	%
1	満足している	14	1.2
2	どちらかといえば満足している	69	6.1
3	ふつう	591	52.2
4	やや不満である	280	24.7
5	不満である	120	10.6
	無回答	58	5.1
	全体	1,132	100.0



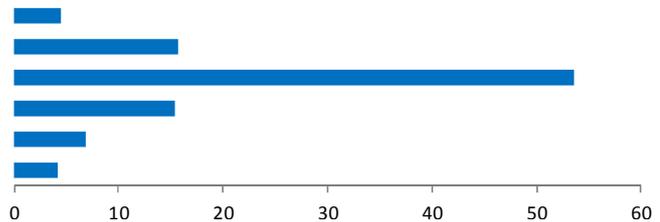
問3-23【満足度】 空き家対策が適切に進められていること

No.	カテゴリー名	n	%
1	満足している	4	0.4
2	どちらかといえば満足している	24	2.1
3	ふつう	504	44.5
4	やや不満である	314	27.7
5	不満である	238	21.0
	無回答	48	4.2
	全体	1,132	100.0



問3-24【満足度】 消防・救急並びに交通安全・防犯に関する体制、環境が整っていること

No.	カテゴリー名	n	%
1	満足している	50	4.4
2	どちらかといえば満足している	177	15.6
3	ふつう	606	53.5
4	やや不満である	175	15.5
5	不満である	77	6.8
	無回答	47	4.2
	全体	1,132	100.0



問3-25【満足度】 消費生活に関する苦情や被害などの相談体制が整備されていること

No.	カテゴリー名	n	%
1	満足している	12	1.1
2	どちらかといえば満足している	47	4.2
3	ふつう	720	63.6
4	やや不満である	200	17.7
5	不満である	98	8.7
	無回答	55	4.9
	全体	1,132	100.0



問3-26【満足度】 虐待や暴力、いじめについて、相談体制が整っていること

No.	カテゴリー名	n	%
1	満足している	10	0.9
2	どちらかといえば満足している	44	3.9
3	ふつう	653	57.7
4	やや不満である	241	21.3
5	不満である	126	11.1
	無回答	58	5.1
	全体	1,132	100.0



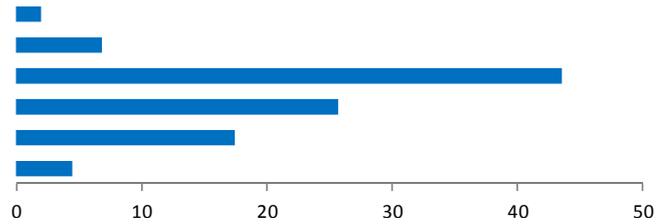
問3-27【満足度】 道路がよく整備されていて、安全で快適に移動できること

No.	カテゴリー名	n	%
1	満足している	48	4.2
2	どちらかといえば満足している	160	14.1
3	ふつう	489	43.2
4	やや不満である	238	21.0
5	不満である	148	13.1
	無回答	49	4.3
	全体	1,132	100.0



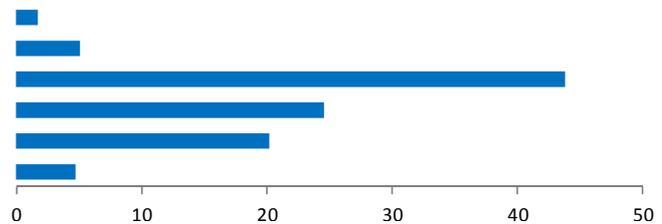
問3-28【満足度】 バスや鉄道などの公共交通手段が利用しやすいこと

No.	カテゴリー名	n	%
1	満足している	22	1.9
2	どちらかといえば満足している	77	6.8
3	ふつう	493	43.6
4	やや不満である	291	25.7
5	不満である	198	17.5
	無回答	51	4.5
	全体	1,132	100.0



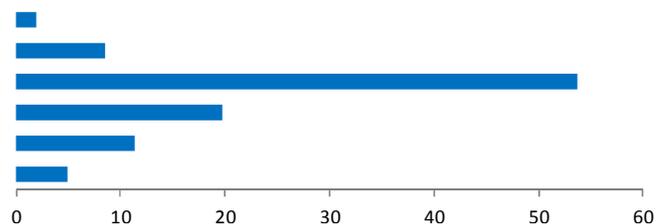
問3-29【満足度】 中心市街地を整備することによって市の顔である“まち”が活性化すること

No.	カテゴリー名	n	%
1	満足している	19	1.7
2	どちらかといえば満足している	58	5.1
3	ふつう	496	43.8
4	やや不満である	278	24.6
5	不満である	228	20.1
	無回答	53	4.7
	全体	1,132	100.0



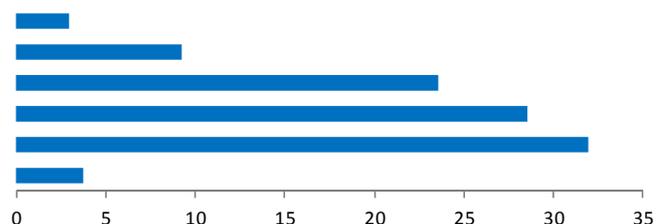
問3-30【満足度】 公共施設(病院・福祉施設など)が誰でも使いやすくユニバーサルデザイン化されていること

No.	カテゴリー名	n	%
1	満足している	22	1.9
2	どちらかといえば満足している	96	8.5
3	ふつう	608	53.7
4	やや不満である	223	19.7
5	不満である	128	11.3
	無回答	55	4.9
	全体	1,132	100.0



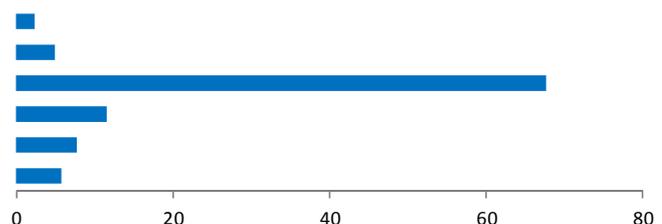
問3-31【満足度】 道路の除雪が適切に行われ、安全に通行できること

No.	カテゴリー名	n	%
1	満足している	33	2.9
2	どちらかといえば満足している	105	9.3
3	ふつう	267	23.6
4	やや不満である	323	28.5
5	不満である	362	32.0
	無回答	42	3.7
	全体	1,132	100.0



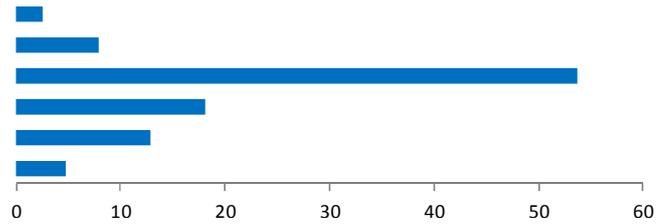
問3-32【満足度】 市営住宅が整備されていること

No.	カテゴリー名	n	%
1	満足している	27	2.4
2	どちらかといえば満足している	57	5.0
3	ふつう	765	67.6
4	やや不満である	130	11.5
5	不満である	87	7.7
	無回答	66	5.8
	全体	1,132	100.0



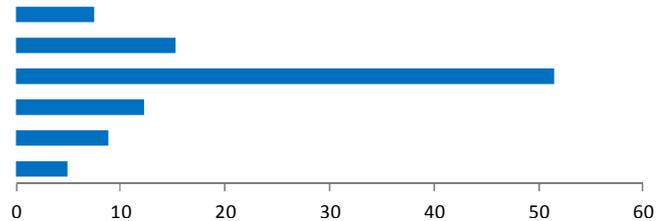
問3-33【満足度】 公園がよく整備されていて、誰でも利用しやすいこと

No.	カテゴリー名	n	%
1	満足している	29	2.6
2	どちらかといえば満足している	90	8.0
3	ふつう	608	53.7
4	やや不満である	205	18.1
5	不満である	146	12.9
	無回答	54	4.8
	全体	1,132	100.0



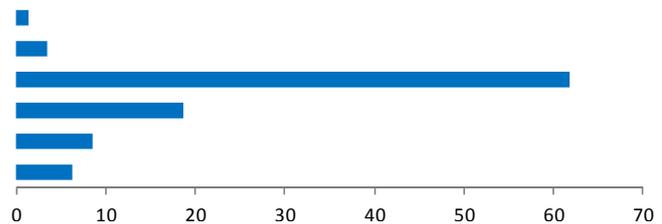
問3-34【満足度】 下水・し尿処理やごみ収集などがきちんと行われ、衛生的な環境が整っていること

No.	カテゴリー名	n	%
1	満足している	84	7.4
2	どちらかといえば満足している	173	15.3
3	ふつう	583	51.5
4	やや不満である	138	12.2
5	不満である	99	8.7
	無回答	55	4.9
	全体	1,132	100.0



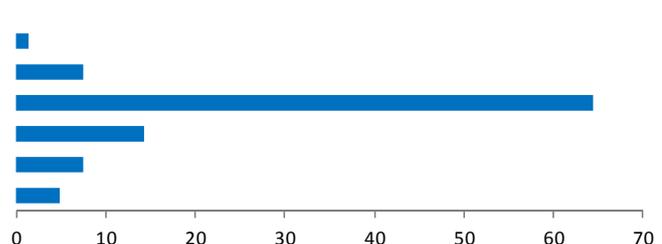
問3-35【満足度】 省エネルギー対策や新エネルギー※3の導入による地球温暖化防止対策が積極的に進められていること

No.	カテゴリー名	n	%
1	満足している	15	1.3
2	どちらかといえば満足している	39	3.4
3	ふつう	700	61.8
4	やや不満である	211	18.6
5	不満である	97	8.6
	無回答	70	6.2
	全体	1,132	100.0



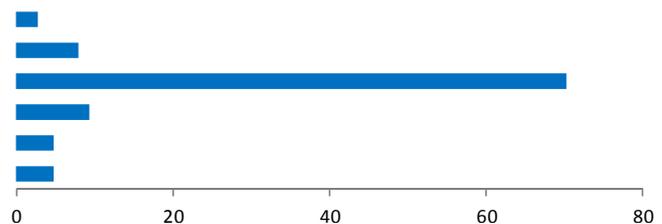
問3-36【満足度】 知りたい市役所の情報を手に入れやすいこと

No.	カテゴリー名	n	%
1	満足している	16	1.4
2	どちらかといえば満足している	85	7.5
3	ふつう	730	64.5
4	やや不満である	161	14.2
5	不満である	84	7.4
	無回答	56	4.9
	全体	1,132	100.0



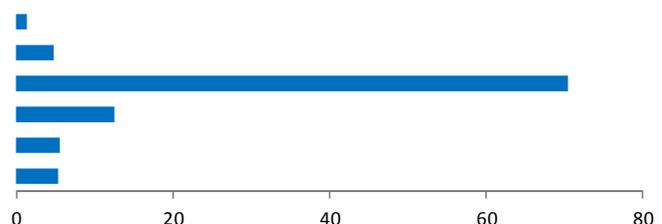
問3-37【満足度】 町内会などによるコミュニティ活動が積極的に行われていること

No.	カテゴリー名	n	%
1	満足している	31	2.7
2	どちらかといえば満足している	90	8.0
3	ふつう	795	70.2
4	やや不満である	107	9.5
5	不満である	55	4.9
	無回答	54	4.8
	全体	1,132	100.0



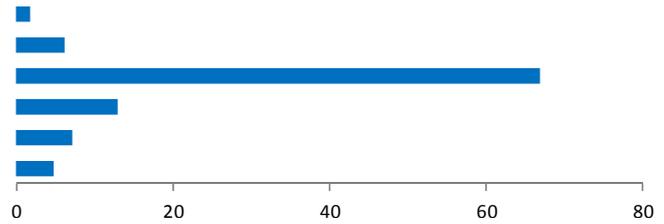
問3-38【満足度】 市民団体等の主体的な活動を支援するなど、住民と行政との協働によってまちづくりが進められていること

No.	カテゴリー名	n	%
1	満足している	15	1.3
2	どちらかといえば満足している	54	4.8
3	ふつう	798	70.5
4	やや不満である	141	12.5
5	不満である	64	5.7
	無回答	60	5.3
	全体	1,132	100.0



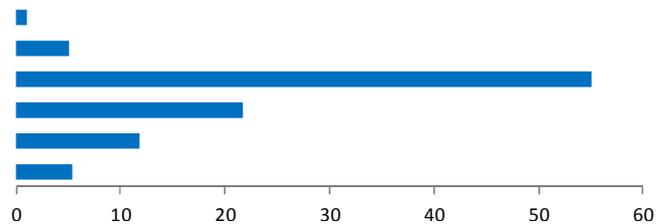
問3-39【満足度】 男女の性別に関係なく、お互いを尊重し合う社会であること

No.	カテゴリー名	n	%
1	満足している	21	1.9
2	どちらかといえば満足している	70	6.2
3	ふつう	757	66.9
4	やや不満である	147	13.0
5	不満である	82	7.2
	無回答	55	4.9
	全体	1,132	100.0



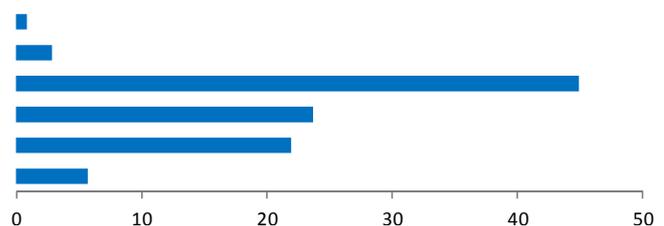
問3-40【満足度】 市民が満足できるような効率的な行政サービスが行われていること

No.	カテゴリー名	n	%
1	満足している	11	1.0
2	どちらかといえば満足している	57	5.0
3	ふつう	624	55.1
4	やや不満である	246	21.7
5	不満である	134	11.8
	無回答	60	5.3
	全体	1,132	100.0



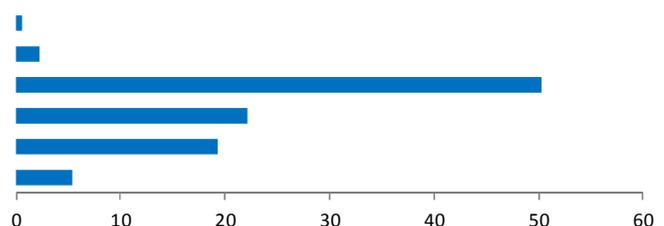
問3-41【満足度】 市の財政基盤が安定していること

No.	カテゴリー名	n	%
1	満足している	10	0.9
2	どちらかといえば満足している	32	2.8
3	ふつう	508	44.9
4	やや不満である	268	23.7
5	不満である	249	22.0
	無回答	65	5.7
	全体	1,132	100.0



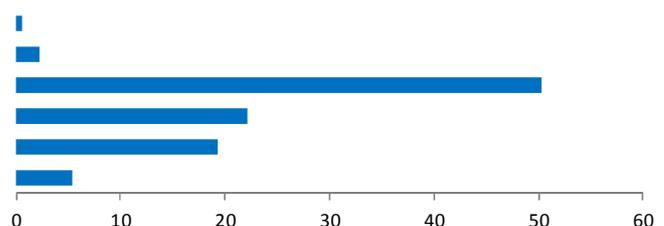
問3-42【満足度】 市外からの移住や、定住促進など、住んでみたい・住み続けたいまちづくりが進められていること

No.	カテゴリー名	n	%
1	満足している	7	0.6
2	どちらかといえば満足している	26	2.3
3	ふつう	569	50.3
4	やや不満である	251	22.2
5	不満である	218	19.3
	無回答	61	5.4
	全体	1,132	100.0



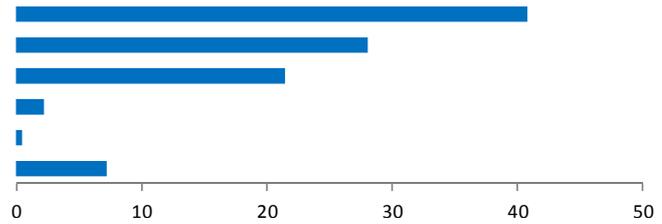
問3-43【満足度】 周辺市町村と力を合わせて、よりよい行政サービスが行われていること

No.	カテゴリー名	n	%
1	満足している	7	0.6
2	どちらかといえば満足している	26	2.3
3	ふつう	569	50.3
4	やや不満である	251	22.2
5	不満である	218	19.3
	無回答	61	5.4
	全体	1,132	100.0



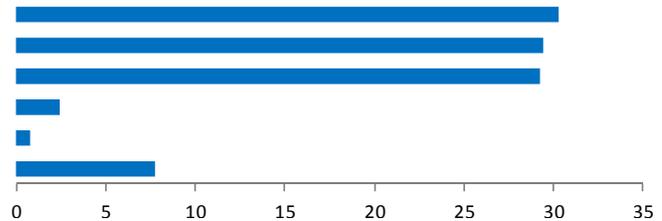
問3-1【重要度】 農林水産業の生産基盤が整備され、担い手が確保されていること

No.	カテゴリー名	n	%
1	重要である	461	40.7
2	やや重要である	317	28.0
3	ふつう	242	21.4
4	あまり重要ではない	25	2.2
5	重要ではない	5	0.4
	無回答	82	7.2
	全体	1,132	100.0



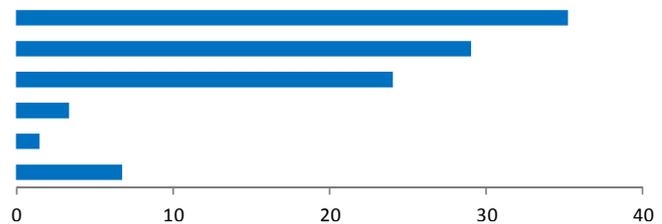
問3-2【重要度】 農林水産物のブランド化や6次産業化が推進され、農林水産業を通じた交流が図られていること

No.	カテゴリー名	n	%
1	重要である	343	30.3
2	やや重要である	333	29.4
3	ふつう	331	29.2
4	あまり重要ではない	28	2.5
5	重要ではない	9	0.8
	無回答	88	7.8
	全体	1,132	100.0



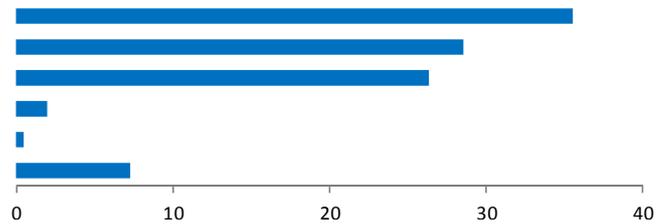
問3-3【重要度】 地域の特色を活かした取組・イベント等の支援により、魅力ある商店街が形成されていること

No.	カテゴリー名	n	%
1	重要である	399	35.2
2	やや重要である	329	29.1
3	ふつう	272	24.0
4	あまり重要ではない	38	3.4
5	重要ではない	17	1.5
	無回答	77	6.8
	全体	1,132	100.0



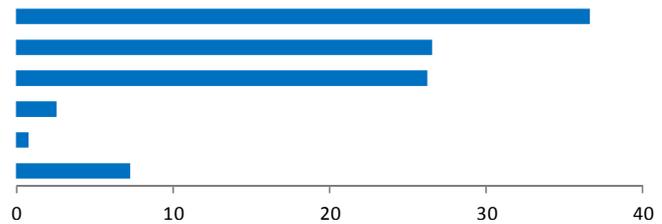
問3-4【重要度】 地域資源を活用した新たな産業の育成など、地域経済の活性化が図られていること

No.	カテゴリー名	n	%
1	重要である	402	35.5
2	やや重要である	323	28.5
3	ふつう	298	26.3
4	あまり重要ではない	22	1.9
5	重要ではない	5	0.4
	無回答	82	7.2
	全体	1,132	100.0



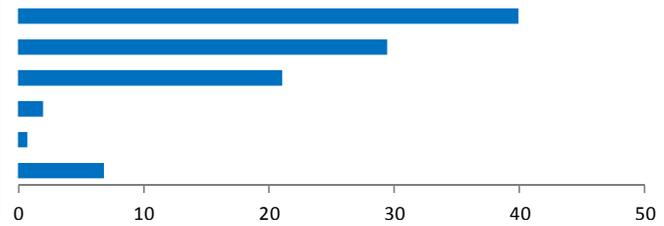
問3-5【重要度】 企業誘致の推進などにより、工業の振興が図られていること

No.	カテゴリー名	n	%
1	重要である	415	36.7
2	やや重要である	300	26.5
3	ふつう	297	26.2
4	あまり重要ではない	29	2.6
5	重要ではない	9	0.8
	無回答	82	7.2
	全体	1,132	100.0



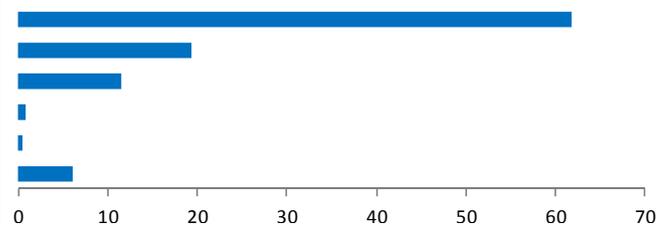
問3-6【重要度】 観光客の増加により、地域の観光産業が発展すること

No.	カテゴリー名	n	%
1	重要である	452	39.9
2	やや重要である	333	29.4
3	ふつう	238	21.0
4	あまり重要ではない	23	2.0
5	重要ではない	8	0.7
	無回答	78	6.9
	全体	1,132	100.0



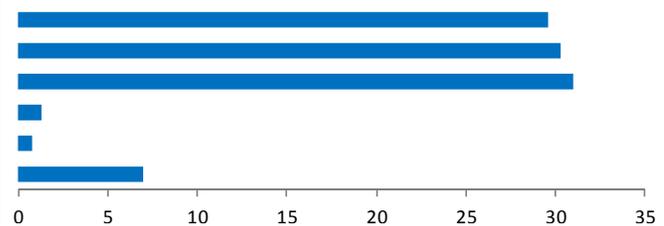
問3-7【重要度】 職業能力を開発したり、働く場所を増やしたりすること

No.	カテゴリー名	n	%
1	重要である	699	61.7
2	やや重要である	219	19.3
3	ふつう	131	11.6
4	あまり重要ではない	9	0.8
5	重要ではない	6	0.5
	無回答	68	6.0
	全体	1,132	100.0



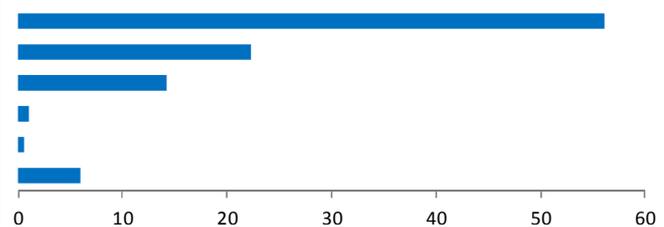
問3-8【重要度】 ところと体の健康づくりへの取組が行われ、健康への関心が高まること

No.	カテゴリー名	n	%
1	重要である	335	29.6
2	やや重要である	343	30.3
3	ふつう	351	31.0
4	あまり重要ではない	15	1.3
5	重要ではない	9	0.8
	無回答	79	7.0
	全体	1,132	100.0



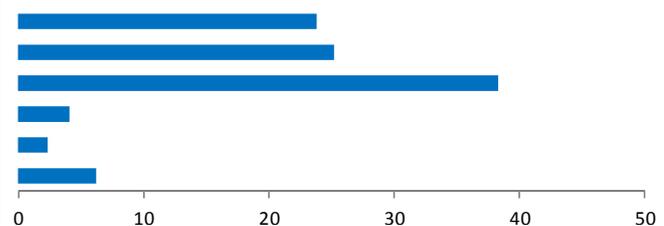
問3-9【重要度】 病気になっても、診療体制が充実しており安心して病院に行けること

No.	カテゴリー名	n	%
1	重要である	635	56.1
2	やや重要である	253	22.3
3	ふつう	160	14.1
4	あまり重要ではない	11	1.0
5	重要ではない	6	0.5
	無回答	67	5.9
	全体	1,132	100.0



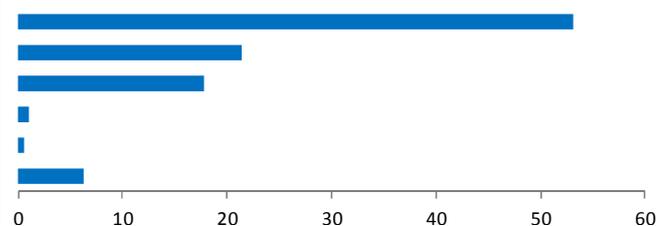
問3-10【重要度】 結婚を希望する男女への出会いの場創出など、結婚への支援があること

No.	カテゴリー名	n	%
1	重要である	269	23.8
2	やや重要である	285	25.2
3	ふつう	434	38.3
4	あまり重要ではない	47	4.2
5	重要ではない	27	2.4
	無回答	70	6.2
	全体	1,132	100.0



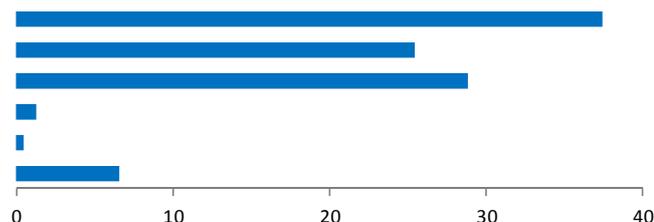
問3-11【重要度】 安心して子どもを産み、健やかに育てることができること

No.	カテゴリー名	n	%
1	重要である	601	53.1
2	やや重要である	242	21.4
3	ふつう	201	17.8
4	あまり重要ではない	11	1.0
5	重要ではない	6	0.5
	無回答	71	6.3
	全体	1,132	100.0



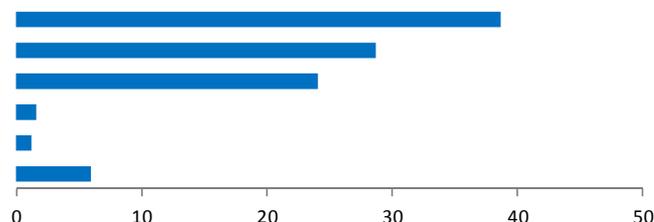
問3-12【重要度】 地域全体で支え合い、安心して地域で暮らしていけること

No.	カテゴリー名	n	%
1	重要である	424	37.5
2	やや重要である	288	25.4
3	ふつう	326	28.8
4	あまり重要ではない	14	1.2
5	重要ではない	6	0.5
	無回答	74	6.5
	全体	1,132	100.0



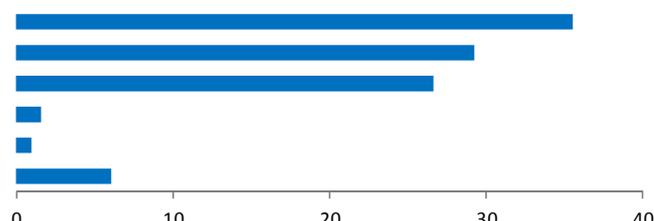
問3-13【重要度】 高齢者が生きがいを持ち、安心して生活できる環境が整っていること

No.	カテゴリー名	n	%
1	重要である	437	38.6
2	やや重要である	324	28.6
3	ふつう	272	24.0
4	あまり重要ではない	18	1.6
5	重要ではない	14	1.2
	無回答	67	5.9
	全体	1,132	100.0



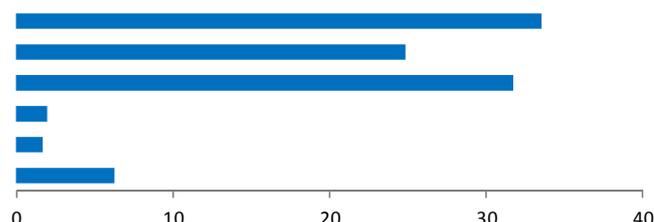
問3-14【重要度】 障がいを持つ方が将来的に自立した生活を送ることができるような福祉サービスや相談体制が整っていること

No.	カテゴリー名	n	%
1	重要である	402	35.5
2	やや重要である	331	29.2
3	ふつう	301	26.6
4	あまり重要ではない	18	1.6
5	重要ではない	11	1.0
	無回答	69	6.1
	全体	1,132	100.0



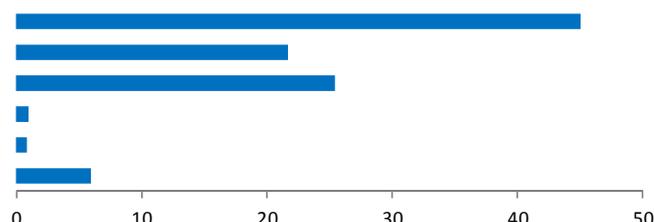
問3-15【重要度】 生活困窮者の相談体制が整い、就労を支援し生活保護が適正に運営されること

No.	カテゴリー名	n	%
1	重要である	379	33.5
2	やや重要である	281	24.8
3	ふつう	359	31.7
4	あまり重要ではない	23	2.0
5	重要ではない	19	1.7
	無回答	71	6.3
	全体	1,132	100.0



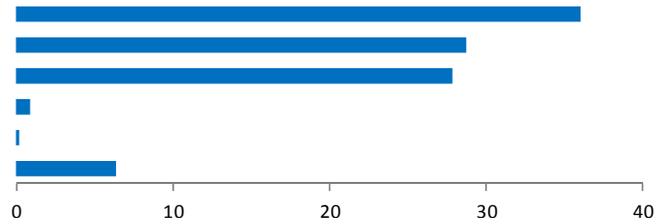
問3-16【重要度】 介護・医療など社会保険制度が、適正に運営されること

No.	カテゴリー名	n	%
1	重要である	510	45.1
2	やや重要である	246	21.7
3	ふつう	288	25.4
4	あまり重要ではない	11	1.0
5	重要ではない	9	0.8
	無回答	68	6.0
	全体	1,132	100.0



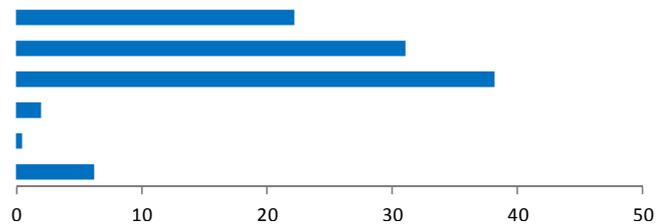
問3-17【重要度】 小中学校において、安全な施設環境と充実した教育環境が整備されていること

No.	カテゴリー名	n	%
1	重要である	408	36.0
2	やや重要である	325	28.7
3	ふつう	315	27.8
4	あまり重要ではない	10	0.9
5	重要ではない	2	0.2
	無回答	72	6.4
	全体	1,132	100.0



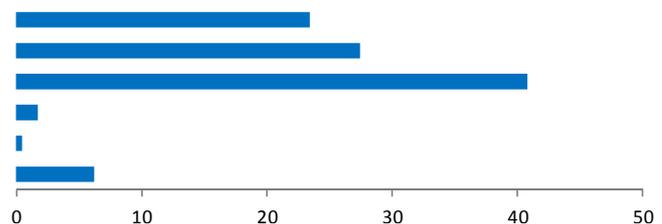
問3-18【重要度】 生涯にわたって興味のあることを学んだり、取り組める環境や機会があること

No.	カテゴリー名	n	%
1	重要である	251	22.2
2	やや重要である	351	31.0
3	ふつう	432	38.2
4	あまり重要ではない	22	1.9
5	重要ではない	6	0.5
	無回答	70	6.2
	全体	1,132	100.0



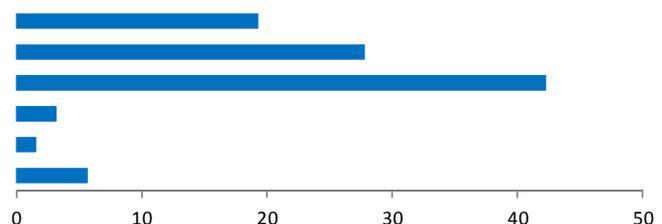
問3-19【重要度】 地域ぐるみで学校運営を支援する体制が整備されていること

No.	カテゴリー名	n	%
1	重要である	265	23.4
2	やや重要である	310	27.4
3	ふつう	461	40.7
4	あまり重要ではない	19	1.7
5	重要ではない	6	0.5
	無回答	71	6.3
	全体	1,132	100.0



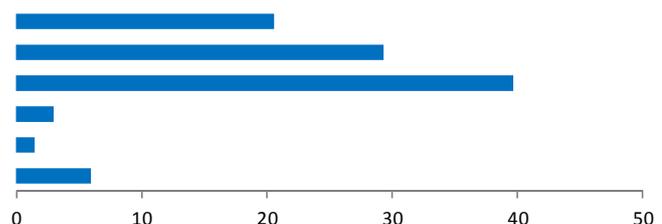
問3-20【重要度】 誰でも気軽にスポーツに親しめる環境や機会があること

No.	カテゴリー名	n	%
1	重要である	218	19.3
2	やや重要である	315	27.8
3	ふつう	479	42.3
4	あまり重要ではない	37	3.3
5	重要ではない	18	1.6
	無回答	65	5.7
	全体	1,132	100.0



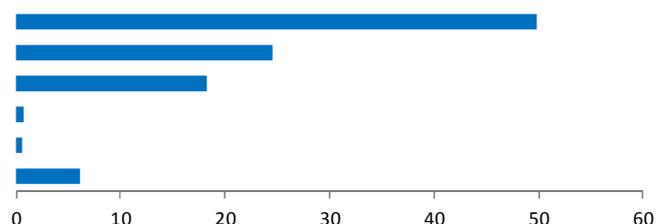
問3-21【重要度】 市民によって地域の伝統が受け継がれるとともに、文化活動が盛んであること

No.	カテゴリー名	n	%
1	重要である	233	20.6
2	やや重要である	332	29.3
3	ふつう	449	39.7
4	あまり重要ではない	34	3.0
5	重要ではない	17	1.5
	無回答	67	5.9
	全体	1,132	100.0



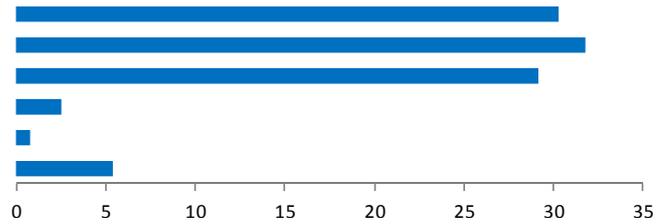
問3-22【重要度】 災害が起きても対応できる体制が整備されていること

No.	カテゴリー名	n	%
1	重要である	564	49.8
2	やや重要である	277	24.5
3	ふつう	206	18.2
4	あまり重要ではない	9	0.8
5	重要ではない	7	0.6
	無回答	69	6.1
	全体	1,132	100.0



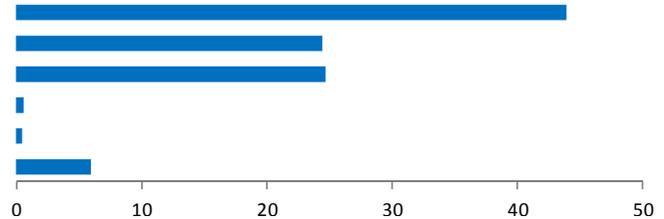
問3-23【重要度】 空き家対策が適切に進められていること

No.	カテゴリー名	n	%
1	重要である	343	30.3
2	やや重要である	360	31.8
3	ふつう	330	29.2
4	あまり重要ではない	29	2.6
5	重要ではない	9	0.8
	無回答	61	5.4
	全体	1,132	100.0



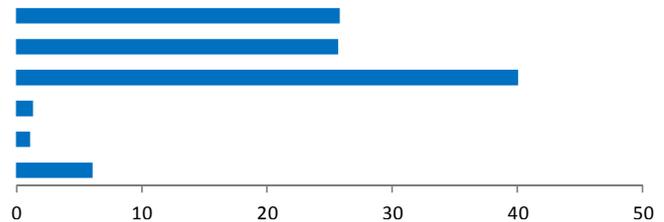
問3-24【重要度】 消防・救急並びに交通安全・防犯に関する体制、環境が整っていること

No.	カテゴリー名	n	%
1	重要である	497	43.9
2	やや重要である	276	24.4
3	ふつう	279	24.6
4	あまり重要ではない	7	0.6
5	重要ではない	6	0.5
	無回答	67	5.9
	全体	1,132	100.0



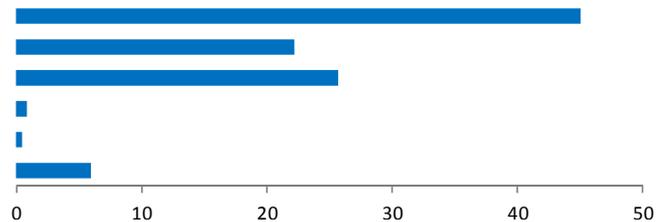
問3-25【重要度】 消費生活に関する苦情や被害などの相談体制が整備されていること

No.	カテゴリー名	n	%
1	重要である	292	25.8
2	やや重要である	290	25.6
3	ふつう	453	40.0
4	あまり重要ではない	15	1.3
5	重要ではない	13	1.1
	無回答	69	6.1
	全体	1,132	100.0



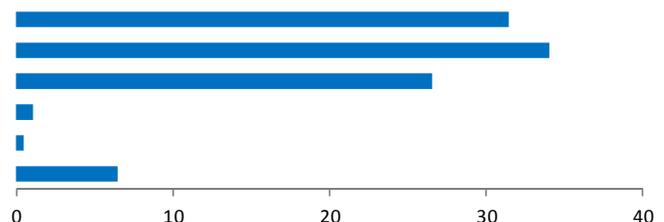
問3-26【重要度】 虐待や暴力、いじめについて、相談体制が整っていること

No.	カテゴリー名	n	%
1	重要である	509	45.0
2	やや重要である	251	22.2
3	ふつう	290	25.6
4	あまり重要ではない	10	0.9
5	重要ではない	5	0.4
	無回答	67	5.9
	全体	1,132	100.0



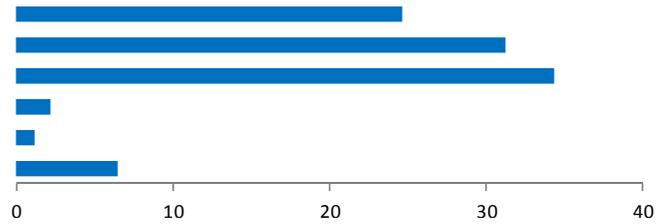
問3-27【重要度】 道路がよく整備されていて、安全で快適に移動できること

No.	カテゴリー名	n	%
1	重要である	356	31.4
2	やや重要である	385	34.0
3	ふつう	300	26.5
4	あまり重要ではない	12	1.1
5	重要ではない	6	0.5
	無回答	73	6.4
	全体	1,132	100.0



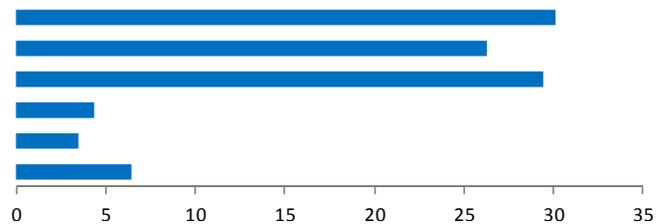
問3-28【重要度】 バスや鉄道などの公共交通手段が利用しやすいこと

No.	カテゴリー名	n	%
1	重要である	279	24.6
2	やや重要である	354	31.3
3	ふつう	388	34.3
4	あまり重要ではない	25	2.2
5	重要ではない	13	1.1
	無回答	73	6.4
	全体	1,132	100.0



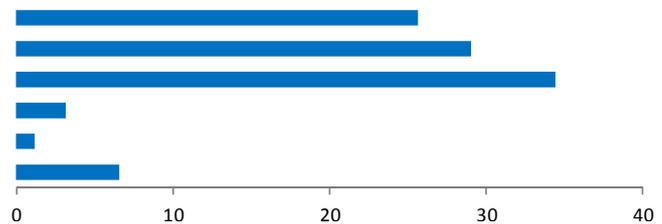
問3-29【重要度】 中心市街地を整備することによって市の顔である“まち”が活性化すること

No.	カテゴリー名	n	%
1	重要である	341	30.1
2	やや重要である	297	26.2
3	ふつう	333	29.4
4	あまり重要ではない	49	4.3
5	重要ではない	39	3.4
	無回答	73	6.4
	全体	1,132	100.0



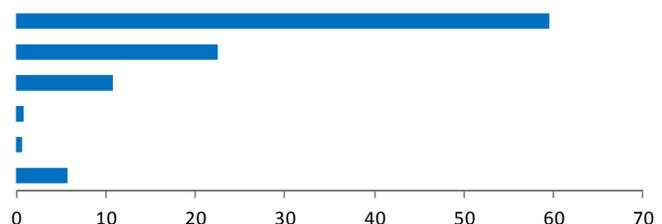
問3-30【重要度】 公共施設(病院・福祉施設など)が誰でも使いやすいユニバーサルデザイン化されていること

No.	カテゴリー名	n	%
1	重要である	290	25.6
2	やや重要である	329	29.1
3	ふつう	390	34.5
4	あまり重要ではない	36	3.2
5	重要ではない	13	1.1
	無回答	74	6.5
	全体	1,132	100.0



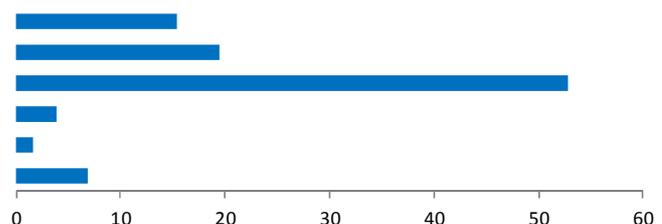
問3-31【重要度】 道路の除雪が適切に行われ、安全に通行できること

No.	カテゴリー名	n	%
1	重要である	674	59.5
2	やや重要である	254	22.4
3	ふつう	122	10.8
4	あまり重要ではない	10	0.9
5	重要ではない	7	0.6
	無回答	65	5.7
	全体	1,132	100.0



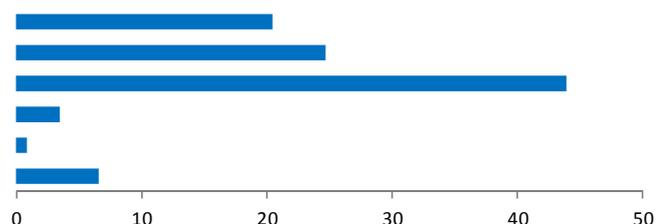
問3-32【重要度】 市営住宅が整備されていること

No.	カテゴリー名	n	%
1	重要である	174	15.4
2	やや重要である	220	19.4
3	ふつう	598	52.8
4	あまり重要ではない	44	3.9
5	重要ではない	18	1.6
	無回答	78	6.9
	全体	1,132	100.0



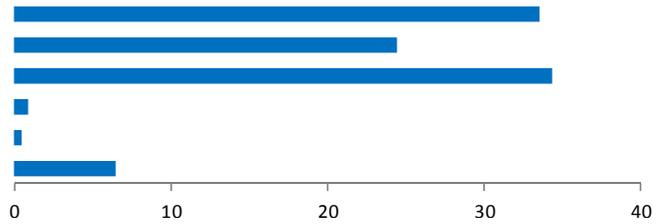
問3-33【重要度】 公園がよく整備されていて、誰でも利用しやすいこと

No.	カテゴリー名	n	%
1	重要である	231	20.4
2	やや重要である	280	24.7
3	ふつう	497	43.9
4	あまり重要ではない	39	3.4
5	重要ではない	10	0.9
	無回答	75	6.6
	全体	1,132	100.0



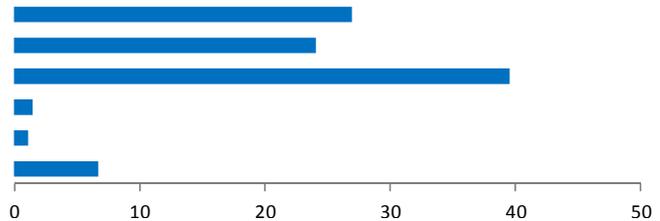
問3-34【重要度】 下水・し尿処理やごみ収集などがきちんと行われ、衛生的な環境が整っていること

No.	カテゴリー名	n	%
1	重要である	379	33.5
2	やや重要である	277	24.5
3	ふつう	388	34.3
4	あまり重要ではない	10	0.9
5	重要ではない	5	0.4
	無回答	73	6.4
	全体	1,132	100.0



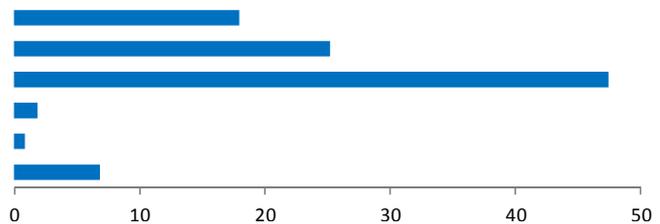
問3-35【重要度】 省エネルギー対策や新エネルギー※3の導入による地球温暖化防止対策が積極的に進められていること

No.	カテゴリー名	n	%
1	重要である	305	26.9
2	やや重要である	273	24.1
3	ふつう	448	39.6
4	あまり重要ではない	17	1.5
5	重要ではない	13	1.1
	無回答	76	6.7
	全体	1,132	100.0



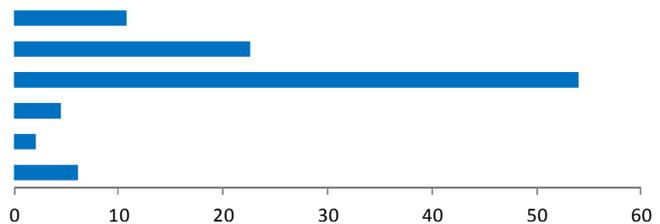
問3-36【重要度】 知りたい市役所の情報を手に入れやすいこと

No.	カテゴリー名	n	%
1	重要である	203	17.9
2	やや重要である	285	25.2
3	ふつう	536	47.3
4	あまり重要ではない	21	1.9
5	重要ではない	10	0.9
	無回答	77	6.8
	全体	1,132	100.0



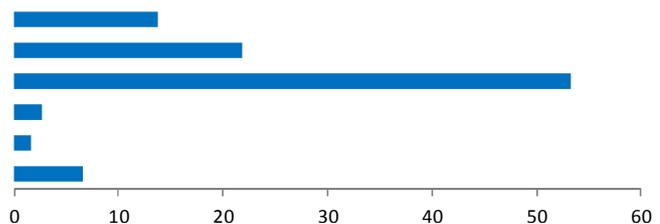
問3-37【重要度】 町内会などによるコミュニティ活動が積極的に行われていること

No.	カテゴリー名	n	%
1	重要である	121	10.7
2	やや重要である	255	22.5
3	ふつう	612	54.1
4	あまり重要ではない	50	4.4
5	重要ではない	24	2.1
	無回答	70	6.2
	全体	1,132	100.0



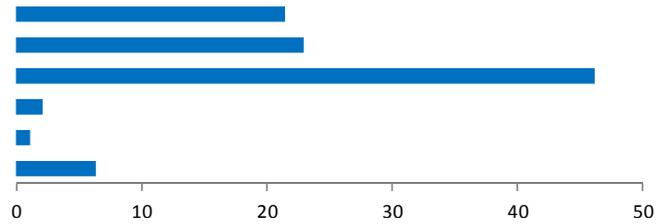
問3-38【重要度】 市民団体等の主体的な活動を支援するなど、住民と行政との協働によってまちづくりが進められていること

No.	カテゴリー名	n	%
1	重要である	156	13.8
2	やや重要である	248	21.9
3	ふつう	603	53.3
4	あまり重要ではない	31	2.7
5	重要ではない	19	1.7
	無回答	75	6.6
	全体	1,132	100.0



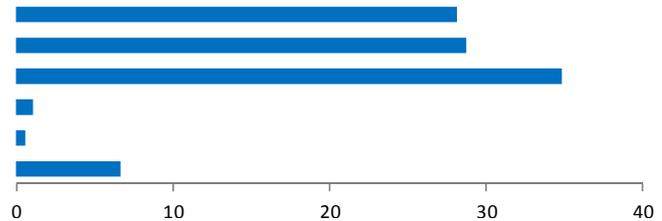
問3-39【重要度】 男女の性別に関係なく、お互いを尊重し合う社会であること

No.	カテゴリー名	n	%
1	重要である	243	21.5
2	やや重要である	259	22.9
3	ふつう	522	46.1
4	あまり重要ではない	24	2.1
5	重要ではない	12	1.1
	無回答	72	6.4
	全体	1,132	100.0



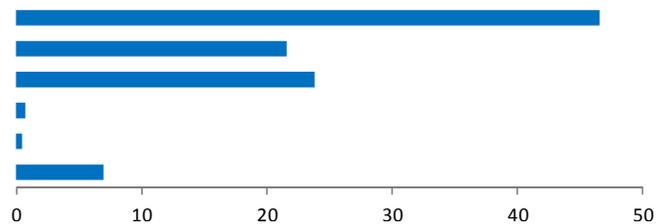
問3-40【重要度】 市民が満足できるような効率的な行政サービスが行われていること

No.	カテゴリー名	n	%
1	重要である	318	28.1
2	やや重要である	325	28.7
3	ふつう	394	34.8
4	あまり重要ではない	12	1.1
5	重要ではない	7	0.6
	無回答	76	6.7
	全体	1,132	100.0



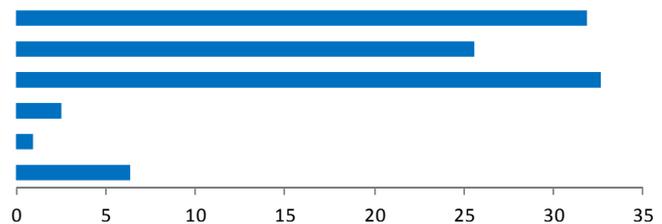
問3-41【重要度】 市の財政基盤が安定していること

No.	カテゴリー名	n	%
1	重要である	527	46.6
2	やや重要である	244	21.6
3	ふつう	269	23.8
4	あまり重要ではない	8	0.7
5	重要ではない	5	0.4
	無回答	79	7.0
	全体	1,132	100.0



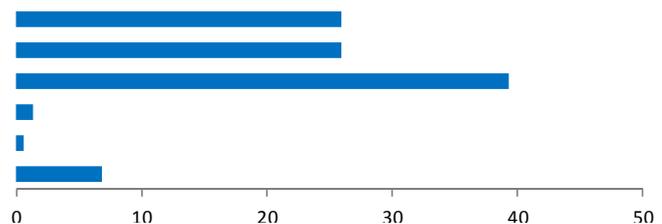
問3-42【重要度】 市外からの移住や、定住促進など、住んでみたい・住み続けたいまちづくりが進められていること

No.	カテゴリー名	n	%
1	重要である	361	31.9
2	やや重要である	289	25.5
3	ふつう	370	32.7
4	あまり重要ではない	29	2.6
5	重要ではない	11	1.0
	無回答	72	6.4
	全体	1,132	100.0



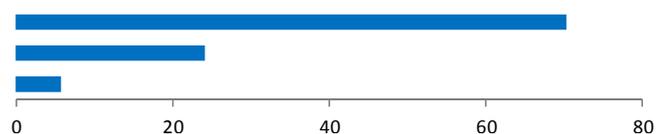
問3-43【重要度】 周辺市町村と力を合わせて、よりよい行政サービスが行われていること

No.	カテゴリー名	n	%
1	重要である	294	26.0
2	やや重要である	294	26.0
3	ふつう	444	39.2
4	あまり重要ではない	16	1.4
5	重要ではない	7	0.6
	無回答	77	6.8
	全体	1,132	100.0



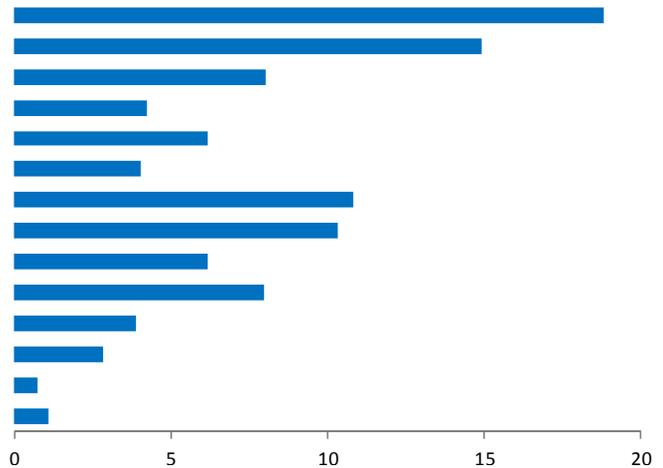
問4-1 五所川原市において、人口減少が進んでいることを実感していますか

No.	カテゴリー名	n	%
1	実感している	795	70.2
2	実感していない	272	24.0
	無回答	65	5.7
	全体	1,132	100.0



問4-2 今後人口減少が進むことにより、どのような点に不安を感じますか

No.	カテゴリー名	n	%
1	地域経済の衰退	635	18.8
2	企業の流出・仕事の減少	504	14.9
3	地域のにぎわい低下	271	8.0
4	公共サービスレベルの低下	143	4.2
5	地方自治体の運営悪化	208	6.2
6	教育レベルの低下	136	4.0
7	公共サービスの費用負担増加	366	10.8
8	農林漁業の後継者不足	349	10.3
9	介護従事者の人材不足	208	6.2
10	医療施設の衰退	270	8.0
11	地域活動・近所付き合いの希薄化	131	3.9
12	伝統文化や祭りの衰退	95	2.8
13	その他	25	0.7
	無回答	37	1.1
	全体	3,378	100.0



問5 あなたは、これからも五所川原市に住み続けたいと思いますか

No.	カテゴリー名	n	%
1	住み続けたい	439	38.8
2	どちらかといえば住み続けたい	259	22.9
3	どちらともいえない	262	23.1
4	どちらかといえば住み続けたくない	92	8.1
5	住み続けたくない	46	4.1
	無回答	34	3.0
	全体	1,132	100.0

